

第三章 一般市民対象調査

I 調査概要

1 調査目的

武蔵野市の広報媒体である市報「市報むさしの」、季刊誌「季刊むさしの」、議会報「武蔵野市議会だより」、ホームページ、映像広報「むさしのシティニュース」、音声広報「マイシティむさしの」について、市民からの評価、広報効果等を調査し、その結果を分析することにより、市民に分かりやすく、活用しやすい情報提供のための、より効果的、効率的な広報の在り方を探り、今後の広報展開に役立てる。

2 調査項目

(1) 広報全般に関する調査項目群

広報媒体接触（問1）

(2) 広報紙に関する調査項目群

閲読頻度（問2）、非接触理由（問3）、記事別閲読頻度（問4）、情報ニーズ（問5）、発行形態・内容要望（問6）、意見・要望（問7）

(3) 季刊誌に関する調査項目群

閲読頻度（問8）、非接触理由（問9）、記事閲読頻度（問10）、情報ニーズ（問11）、発行形態・内容要望（問12）、意見・要望（問13）

(4) 議会報に関する調査項目群

閲読頻度（問14）、非接触理由（問15）、議会関心度（問16）、議会情報ニーズ（問17）、発行形態・内容要望（問18）、議会情報入手希望媒体（問19）、意見・要望（問20）

(5) テレビ・ラジオ広報に関する調査項目群

テレビ広報接触状況（問21）、ラジオ広報接触状況（問22）、テレビ広報・ラジオ広報意見・要望（問23）

(6) ホームページに関する調査項目群

閲読頻度（問24）、情報到達度（問25）、情報利用項目（問26）、発行形態・内容要望（問27）、情報ニーズ（問28）、意見・要望（問29）

(7) メディア接触・市民意識に関する調査項目群

インターネット閲覧時間（問30）、携帯電話によるインターネット利用有無（問31）、市への好感度

(問32)、市の情報満足度(問33)

(8) 対象者属性

性別(問34)、年齢(問35)、子どもの学齢等(問36)、職業(問37)、勤務・通学地(問38)、居住年数(問39)、居住区域(問40)

3 実施概要

(1) 調査対象

武蔵野市在住の満16歳以上の男女、2,000サンプル(住民基本台帳から無作為抽出)

(2) 調査方法

アンケート郵送調査

(3) 調査時期

2008年6月1日～30日

(4) 回収結果

836人(回収率41.8%)

※うち、1票は集計終了後の回収のため、分析データには反映していない

- 8 市内のさまざまなイベントについて、もっと知らせるようにする
- 9 市民検診（健診）や今月の相談など、行政が行っているさまざまなサービスや相談について、もっと知らせる
- 10 市民の声や活動をもっと紙面で紹介する
- 11 ページ数を増やす（現在は平均8～12ページ）
- 12 活字をもっと大きくする
- 13 サイズを小さくし（A4判）、保存や扱いをしやすくする
- 14 その他（ ）
- 15 特になし

（広報紙意見・要望）

問7 「市報むさしの」についてご意見、ご要望をお聞かせください。

<季刊誌>

（季刊誌閲覧頻度）

※ 問8から問13までは同封の「季刊むさしの」をご覧になりながらお答えください。

問8 あなたはふだんのくらい「季刊むさしの」を読んでいますか。あてはまるもの一つに○をしてください。

- | | |
|-----------|--------------------------|
| 1 毎号読んでいる | 2 ときどき読んでいる |
| | → 1～2とお答えの方は、問10へお進みください |
| 3 読んでいない | 4 読んだことがない |
| | → 3～4とお答えの方は、問9へお進みください |

（季刊誌非接触理由）

（問8で3～4と答えた方へ）

問9 「季刊むさしの」を読まない理由は何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 1 忙しいから | 2 市報やホームページで情報が足りているから |
| 3 魅力を感じないから | 4 市の情報にあまり関心がないから |
| 5 「季刊むさしの」が配布されないから | 6 「季刊むさしの」を知らなかったから |
| 7 その他（ ） | |
| | → 問11へお進みください |

（季刊誌記事読頻度）

問10 あなたは、「季刊むさしの」の以下の記事の中で、どの記事を読んでいますか。あてはまるところに○をつけてください。

- | | | | |
|-----------------|-----------|---------|------------|
| | 1 よく読んでいる | 2 たまに読む | 3 ほとんど読まない |
| 1 特集（ ） | | | 1 2 3 |
| 2 チャレンジ武蔵野人 | | | 1 2 3 |
| 3 武蔵野市百年史こぼればなし | | | 1 2 3 |

4	武蔵野スケッチ物語	1	2	3
5	武蔵野ジャーナル	1	2	3
6	市民の“WA”	1	2	3
7	業務探検隊が行く！	1	2	3
8	ふれあいのページ	1	2	3
9	武蔵野カルチャーガイド	1	2	3
10	むさしのお散歩三昧	1	2	3
11	むさしの街人夢	1	2	3

(季刊誌情報ニーズ)

問11 「季刊むさしの」は、市政の情報公開促進のため市報では紹介しきれない市政の課題の背景や経緯、問題点などをお知らせする地域情報誌型広報誌です。あなたは、こうした「季刊むさしの」でどのような情報を詳しく知りたいと思いますか。あてはまるものにいくつでも○をしてください。

- | | | | | | |
|----|---------|----|----------|----|----------------|
| 1 | 保健・医療 | 2 | 税金 | 3 | 福祉 |
| 4 | 防犯・防災 | 5 | 保険・年金 | 6 | 催し物・講座の情報 |
| 7 | 文化・スポーツ | 8 | ごみ・リサイクル | 9 | 市の魅力・おすすめスポット |
| 10 | 市の財政状況 | 11 | 子育て | 12 | 市内施設の開館日・空き状況等 |
| 13 | 市議会 | 14 | その他 () | | |
| 15 | 特になし | | | | |

(季刊誌発行形態・内容要望)

問12 「季刊むさしの」についてどのような要望をお持ちですか。あてはまるものにいくつでも○をしてください。

- | | | | |
|---|-------------------------|---|----------------|
| 1 | 配布方法をもっと工夫してほしい | 2 | 活字をもっと大きくしてほしい |
| 3 | サイズをA4サイズにしてほしい | 4 | 連載物を増やしてほしい |
| 5 | 地域の活動や市民を紹介する企画を増やしてほしい | | |
| 6 | 市民が投稿できる企画を増やしてほしい | | |
| 7 | その他 () | | |

(季刊誌意見・要望)

問13 「季刊むさしの」についてご意見、ご要望をお聞かせください。

<議会報>

(議会報閲読頻度)

※ 問14から問20までは同封の「武蔵野市議会だより」をご覧になりながらお答えください。

問14 あなたは、ふだんのくらい「武蔵野市議会だより」を読んでいますか。あてはまるものに一つだけ○をつけてください。

- | | | | |
|---|----|---|------------------------|
| 1 | 毎号 | 2 | ときどき読む程度 |
| | | → | 1~2とお答えの方は、問16へお進みください |

3 ほとんど読まない

4 読んだことはない

→ 3~4とお答えの方は、問15へお進みください

(議会報非接触理由)

(問14で3~4と答えた方へ)

問15 「武蔵野市議会だより」を読まない理由は何ですか、あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

1 忙しいから

2 市議会ホームページで情報が足りているから

3 魅力を感じないから

4 市議会にあまり関心がないから

5 「武蔵野市議会だより」を知らないから

6 その他 ()

(議会関心度)

問16 あなたは、「武蔵野市議会」について、どの程度関心をお持ちですか。あてはまるものに一つだけ○をつけてください。

1 非常に関心がある

3 あまり関心がない

2 関心がある

4 まったく関心がない

(議会情報ニーズ)

問17 あなたは、今後「武蔵野市議会」についてどのようなことを知りたいと思いますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

1 武蔵野市議会の仕組みについて知りたい

2 武蔵野市議会でのどのような議論が行われているかを知りたい

3 武蔵野市議会でのどのような議決がなされたかを知りたい

4 市議会議員がどのような活動を行っているかを知りたい

5 その他 ()

6 特になし

(議会報発行形態・内容要望)

問18 あなたは、今後「武蔵野市議会だより」のどのような点に工夫や改善をしてほしいと思いますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

1 議会で議論になったこと、議案に対する各議員の賛否などについて具体的に説明する

2 クイズやコラムなど親しみやすい記事も取り入れる

3 カラー刷りをやめて、白黒または2色刷りにする

4 もっとタイムリーに情報を提供する

5 記事の並べ方やタイトルを工夫して読みやすくする

6 写真やイラストの分量をもっと増やす(その分、記事を減らす)

7 記事の分量をもっと増やす(その分、写真やイラストを減らす)

8 カタカナ用語や専門用語の使用をやめるなどして、文章をもっと分かりやすくする

9 活字をもっと大きくする

10 サイズを小さくし、手に取りやすくする

11 その他 ()

(議会情報入手希望媒体)

問19 あなたは、「武蔵野市議会」に関する情報を何から入手したいと思いますか。あてはまるもの
にいくつでも○をつけてください。

- 1 「武蔵野市議会だより」 2 市議会ホームページ 3 携帯電話版ホームページ
4 ケーブルテレビ 5 コミュニティFM 6 メールマガジン
7 その他 ()

(議会報意見・要望)

問20 「武蔵野市議会だより」についてご意見、ご要望をお聞かせください。

<テレビ・ラジオ>

(テレビ広報接触状況)

問21 武蔵野市のテレビ番組による広報についておうかがいします。あなたは、ふだん武蔵野市の広報
テレビ番組「むさしのシティニュース」を見ていますか。あてはまるものに一つだけ○をつけてく
ださい。

※「むさしのシティニュース」(武蔵野三鷹ケーブルテレビ「パークシティ」5チャンネル
放送時間 毎日7:30~7:45 12:00~12:15 18:30~18:45 22:30~22:45)

- 1 よく見ている 3 あまり見ていない
2 ときどき見ている 4 見たことがない

(ラジオ広報接触状況)

問22 武蔵野市のコミュニティFMによる広報についておうかがいします。あなたは、ふだん武蔵野市
のFM広報番組「マイシティむさしの」を聴いていますか。あてはまるものに一つだけ○をつけて
ください。

※「マイシティむさしの」(むさしのFM (78.2MHz) 放送時間 月~土 9:30~9:45 11:45~12:00 13:30~
13:45 14:45~15:00 16:45~17:00 18:30~18:45 日 9:30~9:45 11:45~12:00)

- 1 よく聴いている 3 あまり聴いていない
2 ときどき聴いている 4 聴いたことがない

(テレビ・ラジオ広報意見・要望)

問23 広報テレビ番組「むさしのシティニュース」、コミュニティFM「マイシティむさしの」につ
いて、ご意見、ご要望をお聞かせください。

- 7 双方向性を生かして市民からの意見・要望などを共有する
- 8 もっと更新頻度を増やし、タイムリーに情報を提供する
- 9 クイズやマンガなど親しみやすいコンテンツも取り入れる
- 10 市内のさまざまなイベントについて、もっと知らせるようになる
- 11 健康診断や今月の相談などの行政サービスや相談を、もっと知らせる
- 12 その他 ()

(ホームページ情報ニーズ)

問28 武蔵野市に関する情報の中で、武蔵野市のホームページで入手できたらいいと思う情報は何ですか。あてはまるものいくつかでも○をつけてください。

- | | |
|-------------|-------------------|
| 1 保健・医療 | 8 ごみ・リサイクル |
| 2 税金 | 9 市の魅力・おすすめスポット |
| 3 福祉 | 10 市の財政状況 |
| 4 防犯・防災 | 11 子育て |
| 5 保険・年金 | 12 市内施設の開館日・空き状況等 |
| 6 催し物・講座の情報 | 13 市議会 |
| 7 文化・スポーツ | |
| 14 その他 () | |
| 15 特にない | |

(ホームページ意見・要望)

問29 武蔵野市のホームページについて、ご意見、ご要望をお聞かせください。

<メディア接触・市民意識>

(インターネット閲覧時間)

問30 あなたは、インターネット（パソコン、携帯電話）を平均どのくらいご覧になっていますか。あてはまるもの一つだけ○をつけてください。

- | | | |
|-------------|---------|----------|
| 1 30分未満 | 2 1時間未満 | 3 1時間半未満 |
| 4 2時間未満 | 5 3時間未満 | 6 3時間以上 |
| 6 まったく見ていない | | |

(携帯電話によるインターネット利用有無)

問31 あなたは携帯電話でインターネット情報を見ることがありますか。あてはまるもの一つだけ○をつけてください。

- | | | |
|------|-------|---------------|
| 1 見る | 2 見ない | 3 携帯電話は持っていない |
|------|-------|---------------|

(市への好感度)

問32 あなたは武蔵野市に誇りや愛着を感じていますか。あてはまるものに一つだけ○をつけてください。

- 1 非常に感じている 2 感じている 3 どちらともいえない
4 あまり感じていない 5 まったく感じていない

(市の情報満足度)

問33 あなたは現在、武蔵野市の情報を十分に得られていると思いますか。あてはまるものに一つだけ○をつけてください。

- 1 十分に得られている 2 十分ではないが必要な情報は得られている
3 どちらともいえない 4 あまり得られていない
5 まったく得られていない

(性別)

問34 あなたの性別をお答えください。

- 1 男 2 女

(年齢)

問35 あなたの年齢をお答えください。

- 1 10歳代 2 20歳代 3 30歳代 4 40歳代
5 50歳代 6 60歳代 7 70歳代 8 80歳以上

(子どもの学齢等)

問36 あなたにはお子さんがいらっしゃいますか。あてはまるものに○をつけてください（お子さんが複数いる場合は、あてはまるものすべてに○をつけてください）。

- 1 子どもはいない 4 高校生・大学生（各種学校・高専の学生を含む）
2 小学校入学前の乳・幼児 5 学校卒業・就職・結婚など
3 小・中学生 6 その他（ ）

(職業)

問37 あなたの職業について、あてはまるものに一つだけ○をつけてください。

- 1 自営業・自由業 2 正社員、正職員 3 契約社員、派遣社員
4 アルバイト、パート 5 学生
→ 1～5とお答えの方は、問38へお進みください
6 家事専業 7 無職 8 その他
→ 6～8とお答えの方は、問39へお進みください

Ⅲ 調査結果概要

1 広報媒体への接触

武蔵野市の情報入手手段としては、「市報むさしの」と答えた人が686人（82.4%）。続いて、「新聞記事」（242人、29.1%）、「家族、友人、知人との会話」（241人、28.9%）、「武蔵野市議会だより」（240人、28.8%）がそれぞれ3割弱となっている。広報紙から入手している人が圧倒的に多い。

「市報むさしの」から情報を得ている人は、20代では55.7%にとどまっているが、30代以上の年代ではそれぞれ80%以上と、非常に高い割合となっている。

また、「武蔵野市ホームページ」から情報を得ている人は、全体では13.7%とそれほど高くないが、20代～50代ではそれぞれ15%を超えており、閲覧者の中心となっている。最も閲覧率が高いのは30代の27.1%で、30代では「市報むさしの」に次いで高い数字となっている。

「季刊むさしの」から情報を得ている人は、全体では17.4%だが、50代以上の年代ではそれぞれ20%～30%と、ほかの世代よりも高くなっている。

2 「市報むさしの」の閲読状況・評価

「市報むさしの」の閲読頻度は、「毎号読んでいる」（451人、54.1%）が過半数を超えている。「ときどき読んでいる」（232人、27.9%）を加えると8割以上になり、多くの人に読まれていることが分かる。「読んでいる（毎号＋ときどき）」人の割合を年代別に見ると、20代では6割弱、30代～40代では約8割、50代～70代では約9割と、年齢が上になるほど閲読率も高くなっている。

「市報むさしの」を読んでいない人（129人）の割合は下の年齢ほど高い。読まない理由は、「忙しいから」（52人、40.3%）、「魅力を感じないから」（38人、29.5%）、「知らないから」（31人、24.0%）が多い。年代別に見ると、60代以上では「読みづらい」という理由が増えている。

また、「市報むさしの」の中でよく読む記事は、「健康」が352人（51.5%）と最も多く、次いで、「一面」が336人（49.2%）、「ごみとリサイクル」が329人（48.2%）と続いている。

充実してほしい情報は、「保健・医療」が514人（75.3%）と突出して高く、ほかの情報については「子育て」が19.9%、「市内施設の開館日・空き情報等」が16.0%、「市議会」が10.8%となっているほか、10%未満となっている。年代別に見ると、「保健・医療」の情報ニーズは、特に60代以上の年代で80%以上と高くなっている。また、「子育て」の情報ニーズについては20代～40代の割合が高く、特に30代では52.3%と最も高くなっている。そのほかの項目では、20代、30代では「催し物・講座の情報」へのニーズがそれぞれ10%台で上の年代に比べて高く、50代～70代では「市議会」の情報ニーズが10%台で下の年代に比べて高くなっている。

発行形態や内容に対する要望としては、「市民検診（健診）や今月の相談など、行政が行っているさまざまなサービスについて、もっと知らせる」（330人、48.3%）が最も多い。次いで、「市内のイベントについて、もっと知らせるようにする」（211人、30.9%）、「情報を分類・整理してもっと分かりやすくする」（200人、29.3%）が多くなっている。年代別に見ると、30代では「写真やイラストを増やす」（16.2%）と「ホームページと連携して詳細情報を掲載する」（22.5%）が他の年代に比べて高くなっている。

3 「季刊むさしの」の閲読状況・評価

「季刊むさしの」の閲読状況については、「毎号読んでいる」が70人（8.4%）、「ときどき読んでいる」が229人（27.5%）となっており、合計しても35%ほどの人しか読んでいない。一方、「読んでいない」「読んだことがない」人はそれぞれ32.4%、25.5%で、両者を合わせると「読んでいない」人は全体の半数以上を占めている。年代別にみると、「読んでいる」人は50代以上で多く、「読んでいない」人は40代以下が多い。

「季刊むさしの」を読まない理由としては、「知らないから」（239人、49.6%）、「配布されないから」（197人、40.9%）が多く、そもそも読める環境にない人が多いことが分かる。

また、「季刊むさしの」の記事の中で、「よく読んでいる」「たまに読む」の合計が高いものから順に挙げると、「むさしのお散歩三昧」（228人、76.3%）、「武蔵野市百年こぼればなし」（213人、71.2%）、「武蔵野スケッチ物語」（206人、68.9%）となっている。

「季刊むさしの」で充実してほしい情報としては、「市の魅力・おすすめスポット」（364人、43.7%）と「保健・医療」（348人、41.8%）へのニーズが特に高く、「福祉」「催し物」「文化・スポーツ」なども、それぞれ30%強のニーズがある。

また、「季刊むさしの」の発行形態や内容に対する要望としては、「配布方法をもっと工夫してほしい」（331人、39.7%）が最も多く、配布されていない人からの不満が表れている。

4 「武蔵野市議会だより」の閲読状況・評価

「武蔵野市議会だより」の閲読状況については、「毎号読んでいる」が95人（11.4%）、「ときどき読む程度」が296人（35.5%）で、合計しても読んでいる人が半数に満たない。「読んでいる（毎号読む＋ときどき読む程度）」人の割合は50代、60代で高く、「読まない（ほとんど読まない＋読んだことがない）」人の割合は30代以下で高い。

「武蔵野市議会だより」を読んでいない人（410人）の読まない理由は、「市議会にあまり関心がないから」（149人、36.3%）、「魅力を感じないから」（133人、32.4%）、「忙しいから」（101人、24.6%）が多い。

「武蔵野市議会」への関心度は、「非常に関心がある」が35人（4.2%）、「関心がある」が273人（32.8%）で、合計しても、関心がある人は4割弱しかいない。

「武蔵野市議会」について知りたいこととしては、「議員の活動」（418人、50.2%）、「市議会の議論」（397人、47.7%）が多い。続いて、「市議会の議決」（312人、37.5%）が多くなっている。

「武蔵野市議会だより」の発行形態や内容に対する要望としては、「議会での議論、議案に対する議員の賛否などを具体的に説明する」（359人、43.1%）が最も多い。

「武蔵野市議会」に関する情報入手のための希望媒体としては、「武蔵野市議会だより」（500人、60.0%）が最も多く、次いで、「市議会ホームページ」（158人、19.0%）が挙げられている。

5 テレビ広報、ラジオ広報の接触状況

広報テレビ「むさしのシティニュース」の視聴状況については、「よく見ている」が1.9%（16人）、「ときどき見ている」が16.7%（139人）で、合計しても、見ている人が2割にも満たない。年代別に見ると、40代以上の年代でそれぞれ20%以上となっており、年齢が低い世代よりも「むさしのシティニュース」を見ている。

コミュニティFM「マイシティむさしの」の視聴状況については、「よく聴いている」が1.0%（8人）、「ときどき聴いている」が6.2%（52人）で、合計しても、聴いている人が1割にも満たない。年代別に見ると、60代だけは、1割以上の人が聴いている。

6 ホームページの閲読状況・評価

武蔵野市ホームページの閲覧状況については、「よく見ている」が13人（1.6%）、「ときどき見る」が113人（13.6%）、「見たことがある」が217人（26.1%）で、合計しても見ている人は4割程度。「見たことはない」という人のほうが51.9%で半数以上を占める。ただし、20代～40代では、それぞれ「見ている（よく＋ときどき＋見たことがある）」は6～7割と過半数を超えている。

武蔵野市ホームページ利用者（343人）の情報への到達度は、「すぐにたどりつけた」が153人（44.6%）で、半数の人が問題なく利用できているが、それとほぼ同数の154人（44.9%）の人が「たどりつけたが、時間がかかった」と答えている。

武蔵野市ホームページ利用者（343人）の利用項目は、「届出・税・保険・年金」（141人、41.1%）、「ごみと環境」（141人、41.1%）、「市役所・施設案内」（133人、38.8%）、「図書館」（131人、38.2%）が多く、「行政情報」や「安全なまちづくり情報」「市民活動情報サイト」「市議会」「教育委員会」などの項目の利用は10%以下と少ない。年代別に見ると、20代は「講座・催し」と「図書館」の利用が多い。「健康・福祉」は広報紙などの紙媒体と同様、70代以上の利用が多い。

武蔵野市ホームページ利用者（343人）が武蔵野市ホームページに改善を望むこととしては、「検索機能を強化する」（96人、28.0%）が最も多い。

武蔵野市ホームページで入手したい情報は、「保険・医療」（293人、35.2%）、「催し物・講座の情報」（250人、30.0%）、「ごみ・リサイクル」（228人、27.4%）が多い。年代別に見ると、20代、30代には、「催し物・講座の情報」「市の魅力・おすすめスポット」への希望が多い。

7 メディア接触・市民意識

インターネット（パソコン、携帯電話）の閲覧時間は、「30分未満」（165人、19.8%）、「1時間未満」（162人、19.4%）という人が多い。一方で、「まったく見ていない」（225人、27.0%）も3割ほどいるが、その多くは60代以上であり、40代以下の年代では「まったく見ていない」5～10%程度であり、9割方の人がインターネットを閲覧している。

携帯電話によるインターネット利用状況については、「見る」が26.1%（217人）、「見ない」が53.2%（138人）で、過半数の人が見ていない。年代別にみると、10代～30代では「見る」が過半数以上を占めており、40代～70代では「見ない」が過半数以上を占めている。

武蔵野市への誇りや愛着は、「非常に感じている」が28.6%（238人）、「感じている」が52.6%（438人）で、8割の人が武蔵野市に対して誇りや愛着を感じている。

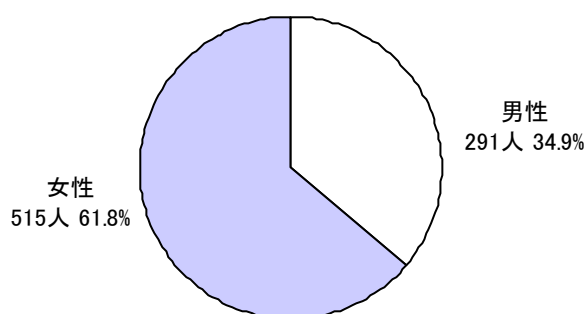
武蔵野市の情報を十分に得られているかについては、「十分に得られている」と答えた人は4.7%（39人）と少ないが、50.5%（421人）の人が「十分ではないが必要な情報は得られている」と答えている。一方、「得られていない（あまり得られていない+まったく得られていない）」という人は16.4%（137人）いる。年代別にみると、40代以上では過半数が「得られている」と答えている一方、年代が下になるほど「得られていない」という人の割合が多くなっている。

IV 集計結果

1 回答者の属性

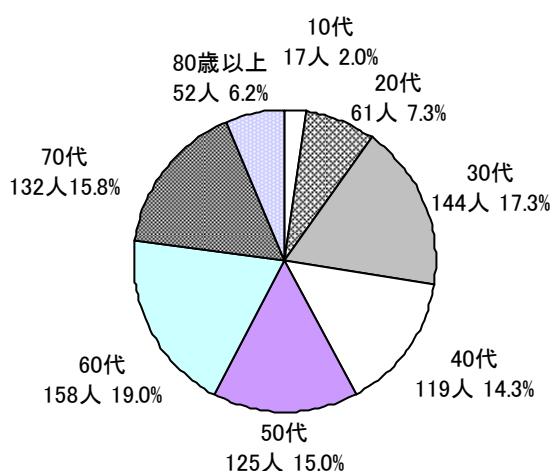
(1) 性別

回答者の性別は、男性291人（34.9%）、女性515人（61.8%）で、女性のほうが多い。どの年代も男性より女性の比率が高いが、特に最も男性の比率が低いのが20代（27.9%）、逆に男性の比率が最も高いのは60代（41.8%）となっている。



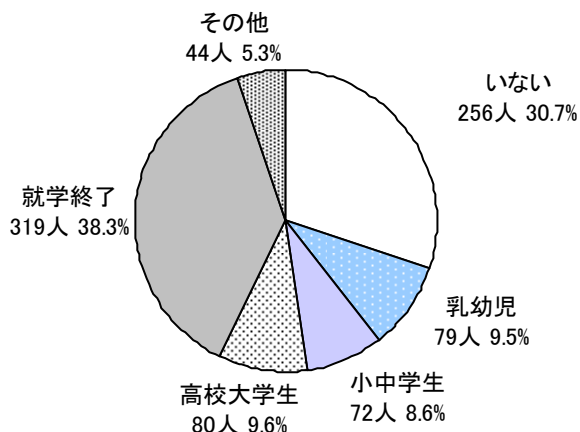
(2) 年齢

回答者の年齢は、10代（17人、2.0%）、20代（61人、7.3%）の若い世代と80歳以上（52人、6.2%）は少ない。30代（144人、17.3%）、40代（119人、14.3%）、50代（125人、15.0%）、60代（158人、19.0%）、70代（132人、15.8%）は、いずれの世代も14~19%と、ほぼ均等な割合になっている。



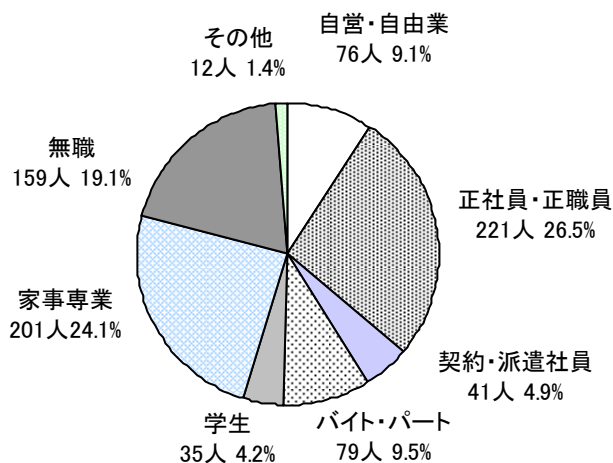
(3) 子どもの学齢等

回答者の子どもの有無については、「いない」が30.7%（256人）で、全体の3分の1を占めている。子どもが「いる」回答者の子どもの学齢等をみると、「就学終了（学校卒業・就職・結婚など）」が38.3%（319人）で最も多く、「乳・幼児」（79人、9.5%）、「小・中学生」（72人、8.6%）、「高校生・大学生」（80人、9.6%）は、それぞれ10%弱となっている。



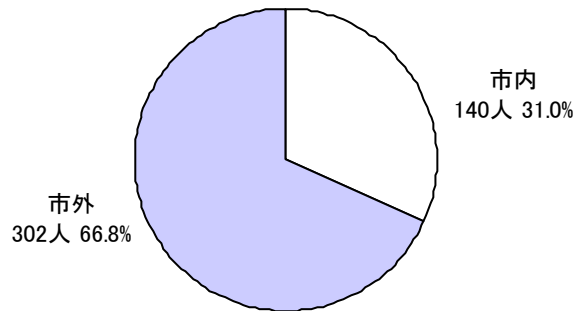
(4) 職業

回答者の職業は、「正社員、正職員」（221人、26.5%）、「家事専業」（201人、24.1%）、「無職」（159人、19.1%）が多い。そのほか、「アルバイト、パート」（79人、9.5%）が約1割。「契約社員、派遣社員」（41人、4.9%）、「学生」（35人、4.2%）となっている。「正社員、正職員」の比率が高いのは、20代～50代の男性でそれぞれ6割～7割を占めている。また、「無職」は60代以上の男性で比率が高く、「家事専業」は30代～70代の女性で比率が高くなっている。「アルバイト、パート」は40代女性の比率が最も高い。



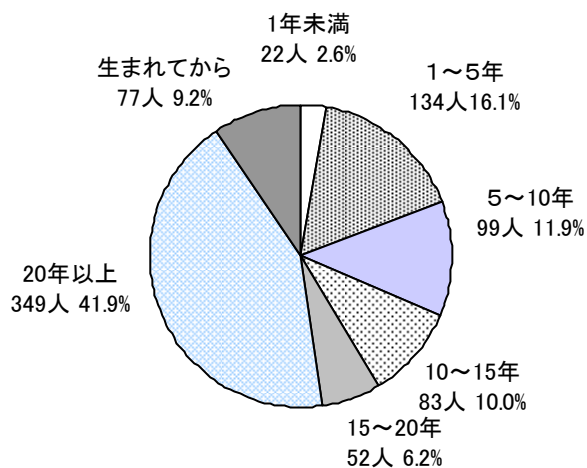
(5) 勤務・通学地

回答者の勤務・通学地は、「市内」が140人（31.0%）、「市外」が302人（66.8%）で、2倍以上の人が市外に勤務・通学している。勤務・通学地の「市内」「市外」の比率は、いずれの年代も「市外」のほうが高いが、女性では40代以上から「市内」の比率が4割前後に高まっており、60代以上では「市内」のほうが6～7割を占めるようになっている。



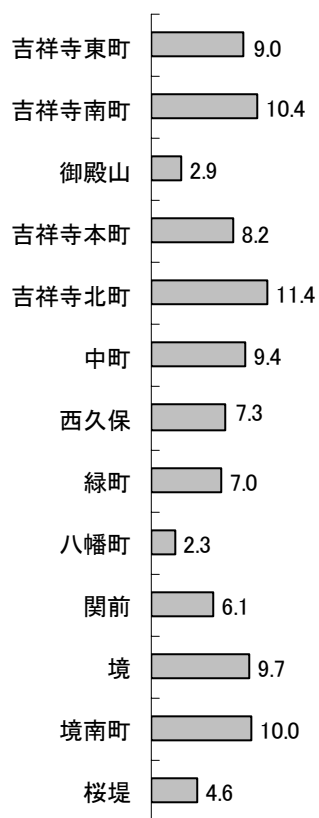
(6) 居住年数

回答者の市内の居住年数は、「20年以上」（349人、41.9%）が最も多い。続いて、「1年～5年未満」（134人、16.1%）、「5年～10年未満」（99人、11.9%）、「10年～15年未満」（83人、10.0%）、「生まれてから」（77人、9.2%）となっている。年代別にみると、60代～80代の6～8割が「居住年数が「20年以上」、50代でも「20年以上」が最も多く4割を超えている。40代では「20年以上」「10～15年未満」がそれぞれ2割となっている。また、「生まれてからずっと」は20代（21.3%）が最も多く、10代、30代～50代でもそれぞれ1割を占めている。



(7) 居住区域

回答者の市内の居住区域は、「吉祥寺北町」(95人、11.4%)、「吉祥寺南町」(87人、10.4%)などの吉祥寺駅周辺と、「境南町」(83人、10.0%)、「境」(81人、9.7%)などの武蔵境駅周辺が多い。



2 広報媒体接触

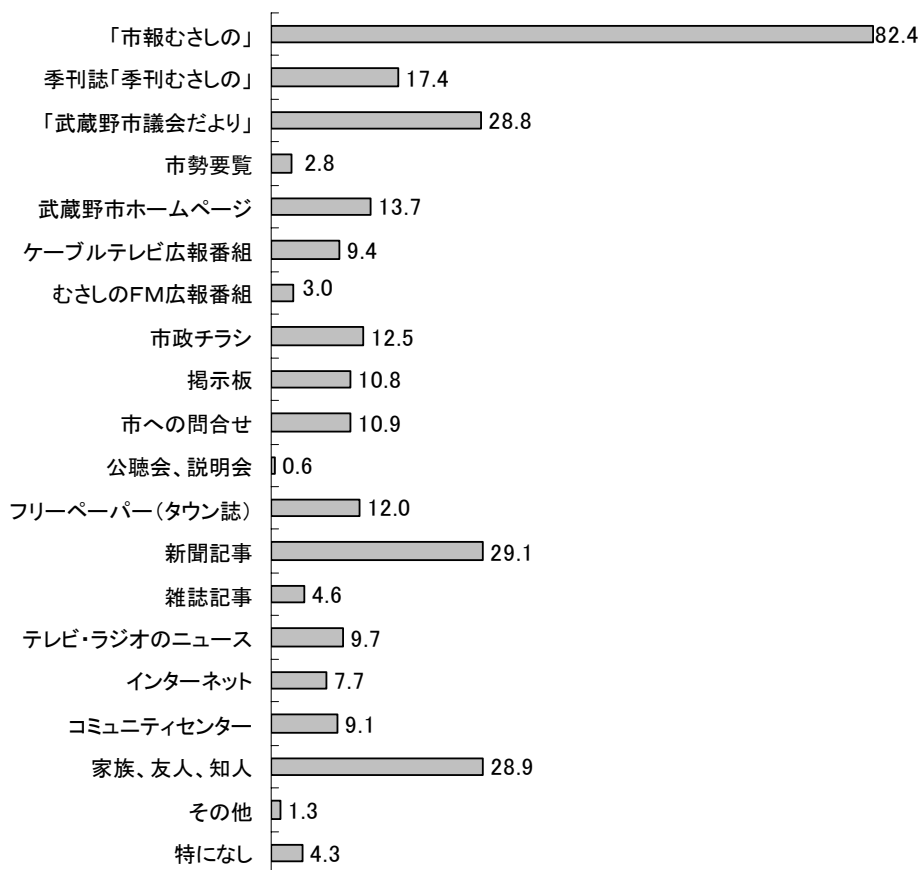
(1) 広報媒体接触 (問1)

武蔵野市の情報入手経路は、「市報むさしの」(686人、82.4%)が圧倒的に多い。その他、「新聞記事」(242人、29.1%)、「家族、友人、知人との会話」(241人、28.9%)、「武蔵野市議会だより」(240人、28.8%)がそれぞれ3割近くある。

「市報むさしの」から情報を得ている人は、20代では55.7%にとどまっているが、30代以上ではそれぞれ80%以上と、非常に高い割合となっている。また、「武蔵野市ホームページ」から情報を得ている人は、20代~50代でそれぞれ15%を超えている。最も比率が高いのは30代(27.1%)で、30代では「市報むさしの」に次いで比率が高い情報入手経路となっている。「季刊むさしの」から情報を得ている人は、全体では17.4%だが、50代以上の年代ではそれぞれ20~30%と、ほかの世代よりも比率が高くなっている。

「新聞記事」は全体では29.1%だが、10代~30代では10%台となっており、ほかの年代に比べてあまり「新聞記事」を見ていない。一方、20代~30代では「フリーペーパー」がそれぞれ約20%となっており、ほかの世代よりもよく見ている。

「その他」の回答で主なものは、「小中学校を通して配布されるプリント」(3人)など。



	総数	「市報むさしの」	季刊誌「季刊むさしの」	「武蔵野市議会だより」	市勢要覧	武蔵野市ホームページ	ケーブルテレビ広報番組	むさしのFM広報番組	公共施設等に置いてある市政チラシ
全体	833	82.4	17.4	28.8	2.8	13.7	9.4	3.0	12.5
男	291	74.9	19.2	27.8	3.8	15.1	10.0	3.4	9.6
女	515	86.6	16.5	29.3	2.3	12.8	8.5	2.9	14.4
10歳代	17	17.6	17.6	5.9	-	5.9	5.9	-	-
20歳代	61	55.7	6.6	6.6	1.6	18.0	8.2	-	3.3
30歳代	144	81.9	6.9	15.3	-	27.1	6.9	2.1	7.6
40歳代	119	84.9	9.2	23.5	0.8	17.6	10.1	3.4	11.8
50歳代	125	88.8	19.2	31.2	2.4	15.2	15.2	2.4	12.0
60歳代	158	91.1	20.9	41.1	2.5	7.6	11.4	7.0	19.6
70歳代	132	89.4	30.3	41.7	7.6	3.8	4.5	3.0	14.4
80歳以上	52	69.2	30.8	34.6	7.7	3.8	3.8	-	19.2

	総数	公共施設に設置された掲示板	市への問合せ(電話、窓口など)	公聴会、説明会	フリーペーパー(タウン誌など)	新聞記事	雑誌記事	テレビ・ラジオのニュースなど	インターネット
全体	833	10.8	10.9	0.6	12.0	29.1	4.6	9.7	7.7
男	291	9.6	9.3	0.3	7.9	30.2	3.1	8.2	9.3
女	515	11.7	11.5	0.8	14.6	28.3	5.2	10.5	7.0
10歳代	17	-	-	-	11.8	11.8	5.9	11.8	11.8
20歳代	61	6.6	3.3	-	19.7	14.8	3.3	1.6	11.5
30歳代	144	7.6	8.3	0.7	20.1	15.3	4.9	5.6	20.8
40歳代	119	13.4	7.6	0.8	15.1	25.2	4.2	4.2	7.6
50歳代	125	12.8	6.4	-	11.2	34.4	5.6	4.0	8.0
60歳代	158	15.8	17.1	0.6	6.3	38.0	3.8	15.2	1.9
70歳代	132	9.1	17.4	0.8	8.3	37.1	3.0	18.9	1.5
80歳以上	52	9.6	11.5	1.9	3.8	36.5	7.7	17.3	-

	総数	コミュニティセンター	家族、友人、知人との会話	その他	特になし
全体	833	9.1	28.9	1.3	4.3
男	291	7.9	23.7	1.0	7.2
女	515	9.7	32.0	1.6	2.5
10歳代	17	5.9	35.3	-	35.3
20歳代	61	1.6	23.0	3.3	13.1
30歳代	144	3.5	25.0	2.1	4.9
40歳代	119	7.6	27.7	1.7	3.4
50歳代	125	7.2	28.0	-	3.2
60歳代	158	17.1	29.1	-	2.5
70歳代	132	12.9	36.4	3.0	-
80歳以上	52	7.7	30.8	-	1.9

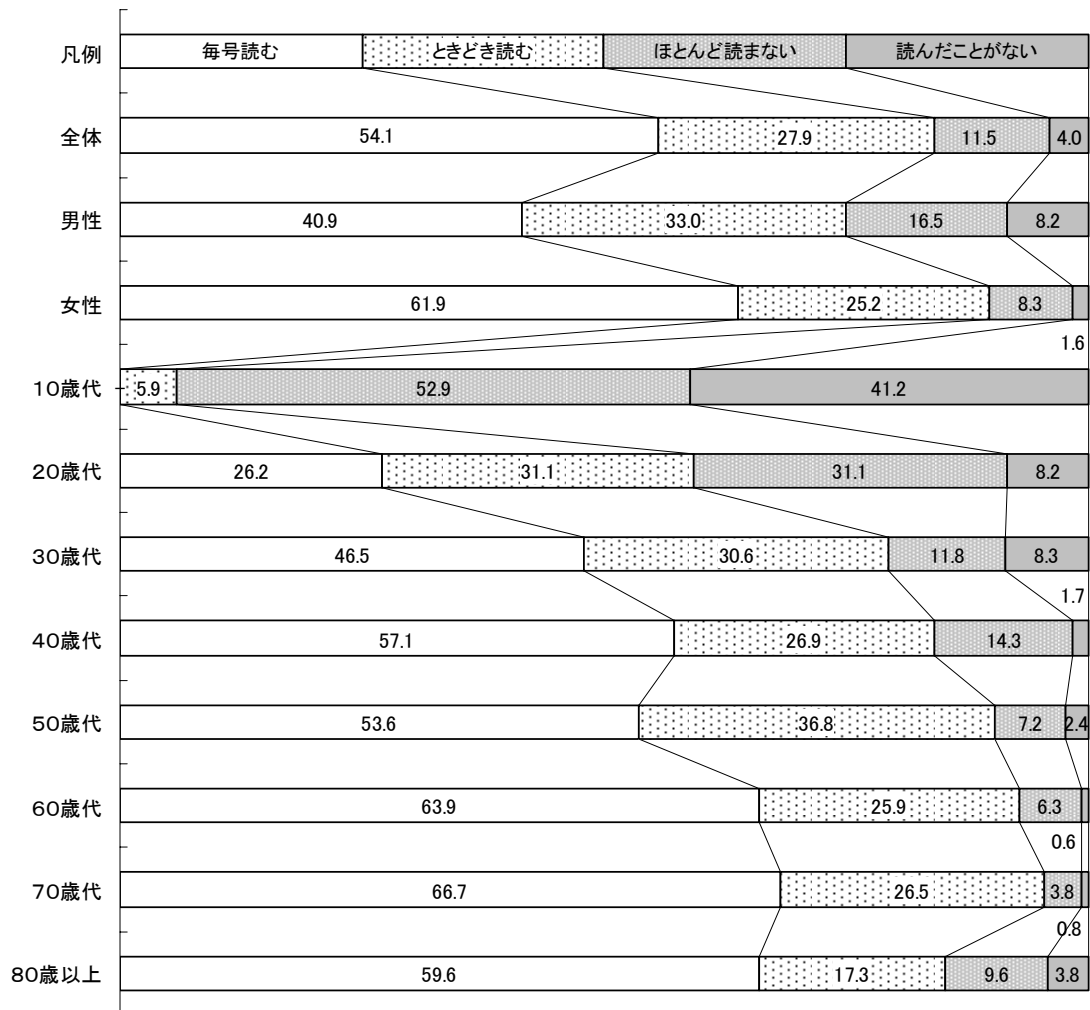
3 「市報むさしの」

(1) 「市報むさしの」の閲読頻度（問2）

「市報むさしの」の閲読頻度は、「毎号読んでいる」（451人、54.1%）が過半数を超えている。「ときどき読んでいる」（232人、27.9%）を加えると8割以上になり、多くの人に読まれていることが分かる。「読んだことはない」は4.0%（33人）であった。

「読んでいる（毎号+ときどき）」人の割合を年代別に見ると、20代では「読んでいる」の合計が6割弱、30代～40代では約8割、50代～70代では約9割と、年代が上になるほど閲読率も高くなっている。

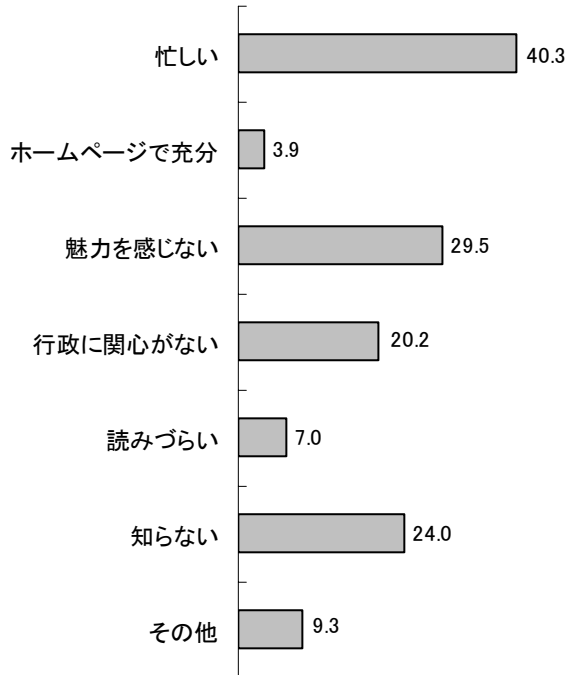
「読んでいる」人の割合を性別でみると、男性は73.9%、女性は87.2%で、どの年代でも女性のほうが閲読率が高い。年代別・性別でみると、最も「読んでいる」割合が低いのは20代男性（47.1%）。



(2) 「市報むさしの」非接触理由（問3）

「市報むさしの」を読んでいない人（129人）の読まない理由は、「忙しいから」（52人、40.3%）、「魅力を感じないから」（38人、29.5%）、「知らないから」（31人、24.0%）が多い。性別で見ると、「忙しい」「知らない」という理由は、女性のほうが比率が高く、「魅力を感じない」は男性のほうが比率が高い。また、女性では、「市の行政のあまり関心がない」という理由も23.5%ある。

年代別にみると、60代以上で「紙面や文章が読みづらい」という理由が増えている。



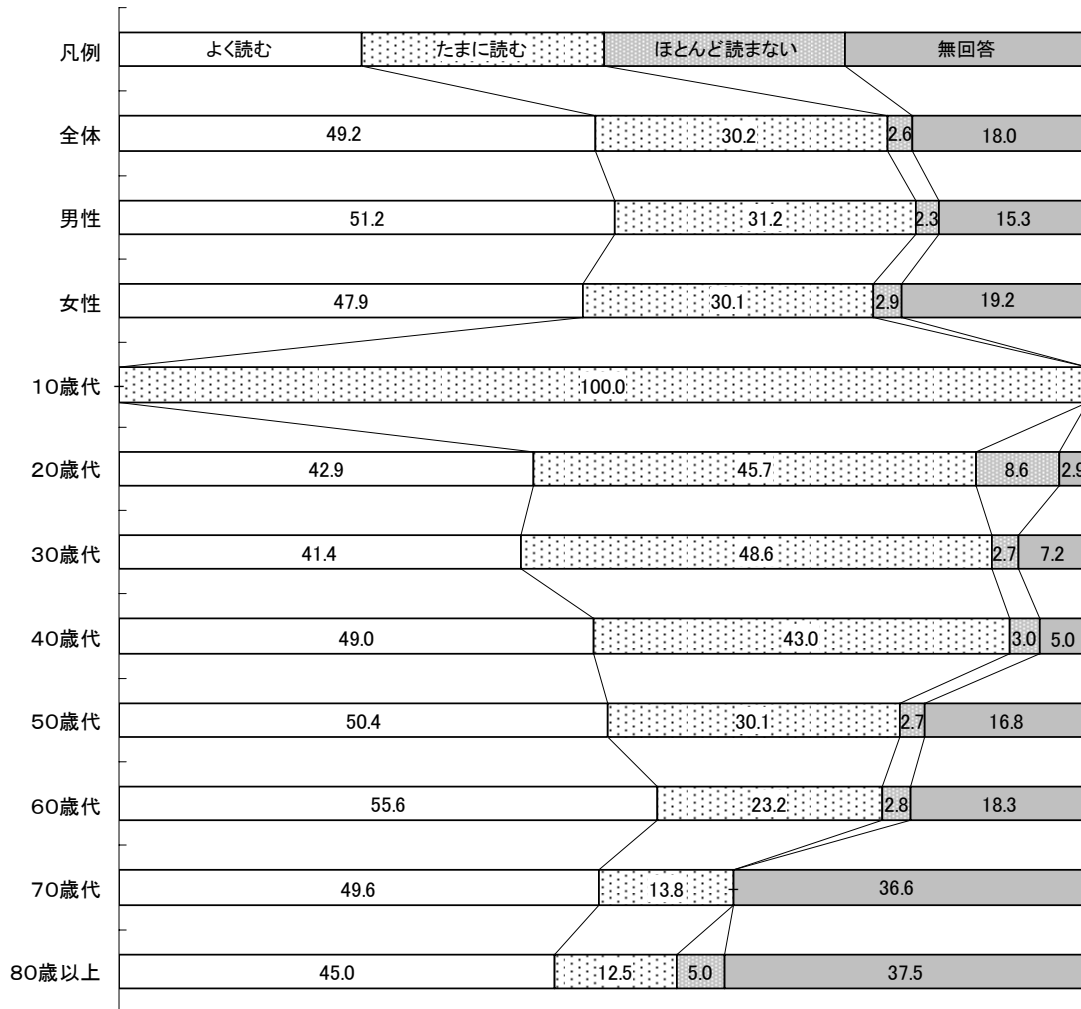
	総数	忙しい	ホームページで充分	魅力を感じない	行政に関心がない	読みづらい	知らない	その他
全体	129	40.3	3.9	29.5	20.2	7.0	24.0	9.3
男性	72	38.9	2.8	33.3	18.1	8.3	22.2	6.9
女性	51	45.1	5.9	25.5	23.5	3.9	27.5	11.8
10歳代	16	50.0	6.3	25.0	25.0	-	37.5	12.5
20歳代	24	41.7	4.2	16.7	25.0	8.3	33.3	12.5
30歳代	29	41.4	-	24.1	27.6	6.9	31.0	6.9
40歳代	19	47.4	10.5	52.6	5.3	5.3	10.5	10.5
50歳代	12	16.7	-	33.3	16.7	-	33.3	-
60歳代	11	45.5	9.1	45.5	18.2	18.2	-	9.1
70歳代	6	83.3	-	16.7	-	-	-	-
80歳以上	7	-	-	28.6	28.6	28.6	14.3	14.3

(3) 「市報むさしの」記事別閲読頻度 一面(問4)

「市報むさしの」を読んでいる人(683人)で、「一面」を「よく読んでいる」(336人、49.2%)人は約半数、「たまに読む」人は約3割(206人、30.2%)で、合計すると約8割の人が読んでいる。

性別でみると、「よく読んでいる」人の比率は男性のほうが高い。また、年代別にみると、「よく読む」が「たまに読む」よりも比率が高いのは40代以上である。

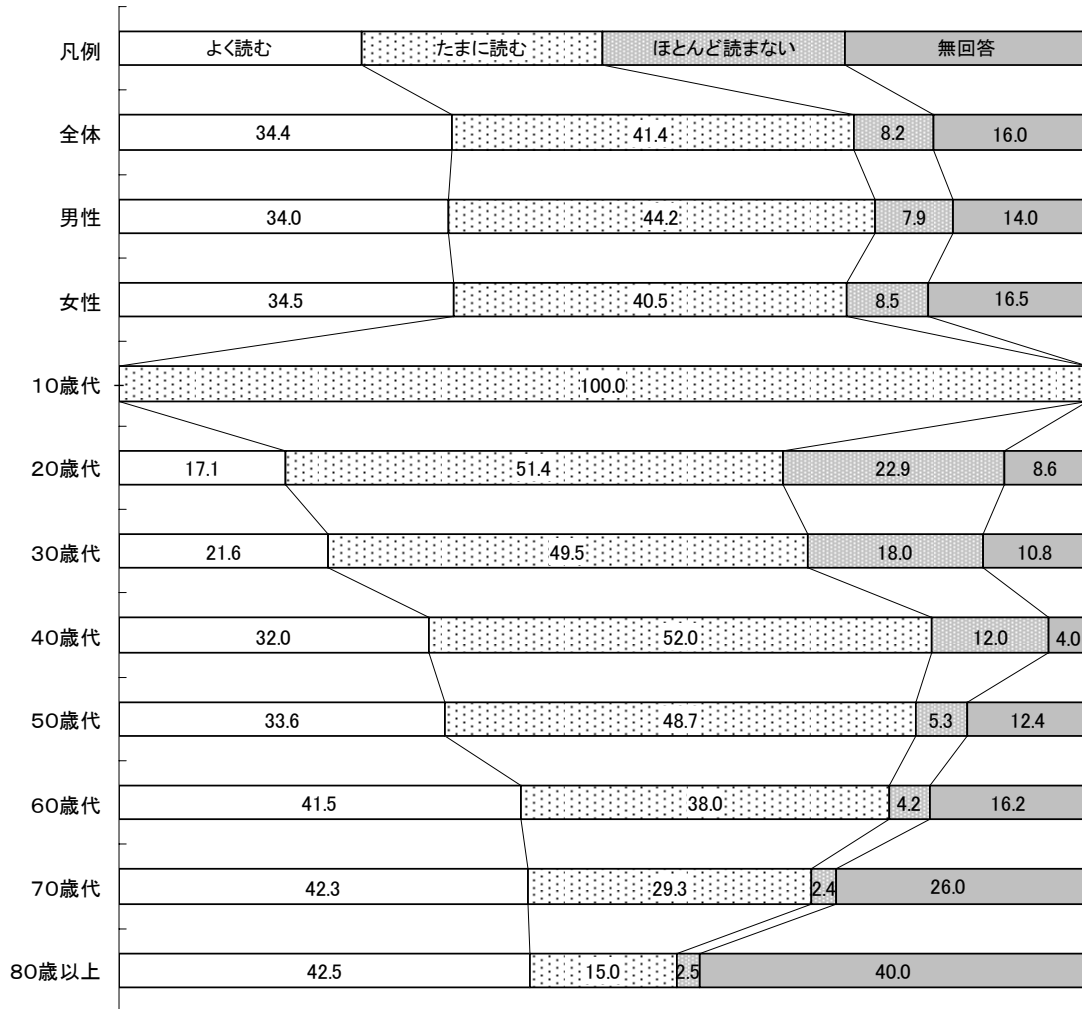
なお、他の設問の無回答は5%以下であるが、問4に関しては無回答の割合が多いため、グラフに反映させた。また、10代の回答者は1人しかいないため、必ず100%になっている。



(4) 「市報むさしの」記事別閲読頻度 重要施策などの特集（問4）

「市報むさしの」を読んでいる人（683人）で、「特集」を「よく読んでいる」人は34.4%（235人）、「たまに読む」人は41.4%（283人）で、合計すると75.8%が「特集」を読んでいる。

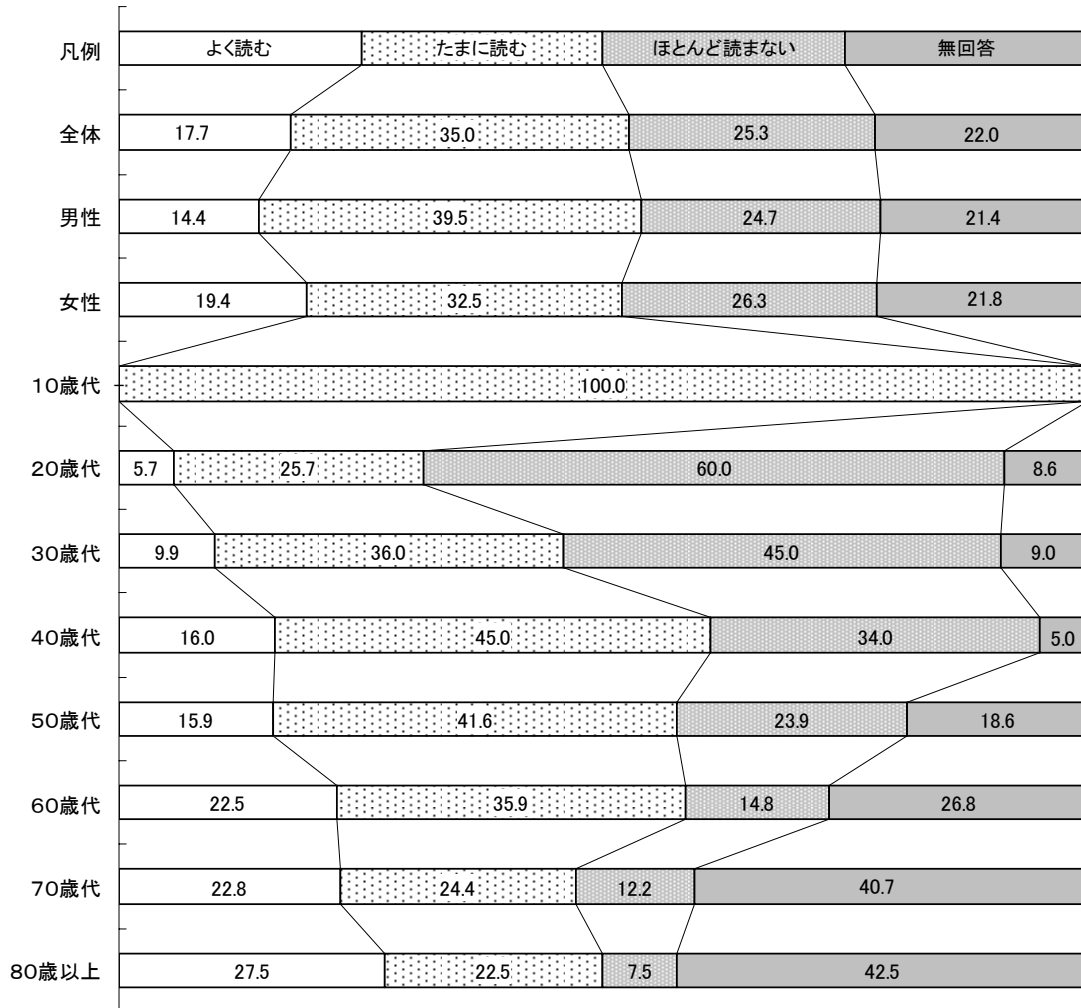
年代別に見ると、「読んでいる（よく+たまに）」人の比率は、40代が最も高く、次いで50代、60代となっている。また、60代以上では「よく読んでいる」のほうが比率が高くなっている。「よく読んでいる」人の比率は年代が下のほうほど低く、20代では17.1%と20%を下回っている。



(5) 「市報むさしの」記事別閲読頻度 市長コラム (問4)

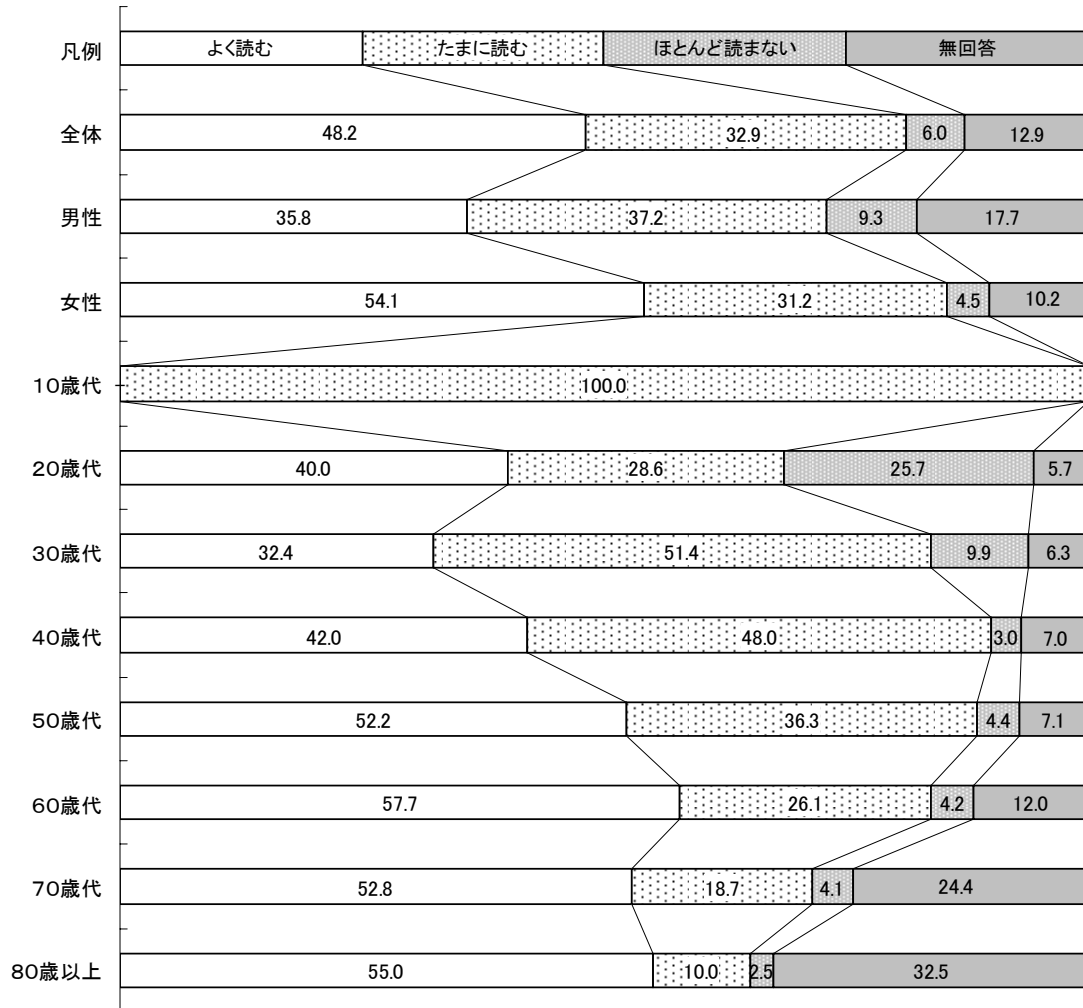
「市報むさしの」を読んでいる人(683人)で、「市長コラム」を「よく読んでいる」人は17.7%(121人)、「たまに読む」人は35.0%(239人)で、合計すると約半数の人が読んでいる。

「読んでいる(よく+たまに)」人の比率を年代別に見ると、40代~60代では6割~7割となっているが、20代、30代では、読んでいる人が半数以下となっている。



(6) 「市報むさしの」記事別閲読頻度 ごみとリサイクル(問4)

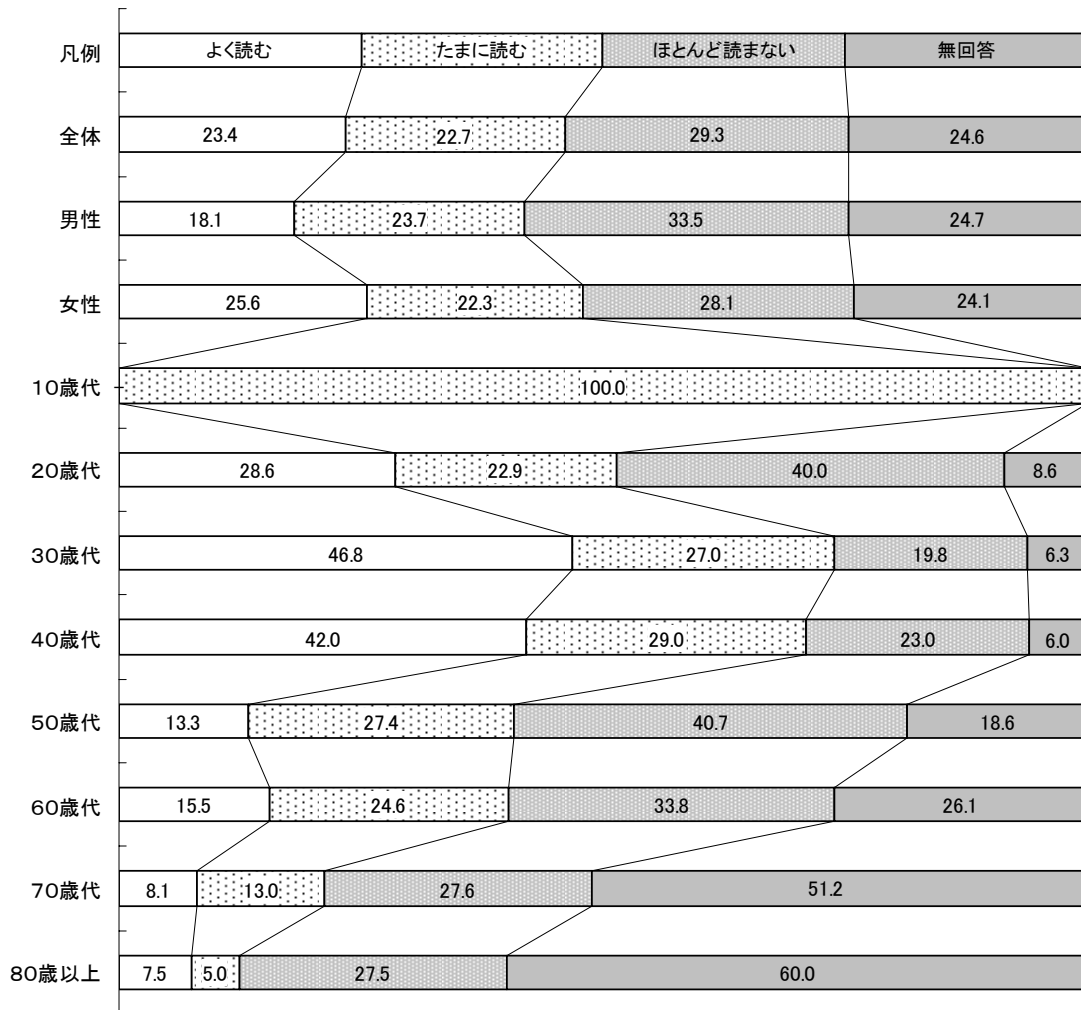
「市報むさしの」を読んでいる人(683人)で、「ごみとリサイクル」を「よく読んでいる」人は48.2%(329人)、「たまに読む」人は32.9%(225人)で、合計すると約8割の人が読んでいる。
性別でみると、「読んでいる(よく+たまに)」比率は女性のほうが高い。また、年代別にみると、20代でも7割近くの人が読んでおり、全世代でよく読まれている。



(7) 「市報むさしの」記事別閲読頻度 こども（子育て）（問4）

「市報むさしの」を読んでいる人（683人）で、「こども（子育て）」を「よく読んでいる」人は23.4%（160人）、「たまに読む」人は22.7%（155人）で、合計すると半数近くの人を読んでいる。

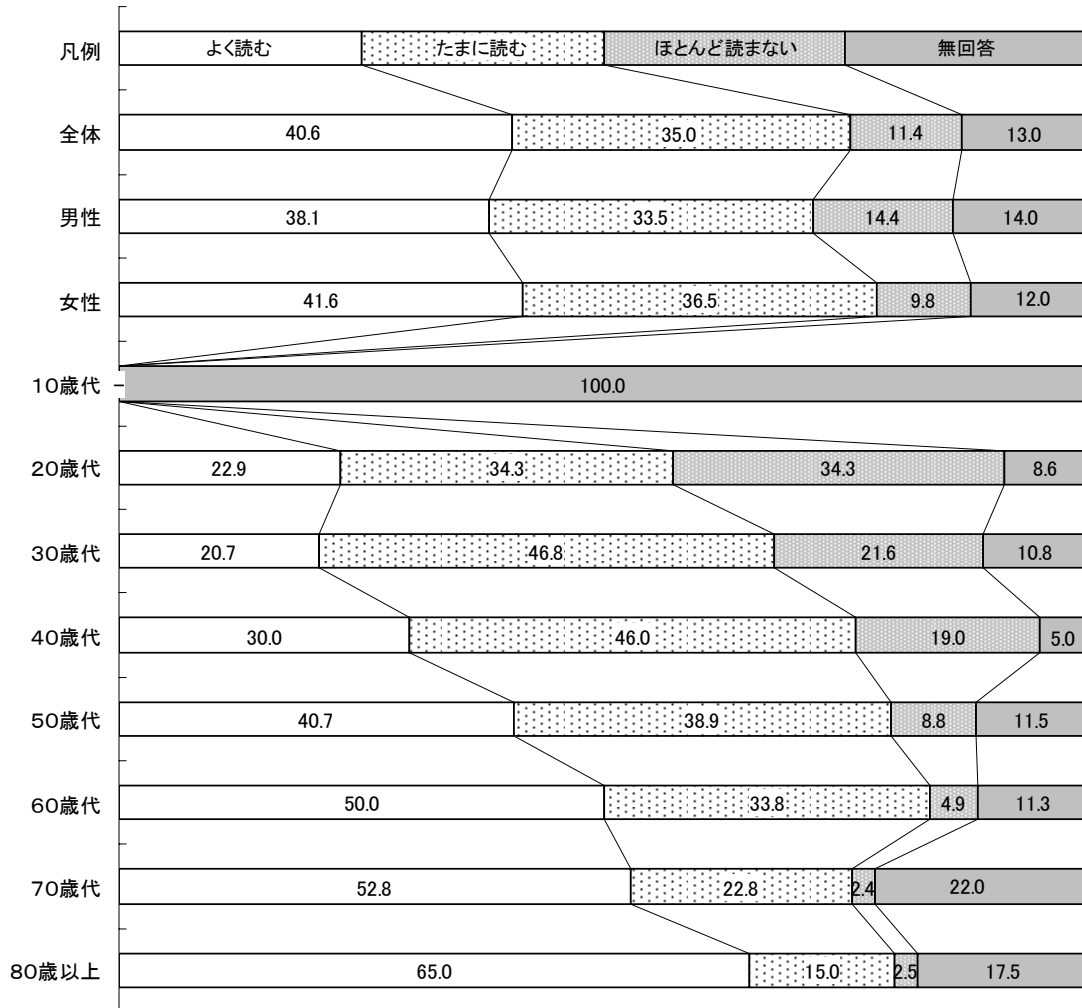
年代別にみると、30代、40代では約7割の人が、20代でも半数以上の人を読んでいる。年代別・性別にみると、「よく読んでいる」の比率が最も高いのは30代女性（51.3%）で、次いで、40代男性（45.2%）、40代女性（41.2%）、30代男性（35.5%）、20代女性（33.3%）の順となっており、子育て世代に読まれていることが分かる。



(8) 「市報むさしの」記事別閲読頻度 福祉(問4)

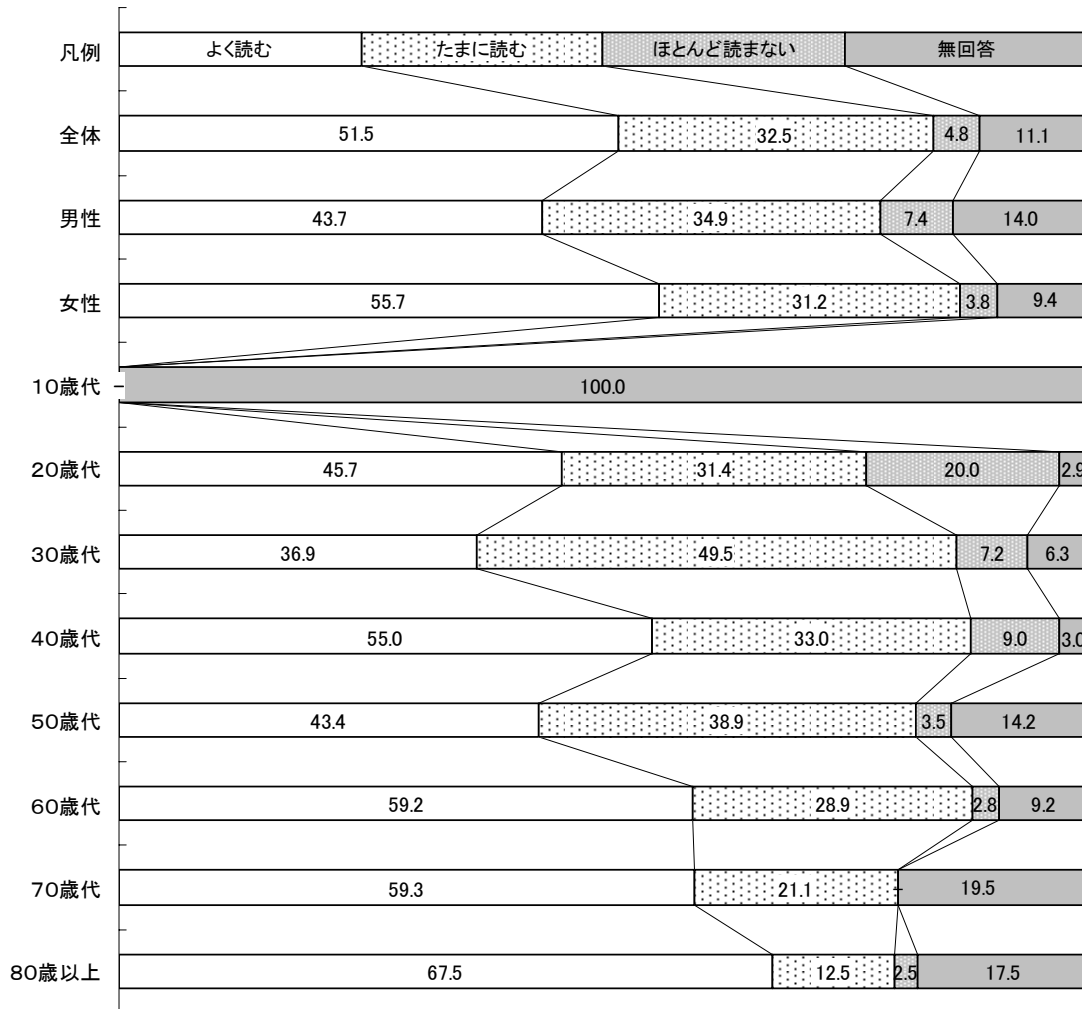
「市報むさしの」を読んでいる人(683人)で、「福祉」の記事を「よく読んでいる」人は40.6%(277人)、「たまに読む」は35.0%(239人)で、合計すると75.6%の人が読んでいる。

「よく読んでいる」人の比率は20代、30代では20%程度だが、60代以上では半数を超えており、年代が上がるほど熱心に読む傾向にある。



(9) 「市報むさしの」記事別閲読頻度 健康 (問4)

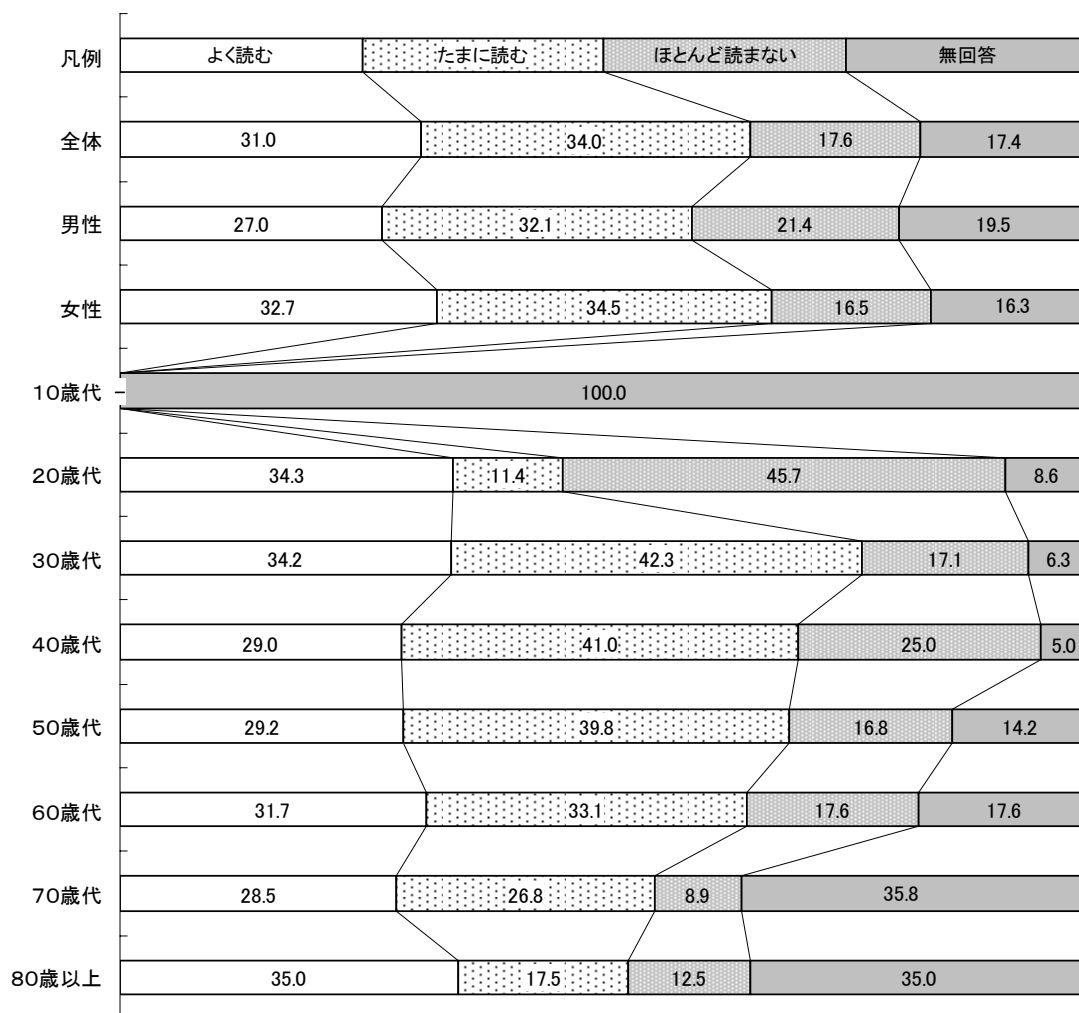
「市報むさしの」を読んでいる人(683人)で、「健康」の記事を「よく読んでいる」人は51.5%(352人)、「たまに読む」人は32.5%(222人)。合計すると8割以上の人が読んでいる。
年代別にみても、全世代を通してよく読まれている。



(10) 「市報むさしの」記事別閲読頻度 休日の医療機関（問4）

「市報むさしの」を読んでいる人（683人）で、「休日の医療機関」の記事を「よく読んでいる」人は31.0%（212人）、「たまに読む」人は34.0%（232人）で、合計すると65%の人が読んでいる。

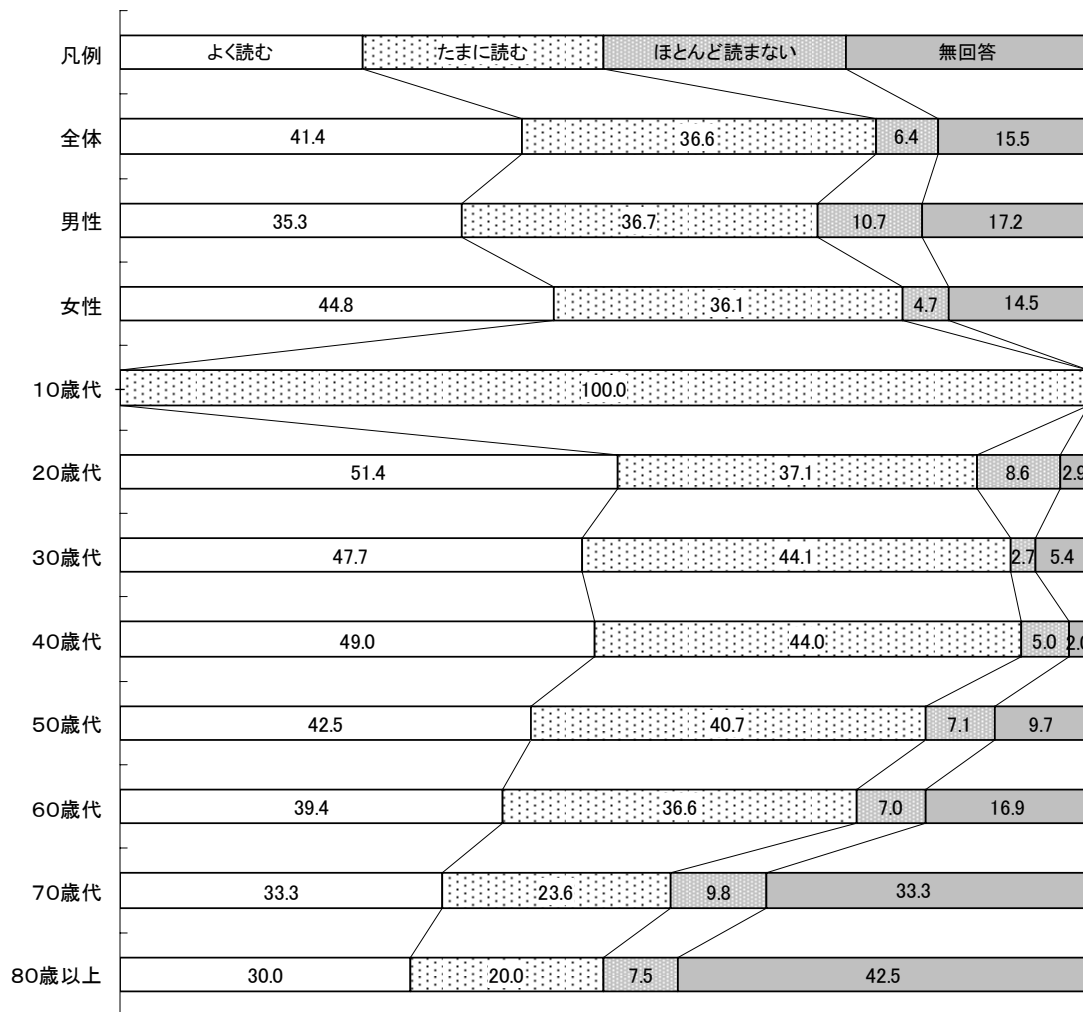
年代別に見ると、「読んでいる（よく+たまに）」人の比率が最も高いのは30代（「よく」34.2%+「たまに」42.3%）、次いで40代（29.0%+41.0%）、50代（29.2%+39.8%）となっている。20代（34.3%+11.4%）は最も低い比率だが、「よく読んでいる」比率は30代と並んで高くなっている。



(11) 「市報むさしの」記事別閲読頻度 イベント（問4）

「市報むさしの」を読んでいる人（683人）で、「イベント」の記事を「よく読んでいる」人は41.4%（283人）、「たまに読む」人は36.6%（250人）で、合計すると80%近くの人を読んでいる。

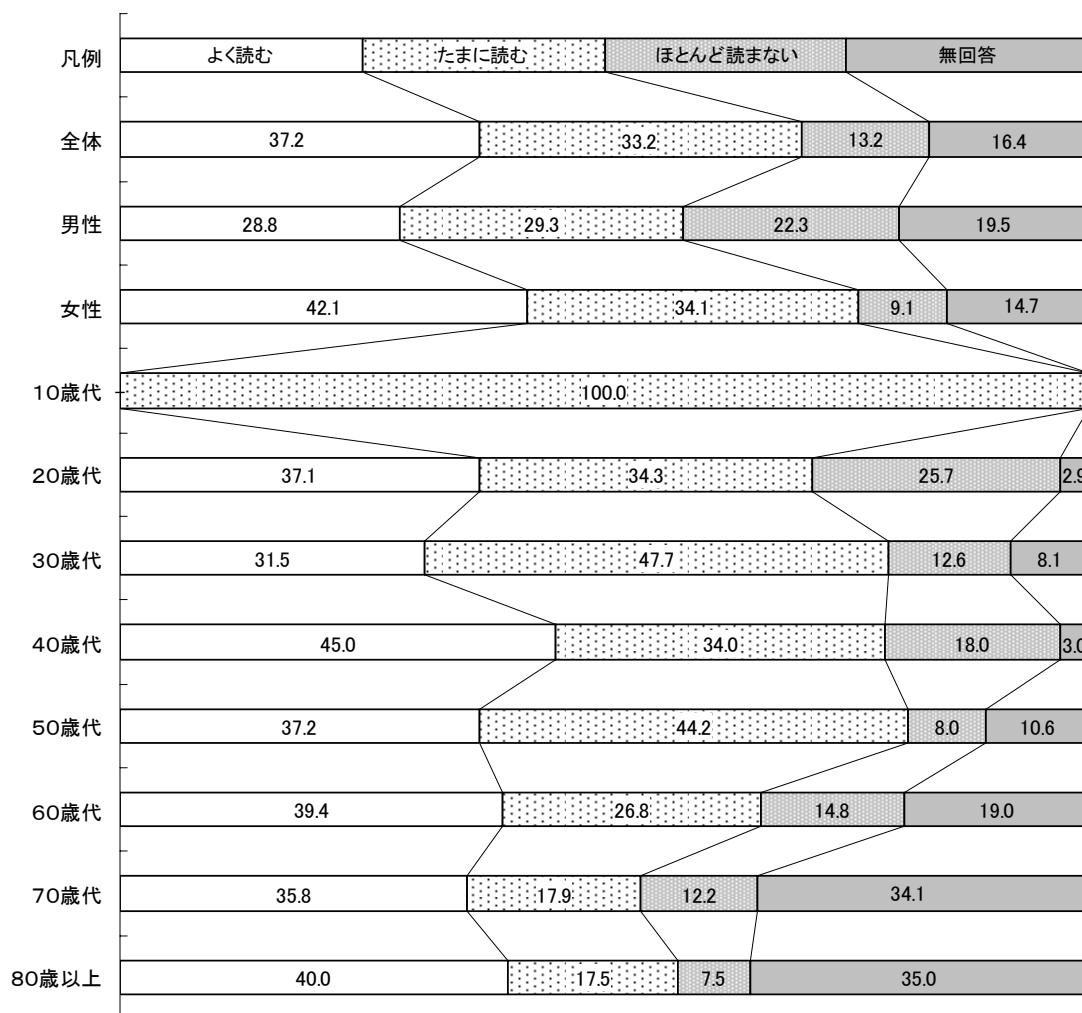
年代別にみると、「読んでいる（よく+たまに）」人の比率は、20代から40代ではそれぞれ9割を超えており、「よく読んでいる」人の比率も5割を超えている。これは、中学生以下の子どもがいる人の「よく読んでいる」比率が高いことと相関関係があると考えられる。一方、70代以上では、読んでいる人（よく+たまに）は5割程度で、子育て世代ほど読んではいない。



(12) 「市報むさしの」記事別閲読頻度 講座・講習（問4）

「市報むさしの」を読んでいる人（683人）で、「講座・講習」の記事を「よく読んでいる」は37.2%（254人）、「たまに読む」人は33.2%（227人）で、合計すると約7割の人が読んでいる。

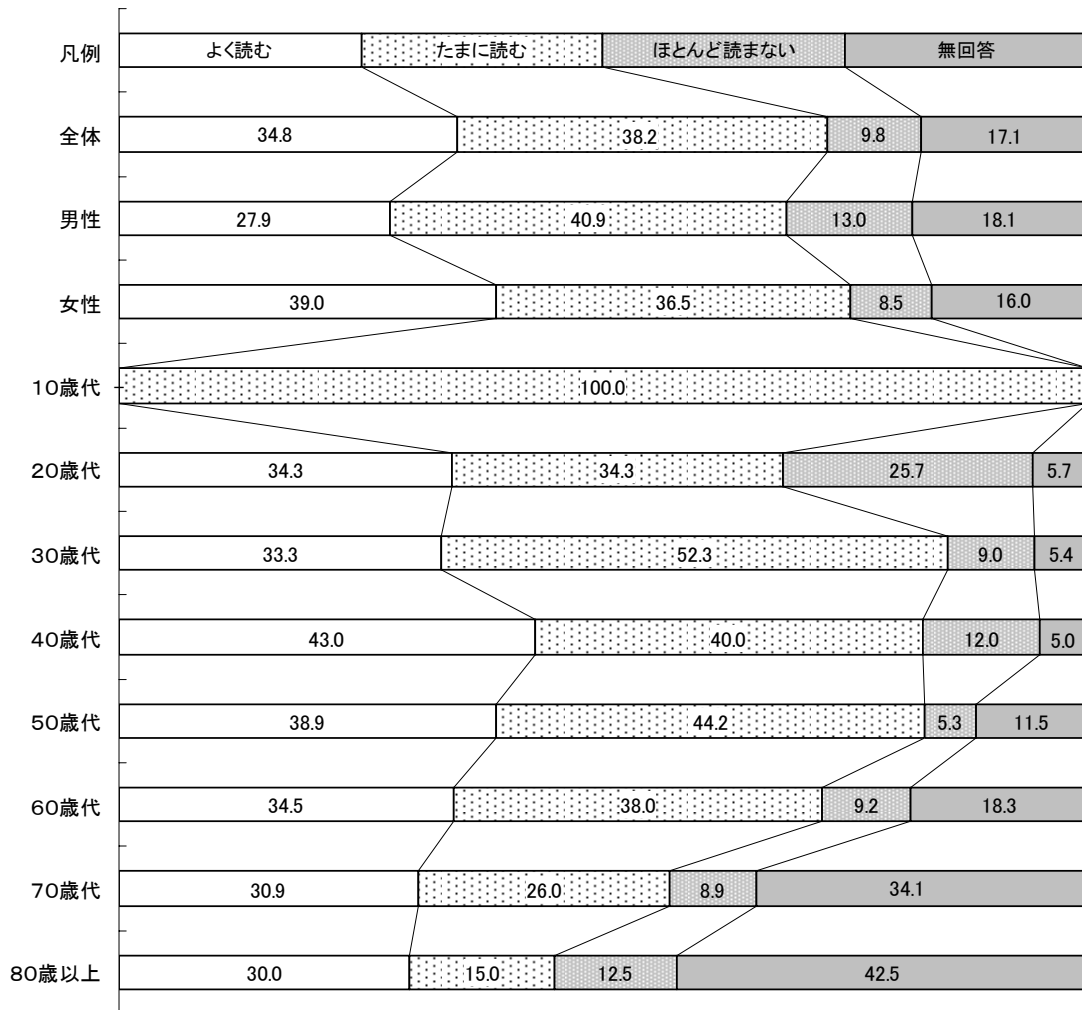
性別でみると、「よく読んでいる」人の比率は女性（42.1%）のほうが男性（28.8%）よりも高く、いずれの年代でも、女性のほうが比率が高くなっている。また、年代別・性別で最も「よく読んでいる」人の比率が高いのは、40代女性（50.0%）で、20代女性、50代女性、60代女性がそれに続いている。



(13) 「市報むさしの」記事別閲読頻度 文化・スポーツ（問4）

「市報むさしの」を読んでいる人（683人）で、「文化・スポーツ」の記事を「よく読んでいる」人は34.8%（238人）、「たまに読む」人は38.2%（261人）で、合計すると約7割の人が読んでいる。

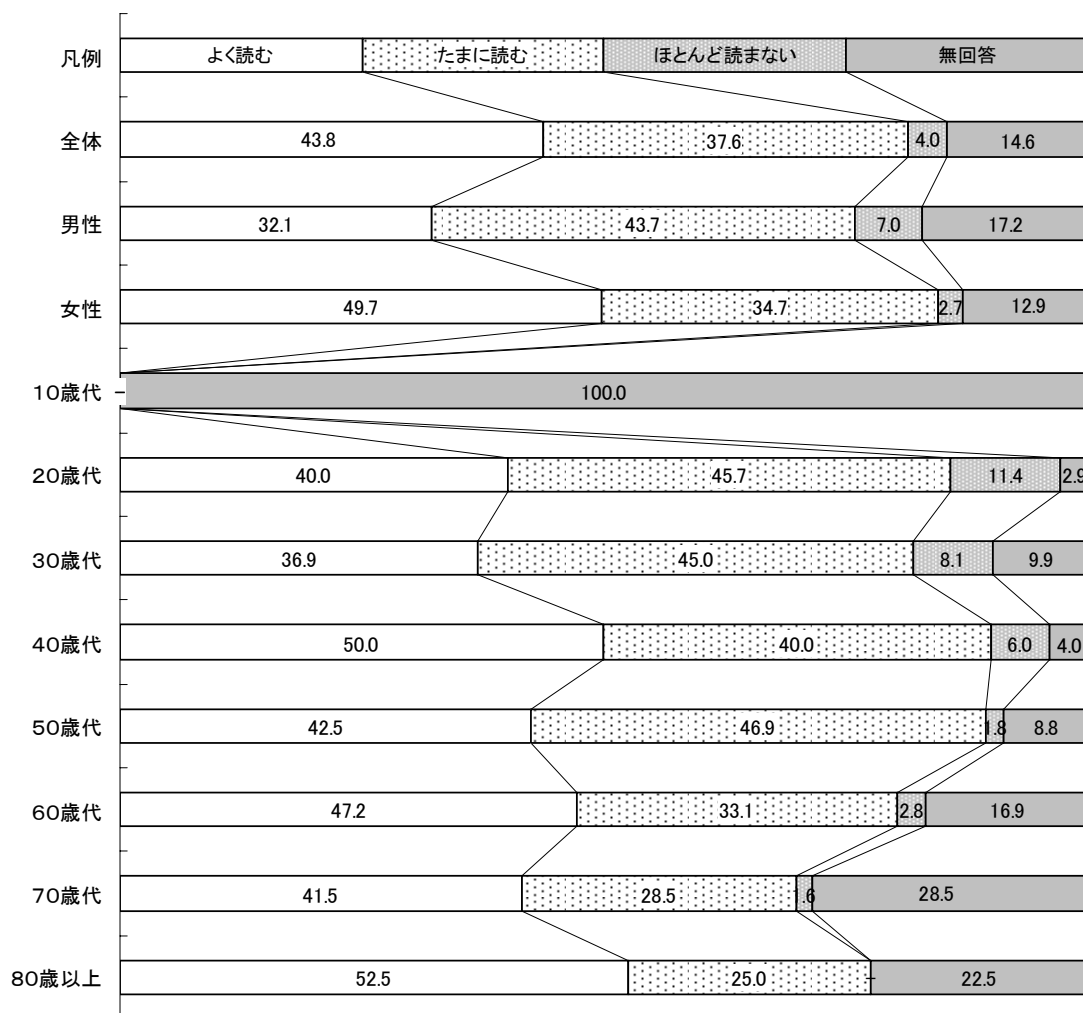
性別でみると、「読んでいる（よく＋たまに）」人の比率は、女性（75.5%）のほうが男性（68.8%）よりも高い。また、年代別にみると、30代から50代では8割を超えており、特によく読まれている。年代別・性別でみると、「よく読んでいる」の比率が最も高いのは40代女性（48.5%）、次いで50代女性（44.3%）である。一方、「よく読んでいる」人の比率が最も少ないのは20代男性（12.5%）で、次いで30代男性（16.1%）となっている。



(14) 「市報むさしの」記事別閲読頻度 暮らし (問4)

「市報むさしの」を読んでいる人(683人)で、「暮らし」の記事を「よく読んでいる」人は43.8%(299人)、「たまに読む」人は37.6%(257人)で、合計すると約8割の人が読んでいる。

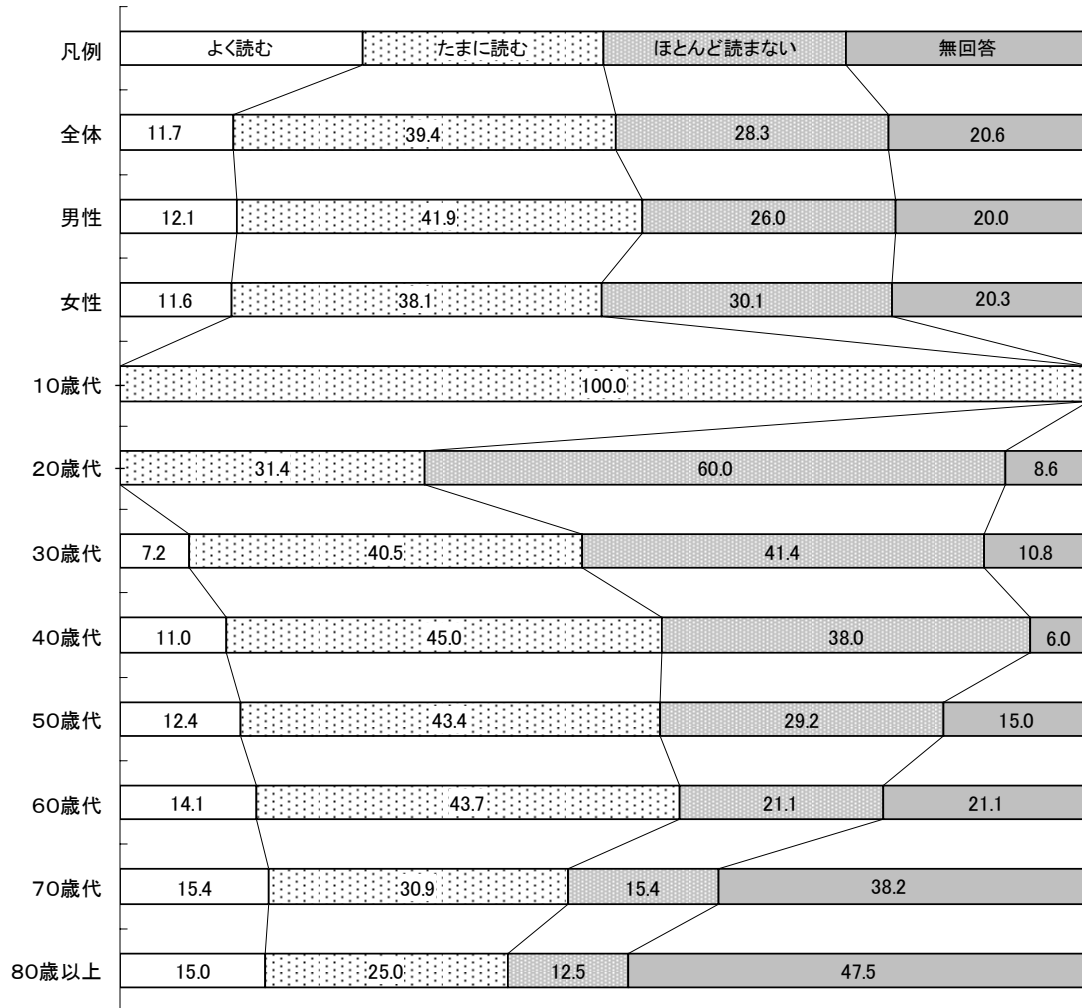
性別でみると、「読んでいる(よく+たまに)」人の比率は、女性(87.3%)のほうが男性(75.8%)よりも高い。また、年代別にみると、どの世代もよく読んでいるが、特に40代(90%)と50代(89.4%)では閲読率が約9割と他の年代よりも高くなっている。



(15) 「市報むさしの」記事別閲読頻度 市議会（問4）

「市報むさしの」を読んでいる人（683人）で、「市議会」の記事を「よく読んでいる」人は11.7%（80人）、「たまに読む」人は39.4%（269人）で、合計すると約半数（51.1%）の人が読んでいる。

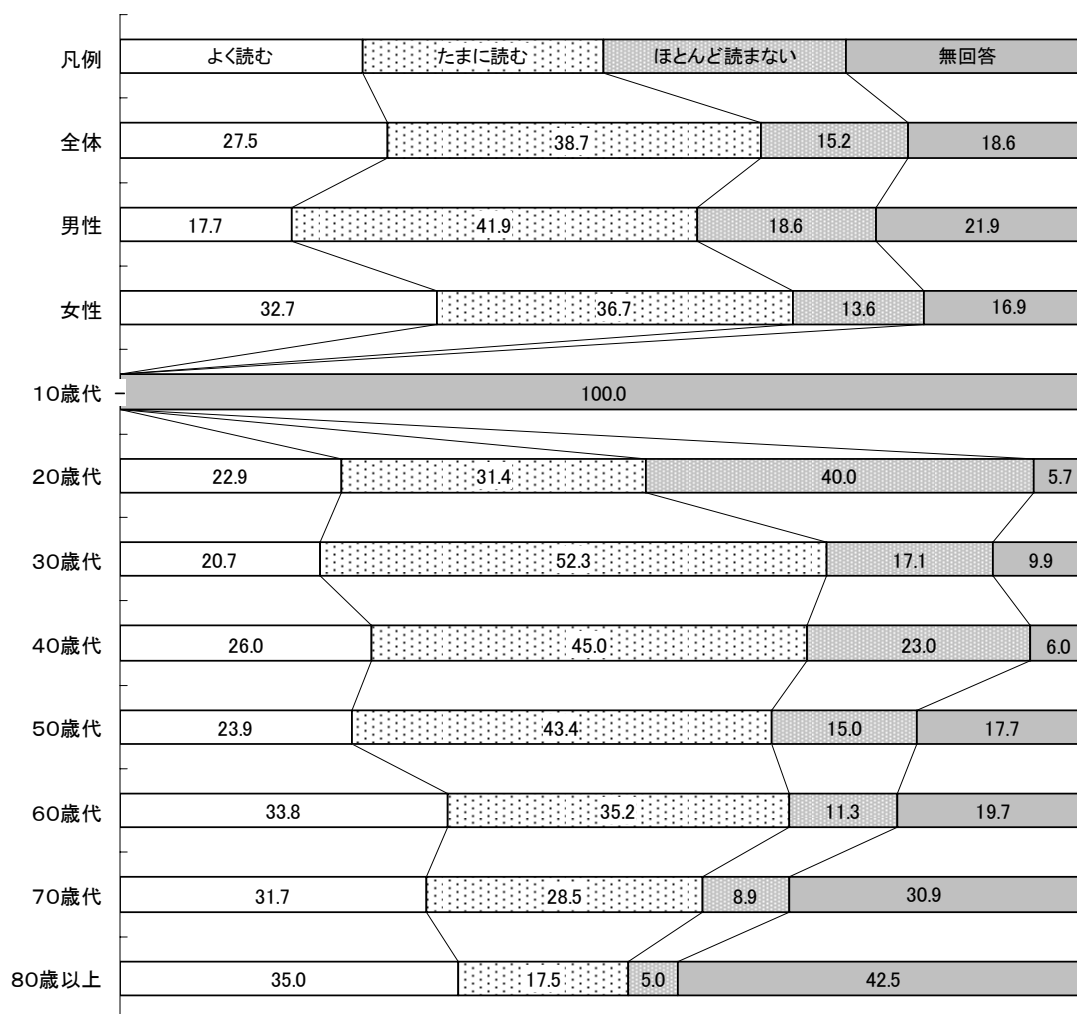
性別でみると、「読んでいる（よく＋たまに）」人の比率は、男性（53.9%）のほうが女性（49.7%）よりも高い。年代別に見ると、40代～60代で読んでいる人の比率が高く、55%を超えている。一方、20代では「よく読んでいる」が一人もおらず、「ほとんど読まない」人が60.0%を占めており、関心の低さがうかがわれる。



(16) 「市報むさしの」記事別閲読頻度 コミュニティセンター（問4）

「市報むさしの」を読んでいる人（683人）で、「コミュニティセンター」の記事を「よく読んでいる」人は27.5%（188人）、「たまに読む」人は38.7%（264人）で、合計すると66.2%の人が読んでいる。

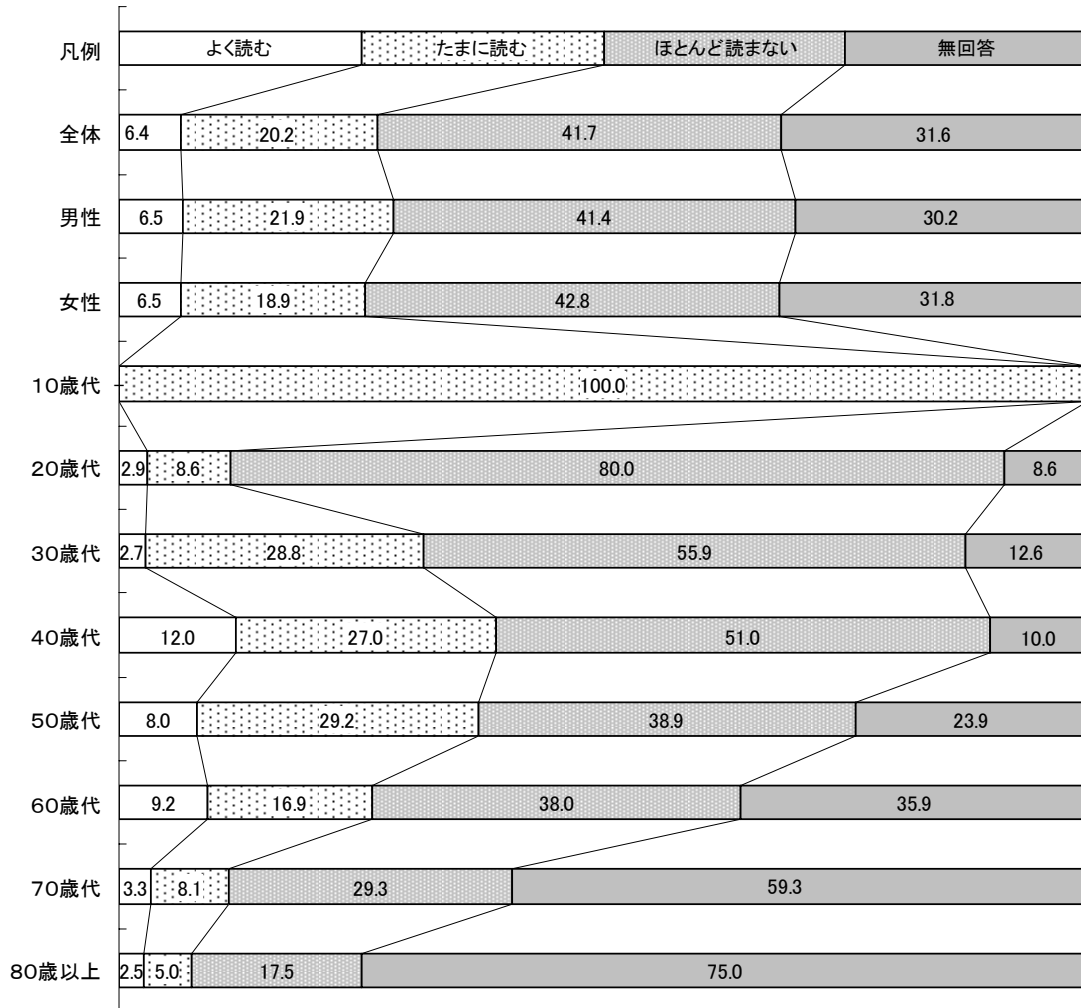
性別で見ると、「読んでいる（よく+たまに）」人の比率は、女性（69.4%）のほうが男性（59.6%）よりも高い。また、年代別にみると、30代～40代では7割前後の閲読率となっているが、20代では5割程度と、ほかの世代に比べて最も低い閲読率となっている。



(17) 「市報むさしの」記事別閲読頻度 CIM (問4)

「市報むさしの」を読んでいる人(683人)で、「CIM(シビル・インフォメーション・ミニマム)」の記事を「よく読んでいる」は6.4%(44人)、「たまに読む」人は20.2%(138人)で、合計しても読んでいる人は3割にも満たない。

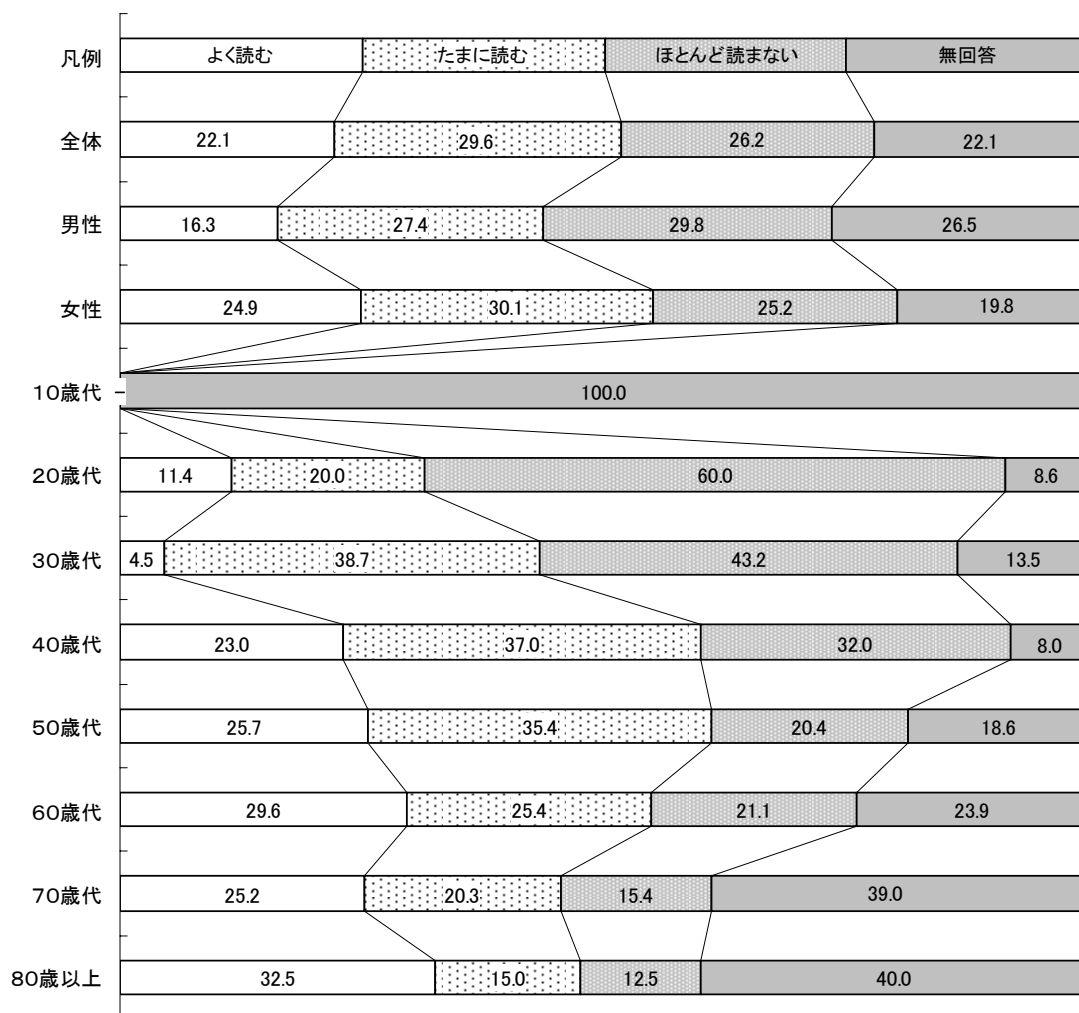
「読んでいる(よく+たまに)」人の比率は、男女とも3割弱とそれほど変わらない。年代別にみると、40代、50代で4割程度と、ほかの世代よりも高くなっている。



(18) 「市報むさしの」記事別閲読頻度 市民伝言板（問4）

「市報むさしの」を読んでいる人（683人）で、「市民伝言板」の記事を「よく読んでいる」は22.1%（151人）、「たまに読む」人は29.6%（202人）で、約半数（51.7%）の人が読んでいる。

性別でみると、「読んでいる（よく＋たまに）」人の比率は、女性（55.0%）のほうが男性（43.7%）よりも高い。年代別では、40代、50代で60%以上の高い比率となっているが、20代、30代では30～40%程度と低い比率となっている。



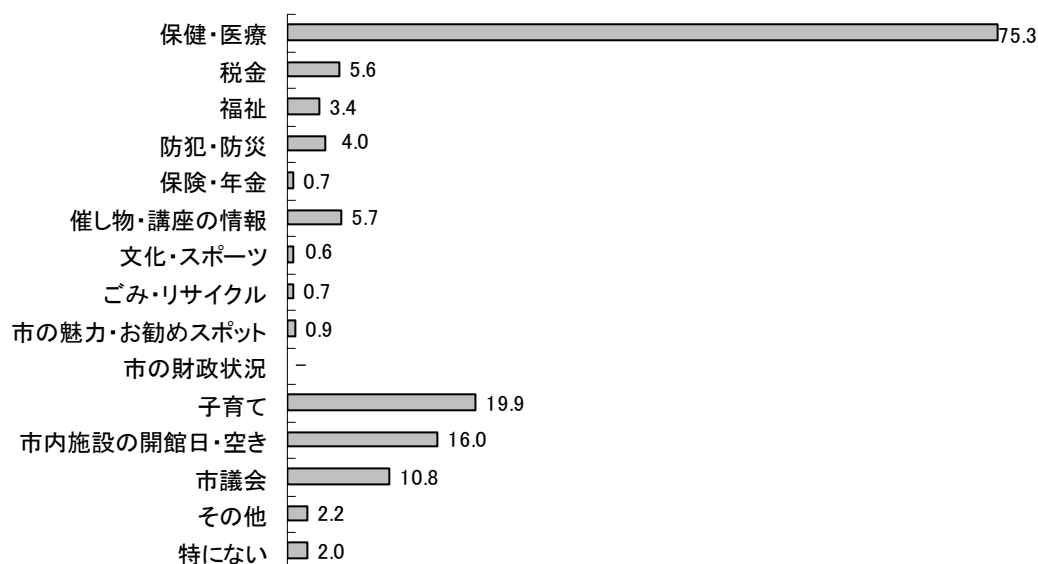
(19) 「市報むさしの」情報ニーズ (問5)

「市報むさしの」で充実を望む情報としては、「保健・医療」(514人、75.3%)が圧倒的に多い。次いで、「子育て」(136人、19.9%)、「市内施設の開館日・空き状況等」(109人、16.0%)に対する要望が高い。

上記の情報ニーズは男女でそれほど大きな差異はないが、上記の情報に対するニーズは、男性より女性のほうが若干高くなっている。ただし、「市議会」の情報ニーズについては、男性が15.8%と、女性(8.7%)よりも高くなっている。

年代別でみると、「保健・医療」に対する情報ニーズは、50代～80代で80%以上と特に高い。「子育て」の情報ニーズは、30代(52.3%)、40代(36.0%)、20代(25.7%)で高い。また、「市内施設の開館日・空き状況は、20代～40代のニーズがそれぞれ20%台で、他の年代よりも高い。

そのほか、20代で「税金」に対する情報ニーズが14.3%、20代～30代で「催し物・講座の情報」が10%台と、他の年代に比べて高くなっている。一方、50代～70代では「市議会」が10%台と、他の年代に比べて高くなっている。



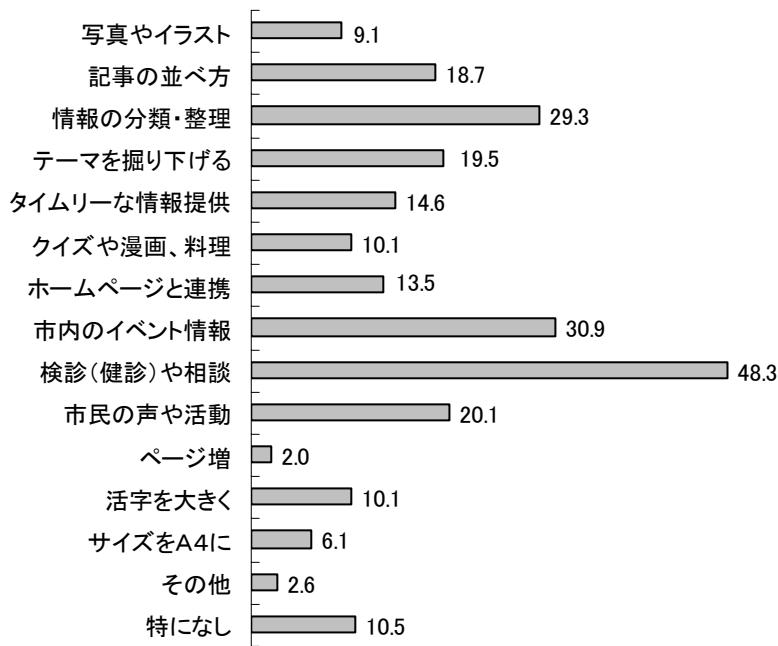
	総数	保健・医療	税金	福祉	防犯・防災	保険・年金	催し物・講座の情報	文化・スポーツ	ごみ・リサイクル
全体	683	75.3	5.6	3.4	4.0	0.7	5.7	0.6	0.7
男性	215	73.0	7.0	2.3	5.1	1.9	5.6	0.5	0.5
女性	449	75.9	4.9	4.0	3.1	0.2	6.0	0.7	0.9
10歳代	1	-	-	-	-	-	-	-	-
20歳代	35	54.3	14.3	2.9	2.9	2.9	17.1	2.9	-
30歳代	111	64.9	8.1	1.8	4.5	-	13.5	0.9	0.9
40歳代	100	72.0	3.0	4.0	7.0	1.0	8.0	-	3.0
50歳代	113	69.9	8.0	3.5	4.4	0.9	5.3	-	0.9
60歳代	142	85.9	3.5	3.5	2.8	-	0.7	1.4	-
70歳代	123	83.7	4.1	3.3	2.4	0.8	1.6	-	-
80歳以上	40	80.0	2.5	7.5	-	2.5	2.5	-	-

	総数	市の魅力・お勧めスポット	市の財政状況	子育て	市内施設の開館日・空き	市議会	その他	特にない
全体	683	0.9	-	19.9	16.0	10.8	2.2	2.0
男性	215	1.4	-	15.3	14.9	15.8	1.4	2.3
女性	449	0.7	-	21.6	16.7	8.7	2.7	2.0
10歳代	1	100.0	-	-	-	100.0	-	-
20歳代	35	2.9	-	25.7	20.0	-	2.9	-
30歳代	111	0.9	-	52.3	21.6	5.4	4.5	3.6
40歳代	100	1.0	-	36.0	28.0	7.0	3.0	-
50歳代	113	1.8	-	7.1	10.6	11.5	2.7	3.5
60歳代	142	-	-	8.5	9.2	14.8	0.7	2.1
70歳代	123	-	-	5.7	15.4	17.9	1.6	1.6
80歳以上	40	-	-	-	10.0	7.5	-	2.5

(20) 「市報むさしの」発行形態・内容要望（問6）

「市報むさしの」に望む工夫や改善点としては、「市民検診（健診）や相談など、行政サービス情報の充実」（330人、48.3%）が最も多く、次いで、「イベント情報の充実」（211人、30.9%）、「情報を分類して分かりやすく」（200人、29.3%）となっている。

年代別に見ると、「行政サービス情報の充実」のニーズは40代、60代、70代で特に高く、「イベント情報の充実」のニーズは20代～60代で高い。「情報を分類して分かりやすく」は30代、50代、70代で、「市民の声や活動をもっと紹介する」は20代、60代、70代で高くなっている。また、50代～70代では「特集などテーマを掘り下げる工夫」へのニーズも20%以上ある。30代では、「ホームページと連携して詳細情報を掲載する」というニーズが22.5%と他の年代に比べて高い。



	総数	写真やイラスト	記事の並べ方	情報の分類・整理	テーマを掘り下げる	タイムリーな情報提供	クイズや漫画、料理	ホームページと連携	市内のイベント情報
全体	683	9.1	18.7	29.3	19.5	14.6	10.1	13.5	30.9
男性	215	9.8	21.4	28.4	25.6	19.1	7.0	17.7	31.6
女性	449	8.7	17.6	30.1	16.5	12.7	11.4	11.4	30.5
10歳代	1	-	-	-	-	-	-	100.0	-
20歳代	35	2.9	20.0	22.9	14.3	8.6	20.0	14.3	34.3
30歳代	111	16.2	15.3	31.5	12.6	16.2	13.5	22.5	34.2
40歳代	100	10.0	20.0	25.0	19.0	16.0	11.0	10.0	31.0
50歳代	113	6.2	18.6	31.9	23.9	14.2	6.2	18.6	32.7
60歳代	142	5.6	19.0	29.6	23.2	19.7	7.7	10.6	35.2
70歳代	123	8.9	24.4	34.1	20.3	10.6	8.1	8.1	24.4
80歳以上	40	12.5	7.5	20.0	15.0	10.0	12.5	5.0	17.5

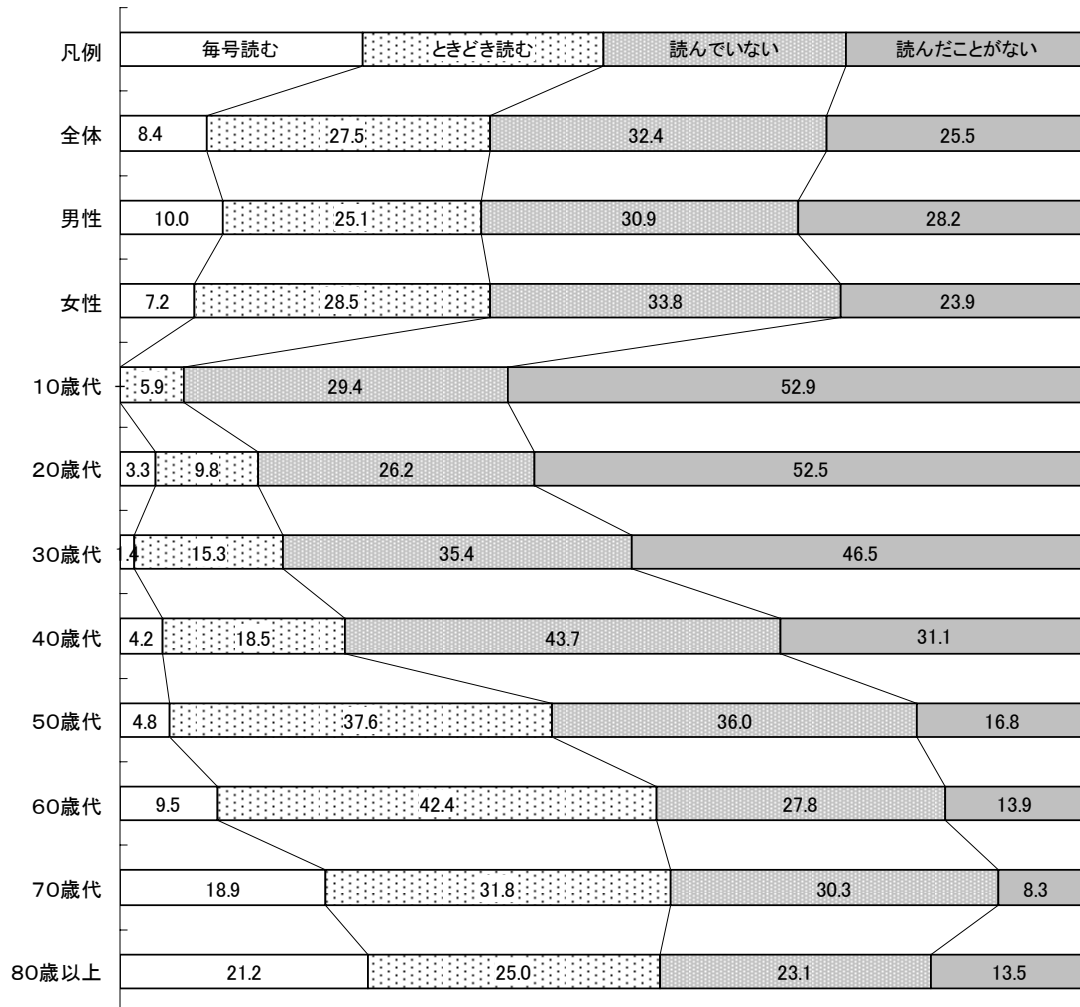
	総数	検診(健診)や相談	市民の声や活動	ページ増	活字を大きく	サイズをA4に	その他	特になし
全体	683	48.3	20.1	2.0	10.1	6.1	2.6	10.5
男性	215	45.1	20.5	3.7	8.8	7.4	3.3	10.2
女性	449	49.4	19.6	1.3	10.2	5.8	2.4	10.7
10歳代	1	-	-	-	-	-	-	-
20歳代	35	34.3	22.9	2.9	2.9	8.6	2.9	8.6
30歳代	111	45.9	15.3	2.7	2.7	9.0	3.6	8.1
40歳代	100	50.0	18.0	2.0	7.0	4.0	3.0	9.0
50歳代	113	41.6	19.5	2.7	11.5	6.2	0.9	14.2
60歳代	142	53.5	21.8	1.4	12.7	7.0	4.2	11.3
70歳代	123	57.7	26.0	2.4	11.4	5.7	1.6	10.6
80歳以上	40	32.5	10.0	-	22.5	2.5	2.5	10.0

4 「季刊むさしの」

(1) 「季刊むさしの」の閲読頻度（問8）

「季刊むさしの」の閲読状況は、「毎号読んでいる」が8.4%（70人）、「ときどき読んでいる」が27.5%（229人）で、合計して35.9%の人が読んでいる。

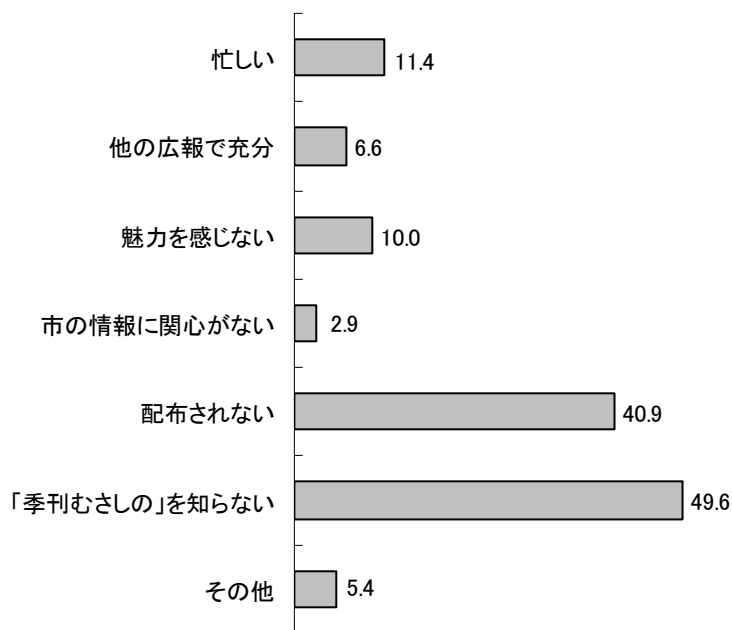
「読んでいる（毎号+ときどき）」人の比率は、男性・女性とも35%程度だが、「毎号読んでいる」比率は男性のほうが若干高い。また、年代別に見ると、50代では42.4%、60代、70代では50%以上となっており、下の年代に比べて読んでいる比率が高い。



(2) 「季刊むさしの」非接触理由（問9）

「季刊むさしの」を読んでいない人（482人）の読まない理由は、「知らないから」（239人、49.6%）、
「配布されないから」（197人、40.9%）が多く、そもそも読める環境にない人が多いことが分かる。
その他の回答でも、「どこにあるのかわらなかったから」（5人）という意見があった。

年代別に見ると、20代、30代では「季刊むさしのを知らなかったから」が6、7割を占め、一番多い理由となっているが、40代以上では「配布されないから」が4割～6割を占め、一番多い理由となっている。



	総数	忙しい	他の広報で充分	魅力を感じない	市の情報に関心がない	配布されない	「季刊むさしの」を知らない	その他
全体	482	11.4	6.6	10.0	2.9	40.9	49.6	5.4
男性	172	12.8	5.2	11.0	4.7	39.0	45.3	6.4
女性	297	10.8	7.7	9.8	2.0	42.4	51.2	5.1
10歳代	14	28.6	-	21.4	14.3	14.3	71.4	7.1
20歳代	48	10.4	6.3	10.4	2.1	18.8	66.7	4.2
30歳代	118	17.8	3.4	5.9	2.5	36.4	58.5	3.4
40歳代	89	10.1	9.0	10.1	2.2	48.3	40.4	2.2
50歳代	66	7.6	7.6	15.2	4.5	43.9	43.9	4.5
60歳代	66	4.5	9.1	9.1	3.0	47.0	43.9	12.1
70歳代	51	13.7	9.8	15.7	2.0	56.9	25.5	9.8
80歳以上	19	-	5.3	-	-	42.1	63.2	5.3

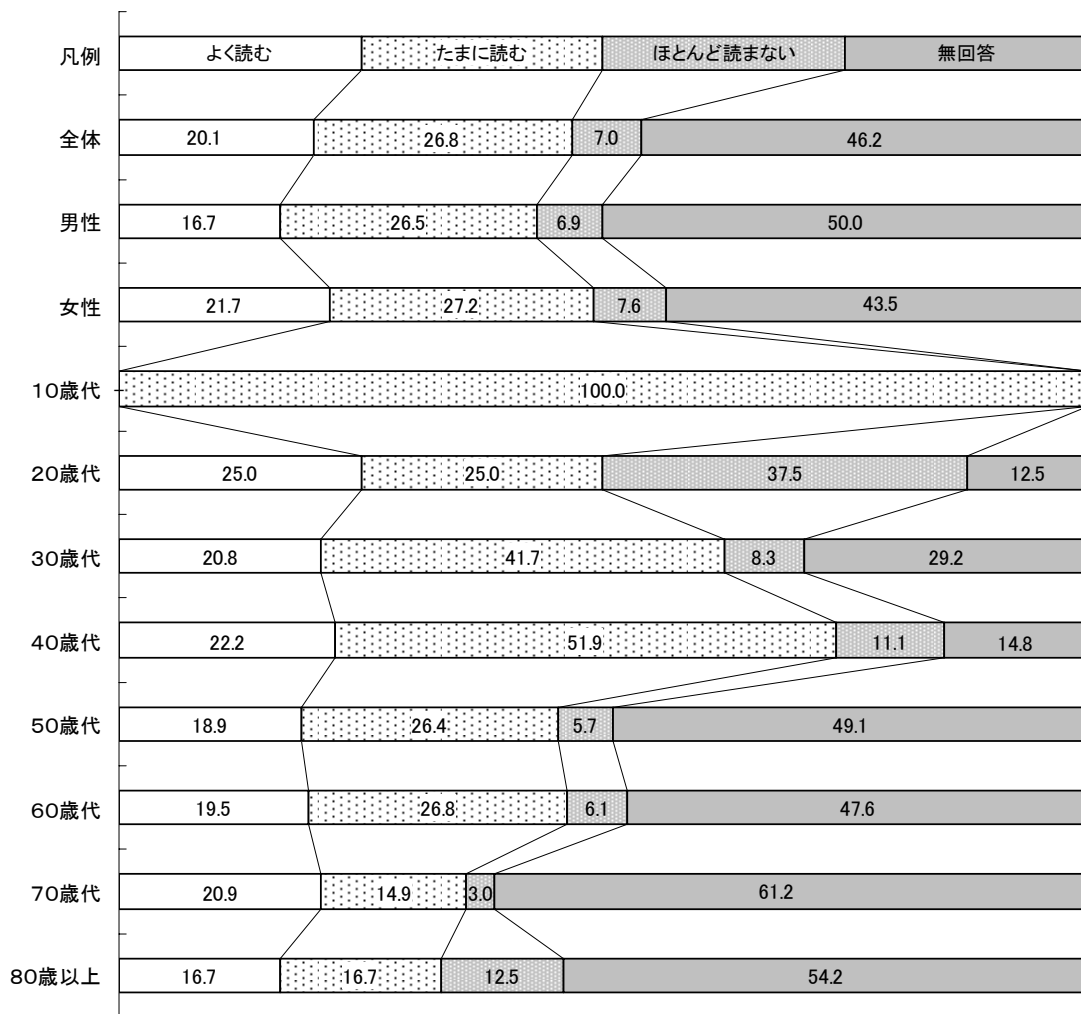
(3) 「季刊むさしの」記事別閲読頻度 特集（問10）

「季刊むさしの」を読んでいる人（299人）で、「特集」を「よく読んでいる」人は20.1%（60人）、「たまに読む」人は26.8%（80人）で、合計すると46.9%が読んでいる。

特集の内容について記述があったものは、「武蔵野市は今年還暦です」で3人。

年代別に見ると、「読んでいる（よく+たまに）」人の比率は、30代（62.5）、40代（74.1%）、20代（50.0%）の順に高く、年配者よりも若い世代のほうが読んでいる。

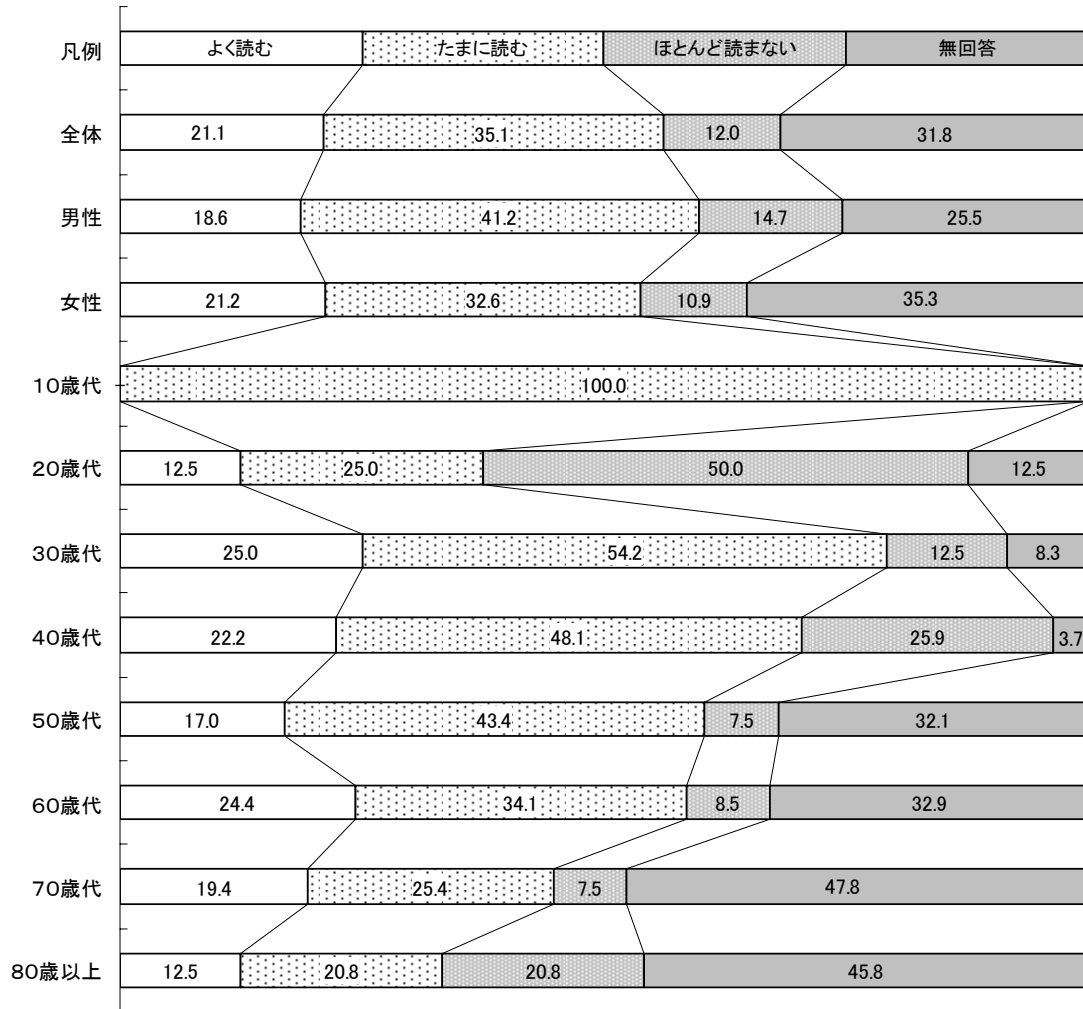
なお、他の設問の無回答は5%以下であるが、問10に関しては、問4と同様、無回答の割合が多いため、グラフに反映させた。また、10代の回答者は1人しかいないため、必ず100%になっている。



(4) 「季刊むさしの」記事別閲読頻度 チャレンジ武蔵野人 (問10)

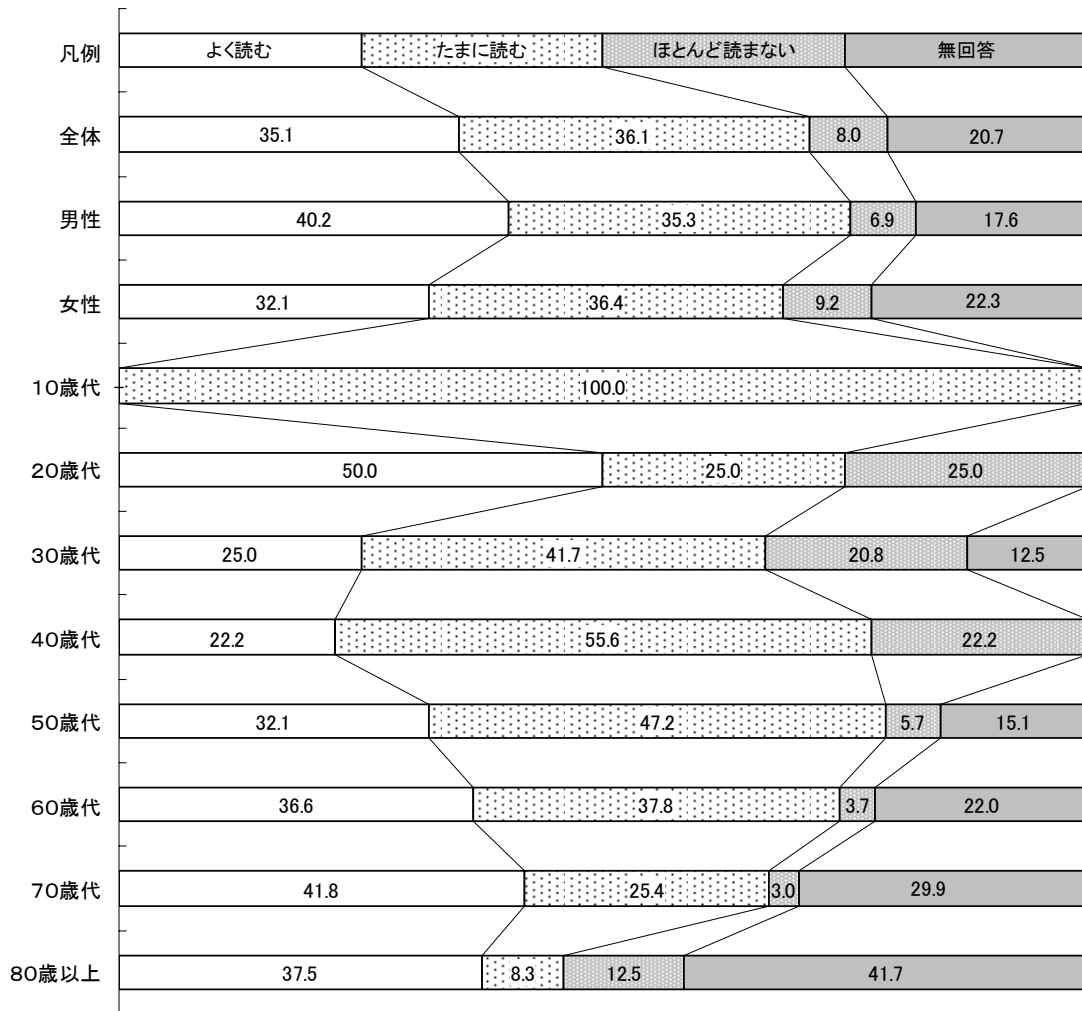
「季刊むさしの」を読んでいる人 (299人) で「チャレンジ武蔵野人」を「よく読んでいる」人は21.1% (63人)、「たまに読む」人は35.1% (105人) で、合計すると半分以上の人が読んでいる。

年代別に見ると、「読んでいる (よく+たまに)」人の比率は、30代が79.2%、40代が70.3%と、ほかの世代よりも高くなっている。



(5) 「季刊むさしの」記事別閲読頻度 武蔵野市百年史こぼればなし(問10)

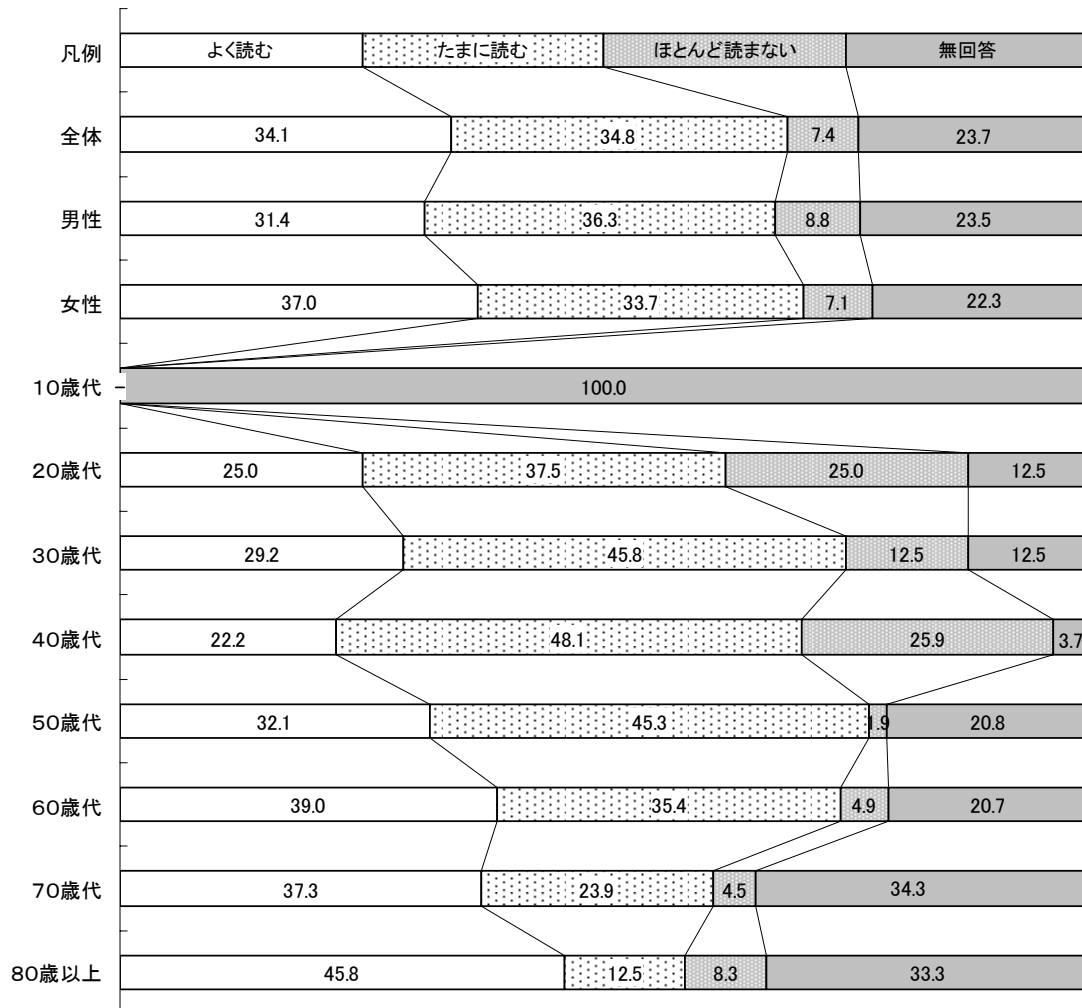
「季刊むさしの」を読んでいる人(299人)で「武蔵野市百年史こぼればなし」を「よく読んでいる」人は35.1%(105人)、「たまに読む」人は36.1%(108人)で、合計すると71.1%の人が読んでいる。年代別に見ると、「読んでいる(よく+たまに)」比率が特に高いのは、40代(77.8%)、50代(79.3%)、60代(74.4%)で、50代と60代では「よく読んでいる」人の比率も高い。



(6) 「季刊むさしの」記事別閲読頻度 武蔵野スケッチ物語（問10）

「季刊むさしの」を読んでいる人（299人）で「武蔵野スケッチ物語」を「よく読んでいる」人は34.1%（102人）、「たまに読む」人は34.8%（104人）で、合計すると68.9%の人が読んでいる。

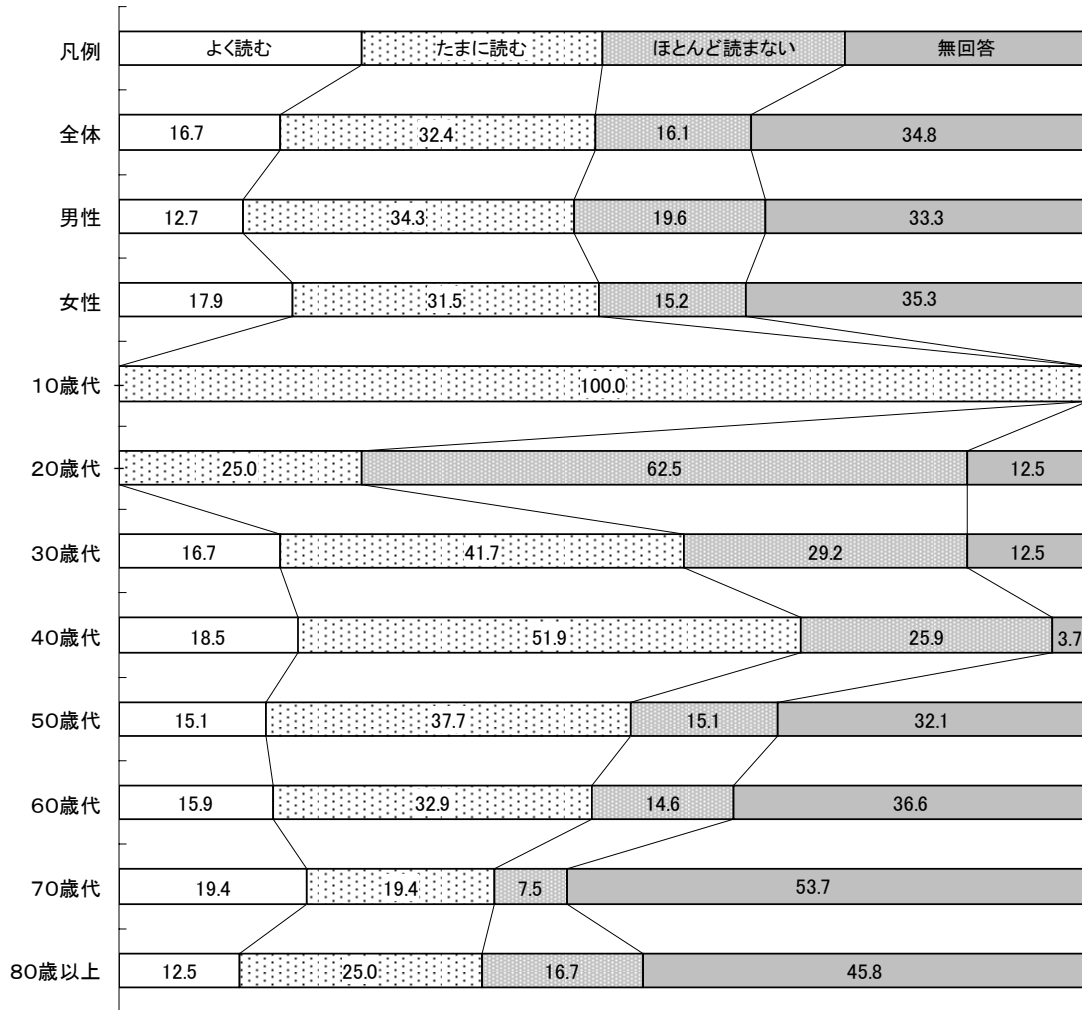
年代別にみると、「読んでいる（よく+たまに）」比率が特に高いのは30代～60代で、50代、60代では「よく読んでいる」比率も30～40%で、他の世代に比べて高い。



(7) 「季刊むさしの」記事別閲読頻度 武蔵野ジャーナル (問10)

「季刊むさしの」を読んでいる人(299人)の記事別閲読頻度で「武蔵野ジャーナル」を「よく読んでいる」人は16.7%(50人)、「たまに読む」人は32.4%(97人)で、合計すると49.1%の人が読んでいる。

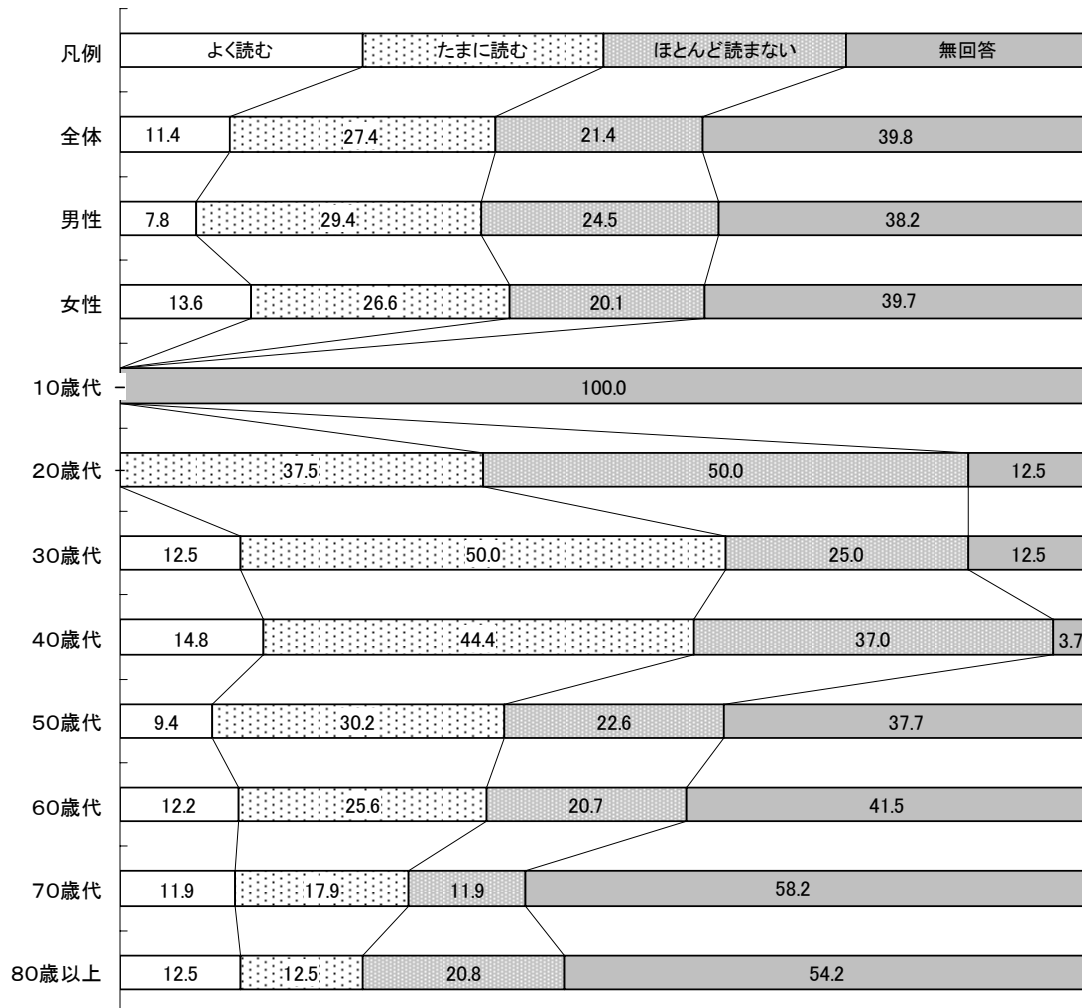
年代別に見ると、「読んでいる(よく+たまに)」比率は、40代では70.4%と、ほかの世代よりも突出して高くなっている。また、30代、50代でも50%以上の閲読率がある。



(8) 「季刊むさしの」記事別閲読頻度 市民の“WA” (問10)

「季刊むさしの」を読んでいる人(299人)で「市民の“WA”」を「よく読んでいる」人は11.4%(34人)、「たまに読む」人は27.4%(82人)で、合計すると38.8%の人が読んでいる。

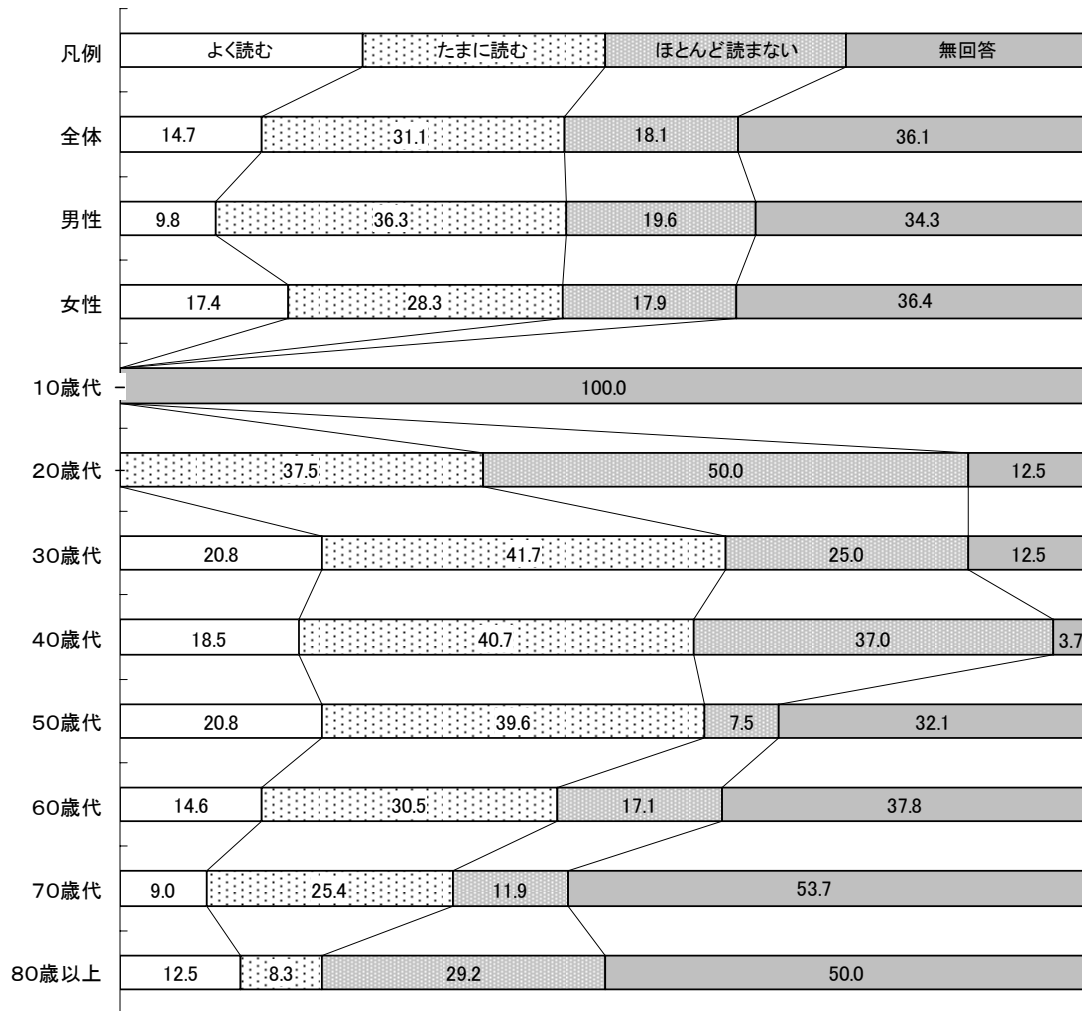
年代別に見ると、30代、40代では、「読んでいる(よく+たまに)」比率が6割前後となっており、ほかの世代よりも高い。



(9) 「季刊むさしの」記事別閲読頻度 業務探検隊が行く！（問10）

「季刊むさしの」を読んでいる人（299人）で「業務探検隊が行く！」を「よく読んでいる」人は14.7%（44人）、「たまに読む」人は31.1%（93人）で、合計して45.8%が読んでいる。

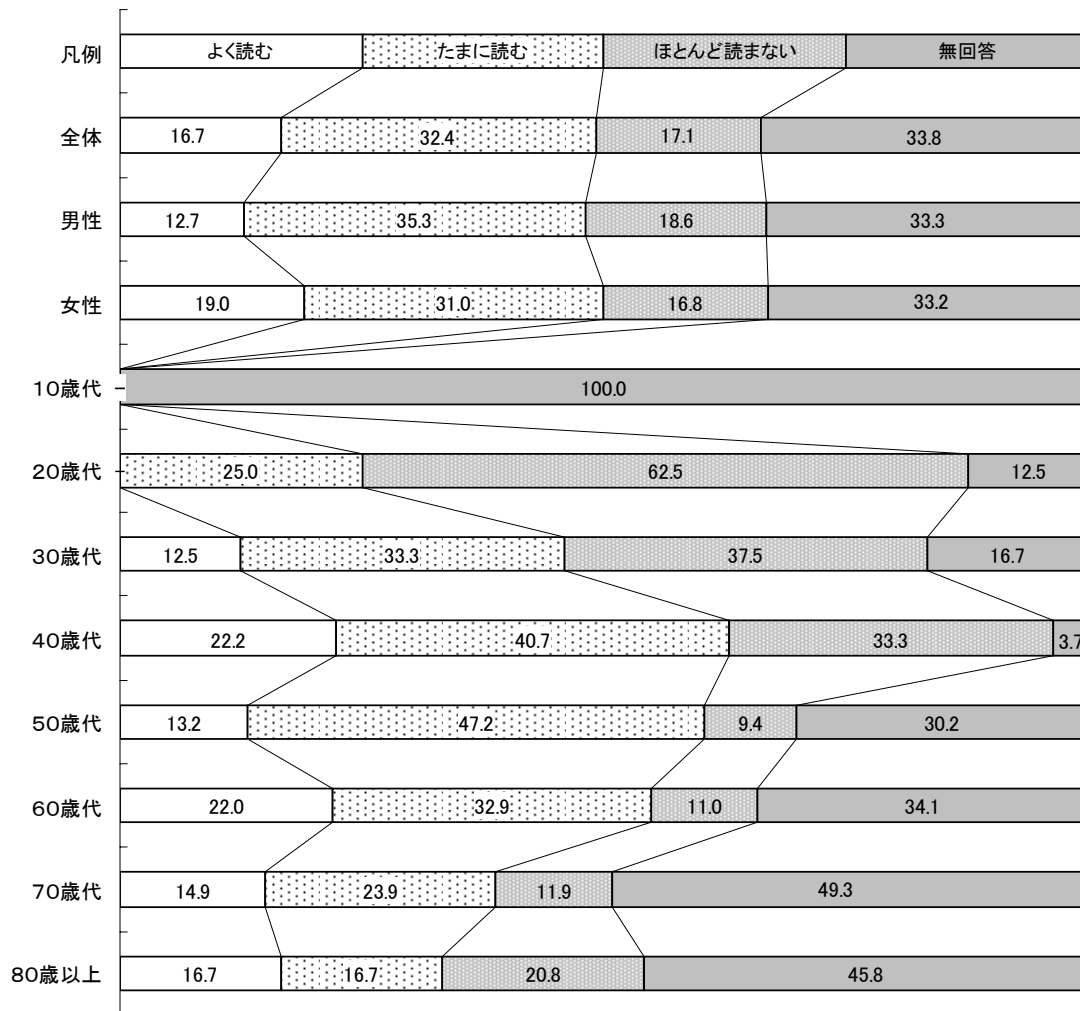
年代別にみると、30代～50代では、「読んでいる（よく+たまに）」比率が6割前後となっており、ほかの世代よりも高い。



(10) 「季刊むさしの」記事別閲読頻度 ふれあいのページ (問10)

「季刊むさしの」を読んでいる人(299人)で「ふれあいのページ」を「よく読んでいる」人は16.7% (50人)、「たまに読む」人は32.4%(97人)で、合計して49.2%が読んでいる。

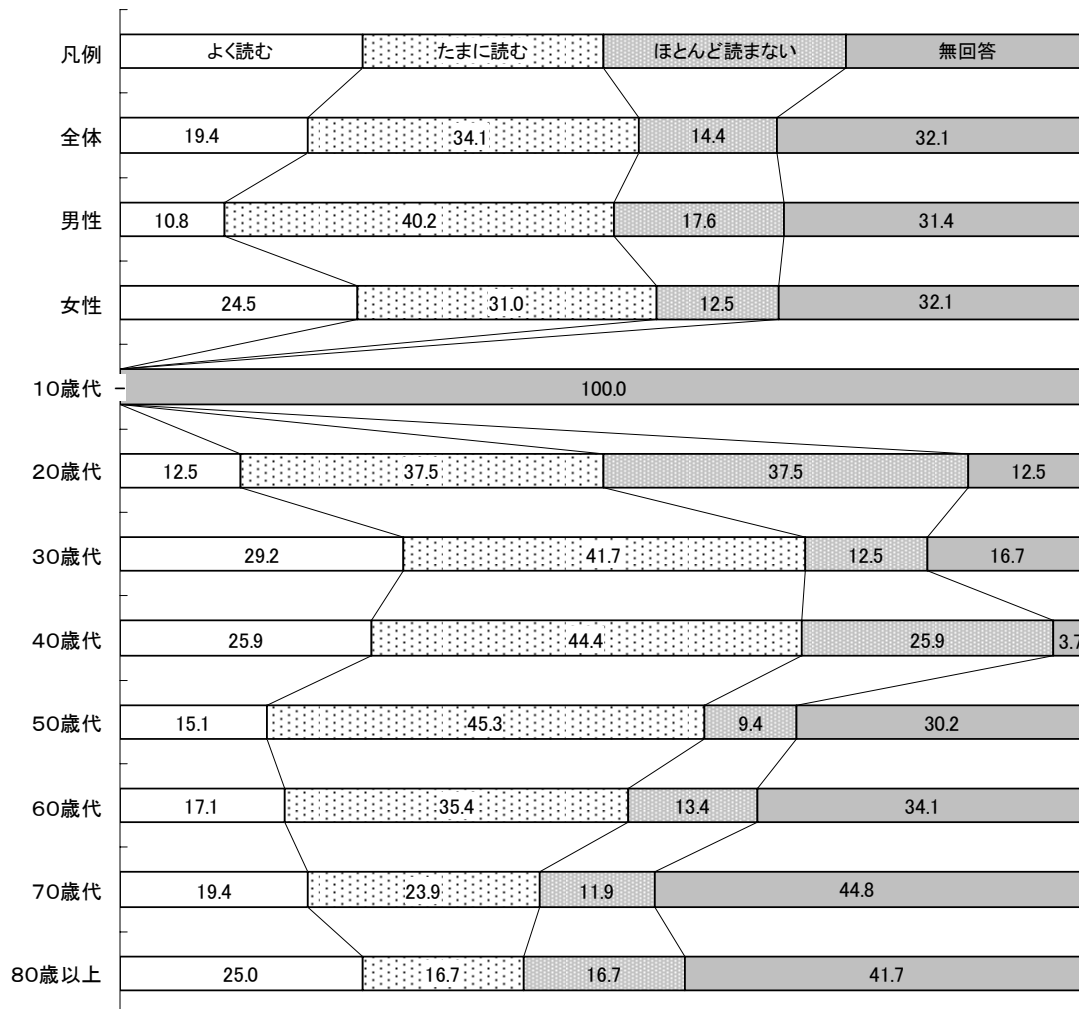
年代別に見ると、40代、50代で「読んでいる(よく+たまに)」人の比率が、それぞれ約6割とほかの世代よりも高い。



(11) 「季刊むさしの」記事別閲読頻度 武蔵野カルチャーガイド (問10)

「季刊むさしの」を読んでいる人(299人)で「武蔵野カルチャーガイド」を「よく読んでいる」人は19.4%(58人)、「たまに読む」人は34.1%(102人)で、合計すると53.5%が読んでいる。

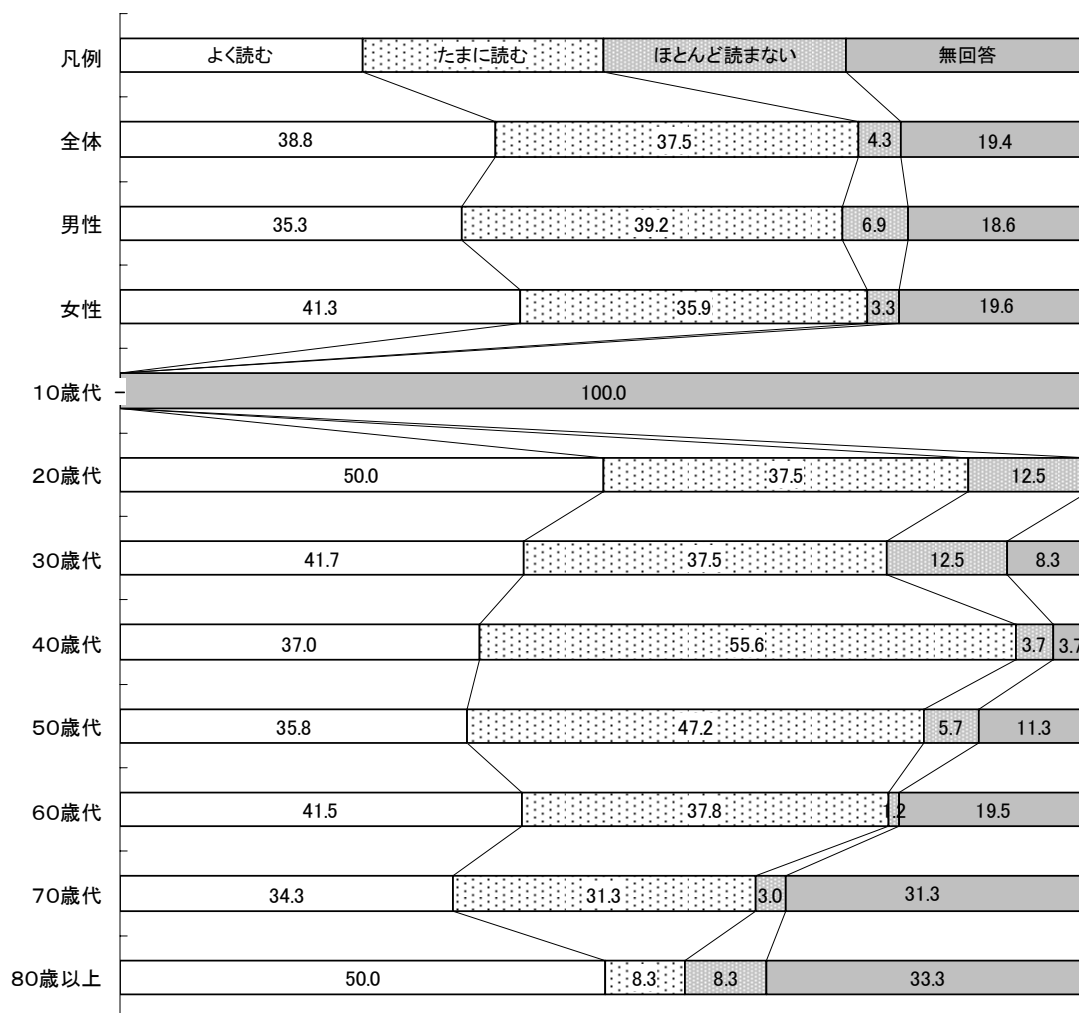
年代別に見ると、「読んでいる(よく+たまに)」比率が高いのは、30代(70.8%)、40代(70.4%)、50代(60.4%)である。



(12) 「季刊むさしの」記事別閲読頻度 むさしのお散歩三昧（問10）

「季刊むさしの」を読んでいる人（299人）で「むさしのお散歩三昧」を「よく読んでいる」人は38.8%（116人）、「たまに読む」人は37.5%（112人）で、合計で76.3%が読んでいる。

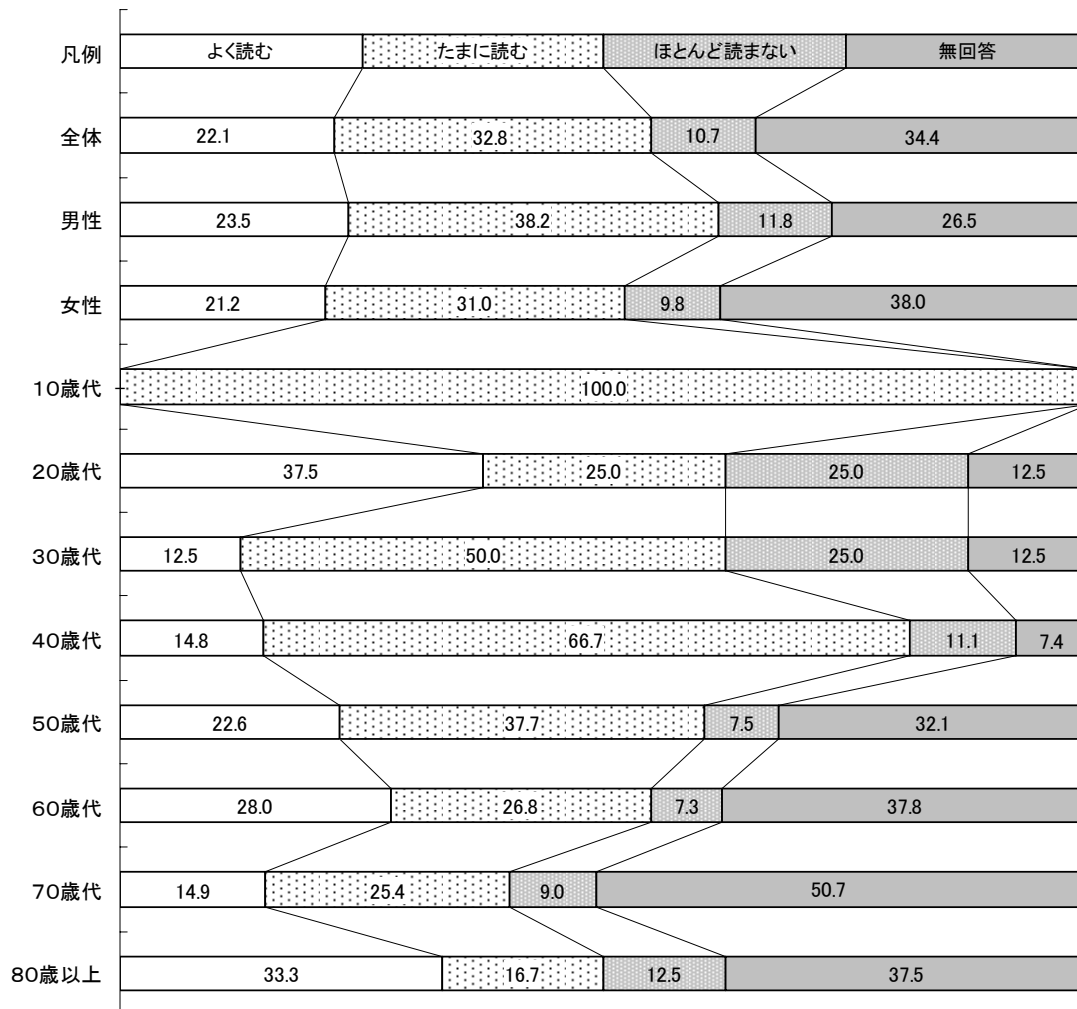
年代別に見ると、「読んでいる（よく+たまに）」比率が最も高いのは40代（92.6%）で、9割強が読んでいる。



(13) 「季刊むさしの」記事別閲読頻度 むさしの街人夢（問10）

「季刊むさしの」を読んでいる人（299人）で、「むさしの街人夢」を「よく読んでいる」人は22.1%（66人）、「たまに読む」人は32.8%（98人）、合計で54.9%が読んでいる。

年代別に見ると、「読んでいる（よく＋たまに）」人の比率は40代が81.5%で、他の年代に比べて高くなっている。

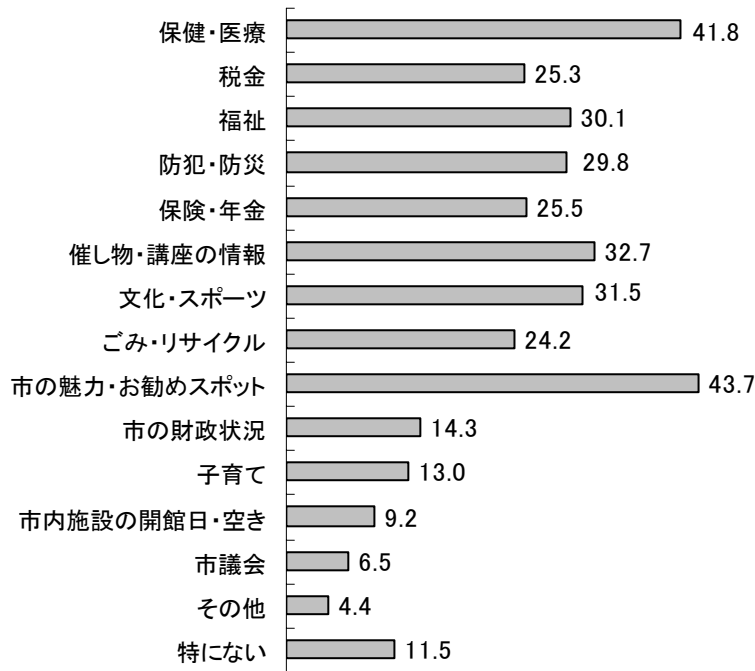


(14) 「季刊むさしの」情報ニーズ (問11)

「季刊むさしの」で充実を望む情報としては、「市の魅力・おすすめスポット」(364人、43.7%)と「保健・医療」(348人、41.8%)を挙げている人が多い。

その他の回答では、「市の歴史」を望む人が9人いた。ほかに、「市報むさしの」とかぶらない内容を求める人も3人いた。

年代別に見ると、「福祉」の情報を求める人は60代と70代、「子育て」の情報を望む人は20代～40代が強く、世代特有の関心を反映している。



	総数	保健・医療	税金	福祉	防犯・防災	保険・年金	催し物・講座の情報	文化・スポーツ	ごみ・リサイクル
全体	833	41.8	25.3	30.1	29.8	25.5	32.7	31.5	24.2
男性	291	42.3	29.9	27.1	28.5	26.8	27.8	28.5	22.3
女性	515	41.4	22.3	32.2	30.3	24.1	35.3	32.6	24.5
10歳代	17	11.8	5.9	17.6	35.3	11.8	17.6	35.3	17.6
20歳代	61	41.0	31.1	11.5	13.1	24.6	31.1	23.0	27.9
30歳代	144	41.7	21.5	16.0	28.5	18.1	37.5	34.7	27.8
40歳代	119	37.8	24.4	28.6	31.9	24.4	33.6	34.5	21.0
50歳代	125	32.0	20.8	30.4	23.2	22.4	29.6	24.8	18.4
60歳代	158	41.8	25.3	40.5	32.9	27.8	31.6	32.3	22.8
70歳代	132	59.8	35.6	43.9	37.9	32.6	35.6	38.6	28.8
80歳以上	52	36.5	17.3	34.6	28.8	28.8	25.0	13.5	17.3

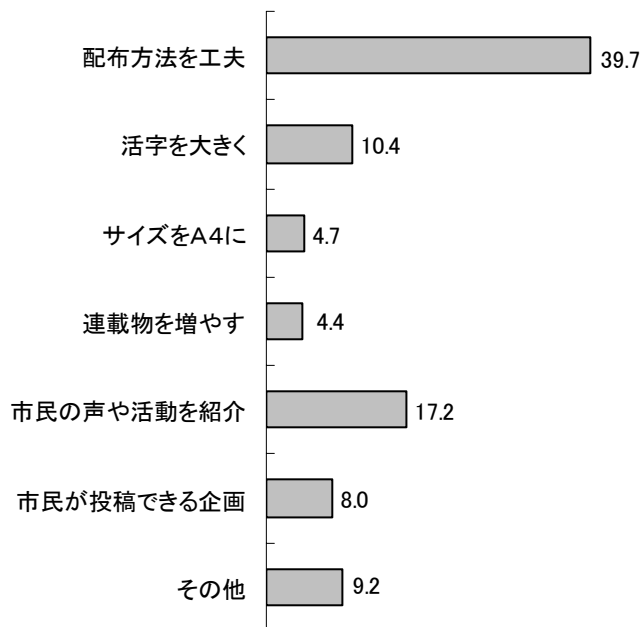
	総数	市の魅力・おすすめスポット	市の財政状況	子育て	市内施設の開館日・空き	市議会	その他	特にない
全体	833	43.7	14.3	13.0	9.2	6.5	4.4	11.5
男性	291	40.2	15.5	9.6	8.6	7.9	5.5	12.7
女性	515	45.8	13.0	15.0	9.7	5.4	4.1	10.9
10歳代	17	64.7	5.9	11.8	23.5	-	5.9	11.8
20歳代	61	52.5	14.8	21.3	11.5	3.3	1.6	8.2
30歳代	144	47.9	11.8	33.3	13.2	6.3	6.9	16.0
40歳代	119	47.1	14.3	20.2	9.2	8.4	6.7	13.4
50歳代	125	41.6	11.2	4.0	9.6	4.8	3.2	16.0
60歳代	158	40.5	18.4	6.3	5.1	8.9	3.8	10.1
70歳代	132	40.2	15.9	2.3	8.3	6.8	3.0	4.5
80歳以上	52	30.8	7.7	-	5.8	1.9	5.8	9.6

(15) 「季刊むさしの」発行形態・内容要望（問12）

「季刊むさしの」の発行形態などへの要望としては、「配布方法をもっと工夫してほしい」（331人、39.7%）が最も多く、配布されていない人からの不満が表れている。

その他の回答では、「内容はいい」「よく作られている」といった肯定的な意見も見られるなか、「税金の無駄」「必要ない」といった否定的な意見も見られる。

年代別に見ると、「活字をもっと大きくしてほしい」は50代以上に多い。



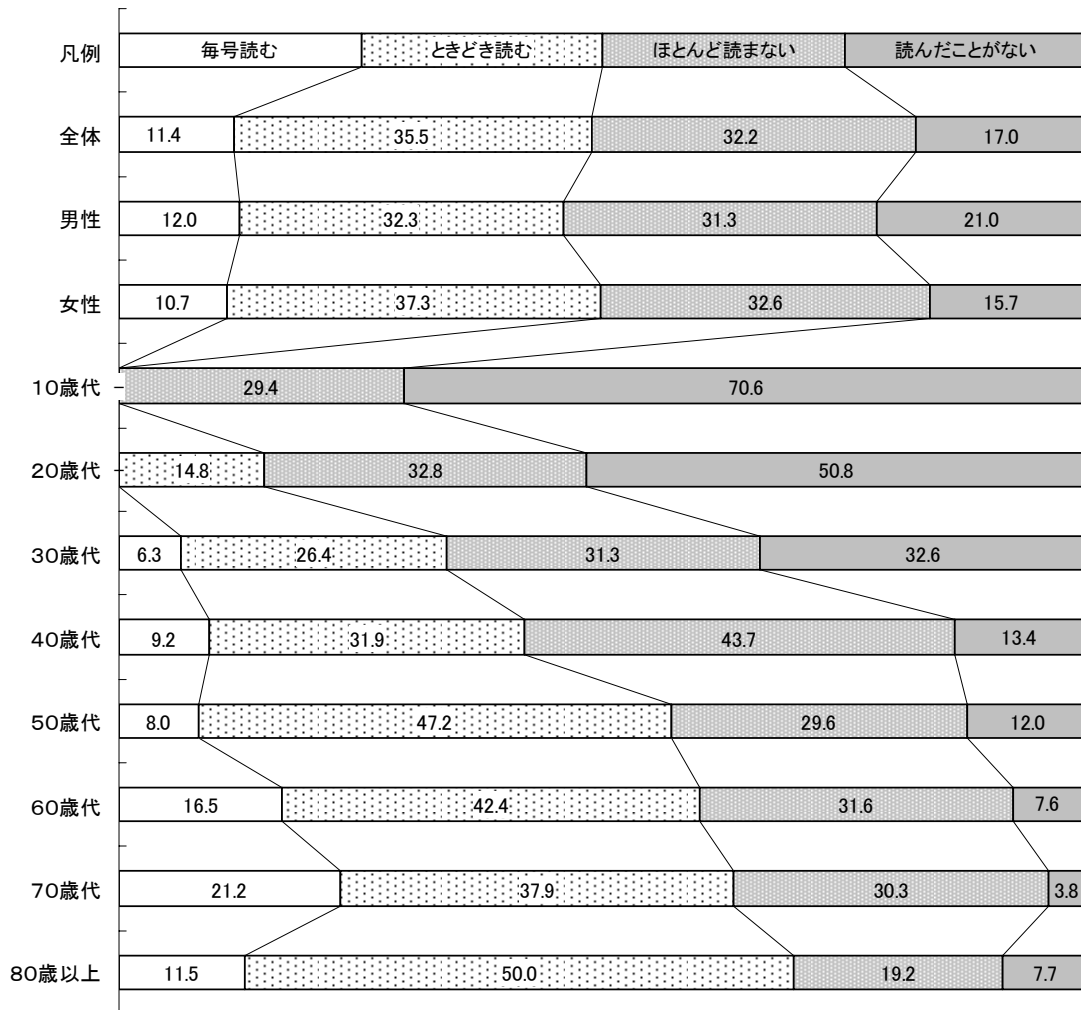
	総数	配布方法を工夫	活字を大きく	サイズをA4に	連載物を増やす	市民の声や活動を紹介	市民が投稿できる企画	その他
全体	833	39.7	10.4	4.7	4.4	17.2	8.0	9.2
男性	291	40.5	8.2	7.6	5.8	18.2	9.3	10.3
女性	515	39.6	11.5	3.3	3.5	16.7	7.2	9.1
10歳代	17	41.2	5.9	11.8	11.8	11.8	-	5.9
20歳代	61	44.3	3.3	3.3	9.8	16.4	11.5	8.2
30歳代	144	47.9	6.9	3.5	2.1	11.8	6.9	13.2
40歳代	119	45.4	5.0	5.9	3.4	15.1	2.5	16.8
50歳代	125	43.2	11.2	5.6	6.4	21.6	10.4	10.4
60歳代	158	40.5	11.4	4.4	5.1	22.2	10.1	4.4
70歳代	132	31.1	17.4	6.1	2.3	16.7	9.1	7.6
80歳以上	52	11.5	17.3	1.9	1.9	15.4	5.8	3.8

5 「武蔵野市議会だより」

(1) 「武蔵野市議会だより」の閲読頻度（問14）

「武蔵野市議会だより」の閲読頻度は、「毎号読んでいる」が11.4%（95人）、「ときどき読む程度」が35.5%（296人）で、合計しても読んでいる人が半数に満たない。

年代別に見ると、上の年代ほど読んでいる比率が高く、下の年代ほど読んでいない比率が高い。40代以下では「読んでいない（ほとんど読まない+読んだことがない）」比率が5割以下であるのに対し、50代以上では「読んでいる（毎号+ときどき）」比率が5割を超えている。

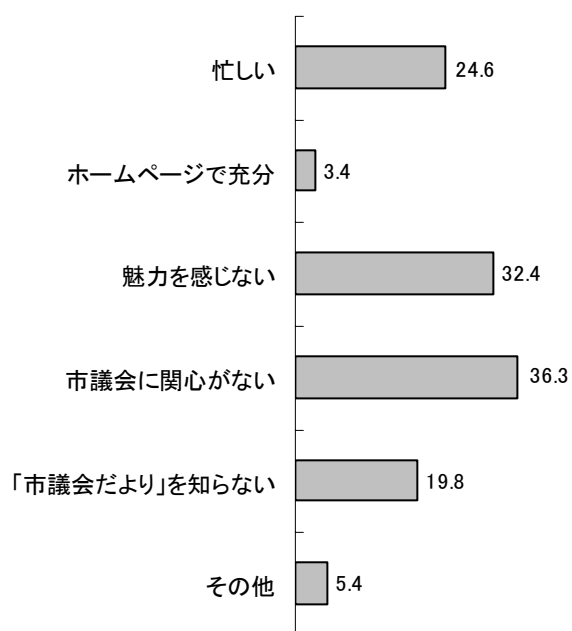


(2) 「武蔵野市議会だより」非接触理由（問15）

「武蔵野市議会だより」を読んでいない人（410人）の読まない理由は、「市議会にあまり関心がないから」（149人、36.3%）、「魅力を感じないから」（133人、32.4%）が多い。

その他の回答では、「配布されていない」などといった意見が見られた（6件）。

年代別に見ると、40代～70代では、「市議会にあまり関心がない」「魅力を感じない」が読まない理由の1、2位を占めているが、20代、30代では、「市議会だよりを知らない」が読まない理由の1、2位となっている。

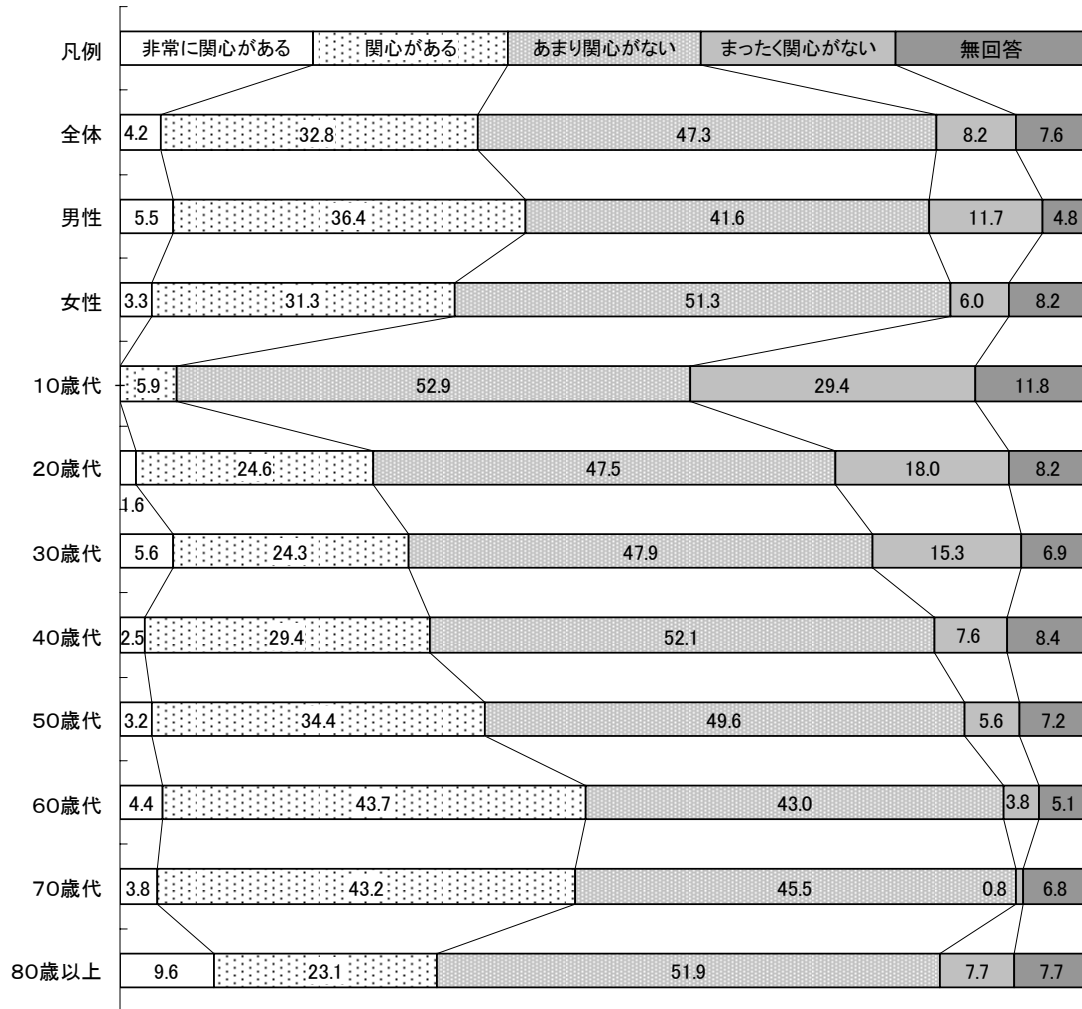


	総数	忙しい	ホームページで充分	魅力を感じない	市議会に関心がない	「市議会だより」を知らない	その他
全体	410	24.6	3.4	32.4	36.3	19.8	5.4
男性	152	24.3	4.6	33.6	32.2	21.7	5.9
女性	249	24.5	2.8	32.1	38.6	18.5	5.2
10歳代	17	35.3	5.9	11.8	47.1	41.2	5.9
20歳代	51	13.7	2.0	33.3	25.5	31.4	7.8
30歳代	92	26.1	2.2	21.7	29.3	34.8	4.3
40歳代	68	29.4	4.4	39.7	39.7	11.8	2.9
50歳代	52	28.8	1.9	32.7	40.4	13.5	3.8
60歳代	62	22.6	6.5	48.4	40.3	9.7	4.8
70歳代	45	26.7	2.2	35.6	40.0	6.7	8.9
80歳以上	14	-	7.1	14.3	42.9	-	14.3

(3) 「武蔵野市議会」への関心度 (問16)

「武蔵野市議会」への関心度は、「非常に関心がある」が4.2% (35人)、「関心がある」が32.8% (273人)で、合計しても、関心がある人は4割弱しかない。

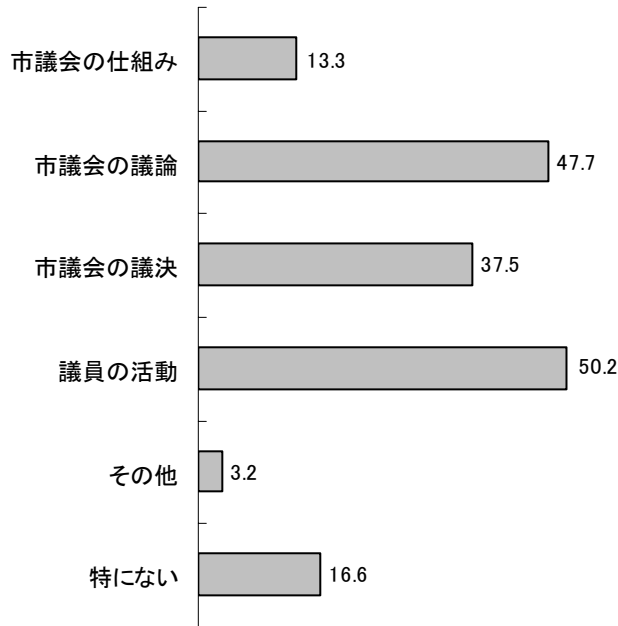
年代別に見ると、すべての年代を通して「非常に関心がある」人は少数ではあるが、「関心がある」を合計すると、60代、70代では関心のある人が半数近くに上り、ほかの世代よりも関心が高くなっている。



(4) 「武蔵野市議会」情報ニーズ (問17)

「武蔵野市議会」について知りたいこととしては、「議員の活動」(418人、50.2%)、「市議会の議論」(397人、47.7%)を挙げている人が多い。続いて、「市議会の議決」(312人、37.5%)となっている。

年代別に見ると、「市議会の議決」は、30代～60代で関心が高い。20代には、「特になし」が、ほかの世代よりも多い。



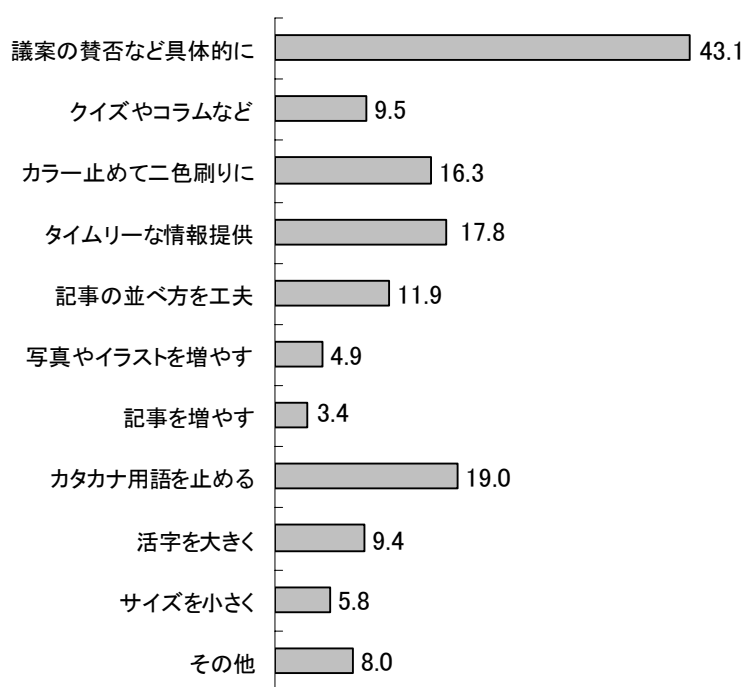
	総数	市議会の仕組み	市議会の議論	市議会の議決	議員の活動	その他	特になし
全体	833	13.3	47.7	37.5	50.2	3.2	16.6
男性	291	13.7	54.0	34.0	52.2	3.4	15.1
女性	515	13.8	44.9	39.8	49.9	3.3	17.5
10歳代	17	17.6	29.4	29.4	23.5	-	29.4
20歳代	61	13.1	47.5	21.3	49.2	-	23.0
30歳代	144	15.3	56.3	49.3	49.3	3.5	13.9
40歳代	119	13.4	50.4	42.0	47.9	3.4	16.0
50歳代	125	11.2	50.4	42.4	49.6	4.0	14.4
60歳代	158	13.3	53.8	39.2	58.9	3.2	15.2
70歳代	132	15.9	37.9	28.0	53.0	5.3	16.7
80歳以上	52	11.5	28.8	25.0	42.3	1.9	23.1

(5) 「武蔵野市議会だより」発行形態・内容要望（問18）

「武蔵野市議会だより」に望む工夫や改善点としては、「議会での議論、議案に対する議員の賛否などについて具体的に説明する」（359人、43.1%）を挙げる人が最も多い。次いで「カタカナ用語や専門用語をやめるなどして、文章をもっと分かりやすくする」（19.0%）、「もっとタイムリーに情報を提供する」（17.8%）、「カラーをやめて2色刷りにする」（16.3%）と続いている。

その他の回答では、「分かりやすい」「今のままでいい」という肯定的な意見もみられるが、「必要ない」（3件）、「もっと節約してほしい」といったコスト削減を希望する意見もみられた。

年代別に見ると、「議議会での議論、議案など」はどの世代でも比率が高いが、「文章をもっと分かりやすく」という要望は、50代以上では2割を超え、下の世代よりも高い。一方、20代～40代では「クイズやコラムなど親しみやすい記事も取り入れる」の割合が上の世代よりも多い。



	総数	議案の賛否など具体的に	クイズやコラムなど	カラー止めて二色刷りに	タイムリーな情報提供	記事の並べ方を工夫	写真やイラストを増やす	記事を増やす	カタカナ用語を止める
全体	833	43.1	9.5	16.3	17.8	11.9	4.9	3.4	19.0
男性	291	49.5	9.6	18.2	22.7	10.3	4.5	4.8	13.7
女性	515	39.4	9.5	15.7	15.1	13.2	5.0	2.7	22.3
10歳代	17	11.8	35.3	5.9	17.6	5.9	5.9	5.9	17.6
20歳代	61	36.1	14.8	4.9	13.1	13.1	6.6	3.3	18.0
30歳代	144	34.0	16.7	22.9	21.5	15.3	9.7	1.4	16.7
40歳代	119	43.7	11.8	19.3	23.5	11.8	4.2	2.5	16.0
50歳代	125	48.0	7.2	19.2	16.0	10.4	4.0	2.4	20.0
60歳代	158	55.1	3.8	17.1	21.5	12.0	3.2	6.3	22.2
70歳代	132	45.5	3.8	15.9	11.4	13.6	0.8	3.8	20.5
80歳以上	52	28.8	7.7	3.8	9.6	5.8	7.7	3.8	21.2

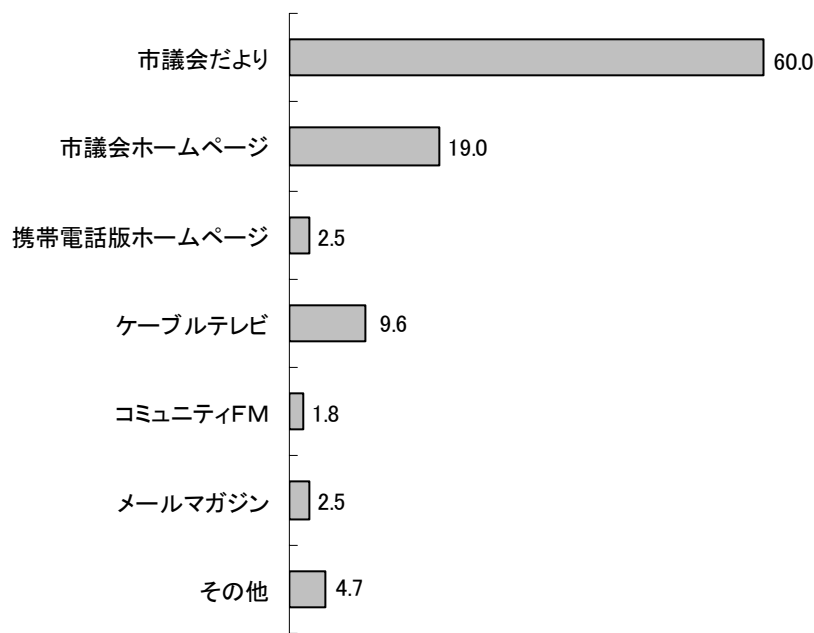
	総数	活字を大きく	サイズを小さく	その他
全体	833	9.4	5.8	8.0
男性	291	8.2	4.8	8.9
女性	515	9.9	6.6	8.0
10歳代	17	5.9	5.9	11.8
20歳代	61	6.6	4.9	6.6
30歳代	144	6.3	9.7	8.3
40歳代	119	6.7	5.9	5.9
50歳代	125	6.4	5.6	8.8
60歳代	158	13.9	5.1	10.1
70歳代	132	9.8	3.8	8.3
80歳以上	52	19.2	5.8	7.7

(6) 武蔵野市議会情報入手希望媒体（問19）

「武蔵野市議会」についての情報入手する方法としては、「武蔵野市議会だより」（500人、60.0%）を希望する人が最も多い。それ以外では、「市議会ホームページ」（158人、19.0%）を希望する人が2割近くとなっている。

その他の回答で多いものは、「市報むさしの」（11件）、「別に必要としない」（4件）である。

年代別に見ると、20代、30代では、「武蔵野市議会だより」を希望する人は5割前後で、上の世代よりも少ない。「市議会ホームページ」を希望する人は20代～50代が中心となっており、60代以上では少ない。



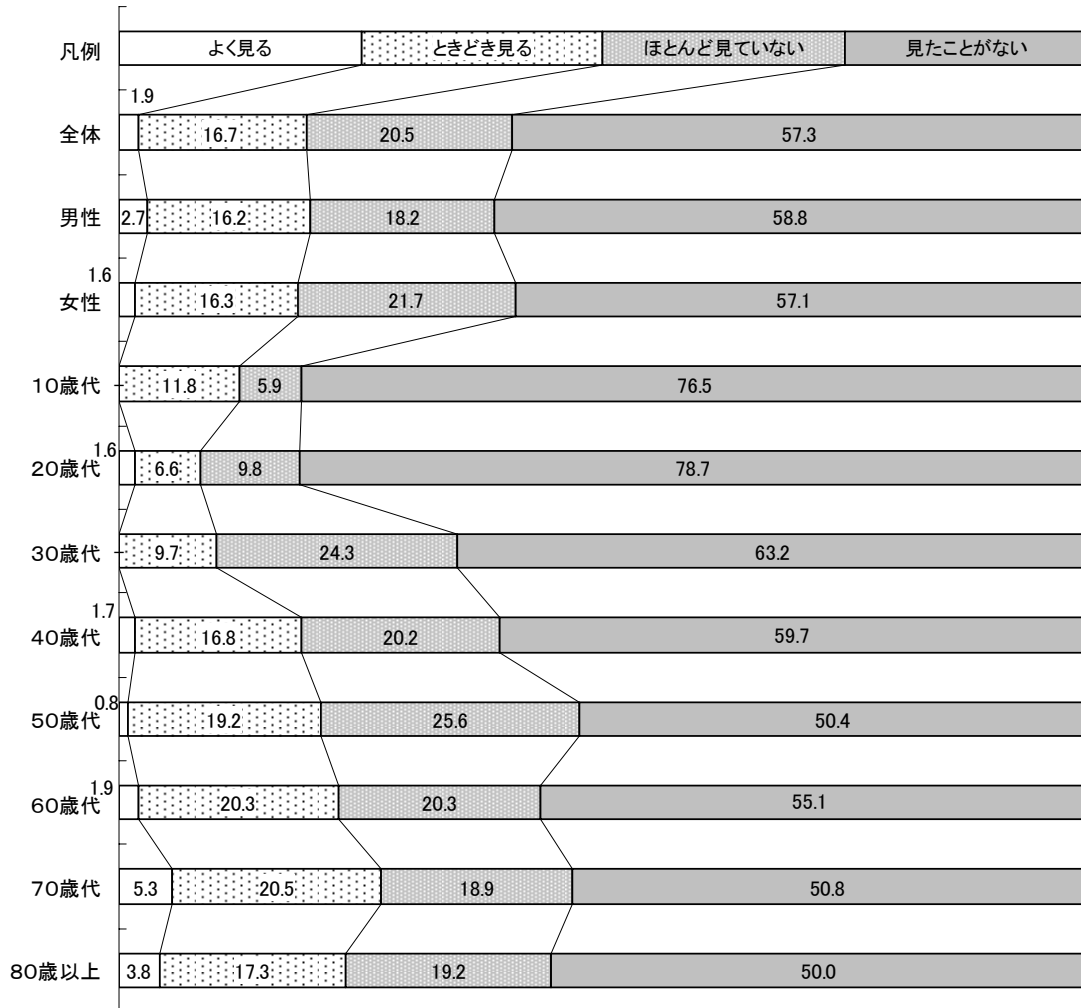
	総数	市議会だより	市議会ホームページ	携帯電話版ホームページ	ケーブルテレビ	コミュニティFM	メールマガジン	その他
全体	833	60.0	19.0	2.5	9.6	1.8	2.5	4.7
男性	291	58.8	23.4	2.4	12.7	2.7	2.7	4.5
女性	515	61.6	16.3	2.7	8.2	1.4	2.5	5.0
10歳代	17	23.5	17.6	11.8	17.6	5.9	17.6	11.8
20歳代	61	47.5	23.0	4.9	11.5	1.6	3.3	6.6
30歳代	144	54.2	34.7	3.5	5.6	2.8	6.3	2.8
40歳代	119	60.5	23.5	2.5	11.8	0.8	3.4	7.6
50歳代	125	60.0	28.0	5.6	12.8	0.8	0.8	3.2
60歳代	158	69.0	11.4	0.6	13.3	2.5	0.6	6.3
70歳代	132	71.2	3.0	-	6.1	2.3	0.8	2.3
80歳以上	52	53.8	-	-	3.8	-	-	5.8

6 広報テレビ、コミュニティFM

(1) 広報テレビ「むさしのシティニュース」の接触状況（問21）

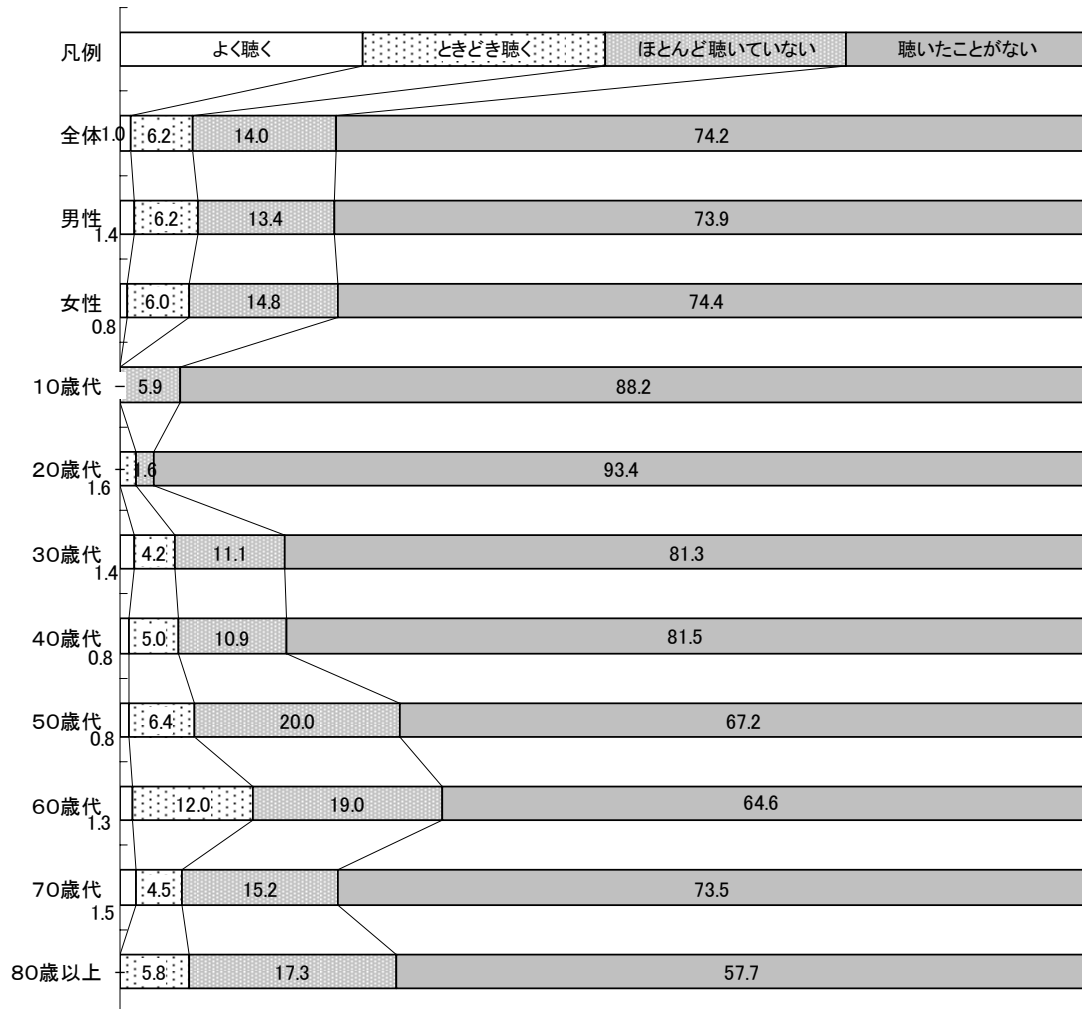
広報テレビ「むさしのシティニュース」を、「よく見ている」人は1.9%（16人）、「ときどき見ている」人は16.7%（139人）で、合計しても、見ている人は2割にも満たない。

年代別に見ると、50代以上で「見ている（よく＋ときどき）」人が2割以上となっており、ほかの世代よりも番組を見ている人が多くなっている。



(2) コミュニティFM「マイシティむさしの」の接触状況（問22）

コミュニティFM「マイシティむさしの」を「よく聴いている」人は1.0%（8人）、「ときどき聴いている」は6.2%（52人）で、合計しても、聴いている人は1割にも満たない。
年代別に見ると、60代だけは、1割以上の人聴いている。



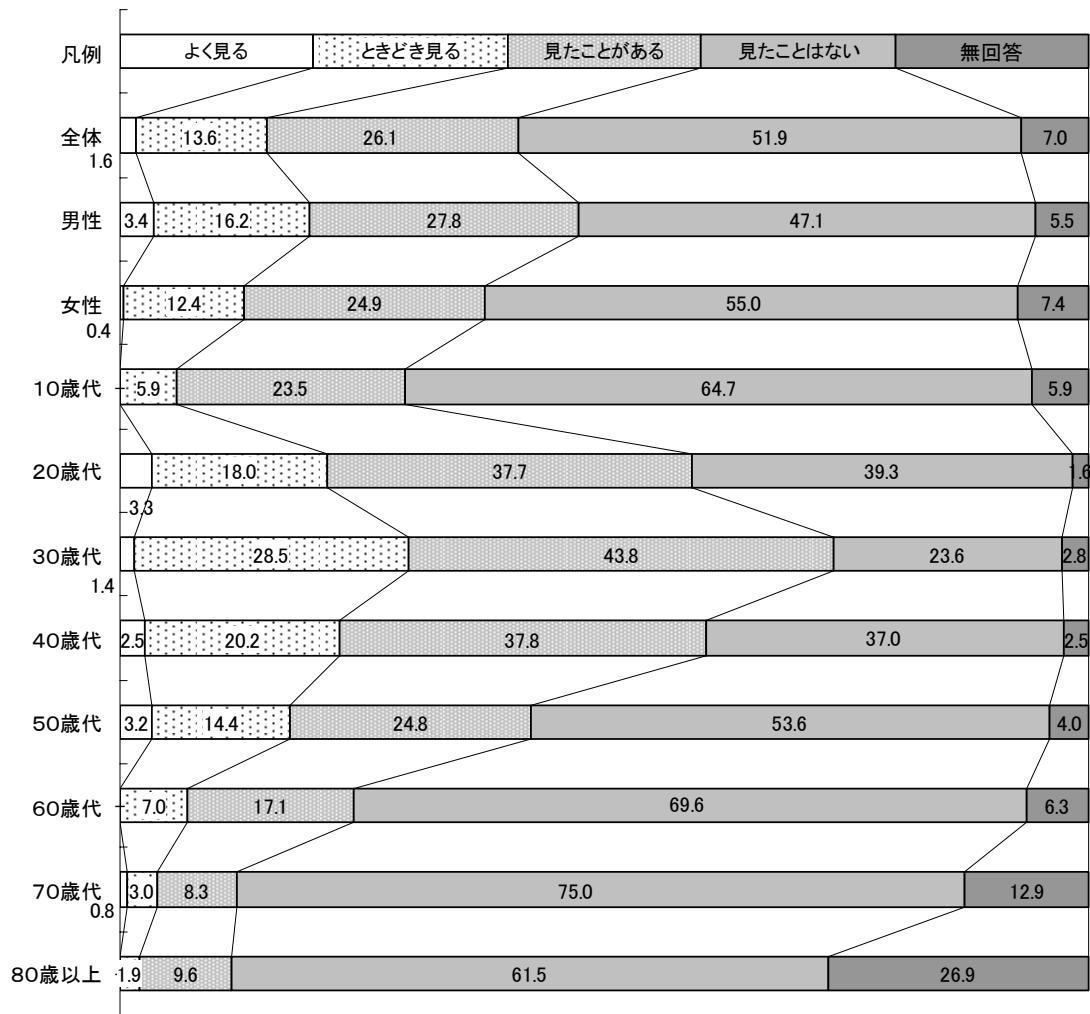
7 武蔵野市ホームページ

(1) 武蔵野市ホームページの閲覧頻度 (問24)

武蔵野市ホームページを「よく見ている」人は1.6% (13人)、「ときどき見る」人は13.6% (113人)で、合計しても、見ている人は2割にも満たない。

年代別に見ると、「見ている人(よく+ときどき)」は、20代~50代に集中している。中でも、30代では3割ほどが見ており、ほかの世代よりも多い。

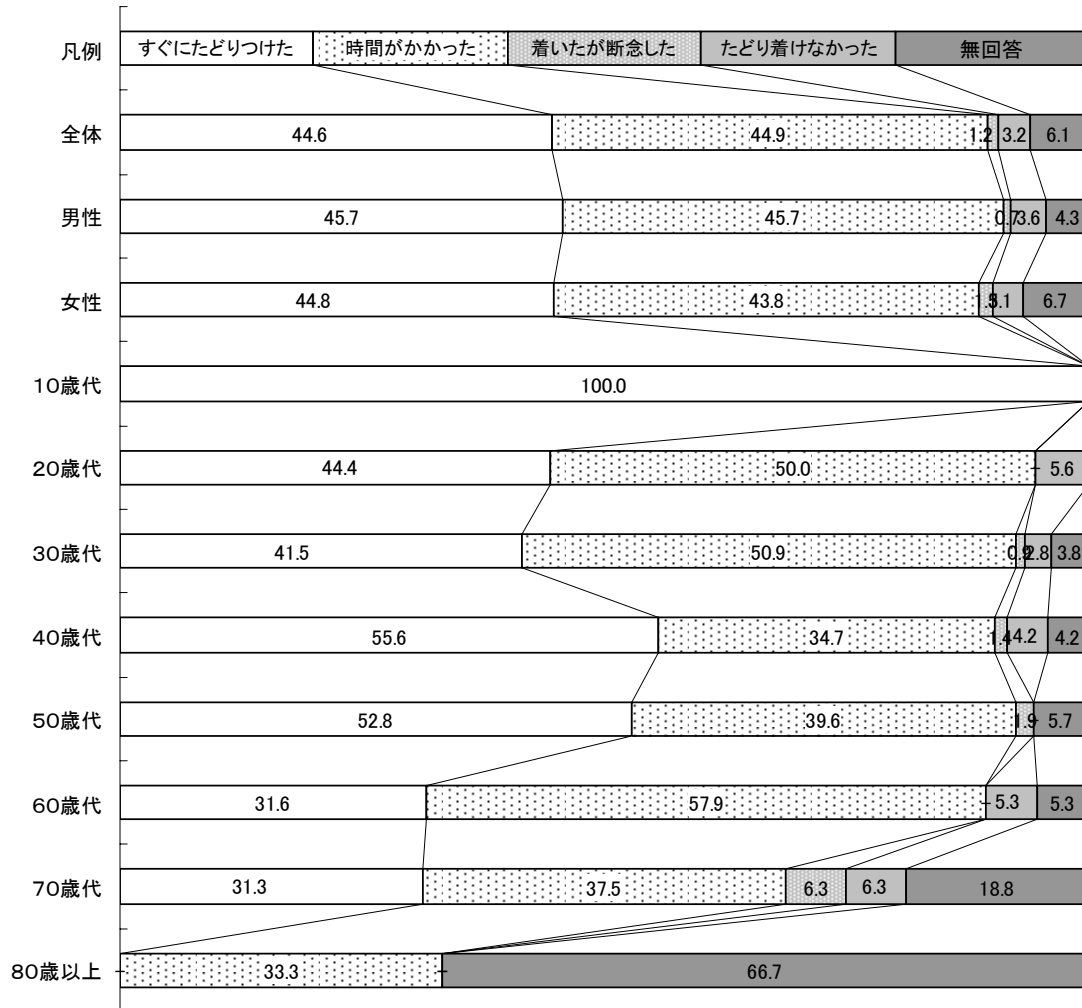
なお、ホームページ関連の質問は、無回答の比率が高いため、グラフに反映させた。無回答は70代以上で顕著に増えている。



(2) 武蔵野市ホームページ情報到達度 (問25)

武蔵野市ホームページ利用者(343人)で、必要な情報に「すぐにとりつけた」人は44.6%(153人)、「とりつくことはできたが、時間がかかった」人は44.9%。半数近くの人が問題なく利用できているが、それとほぼ同数の人が情報にとりつくまでに、時間がかかったと答えている。

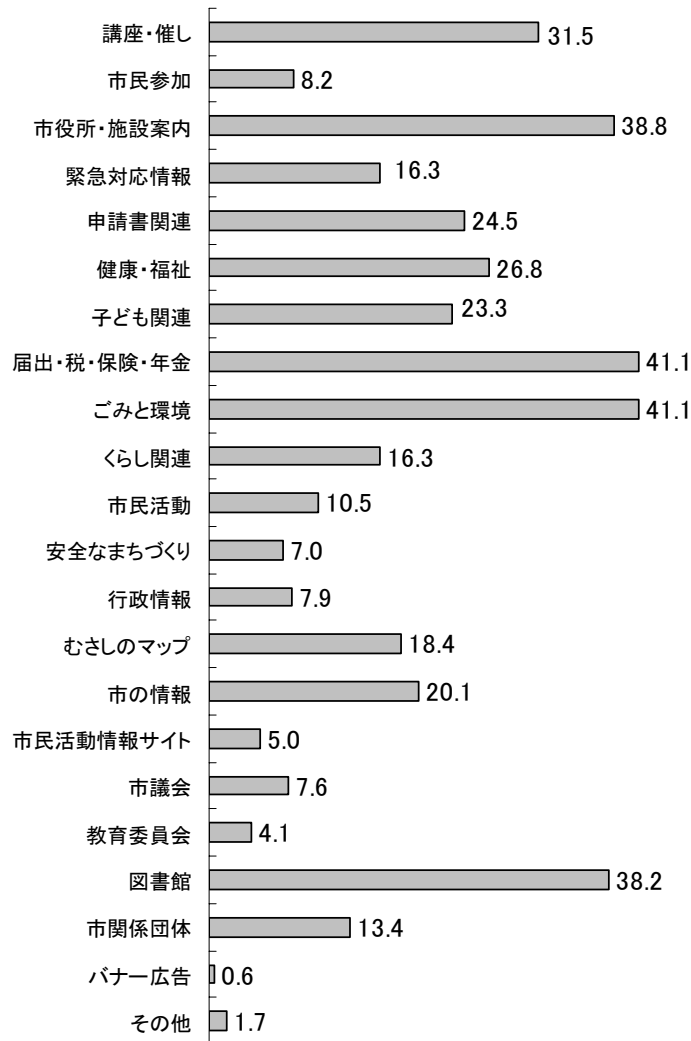
年代別に見ると、「すぐにとりつけた」という人の割合が高いのは、40代、50代で、20代~30代、50代では、「すぐにとりつけた」人よりも「時間がかかった」人のほうが多くなっている。



(3) 武蔵野市ホームページ情報利用項目（問26）

武蔵野市ホームページ利用者（343人）が武蔵野市ホームページで利用した情報は、「届出・税・保険・年金」（141人、41.1%）、「ごみと環境」（141人、41.1%）、「市役所・施設案内」（133人、38.8%）、「図書館」（131人、38.2%）が多い。

年代別に見ると、「届出・税・保険・年金」「ごみと環境」の情報は、30代～50代の利用が特に多い。20代は「講座・催し」と「図書館」の情報、「子ども関連」は20代～30代、「健康・福祉」は70代以上の利用が多い。「市議会」の利用は、50代と60代に集中している。



	総数	講座・催し	市民参加	市役所・施設案内	緊急対応情報	申請書関連	健康・福祉	子ども関連	届出・税・保険・年金
全体	343	31.5	8.2	38.8	16.3	24.5	26.8	23.3	41.1
男性	138	30.4	8.7	41.3	23.2	23.2	29.7	18.1	43.5
女性	194	32.0	6.7	37.1	12.4	25.8	24.7	26.3	38.1
10歳代	5	20.0	-	40.0	-	-	-	-	-
20歳代	36	41.7	11.1	41.7	5.6	11.1	22.2	25.0	38.9
30歳代	106	29.2	6.6	39.6	20.8	27.4	25.5	35.8	45.3
40歳代	72	26.4	9.7	40.3	19.4	25.0	27.8	37.5	45.8
50歳代	53	35.8	9.4	41.5	18.9	32.1	26.4	1.9	37.7
60歳代	38	42.1	5.3	36.8	15.8	34.2	26.3	2.6	34.2
70歳代	16	18.8	-	25.0	12.5	6.3	43.8	-	25.0
80歳以上	6	-	-	16.7	-	-	50.0	-	33.3

	総数	ごみと環境	くらし関連	市民活動	安全なまちづくり	行政情報	むさしのマップ	市の情報	市民活動情報サイト
全体	343	41.1	16.3	10.5	7.0	7.9	18.4	20.1	5.0
男性	138	44.9	20.3	8.7	12.3	11.6	23.2	23.9	6.5
女性	194	39.2	11.9	11.9	3.6	5.2	13.9	17.5	3.6
10歳代	5	20.0	20.0	20.0	-	-	20.0	20.0	20.0
20歳代	36	33.3	22.2	13.9	8.3	11.1	16.7	19.4	2.8
30歳代	106	51.9	12.3	9.4	3.8	4.7	13.2	16.0	3.8
40歳代	72	44.4	15.3	12.5	11.1	2.8	19.4	20.8	2.8
50歳代	53	45.3	18.9	11.3	13.2	17.0	26.4	32.1	7.5
60歳代	38	28.9	18.4	7.9	5.3	13.2	21.1	23.7	7.9
70歳代	16	6.3	6.3	-	-	6.3	12.5	6.3	6.3
80歳以上	6	33.3	-	16.7	-	-	-	-	-

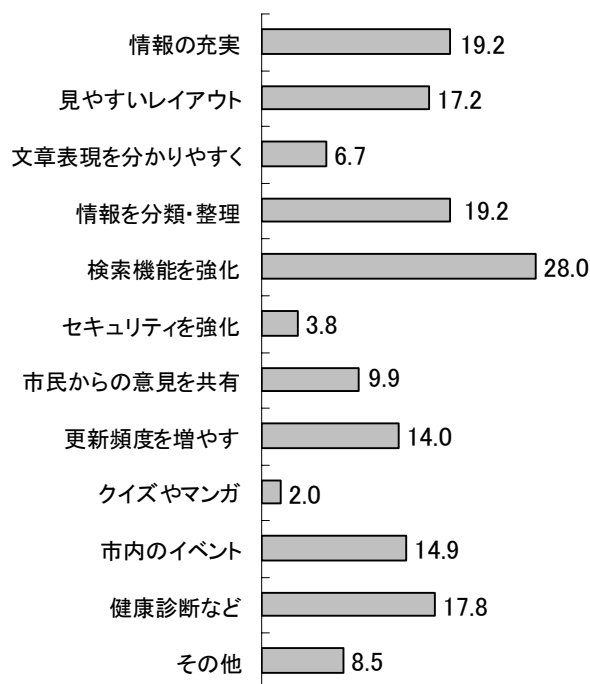
	総数	市議会	教育委員会	図書館	市関係団体	バナー広告	その他
全体	343	7.6	4.1	38.2	13.4	0.6	1.7
男性	138	9.4	4.3	35.5	12.3	0.7	2.2
女性	194	5.7	3.6	40.7	13.9	0.5	1.0
10歳代	5	-	-	60.0	-	-	-
20歳代	36	-	2.8	52.8	16.7	-	-
30歳代	106	3.8	1.9	37.7	13.2	-	3.8
40歳代	72	6.9	8.3	50.0	13.9	2.8	-
50歳代	53	17.0	5.7	24.5	11.3	-	-
60歳代	38	13.2	2.6	31.6	13.2	-	2.6
70歳代	16	6.3	-	31.3	18.8	-	-
80歳以上	6	-	-	-	-	-	-

(4) 武蔵野市ホームページ発行形態・内容要望（問27）

武蔵野市ホームページ利用者（343人）が武蔵野市ホームページに希望する事項としては、「検索機能を強化する」（96人、28.0%）が最も多く、次いで「掲載する情報をより充実する」（19.2%）、「情報を分類・整理してもっとわかりやすくする」（19.2%）が続いている。

その他の回答として、「今のままでいい」といった意見が4件みられた。

年代別に見ると、「検索機能」についての要望は、20代、50代で特に多い。また、20代では、「市内のイベントをもっと知らせる」が、ほかの世代よりも多い。



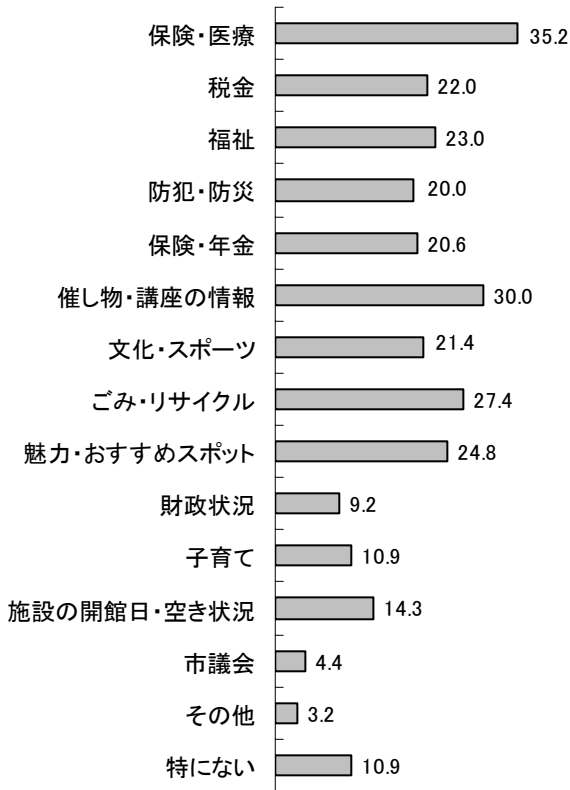
	総数	情報の充実	見やすいレイアウト	文章表現を分かりやすく	情報を分類・整理	検索機能を強化	セキュリティを強化	市民からの意見を共有	更新頻度を増やす
全体	343	19.2	17.2	6.7	19.2	28.0	3.8	9.9	14.0
男性	138	18.8	16.7	6.5	21.7	34.8	3.6	13.8	17.4
女性	194	20.6	18.0	7.2	18.6	24.2	4.1	7.7	12.4
10歳代	5	-	-	-	20.0	20.0	20.0	-	-
20歳代	36	16.7	13.9	5.6	19.4	36.1	2.8	11.1	11.1
30歳代	106	22.6	17.9	4.7	22.6	30.2	4.7	6.6	14.2
40歳代	72	22.2	16.7	11.1	16.7	29.2	4.2	16.7	12.5
50歳代	53	15.1	17.0	3.8	22.6	34.0	-	7.5	17.0
60歳代	38	26.3	26.3	13.2	21.1	23.7	7.9	13.2	23.7
70歳代	16	12.5	18.8	6.3	12.5	6.3	-	12.5	12.5
80歳以上	6	-	-	-	-	-	-	-	-

	総数	クイズやマンガ	市内のイベント	健康診断など	その他
全体	343	2.0	14.9	17.8	8.5
男性	138	3.6	15.2	15.2	8.0
女性	194	1.0	15.5	20.6	9.3
10歳代	5	-	20.0	-	20.0
20歳代	36	5.6	25.0	25.0	2.8
30歳代	106	1.9	14.2	20.8	9.4
40歳代	72	1.4	16.7	15.3	9.7
50歳代	53	1.9	17.0	9.4	9.4
60歳代	38	-	10.5	28.9	13.2
70歳代	16	6.3	6.3	12.5	-
80歳以上	6	-	-	16.7	-

(5) 武蔵野市ホームページ情報ニーズ (問28)

武蔵野市ホームページで入手したい情報としては、「保険・医療」(293人、35.2%)、「催し物・講座の情報」(250人、30.0%)、「税金」(228人、27.4%)が多い。

年代別に見ると、20代、30代では、「催し物・講座の情報」「市の魅力・おすすめスポット」に対する情報ニーズが高い。また、20代～40代では、「文化・スポーツ」「施設の開館日・空き状況」、「子育て」の情報ニーズが高くなっている。



	総数	保険・医療	税金	福祉	防犯・防災	保険・年金	催し物・講座の情報	文化・スポーツ	ごみ・リサイクル
全体	833	35.2	22.0	23.0	20.0	20.6	30.0	21.4	27.4
男性	291	37.1	27.1	23.7	19.2	24.1	28.5	24.4	25.4
女性	515	35.5	20.0	23.9	21.6	19.6	32.2	20.4	29.9
10歳代	17	5.9	5.9	5.9	5.9	11.8	47.1	58.8	17.6
20歳代	61	44.3	23.0	13.1	13.1	18.0	50.8	32.8	32.8
30歳代	144	32.6	27.1	15.3	21.5	18.8	40.3	24.3	38.9
40歳代	119	43.7	29.4	26.9	25.2	23.5	33.6	32.8	34.5
50歳代	125	40.0	28.0	27.2	20.0	22.4	27.2	16.8	29.6
60歳代	158	39.2	21.5	32.9	24.1	27.2	27.8	19.6	24.7
70歳代	132	30.3	14.4	23.5	20.5	17.4	22.0	15.9	18.2
80歳以上	52	25.0	9.6	23.1	13.5	17.3	11.5	-	15.4

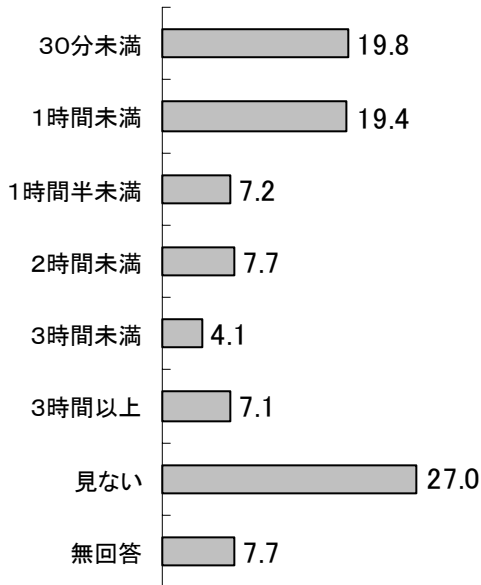
	総数	魅力・おすすめスポット	財政状況	子育て	施設の開館日・空き状況	市議会	その他	特になし
全体	833	24.8	9.2	10.9	14.3	4.4	3.2	10.9
男性	291	20.3	9.6	7.6	11.0	5.8	3.8	11.0
女性	515	28.5	9.3	13.4	16.7	3.9	3.1	11.3
10歳代	17	47.1	5.9	-	29.4	5.9	-	5.9
20歳代	61	44.3	9.8	19.7	29.5	4.9	6.6	8.2
30歳代	144	34.0	6.9	31.3	20.1	6.3	5.6	9.7
40歳代	119	28.6	11.8	21.8	22.7	6.7	7.6	10.9
50歳代	125	24.0	9.6	1.6	7.2	4.0	-	14.4
60歳代	158	22.8	10.8	1.9	12.7	4.4	2.5	10.1
70歳代	132	14.4	11.4	2.3	6.8	3.0	1.5	11.4
80歳以上	52	5.8	1.9	-	1.9	-	-	15.4

8 メディア接触・市民意識

(1) インターネット閲覧時間（問30）

回答者のインターネット閲覧時間は、「30分未満」（165人、19.8%）、「1時間未満」（162人、19.4%）が多く、全体の4割ほどが1時間未満の利用にとどまっている。一方で、「まったく見ていない」（225人、27.0%）も3割ほどいる。

年代別に見ると、「まったく見ていない」は50代以上に多く、「無回答」は70代以上に集中している。一方、「3時間以上」は20代に多い。

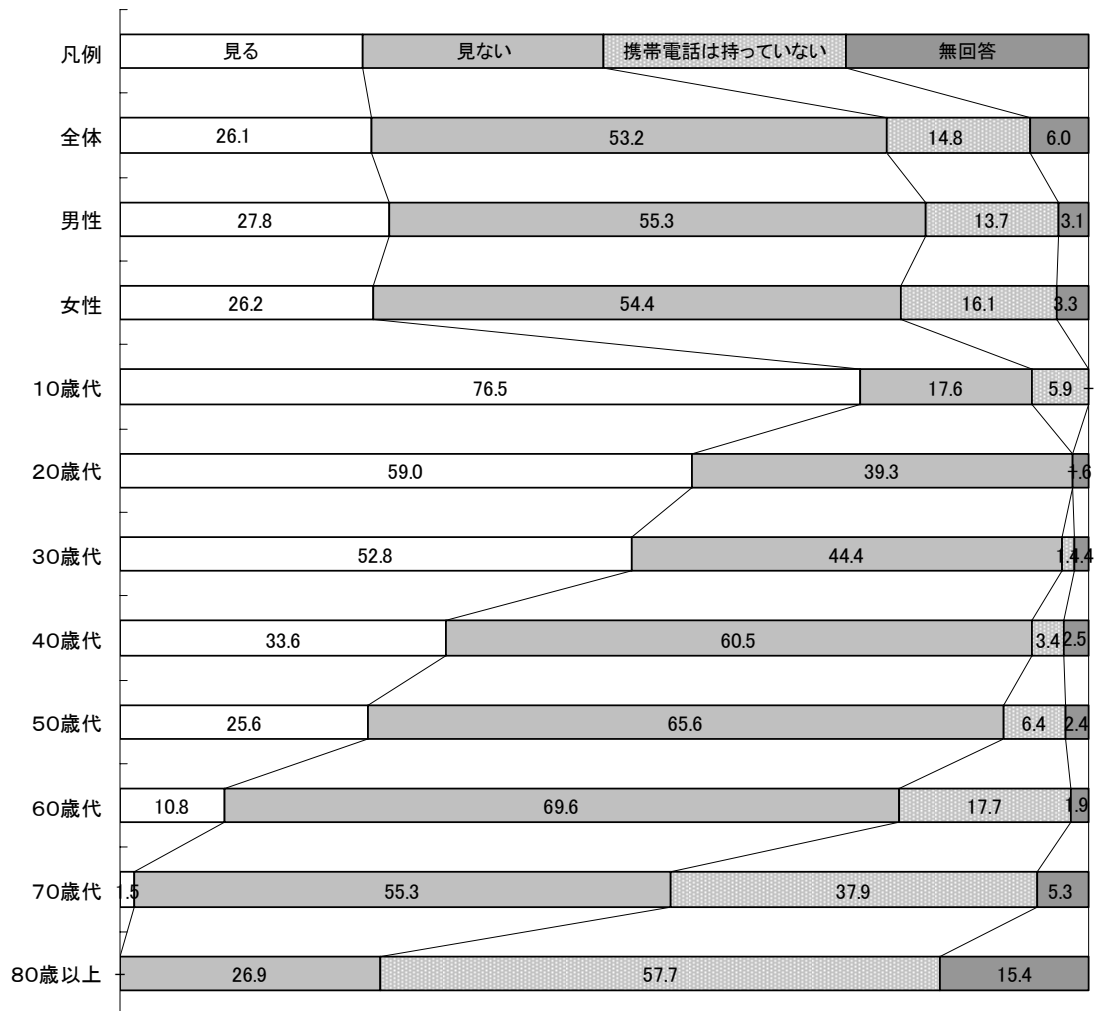


	総数	30分未満	1時間未満	1時間半未満	2時間未満	3時間未満	3時間以上	見ない	無回答
全体	833	19.8	19.4	7.2	7.7	4.1	7.1	27.0	7.7
男性	291	17.9	26.5	8.6	9.6	4.8	9.3	21.0	2.4
女性	515	21.7	16.5	6.8	7.0	3.9	6.0	31.7	6.4
10歳代	17	23.5	17.6	11.8	11.8	11.8	17.6	5.9	-
20歳代	61	13.1	23.0	14.8	14.8	8.2	19.7	4.9	1.6
30歳代	144	22.2	27.8	11.1	13.9	7.6	13.2	3.5	0.7
40歳代	119	28.6	28.6	6.7	10.9	3.4	10.1	10.9	0.8
50歳代	125	24.0	24.8	8.8	9.6	4.8	3.2	24.8	-
60歳代	158	23.4	19.0	5.1	1.9	2.5	5.1	37.3	5.7
70歳代	132	12.9	7.6	3.8	3.8	1.5	-	57.6	12.9
80歳以上	52	5.8	-	1.9	-	-	-	69.2	23.1

(2) 携帯電話によるインターネット利用有無 (問31)

回答者の携帯電話によるインターネット利用は、「見る」が26.1% (217人)、「見ない」が53.2% (138人)で、過半数の人が見ていない。「携帯電話を持っていない」は14.8% (123人)である。

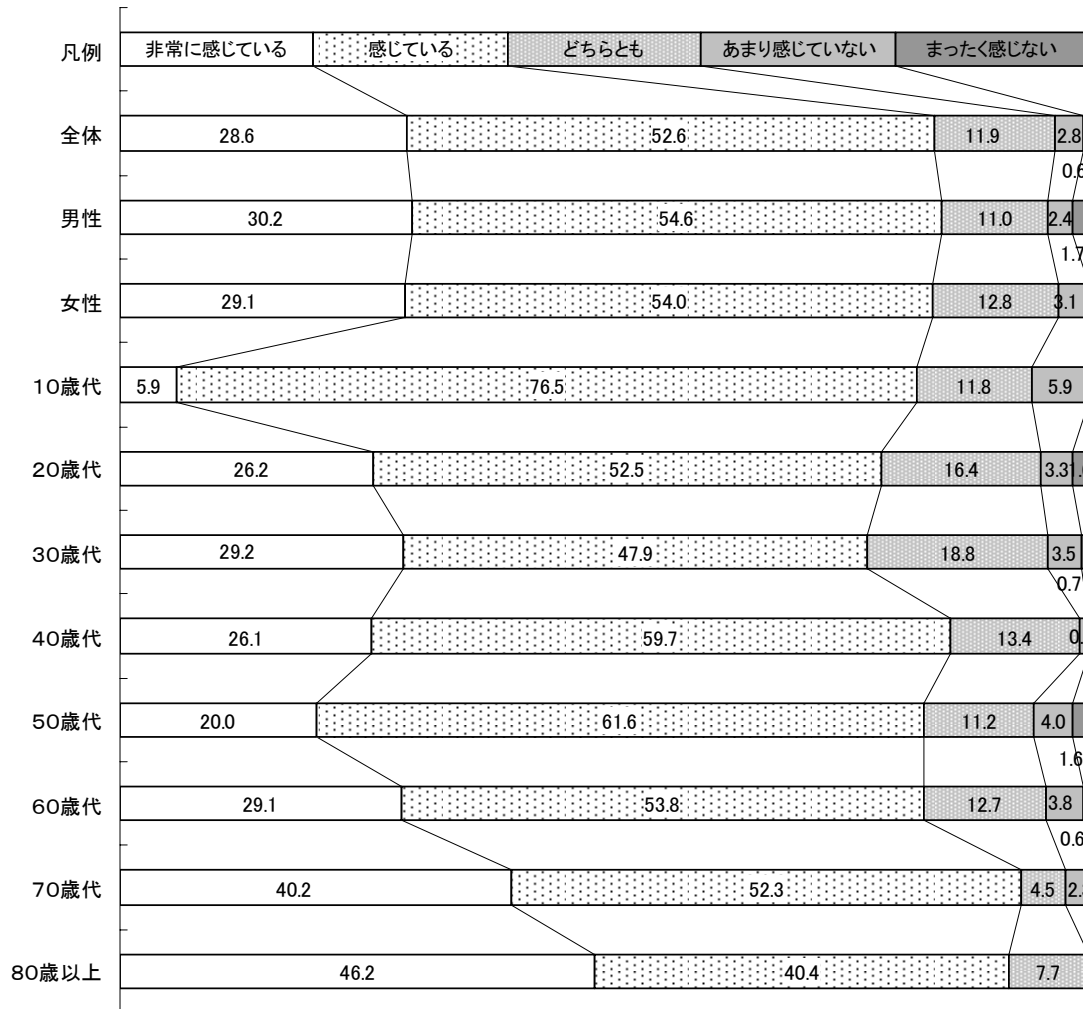
年代別に見ると、30代までは半数以上の人が見ており、40代から年齢が上がるごとに、見ている人が減っていく。



(3) 武蔵野市への好感度（問32）

回答者の武蔵野市への誇りや愛着は、「非常に感じている」が28.6%（238人）、「感じている」が52.6%（438人）で、8割の人が感じている。

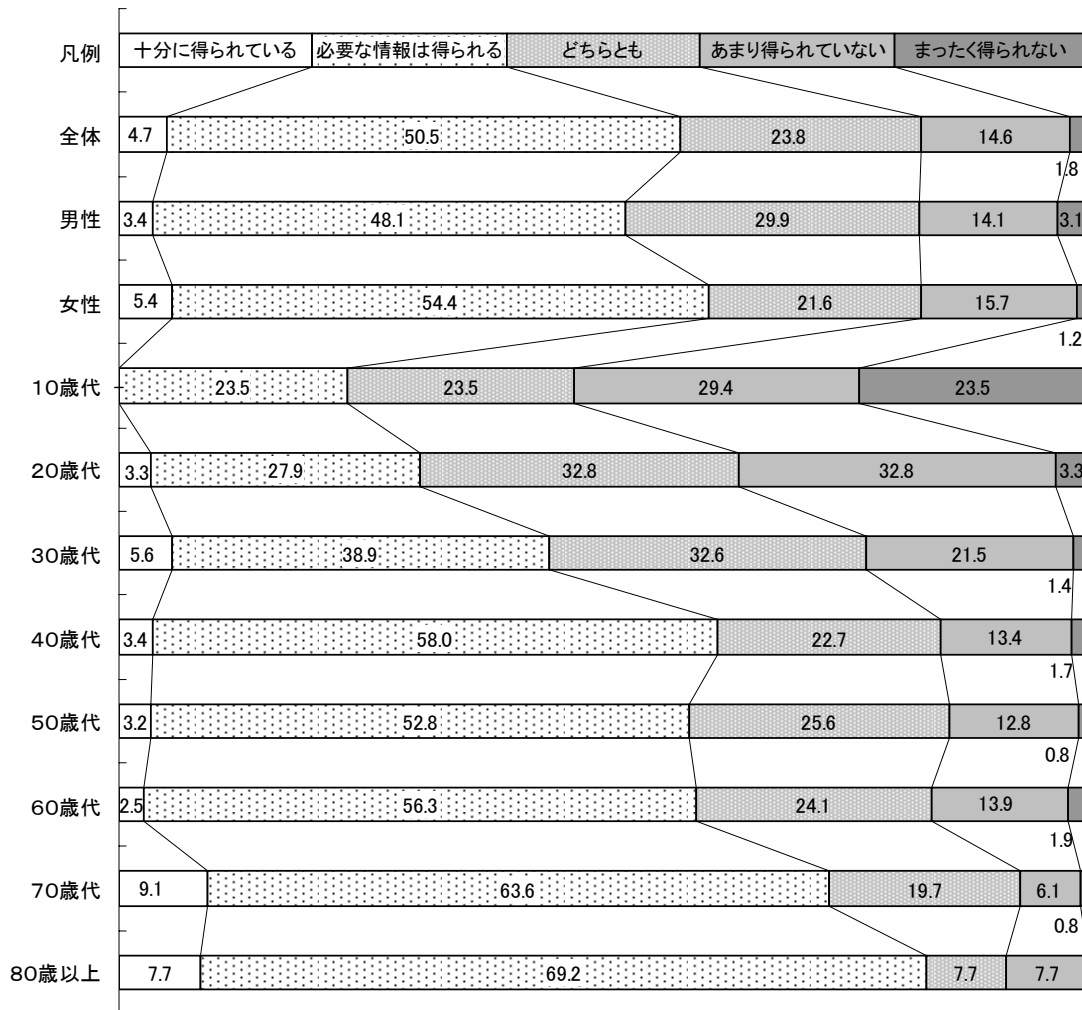
年代別に見ると、70代以上で、「非常に感じている」の比率が高くなっている。



(4) 武蔵野市の情報満足度 (問33)

武蔵野市の情報が十分に得られているかどうかについては、「十分に得られている」が4.7% (39人) と少ないが、「必要な情報は得られている」は50.5% (421人) となっており、半数以上の人は、必要な情報が得られている。

年代別に見ると、「情報が得られている (十分+必要な情報)」と答えた人は、40代以上で5割以上で年齢が上になるほど、その割合は多くなっている。一方、20代、30代では半数以下であり、むしろ、情報の不足を感じている人 (あまり得られていない+まったく得られない) が2~3割と多くなっている。



V 属性別クロス結果分析（性別、世代別）

仁科 貞文 委員

1 調査対象者の特徴（問34、問35、問38）

調査対象者は、男性291人（35%）、女性515人（62%）、不明27人と女性が多く、年代別では10代～20代の合計が9%、30代～40代の合計が32%、50代～60代の合計が34%、70代～80代の合計が22%となっている。30代～60代が中心となっている（表1）。

（表1）

	該当数	%	男	女
全体	833	100.0	34.9	61.8
10歳代	17	2.0	41.2	58.8
20歳代	61	7.3	27.9	72.1
30歳代	144	17.3	36.8	63.2
40歳代	119	14.3	34.5	64.7
50歳代	125	15.0	34.4	65.6
60歳代	158	19.0	41.8	58.2
70歳代	132	15.8	37.1	62.9
80歳以上	52	6.2	28.8	69.2

職業は、「正社員正職員」（27%）、「家業専業」（24%）、「無職」（19%）が中心である。なお各年代での男女構成の差は比較的少ないが、職業別では正社員と無職で男性が多く、家業専業では女性の比重が大きくなっている（表2）。

（表2）

	該当数	自営業・自由業	正社員、正職員	契約社員、派遣社員	アルバイト、パート	学生	家事専業	無職
全体	833	9.1	26.5	4.9	9.5	4.2	24.1	19.1
男	291	12.4	44.3	4.5	2.4	5.5	0.3	28.2
女	515	7.4	16.5	5.0	13.4	3.5	37.7	14.4
10歳代	17	-	-	-	-	100.0	-	-
20歳代	61	3.3	47.5	3.3	11.5	21.3	11.5	-
30歳代	144	10.4	42.4	9.7	10.4	2.1	22.9	1.4
40歳代	119	9.2	40.3	5.9	18.5	0.8	20.2	4.2
50歳代	125	11.2	40.8	5.6	12.8	-	25.6	3.2
60歳代	158	12.7	10.8	5.1	10.1	-	28.5	30.4
70歳代	132	7.6	6.1	0.8	-	-	34.8	47.0
80歳以上	52	3.8	-	-	-	-	19.2	67.3

2 広報媒体接触（問1）

市情報の情報源としては、「市報むさしの」（82%）が主要なルートで、そのほかに「新聞記事」（29%）、「家族、友人、知人との会話」（29%）、「武蔵野市議会だより」（29%）などが利用されている（表3）。

(表3)

総数	833
「市報むさしの」	82.4
季刊誌「季刊むさしの」	17.4
「武蔵野市議会だより」	28.8
市勢要覧	2.8
武蔵野市ホームページ	13.7
ケーブルテレビ広報番組	9.4
むさしのFM広報番組	3.0
公共施設等に置いてある市政チラシ	12.5
公共施設に設置された掲示板	10.8
市への問合せ(電話、窓口など)	10.9
公聴会、説明会	0.6
フリーペーパー(タウン誌など)	12.0
新聞記事	29.1
雑誌記事	4.6
テレビ・ラジオのニュースなど	9.7
インターネット	7.7
コミュニティセンター	9.1
家族、友人、知人との会話	28.9

性別では「季刊むさしの」(19%)は男性により多く利用されており、「市報むさしの」(87%)、「家族、友人、知人との会話」(32%)、「フリーペーパー」(14.6%)は女性により多く利用されている(表4)。

年代別では、全体に高年齢層が多様な情報源を利用しているが、「フリーペーパー」「武蔵野市ホームページ」は若年層によく利用されている。

また、「市報むさしの」の読者は、ほかの多くの情報源に対してよく接触している。

武蔵野市への愛着と、市情報の満足度は、どちらも多様な情報源との接触度と相関がある。

(表4)

		該当数	「市報むさしの」	季刊誌「季刊むさしの」	「武蔵野市議会だより」	武蔵野市ホームページ	公共施設等に置いてある市政チラシ	公共施設に設置された掲示板	市への問合せ(電話、窓口など)	フリーペーパー(タウン誌など)	新聞記事	家族、友人、知人との会話
全体		833	82.4	17.4	28.8	13.7	12.5	10.8	10.9	12.0	29.1	28.9
性別	男	291	74.9	19.2	27.8	15.1	9.6	9.6	9.3	7.9	30.2	23.7
	女	515	86.6	16.5	29.3	12.8	14.4	11.7	11.5	14.6	28.3	32.0
年代別	10歳代	17	17.6	17.6	5.9	5.9	-	-	-	11.8	11.8	35.3
	20歳代	61	55.7	6.6	6.6	18.0	3.3	6.6	3.3	19.7	14.8	23.0
	30歳代	144	81.9	6.9	15.3	27.1	7.6	7.6	8.3	20.1	15.3	25.0
	40歳代	119	84.9	9.2	23.5	17.6	11.8	13.4	7.6	15.1	25.2	27.7
	50歳代	125	88.8	19.2	31.2	15.2	12.0	12.8	6.4	11.2	34.4	28.0
	60歳代	158	91.1	20.9	41.1	7.6	19.6	15.8	17.1	6.3	38.0	29.1
	70歳代	132	89.4	30.3	41.7	3.8	14.4	9.1	17.4	8.3	37.1	36.4
80歳以上	52	69.2	30.8	34.6	3.8	19.2	9.6	11.5	3.8	36.5	30.8	
市報閱讀	毎号読んでいる	451	98.9	24.2	38.6	15.5	17.7	15.3	14.0	13.3	32.6	31.7
	ときどき読んでいる	232	88.8	12.5	25.0	13.8	9.1	6.5	8.6	12.5	30.2	23.7
	ほとんど読んでいない	96	26.0	7.3	7.3	8.3	1.0	3.1	4.2	9.4	24.0	29.2
	読んだことはない	33	-	-	-	3.0	-	3.0	9.1	3.0	6.1	42.4
市への愛着	非常に感じている	238	87.8	23.9	32.4	17.2	19.7	15.1	15.1	13.0	33.2	34.5
	感じている	438	82.0	16.7	29.5	12.3	11.0	9.6	9.6	12.6	29.0	27.9
	どちらともいえない	99	74.7	7.1	17.2	13.1	3.0	8.1	8.1	11.1	21.2	23.2
	あまり感じていない	23	78.3	13.0	26.1	13.0	13.0	8.7	8.7	-	17.4	26.1
まったく感じていない	5	20.0	20.0	20.0	-	-	-	-	20.0	20.0	-	
市情報の満足度	十分に得られている	39	82.1	23.1	35.9	17.9	23.1	12.8	20.5	15.4	35.9	41.0
	十分でないが必要情報得られている	421	90.3	23.5	34.9	15.0	16.6	15.0	11.9	12.6	32.8	29.9
	どちらともいえない	198	78.8	11.1	20.2	14.1	7.6	8.1	9.1	12.6	27.3	25.3
	あまり得られていない	122	69.7	8.2	22.1	10.7	4.9	4.1	8.2	10.7	20.5	29.5
まったく得られていない	15	33.3	6.7	20.0	-	6.7	-	6.7	-	13.3	26.7	

3 広報媒体との接触状況

(1) 「市報むさしの」 閲読頻度 (問2)

情報源として最もよく利用されている「市報むさしの」の閲読頻度は、「毎号読んでいる」が54%、「ときどき読んでいる」が28%で、合わせて8割強の人が頻繁に閲読している(表5)。

性年代別では、女性(62%)のほうが男性(41%)よりもよく閲読しており、特に40代以上の女性には毎号よく読まれている。逆に、20代以下の男性にはあまり読まれていない。なお、市報の閲読率と、武蔵野市への愛着心や市情報への満足度とは相関がある。

(表5)

		該当数	毎号読んでいる	ときどき読んでいる	ほとんど読んでいない	読んだことはない
全体		833	54.1	27.9	11.5	4.0
性別	男	291	40.9	33.0	16.5	8.2
	女	515	61.9	25.2	8.3	1.6
性年代別	男 10歳代	7	-	14.3	28.6	57.1
	20歳代	17	5.9	41.2	35.3	17.6
	30歳代	53	26.4	32.1	18.9	20.8
	40歳代	41	43.9	31.7	22.0	2.4
	50歳代	43	32.6	46.5	14.0	7.0
	60歳代	66	48.5	34.8	12.1	1.5
	70歳代	49	65.3	24.5	8.2	-
	80歳以上	15	53.3	20.0	20.0	6.7
	女 10歳代	10	-	-	70.0	30.0
	20歳代	44	34.1	27.3	29.5	4.5
	30歳代	91	58.2	29.7	7.7	1.1
	40歳代	77	64.9	23.4	10.4	1.3
	50歳代	82	64.6	31.7	3.7	-
	60歳代	92	75.0	19.6	2.2	-
70歳代	83	67.5	27.7	1.2	1.2	
80歳以上	36	63.9	16.7	5.6	-	
市への愛着	非常に感じている	238	64.3	23.9	8.8	1.3
	感じている	438	52.7	30.1	10.0	4.8
	どちらともいえない	99	44.4	28.3	19.2	6.1
	あまり感じていない	23	26.1	39.1	26.1	4.3
	まったく感じていない	5	20.0	-	40.0	20.0
市情報の満足度	十分に得られている	39	74.4	12.8	7.7	-
	十分でないが必要情報得られている	421	65.8	26.6	5.2	0.7
	どちらともいえない	198	40.4	36.9	14.1	6.6
	あまり得られていない	122	36.1	27.0	28.7	5.7
	まったく得られていない	15	6.7	20.0	20.0	46.7

(2) 「季刊むさしの」 閲読頻度 (問8)

「季刊むさしの」を「読んでいる人の合計」は36%で、比較的良好に読まれているといえる。性別の差異は少なく、年代別では高年齢層になるほど閲読率は高くなっている(表6)。

(表6)

	該当数	毎号読んでいる	ときどき読んでいる	ほとんど読んでいない	読んだことはない	読んでいる(計)
全体	833	8.4	27.5	32.4	25.5	35.9
男	291	10.0	25.1	30.9	28.2	35.1
女	515	7.2	28.5	33.8	23.9	35.7
10歳代	17	-	5.9	29.4	52.9	5.9
20歳代	61	3.3	9.8	26.2	52.5	13.1
30歳代	144	1.4	15.3	35.4	46.5	16.7
40歳代	119	4.2	18.5	43.7	31.1	22.7
50歳代	125	4.8	37.6	36.0	16.8	42.4
60歳代	158	9.5	42.4	27.8	13.9	51.9
70歳代	132	18.9	31.8	30.3	8.3	50.8
80歳以上	52	21.2	25.0	23.1	13.5	46.2

(3) 「武蔵野市議会だより」 閲読頻度 (問14)

「武蔵野市議会だより」の「読んでいる人の合計」は47%で、季刊誌以上に読まれている。これは、全戸配布であるからだろう。男女別では、多少、女性のほうが閲読率は高く、やはり高年齢層によく読まれている(表7)。

(表7)

	該当数	毎号読んでいる	ときどき読んでいる	ほとんど読んでいない	読んだことはない	読んでいる(計)
全体	833	11.4	35.5	32.2	17.0	46.9
男	291	12.0	32.3	31.3	21.0	44.3
女	515	10.7	37.3	32.6	15.7	48.0
10歳代	17	-	-	29.4	70.6	-
20歳代	61	-	14.8	32.8	50.8	14.8
30歳代	144	6.3	26.4	31.3	32.6	32.6
40歳代	119	9.2	31.9	43.7	13.4	41.2
50歳代	125	8.0	47.2	29.6	12.0	55.2
60歳代	158	16.5	42.4	31.6	7.6	58.9
70歳代	132	21.2	37.9	30.3	3.8	59.1
80歳以上	52	11.5	50.0	19.2	7.7	61.5

(4) 「むさしのシティニュース」接触状況（問21）

「むさしのシティニュース」の視聴率（見ている人の合計）は19%で、ほかの媒体よりは低いが、高年齢層で比較的良好に視聴されている。性別差は少ない（表8）。

（表8）

	該当数	よく見ている	ときどき見ている	あまり見えていない	見たことがない	見ている(計)
全体	833	1.9	16.7	20.5	57.3	18.6
男	291	2.7	16.2	18.2	58.8	18.9
女	515	1.6	16.3	21.7	57.1	17.9
10歳代	17	-	11.8	5.9	76.5	11.8
20歳代	61	1.6	6.6	9.8	78.7	8.2
30歳代	144	-	9.7	24.3	63.2	9.7
40歳代	119	1.7	16.8	20.2	59.7	18.5
50歳代	125	0.8	19.2	25.6	50.4	20.0
60歳代	158	1.9	20.3	20.3	55.1	22.2
70歳代	132	5.3	20.5	18.9	50.8	25.8
80歳以上	52	3.8	17.3	19.2	50.0	21.2

(5) 「マイシティむさしの」接触状況（問22）

「マイシティむさしの」の聴取率（聞いている人の合計）は7%でほかの媒体よりかなり低い（表9）。その中では、若年層よりは高年齢層、特に60代（13%）に比較的良好に聴取されている。

（表9）

	該当数	よく聴いている	ときどき聴いている	あまり聴いていない	聴いたことがない	聴いている(計)
全体	833	1.0	6.2	14.0	74.2	7.2
男	291	1.4	6.2	13.4	73.9	7.6
女	515	0.8	6.0	14.8	74.4	6.8
10歳代	17	-	-	5.9	88.2	-
20歳代	61	-	1.6	1.6	93.4	1.6
30歳代	144	1.4	4.2	11.1	81.3	5.6
40歳代	119	0.8	5.0	10.9	81.5	5.9
50歳代	125	0.8	6.4	20.0	67.2	7.2
60歳代	158	1.3	12.0	19.0	64.6	13.3
70歳代	132	1.5	4.5	15.2	73.5	6.1
80歳以上	52	-	5.8	17.3	57.7	5.8

(6) ホームページ閲覧頻度 (問24)

武蔵野市のホームページの閲覧率(見る人の合計)は、41%である。男性では47%、女性では38%と、男女差がある。年代別では40代以下(30代74%、40代61%、20代59%)と50代以上(50代42%、60代24%など)とでは、差異が大きい。特に女性の場合、50代が32%、60代が15%と、同じ年代の男性に比べて低い(男性50代:61%、男性60代:36%) (表10)。

武蔵野市への愛着心や市情報への満足度と、ホームページの閲覧とは、予想されるほどには特徴ある相関が見られない。

(表10)

		該当数	よく見る	ときどき見る	見たことがある	見たことはない	見る(計)
全体		833	1.6	13.6	26.1	51.9	41.2
性別	男	291	3.4	16.2	27.8	47.1	47.4
	女	515	0.4	12.4	24.9	55.0	37.7
年代別	10歳代	17	-	5.9	23.5	64.7	29.4
	20歳代	61	3.3	18.0	37.7	39.3	59.0
	30歳代	144	1.4	28.5	43.8	23.6	73.6
	40歳代	119	2.5	20.2	37.8	37.0	60.5
	50歳代	125	3.2	14.4	24.8	53.6	42.4
	60歳代	158	-	7.0	17.1	69.6	24.1
	70歳代	132	0.8	3.0	8.3	75.0	12.1
	80歳以上	52	-	1.9	9.6	61.5	11.5
性年代別	男 10歳代	7	-	-	28.6	71.4	28.6
	20歳代	17	11.8	23.5	17.6	47.1	52.9
	30歳代	53	1.9	28.3	45.3	22.6	75.5
	40歳代	41	4.9	26.8	36.6	26.8	68.3
	50歳代	43	9.3	18.6	32.6	39.5	60.5
	60歳代	66	-	10.6	25.8	59.1	36.4
	70歳代	49	2.0	4.1	8.2	75.5	14.3
	80歳以上	15	-	-	13.3	53.3	13.3
	女 10歳代	10	-	10.0	20.0	60.0	30.0
	20歳代	44	-	15.9	45.5	36.4	61.4
	30歳代	91	1.1	28.6	42.9	24.2	72.5
	40歳代	77	1.3	16.9	39.0	41.6	57.1
	50歳代	82	-	12.2	20.7	61.0	32.9
	60歳代	92	-	4.3	10.9	77.2	15.2
	70歳代	83	-	2.4	8.4	74.7	10.8
	80歳以上	36	-	2.8	8.3	66.7	11.1
市への愛着	非常に感じている	238	2.5	16.0	23.1	49.2	41.6
	感じている	438	0.9	12.6	28.3	53.7	41.8
	どちらともいえない	99	1.0	13.1	25.3	51.5	39.4
	あまり感じていない	23	4.3	13.0	21.7	56.5	39.1
	まったく感じていない	5	-	20.0	-	60.0	20.0
市情報の満足度	十分に得られている	39	5.1	17.9	23.1	46.2	46.2
	十分でないが必要情報得られている	421	1.7	16.4	21.9	53.2	39.9
	どちらともいえない	198	0.5	12.6	32.3	50.5	45.5
	あまり得られていない	122	0.8	7.4	33.6	52.5	41.8
	まったく得られていない	15	-	6.7	20.0	46.7	26.7

4 広報媒体の非接触理由

(1) 「市報むさしの」非閱讀理由（問3）

「市報むさしの」は非閱讀者がそれほど多くはない（129人）。非閱讀の理由の上位は、「忙しいから」（40%）、「魅力を感じないから」（30%）、「知らないから」（24%）である（表11）。

性別では、男性のほうが高い理由は「魅力を感じないから」（男性：33%、女性：26%）で、女性のほうが高い理由は「忙しいから」（女性45%：男性39%）、「市の行政にあまり関心がないから」（女性24%：男性18%）、「知らないから」（女性28%、男性22%）である。

（表11）

	該当数	忙しいから	ホームページで情報足りているから	魅力を感じないから	市の行政にあまり関心がないから	紙面や文章が読みづらいから	知らないから
全体	129	40.3	3.9	29.5	20.2	7.0	24.0
男	72	38.9	2.8	33.3	18.1	8.3	22.2
女	51	45.1	5.9	25.5	23.5	3.9	27.5

(2) 「季刊むさしの」非閱讀理由（問9）

「季刊むさしの」の非閱讀理由は、「季刊むさしのが配布されないから」（41%）、「季刊むさしのを知らなかった」（50%）が圧倒的に多く、配布方法と関係がある（表12）。

年代別では、「季刊むさしのが配布されないから」を一番の理由に挙げているのは、10代（71%）、20代（67%）、30代（59%）、80歳以上（63%）で、「季刊むさしのを知らなかった」を一番の理由に挙げているのは、40代（48%）、60代（47%）、70代（57%）である。

（表12）

	該当数	忙しいから	市報やホームページで情報が足りる	魅力を感じないから	市の情報にあまり関心がないから	「季刊むさしの」配布されないから	「季刊むさしの」知らなかったから
全体	482	11.4	6.6	10.0	2.9	40.9	49.6
10歳代	14	28.6	-	21.4	14.3	14.3	71.4
20歳代	48	10.4	6.3	10.4	2.1	18.8	66.7
30歳代	118	17.8	3.4	5.9	2.5	36.4	58.5
40歳代	89	10.1	9.0	10.1	2.2	48.3	40.4
50歳代	66	7.6	7.6	15.2	4.5	43.9	43.9
60歳代	66	4.5	9.1	9.1	3.0	47.0	43.9
70歳代	51	13.7	9.8	15.7	2.0	56.9	25.5
80歳以上	19	-	5.3	-	-	42.1	63.2

(3) 「市議会だより」非閱讀理由（問15）

「市議会だより」の非閱讀理由は、多い順に「市議会にあまり関心がないから」（36%）、「魅力を感じないから」（32%）、「忙しいから」（25%）、「武蔵野市議会だよりを知らない」（20%）となっている（表13）。

年代別で割合が目立つのは、「忙しいから」では10代（35%）、「魅力を感じないから」では40代（40%）と60代（48%）、「市議会にあまり関心がないから」では、10代（47%）と40代以上（40代：40%、50代：40%、60代：40%、70代：40%、80歳以上：43%）、「武蔵野市議会だよりを知らない」では、10代から30代（10代：41%、20代：31%、30代：35%）である。

(表13)

	該当数	忙しいから	市議会ホームページで情報が足りる	魅力を感じないから	市議会にあまり関心がないから	「武蔵野市議会だより」を知らない
全体	410	24.6	3.4	32.4	36.3	19.8
10歳代	17	35.3	5.9	11.8	47.1	41.2
20歳代	51	13.7	2.0	33.3	25.5	31.4
30歳代	92	26.1	2.2	21.7	29.3	34.8
40歳代	68	29.4	4.4	39.7	39.7	11.8
50歳代	52	28.8	1.9	32.7	40.4	13.5
60歳代	62	22.6	6.5	48.4	40.3	9.7
70歳代	45	26.7	2.2	35.6	40.0	6.7
80歳以上	14	-	7.1	14.3	42.9	-

(4) ホームページ情報到達度 (問25)

ホームページの情報到達度については、「必要な情報にすぐにたどりつけた」(45%)と「たどりつけたが時間がかかった」(45%)が相半ばしている(表14)。

(表14)

	該当数	必要な情報にすぐにたどりつけた	たどりつけたが、時間がかかった	ダウンロード途中で断念した	必要な情報にたどりつけなかった
全体	343	44.6	44.9	1.2	3.2
10歳代	5	100.0	-	-	-
20歳代	36	44.4	50.0	-	5.6
30歳代	106	41.5	50.9	0.9	2.8
40歳代	72	55.6	34.7	1.4	4.2
50歳代	53	52.8	39.6	1.9	-
60歳代	38	31.6	57.9	-	5.3
70歳代	16	31.3	37.5	6.3	6.3
80歳以上	6	-	33.3	-	-

「必要な情報にすぐにたどりつけた」の割合が多いのは、10代(100%)、40代(56%)、50代(53%)、「たどりつけたが時間がかかった」の割合が多いのは、20代(50%)、30代(51%)、60代(58%)、70代(38%)、80歳以上(33%)である。

5 広報媒体別の利用情報

(1) 「市報むさしの」記事別閲読頻度 (問4)

「市報むさしの」でよく読まれている記事は多い順に、「健康に関する情報」(52%)、「一面」(49%)、「ごみとりサイクル情報」(48%)、「暮らしに関する情報」(44%)、「イベント情報」(41%)、「福祉に関する情報」(41%)などである(表15)。

全体に女性のほうが男性よりも記事閲読率が高い。年代別では全般的に高齢層が多くの記事をよく読んでいるが、「イベント情報」は若年層の閲読が多く(20代:51%、30代:48%、40代:49%)、「こども(子育て)に関する情報」は30代~40代でよく読まれている(30代:47%、40代:42%)。また「講座・講習情報」「文化・スポーツに関する情報」「暮らしに関する情報」は40代によく読まれている(講座:45%、文化:43%、暮らし:50%)。

年代別の割合と比較して性年代別で目立つのは、「市政の重要施策などの特集」の男性70代(50%)、「休日の医療機関」の男性30代(42%)と女性20代(40%)、「市議会に関する情報」の男性50代(18%)である。

(表15) ※10歳代は該当数1のため表から削除

		該当数	一面	市政の重要施策	市民がまんなか	ごみとリサイクル	子ども(子育て)	福祉	健康	休日の医療機関	
全体		683	49.2	34.4	17.7	48.2	23.4	40.6	51.5	31.0	
性別	男	215	51.2	34.0	14.4	35.8	18.1	38.1	43.7	27.0	
	女	449	47.9	34.5	19.4	54.1	25.6	41.6	55.7	32.7	
年代別	20歳代	35	42.9	17.1	5.7	40.0	28.6	22.9	45.7	34.3	
	30歳代	111	41.4	21.6	9.9	32.4	46.8	20.7	36.9	34.2	
	40歳代	100	49.0	32.0	16.0	42.0	42.0	30.0	55.0	29.0	
	50歳代	113	50.4	33.6	15.9	52.2	13.3	40.7	43.4	29.2	
	60歳代	142	55.6	41.5	22.5	57.7	15.5	50.0	59.2	31.7	
	70歳代	123	49.6	42.3	22.8	52.8	8.1	52.8	59.3	28.5	
	80歳以上	40	45.0	42.5	27.5	55.0	7.5	65.0	67.5	35.0	
性年代別	男 20歳代	8	37.5	12.5	-	25.0	12.5	12.5	25.0	12.5	
	30歳代	31	51.6	25.8	3.2	25.8	35.5	22.6	29.0	41.9	
	40歳代	31	54.8	29.0	12.9	38.7	45.2	29.0	45.2	32.3	
	50歳代	34	44.1	23.5	8.8	26.5	2.9	23.5	23.5	20.6	
	60歳代	55	56.4	38.2	21.8	40.0	12.7	47.3	47.3	25.5	
	70歳代	44	52.3	50.0	18.2	40.9	9.1	59.1	65.9	20.5	
	80歳以上	11	45.5	36.4	27.3	54.5	9.1	45.5	54.5	36.4	
	女 20歳代	27	44.4	18.5	7.4	44.4	33.3	25.9	51.9	40.7	
	30歳代	80	37.5	20.0	12.5	35.0	51.3	20.0	40.0	31.3	
	40歳代	68	47.1	33.8	17.6	44.1	41.2	30.9	58.8	26.5	
	50歳代	79	53.2	38.0	19.0	63.3	17.7	48.1	51.9	32.9	
	60歳代	87	55.2	43.7	23.0	69.0	17.2	51.7	66.7	35.6	
	70歳代	79	48.1	38.0	25.3	59.5	7.6	49.4	55.7	32.9	
	80歳以上	29	44.8	44.8	27.6	55.2	6.9	72.4	72.4	34.5	
			該当数	イベント	講座・講習	文化・スポーツ	暮らし	市議会	コミュニティセンター	CIM	市民伝言板
	全体		683	41.4	37.2	34.8	43.8	11.7	27.5	6.4	22.1
性別	男	215	35.3	28.8	27.9	32.1	12.1	17.7	6.5	16.3	
	女	449	44.8	42.1	39.0	49.7	11.6	32.7	6.5	24.9	
年代別	20歳代	35	51.4	37.1	34.3	40.0	-	22.9	2.9	11.4	
	30歳代	111	47.7	31.5	33.3	36.9	7.2	20.7	2.7	4.5	
	40歳代	100	49.0	45.0	43.0	50.0	11.0	26.0	12.0	23.0	
	50歳代	113	42.5	37.2	38.9	42.5	12.4	23.9	8.0	25.7	
	60歳代	142	39.4	39.4	34.5	47.2	14.1	33.8	9.2	29.6	
	70歳代	123	33.3	35.8	30.9	41.5	15.4	31.7	3.3	25.2	
	80歳以上	40	30.0	40.0	30.0	52.5	15.0	35.0	2.5	32.5	
性年代別	男 20歳代	8	25.0	12.5	12.5	-	-	-	-	-	
	30歳代	31	35.5	16.1	16.1	22.6	9.7	9.7	3.2	3.2	
	40歳代	31	45.2	35.5	32.3	38.7	9.7	12.9	9.7	9.7	
	50歳代	34	35.3	23.5	26.5	32.4	17.6	8.8	-	17.6	
	60歳代	55	34.5	34.5	34.5	36.4	12.7	27.3	14.5	23.6	
	70歳代	44	31.8	34.1	27.3	31.8	13.6	25.0	2.3	20.5	
	80歳以上	11	36.4	27.3	36.4	45.5	9.1	18.2	9.1	27.3	
	女 20歳代	27	59.3	44.4	40.7	51.9	-	29.6	3.7	14.8	
	30歳代	80	52.5	37.5	40.0	42.5	6.3	25.0	2.5	5.0	
	40歳代	68	51.5	50.0	48.5	55.9	11.8	32.4	13.2	29.4	
	50歳代	79	45.6	43.0	44.3	46.8	10.1	30.4	11.4	29.1	
	60歳代	87	42.5	42.5	34.5	54.0	14.9	37.9	5.7	33.3	
	70歳代	79	34.2	36.7	32.9	46.8	16.5	35.4	3.8	27.8	
	80歳以上	29	27.6	44.8	27.6	55.2	17.2	41.4	-	34.5	

(2) 「季刊むさしの」記事別閲読頻度(問10)

「季刊むさしの」でよく読まれている記事は順に、「むさしのお散歩三昧」(38%)、「武蔵野百年史こぼればなし」(35%)、「武蔵野スケッチ物語」(34%)である(表16)。

全体に女性のほうが男性よりも記事閲読率が高い。男性が高いのは「武蔵野百年史こぼればなし」(40%)と「むさしの街人夢」(24%)である。

年代別の偏りは少ないが、特に数値が高いものは「武蔵野百年史こぼればなし」の70代(42%)、「武蔵野スケッチ物語」の80歳以上(46%)、「武蔵野カルチャーガイド」の30代(30%)、「むさしの街人夢」の80歳以上(33%)である。それぞれの世代に比較的好く読まれている。

(表16) ※10歳代は該当数1、20歳代の該当数8のため、それぞれ表から削除

	該当数	特集	武蔵野人	百年史	スケッチ物語	武蔵野ジャーナル	市民のW A	業務探検隊	ふれあいのページ	カルチャーガイド	お散歩三昧	街人夢
全体	299	20.1	21.1	35.1	34.1	16.7	11.4	14.7	16.7	19.4	38.8	22.1
男	102	16.7	18.6	40.2	31.4	12.7	7.8	9.8	12.7	10.8	35.3	23.5
女	184	21.7	21.2	32.1	37.0	17.9	13.6	17.4	19.0	24.5	41.3	21.2
30歳代	24	20.8	25.0	25.0	29.2	16.7	12.5	20.8	12.5	29.2	41.7	12.5
40歳代	27	22.2	22.2	22.2	22.2	18.5	14.8	18.5	22.2	25.9	37.0	14.8
50歳代	53	18.9	17.0	32.1	32.1	15.1	9.4	20.8	13.2	15.1	35.8	22.6
60歳代	82	19.5	24.4	36.6	39.0	15.9	12.2	14.6	22.0	17.1	41.5	28.0
70歳代	67	20.9	19.4	41.8	37.3	19.4	11.9	9.0	14.9	19.4	34.3	14.9
80歳以上	24	16.7	12.5	37.5	45.8	12.5	12.5	12.5	16.7	25.0	50.0	33.3

(3) ホームページ情報利用項目 (問26)

ホームページ閲覧経験者が閲覧したことのあるページで多いのは、40%以上は「届出・税・保険・年金情報」(41%)、「ごみと環境情報」(41%)、30%以上は「市役所・施設案内」(39%)、「図書館」(38%)、「講座・催し」(32%)である(表17)。

ホームページの場合は、男性のほうが女性よりも各種のページを閲覧している。

年代別では、全体的に「30代・40代の合計」が閲覧率は高い。それ以外の年代で閲覧率の高さが目立つのは「講座・催し」(10代、20代：39%、50代、60代：39%)、「健康・福祉情報」(70代、80歳以上：46%)、「くらし関連情報」(10代、20代：22%)、「むさしのマップ」(50代、60代：24%)、「市の情報」(50代、60代：29%)、「図書館」(10代、20代：36%)である。

年代別の割合と比べて性年代別で特に目立つのは、「子ども関連情報」(男性10代、20代：36%)、「くらし関連情報」(男性10代、20代：36%)、「市の情報」(男性10代、20代：46%)、「市関係団体等」(男性10代、20代：36%)である。

(表17)

		該当数	講座・催し	市役所・施設案内	緊急対応情報	申請書関連情報	健康・福祉情報	子ども関連情報	届出・税・保	ごみと環境情報	くらし関連情報	むさしのマップ	市の情報	図書館	市関係団体等	
全体		343	31.5	38.8	16.3	24.5	26.8	23.3	41.1	41.1	16.3	18.4	20.1	38.2	13.4	
性別	男	138	30.4	41.3	23.2	23.2	29.7	18.1	43.5	44.9	20.3	23.2	23.9	35.5	12.3	
	女	194	32.0	37.1	12.4	25.8	24.7	26.3	38.1	39.2	11.9	13.9	17.5	40.7	13.9	
年代別	10歳代、20歳代	41	39.0	41.5	4.9	9.8	19.5	22.0	34.1	31.7	22.0	17.1	19.5	53.7	14.6	
	30歳代、40歳代	178	28.1	39.9	20.2	26.4	26.4	36.5	45.5	48.9	13.5	15.7	18.0	42.7	13.5	
	50歳代、60歳代	91	38.5	39.6	17.6	33.0	26.4	2.2	36.3	38.5	18.7	24.2	28.6	27.5	12.1	
	70歳代、80歳代以上	22	13.6	22.7	9.1	4.5	45.5	-	27.3	13.6	4.5	9.1	4.5	22.7	13.6	
性年代別	男	10歳代、20歳代	11	54.5	45.5	9.1	9.1	54.5	36.4	27.3	36.4	36.4	27.3	45.5	54.5	36.4
		30歳代、40歳代	68	20.6	44.1	26.5	20.6	27.9	29.4	52.9	55.9	19.1	17.6	19.1	38.2	5.9
		50歳代、60歳代	50	42.0	36.0	24.0	32.0	22.0	2.0	36.0	38.0	20.0	30.0	28.0	28.0	14.0
		70歳代、80歳代以上	9	11.1	44.4	11.1	11.1	55.6	-	33.3	11.1	11.1	22.2	11.1	33.3	22.2
	女	10歳代、20歳代	30	33.3	40.0	3.3	10.0	6.7	16.7	36.7	30.0	16.7	13.3	10.0	53.3	6.7
		30歳代、40歳代	110	32.7	37.3	16.4	30.0	25.5	40.9	40.9	44.5	10.0	14.5	17.3	45.5	18.2
		50歳代、60歳代	41	34.1	43.9	9.8	34.1	31.7	2.4	36.6	39.0	17.1	17.1	29.3	26.8	9.8
		70歳代、80歳代以上	13	15.4	7.7	7.7	-	38.5	-	23.1	15.4	-	-	-	15.4	7.7

6 広報媒体別の改善要望

(1) 「市報むさしの」発行形態・内容要望 (問6)

「市報むさしの」については改善要望が多いのは、情報量増加面については「市民検診(健診)や今月の相談など、行政が行っているさまざまなサービスや相談について、もっと知らせる」(48%)、「市内のさまざまなイベントについてもっと知らせるようにする」(31%)、「市民の声や活動をもっと紙面で紹介する」(20%)で、編集面については「情報を分類・整理してもっと分かりやすくする」(29%)、「記事の並べ方を工夫してもっと見やすくする」(19%)、「特集など、テーマを掘り下げる工夫をする」(19%)などである(表18)。

改善要望は、全般的に男性のほうが高い。その中でも特に差が出ているのは、「特集など、テーマを掘り下げる工夫をする」（26%）、「もっとタイムリーに情報を提供する」（19%）、「ホームページと連携して、詳しい情報をホームページに掲載する」（18%）である。

年代別で目立つのは、「写真やイラストを増やす」（30代：16%）、「記事の並べ方を工夫してもっと見やすくする」（70代：24%）、「情報を分類・整理してもっと分かりやすくする」（34%）、「もっとタイムリーに情報を提供する」（60代：20%）、「クイズやマンガ、料理記事など親しみやすい記事も取り入れる」（20代：20%）、「ホームページと連携して、詳しい情報をホームページに掲載する」（30代：23%）、「市民検診（健診）や今月の相談など、行政が行っているさまざまなサービスや相談について、もっと知らせる」（70代：58%）、「市民の声や活動をもっと紙面で紹介する」（70代：26%）、「活字をもっと大きくする」（80歳以上：23%）である。

市報の閲読状況との特徴ある相関は見られなかった。

(表18) ※10歳代は該当数1のため表から削除

		該当数	写真やイラストを増やす	記事の並べ方を工夫し見やすくする	情報を分類して分かりやすくする	特集などテーマ掘り下げる工夫する	もっとタイムリーに情報を提供する	クイズ等親しみやすい記事取入れる	詳細情報をホームページに掲載する
全体		683	9.1	18.7	29.3	19.5	14.6	10.1	13.5
性別	男	215	9.8	21.4	28.4	25.6	19.1	7.0	17.7
	女	449	8.7	17.6	30.1	16.5	12.7	11.4	11.4
年代別	20歳代	35	2.9	20.0	22.9	14.3	8.6	20.0	14.3
	30歳代	111	16.2	15.3	31.5	12.6	16.2	13.5	22.5
	40歳代	100	10.0	20.0	25.0	19.0	16.0	11.0	10.0
	50歳代	113	6.2	18.6	31.9	23.9	14.2	6.2	18.6
	60歳代	142	5.6	19.0	29.6	23.2	19.7	7.7	10.6
	70歳代	123	8.9	24.4	34.1	20.3	10.6	8.1	8.1
80歳以上	40	12.5	7.5	20.0	15.0	10.0	12.5	5.0	
市報閲読	毎号読んでいる	451	8.0	19.5	30.8	20.0	15.1	8.4	11.5
	ときどき読んでいる	232	11.2	17.2	26.3	18.5	13.8	13.4	17.2

		該当数	市内イベントを知らせるようになる	行政のサービスをもっと知らせる	市民の声や活動をもっと紹介する	ページ数を増やす	活字をもっと大きくする	サイズを小さくし、扱いやすくする
全体		683	30.9	48.3	20.1	2.0	10.1	6.1
性別	男	215	31.6	45.1	20.5	3.7	8.8	7.4
	女	449	30.5	49.4	19.6	1.3	10.2	5.8
年代別	20歳代	35	34.3	34.3	22.9	2.9	2.9	8.6
	30歳代	111	34.2	45.9	15.3	2.7	2.7	9.0
	40歳代	100	31.0	50.0	18.0	2.0	7.0	4.0
	50歳代	113	32.7	41.6	19.5	2.7	11.5	6.2
	60歳代	142	35.2	53.5	21.8	1.4	12.7	7.0
	70歳代	123	24.4	57.7	26.0	2.4	11.4	5.7
80歳以上	40	17.5	32.5	10.0	-	22.5	2.5	
市報閲読	毎号読んでいる	451	32.4	48.1	22.2	1.8	10.0	6.2
	ときどき読んでいる	232	28.0	48.7	15.9	2.6	10.3	6.0

(2) 「季刊むさしの」発行形態・内容要望 (問12)

「季刊むさしの」への改善要望は、「配布方法をもっと工夫してほしい」（40%）に集中している（表19）。年代別で目立つのは、「活字をもっと大きくしてほしい」（70代：17%、80歳以上：17%）である。

(表19)

	該当数	配布方法をもっと工夫してほしい	活字をもっと大きくしてほしい	サイズをA4サイズにしてほしい	連載物を増やしてほしい	地域活動等を紹介する企画を増やす	市民の投稿企画を増やしてほしい
全体	833	39.7	10.4	4.7	4.4	17.2	8.0
男	291	40.5	8.2	7.6	5.8	18.2	9.3
女	515	39.6	11.5	3.3	3.5	16.7	7.2
10歳代	17	41.2	5.9	11.8	11.8	11.8	-
20歳代	61	44.3	3.3	3.3	9.8	16.4	11.5
30歳代	144	47.9	6.9	3.5	2.1	11.8	6.9
40歳代	119	45.4	5.0	5.9	3.4	15.1	2.5
50歳代	125	43.2	11.2	5.6	6.4	21.6	10.4
60歳代	158	40.5	11.4	4.4	5.1	22.2	10.1
70歳代	132	31.1	17.4	6.1	2.3	16.7	9.1
80歳以上	52	11.5	17.3	1.9	1.9	15.4	5.8

(3) 「市議会だより」発行形態・内容要望 (問18)

「市議会だより」への改善要望は、「議会で議論になったこと、議案に対する各議員の賛否などについて具体的に説明する」(43%)に集中している(表20)。

性別で男女差が目立つのは、「議会で議論になったこと、議案に対する各議員の賛否などについて具体的に説明する」(男性:50%)である。

年代別で目立つのは、「議会で議論になったこと、議案に対する各議員の賛否などについて具体的に説明する」(60代:55%)、「クイズやコラムなど親しみやすい記事も取り入れる」(10代:35%)、「活字をもっと大きくする」(80歳以上:20%)である。

(表20)

	該当数	議会で議論になったこと等説明する	親しみやすい記事も取り入れる	カラーをやめて白黒または2色刷り	もっとタイムリーに情報を提供する	記事の並べ方やタイトルを工夫する	写真やイラストの分量も増やす	記事の分量をもっと増やす	文章をもっと分かりやすくする	活字をもっと大きくする	サイズを小さく手に取りやすくする
全体	833	43.1	9.5	16.3	17.8	11.9	4.9	3.4	19.0	9.4	5.8
男	291	49.5	9.6	18.2	22.7	10.3	4.5	4.8	13.7	8.2	4.8
女	515	39.4	9.5	15.7	15.1	13.2	5.0	2.7	22.3	9.9	6.6
10歳代	17	11.8	35.3	5.9	17.6	5.9	5.9	5.9	17.6	5.9	5.9
20歳代	61	36.1	14.8	4.9	13.1	13.1	6.6	3.3	18.0	6.6	4.9
30歳代	144	34.0	16.7	22.9	21.5	15.3	9.7	1.4	16.7	6.3	9.7
40歳代	119	43.7	11.8	19.3	23.5	11.8	4.2	2.5	16.0	6.7	5.9
50歳代	125	48.0	7.2	19.2	16.0	10.4	4.0	2.4	20.0	6.4	5.6
60歳代	158	55.1	3.8	17.1	21.5	12.0	3.2	6.3	22.2	13.9	5.1
70歳代	132	45.5	3.8	15.9	11.4	13.6	0.8	3.8	20.5	9.8	3.8
80歳以上	52	28.8	7.7	3.8	9.6	5.8	7.7	3.8	21.2	19.2	5.8

(4) ホームページ発行形態・内容要望 (問27)

ホームページ閲覧者の中での改善要望が多いのは、「検索機能を強化する」(28%)、「情報を分類・整理してもっとわかりやすくする」(19%)、「もっと見やすいレイアウトにする」(17%)などの編集方法への要望と、「掲載する情報をより充実する」(19%)、「健康診断や今月の相談など行政サービスや相談を、もっと知らせる」(18%)などの情報内容への充実である(表21)。

性別で男女差が目立つのは、「検索機能を強化する」(男性:35%)である。

年代別では、60代の要望が全体的に高く、項目ごとで60代が最も高いのは、「情報を分類・整理してもっとわかりやすくする」(60代:26%)、「もっと見やすいレイアウトにする」(60代:27%)、「文章表現をもっとわかりやすくする」(60代:13%)、「もっと更新頻度を増やし、タイムリーに情報を提供する」(60代:24%)、「健康診断や今月の相談など行政サービスや相談を、もっと知らせる」(60代:29%)である。このほか他の年代では、「検索機能を強化する」(20代:36%)、「双方向性を生かして市民からの意見・要望などを共有する」(40代:17%)、「市民のさまざまなイベントについて、

もっと知らせるようにする」(20代:25%)が高い。

(表21) ※10歳代は該当数5、80歳以上は該当数6のため表から削除

	該当数	掲載する 情報をより 充実する	もっと見 やすいレイ アウトにす る	文章表現 をもっと わかりやす くする	情報を分 類してわ かりやす くする	検索機能 を強化す る	セキュリ ティを強 化する	双方向性 生かし市 民の意見 共有する	更新頻度 増やし、 タイムリ ーに提供	親しみや すいコン テンツ取 り入れる	市内イベ ントを知 らせるよ うにする	行政サー ビスなど をもっと 知らせる
全体	343	19.2	17.2	6.7	19.2	28.0	3.8	9.9	14.0	2.0	14.9	17.8
男	138	18.8	16.7	6.5	21.7	34.8	3.6	13.8	17.4	3.6	15.2	15.2
女	194	20.6	18.0	7.2	18.6	24.2	4.1	7.7	12.4	1.0	15.5	20.6
20歳代	36	16.7	13.9	5.6	19.4	36.1	2.8	11.1	11.1	5.6	25.0	25.0
30歳代	106	22.6	17.9	4.7	22.6	30.2	4.7	6.6	14.2	1.9	14.2	20.8
40歳代	72	22.2	16.7	11.1	16.7	29.2	4.2	16.7	12.5	1.4	16.7	15.3
50歳代	53	15.1	17.0	3.8	22.6	34.0	-	7.5	17.0	1.9	17.0	9.4
60歳代	38	26.3	26.3	13.2	21.1	23.7	7.9	13.2	23.7	-	10.5	28.9
70歳代	16	12.5	18.8	6.3	12.5	6.3	-	12.5	12.5	6.3	6.3	12.5

7 媒体別の情報ニーズ

(1) 「市報むさしの」情報ニーズ(問5)

情報ニーズは、「保健・医療」(75%)が圧倒的に高い。そのほかは「子育て」(20%)、「市内施設の開館日・空き状況等」(16%)などである(表22)。

市報でよく読まれている記事は、「健康に関する情報」「ごみとリサイクル情報」「暮らしに関する情報」「イベント情報」「福祉に関する情報」であるため、「保健・医療」はよく読まれているし、ニーズも高いということになる。また、「福祉」「文化・スポーツ(イベント情報)」「ごみ・リサイクル」「市の魅力・おすすめスポット(イベント情報)」は、よく読まれている記事ではあるが情報の充実を期待していないことから、情報は十分であると考えられる。

年代別で特に高いものは、「保健・医療」(60代:86%、70代:84%)、「税金」(20代:14%)、「催し物・講座の情報」(20代:17%、30代:14%)、「子育て」(20代:26%、30代:52%、40代:36%)、「市内施設の開館日・空き状況等」(40代:28%)、「市議会」(70代:18%)である。

(表22) ※10歳代は該当数1のため表から削除

	該当数	保健・医療	税金	福祉	防犯・防災	保険・年金	催し物・講 座の情報	文化・ス ポーツ
全体	683	75.3	5.6	3.4	4.0	0.7	5.7	0.6
20歳代	35	54.3	14.3	2.9	2.9	2.9	17.1	2.9
30歳代	111	64.9	8.1	1.8	4.5	-	13.5	0.9
40歳代	100	72.0	3.0	4.0	7.0	1.0	8.0	-
50歳代	113	69.9	8.0	3.5	4.4	0.9	5.3	-
60歳代	142	85.9	3.5	3.5	2.8	-	0.7	1.4
70歳代	123	83.7	4.1	3.3	2.4	0.8	1.6	-
80歳以上	40	80.0	2.5	7.5	-	2.5	2.5	-

	該当数	ごみ・リサ イクル	市の魅力・ おすすめス ポット	市の財政 状況	子育て	市内施設 の開館日・ 空き状況等	市議会
全体	683	0.7	0.9	-	19.9	16.0	10.8
20歳代	35	-	2.9	-	25.7	20.0	-
30歳代	111	0.9	0.9	-	52.3	21.6	5.4
40歳代	100	3.0	1.0	-	36.0	28.0	7.0
50歳代	113	0.9	1.8	-	7.1	10.6	11.5
60歳代	142	-	-	-	8.5	9.2	14.8
70歳代	123	-	-	-	5.7	15.4	17.9
80歳以上	40	-	-	-	-	10.0	7.5

(2) 「季刊むさしの」情報ニーズ (問11)

「季刊むさしの」の情報ニーズは、順に「市の魅力・おすすめスポット」(44%)、「保健・医療」(42%)、「催し物・講座の情報」(33%)、「文化・スポーツ」(32%)、「福祉」(30%)となっている(表23)。

市報と同様に「保健・医療」の情報ニーズは高いが、そのほかの情報ニーズは市報とは異なる。

全般的に、女性と70代からの情報ニーズが高い。それ以外で目立つのは、「催し物・講座の情報」(30代:38%)、「市の魅力・おすすめスポット」(10代:65%、20代:53%)、「子育て」(30代:33%)、「市内施設の閉館日・空き状況等」(10代:24%)である。

「市の魅力・おすすめスポット(44%)」を除くと、ほかは「保健医療、催し・講座、文化スポーツ、福祉」など、市報記事内容とさほど差異はない。「市の魅力」に関しては若年層からが高い。

(表23)

	該当数	保健・医療	税金	福祉	防犯・防災	保険・年金	催し物・講座の情報	文化・スポーツ
全体	833	41.8	25.3	30.1	29.8	25.5	32.7	31.5
男	291	42.3	29.9	27.1	28.5	26.8	27.8	28.5
女	515	41.4	22.3	32.2	30.3	24.1	35.3	32.6
10歳代	17	11.8	5.9	17.6	35.3	11.8	17.6	35.3
20歳代	61	41.0	31.1	11.5	13.1	24.6	31.1	23.0
30歳代	144	41.7	21.5	16.0	28.5	18.1	37.5	34.7
40歳代	119	37.8	24.4	28.6	31.9	24.4	33.6	34.5
50歳代	125	32.0	20.8	30.4	23.2	22.4	29.6	24.8
60歳代	158	41.8	25.3	40.5	32.9	27.8	31.6	32.3
70歳代	132	59.8	35.6	43.9	37.9	32.6	35.6	38.6
80歳以上	52	36.5	17.3	34.6	28.8	28.8	25.0	13.5

	該当数	ごみ・リサイクル	市の魅力・おすすめスポット	市の財政状況	子育て	市内施設の閉館日・空き状況等	市議会
全体	833	24.2	43.7	14.3	13.0	9.2	6.5
男	291	22.3	40.2	15.5	9.6	8.6	7.9
女	515	24.5	45.8	13.0	15.0	9.7	5.4
10歳代	17	17.6	64.7	5.9	11.8	23.5	-
20歳代	61	27.9	52.5	14.8	21.3	11.5	3.3
30歳代	144	27.8	47.9	11.8	33.3	13.2	6.3
40歳代	119	21.0	47.1	14.3	20.2	9.2	8.4
50歳代	125	18.4	41.6	11.2	4.0	9.6	4.8
60歳代	158	22.8	40.5	18.4	6.3	5.1	8.9
70歳代	132	28.8	40.2	15.9	2.3	8.3	6.8
80歳以上	52	17.3	30.8	7.7	-	5.8	1.9

(3) 「市議会だより」情報ニーズ (問17)

「市議会だより」の情報ニーズは、「市会議員がどのような活動を行っているか知りたい」(50%)が一番多く、「武蔵野市議会でのどのような議論が行われているかを知りたい」(48%)、「武蔵野市議会でのどのような議決がなされたのかを知りたい」(38%)と続く(表24)。

性別で目立つのは、「武蔵野市議会でのどのような議論が行われているかを知りたい」(男性:54%)である。

年代別で目立つのは、「武蔵野市議会の仕組みについて知りたい」(10代:17%)、「武蔵野市議会でのどのような議論が行われているかを知りたい」(30代:56%)、「武蔵野市議会でのどのような議決がなされたのかを知りたい」(30代:49%)、「市会議員がどのような活動を行っているか知りたい」(60

代：59%) である。

(表24)

	該当数	仕組みについて知りたい	どんな議論行われているか知りたい	どんな議決がなされたかを知りたい	どんな活動を行っているか知りたい
全体	833	13.3	47.7	37.5	50.2
男	291	13.7	54.0	34.0	52.2
女	515	13.8	44.9	39.8	49.9
10歳代	17	17.6	29.4	29.4	23.5
20歳代	61	13.1	47.5	21.3	49.2
30歳代	144	15.3	56.3	49.3	49.3
40歳代	119	13.4	50.4	42.0	47.9
50歳代	125	11.2	50.4	42.4	49.6
60歳代	158	13.3	53.8	39.2	58.9
70歳代	132	15.9	37.9	28.0	53.0
80歳以上	52	11.5	28.8	25.0	42.3

(4) ホームページの情報ニーズ (問28)

ホームページの情報ニーズは、順に「保健・医療」(35%)、「催し物・講座の情報」(30%)、「ごみ・リサイクル」(27%)、「市の魅力・おすすめスポット」(25%)となっている(表25)。

「保健・医療」は、「市報むさしの」(情報ニーズ1位)、「季刊むさしの」(情報ニーズ2位)でもあることから、市民の最も関心の高い項目であることが分かる。

また、閲覧経験の上位は「届出・税・保険・年金情報」「ごみと環境情報」「市役所・施設案内」「図書館」「講座・催し」であり、それと比較すると、「税金」(22%)、「催し物・講座の情報」(30%)、「ごみ・リサイクル」(27%)、「市の魅力・おすすめスポット」(25%)など、閲覧経験と情報ニーズが相関していることが分かる。

性別で目立つのは、「税金」(男性：27%)、「市の魅力・おすすめスポット」(女性：29%)である。

年代別では、10代では、「文化・スポーツ」(59%)、「市の魅力・おすすめスポット」(47%)、「市内施設の開館日・空き状況等」(29%)が高い。20代では、「保健・医療」(44%)、「催し物・講座の情報」(51%)、「市内施設の開館日・空き状況等」(30%)が高い。30代では、「ごみ・リサイクル」(39%)、「子育て」(31%)が高い。40代では、「税金」(29%)、「防犯・防災」(25%)が高い。60代では、「福祉」(33%)、「保険・年金」(27%)が高い。

(表25)

	該当数	保健・医療	税金	福祉	防犯・防災	保険・年金	催し物・講座の情報	文化・スポーツ
全体	833	35.2	22.0	23.0	20.0	20.6	30.0	21.4
男	291	37.1	27.1	23.7	19.2	24.1	28.5	24.4
女	515	35.5	20.0	23.9	21.6	19.6	32.2	20.4
10歳代	17	5.9	5.9	5.9	5.9	11.8	47.1	58.8
20歳代	61	44.3	23.0	13.1	13.1	18.0	50.8	32.8
30歳代	144	32.6	27.1	15.3	21.5	18.8	40.3	24.3
40歳代	119	43.7	29.4	26.9	25.2	23.5	33.6	32.8
50歳代	125	40.0	28.0	27.2	20.0	22.4	27.2	16.8
60歳代	158	39.2	21.5	32.9	24.1	27.2	27.8	19.6
70歳代	132	30.3	14.4	23.5	20.5	17.4	22.0	15.9
80歳以上	52	25.0	9.6	23.1	13.5	17.3	11.5	-
市報	683	75.3	5.6	3.4	4.0	0.7	5.7	0.6
季刊誌	833	41.8	25.3	30.1	29.8	25.5	32.7	31.5

	該当数	ごみ・リサイクル	市の魅力・おすすめスポット	市の財政状況	子育て	市内施設の開館日・空き状況等	市議会
全体	833	27.4	24.8	9.2	10.9	14.3	4.4
男	291	25.4	20.3	9.6	7.6	11.0	5.8
女	515	29.9	28.5	9.3	13.4	16.7	3.9
10歳代	17	17.6	47.1	5.9	-	29.4	5.9
20歳代	61	32.8	44.3	9.8	19.7	29.5	4.9
30歳代	144	38.9	34.0	6.9	31.3	20.1	6.3
40歳代	119	34.5	28.6	11.8	21.8	22.7	6.7
50歳代	125	29.6	24.0	9.6	1.6	7.2	4.0
60歳代	158	24.7	22.8	10.8	1.9	12.7	4.4
70歳代	132	18.2	14.4	11.4	2.3	6.8	3.0
80歳以上	52	15.4	5.8	1.9	-	1.9	-
市報	683	0.7	0.9	-	19.9	16.0	10.8
季刊誌	833	24.2	43.7	14.3	13.0	9.2	6.5

8 武蔵野市への好感度と情報満足度

(1) 武蔵野市への好感度 (問32)

「武蔵野市を誇りに思うか」について、「非常に感じている、感じている」を合わせると81.2%である。男女とも各年齢層を通して、大半の市民が武蔵野市に愛着を持っており、否定的な意見はごく少数である(表26)。

(表26)

	該当数	非常に感じている	感じている	どちらともいえない	あまり感じていない	まったく感じていない
全体	833	28.6	52.6	11.9	2.8	0.6
男	291	30.2	54.6	11.0	2.4	1.7
女	515	29.1	54.0	12.8	3.1	-
10歳代	17	5.9	76.5	11.8	5.9	-
20歳代	61	26.2	52.5	16.4	3.3	1.6
30歳代	144	29.2	47.9	18.8	3.5	0.7
40歳代	119	26.1	59.7	13.4	0.8	-
50歳代	125	20.0	61.6	11.2	4.0	1.6
60歳代	158	29.1	53.8	12.7	3.8	0.6
70歳代	132	40.2	52.3	4.5	2.3	-
80歳以上	52	46.2	40.4	7.7	-	-

(2) 市の情報満足度 (問33)

市政情報については、「十分ではないが必要な情報が得られている」(51%)というのが代表的な回答である(表27)。性別での差異は見られない。年代別だと、高齢層ほど満足度は高く(70代:72%、80代:77%)、若年層ほど満足度は低い(10代:53%、20代:36%)。

(表27)

	該当数	十分に得られている	十分でないが必要な情報が得られている	どちらともいえない	あまり得られていない	まったく得られていない	得られている(計)	得られていない(計)
全体	833	4.7	50.5	23.8	14.6	1.8	55.2	16.4
男	291	3.4	48.1	29.9	14.1	3.1	51.5	17.2
女	515	5.4	54.4	21.6	15.7	1.2	59.8	16.9
10歳代	17	-	23.5	23.5	29.4	23.5	23.5	52.9
20歳代	61	3.3	27.9	32.8	32.8	3.3	31.1	36.1
30歳代	144	5.6	38.9	32.6	21.5	1.4	44.4	22.9
40歳代	119	3.4	58.0	22.7	13.4	1.7	61.3	15.1
50歳代	125	3.2	52.8	25.6	12.8	0.8	56.0	13.6
60歳代	158	2.5	56.3	24.1	13.9	1.9	58.9	15.8
70歳代	132	9.1	63.6	19.7	6.1	0.8	72.7	6.8
80歳以上	52	7.7	69.2	7.7	7.7	-	76.9	7.7

VI 属性別クロス結果分析（性別、世代別以外）

榎並 利博 委員

1 属性別に見た各設問に対する分析の視点

ここでは、「子どもの有無」「職業」「通勤通学先」「居住年数」「居住地域」の五つの属性別に各設問に対する調査データを対象とし、特徴的な数値が現れたものについて分析を行った結果について述べる。

なお、この五つの属性については、ほかの属性との関連性が強く出ているものがあり、分析に当たってはそれぞれ下記の点に留意しながら数値を解釈していくこととした。

（1）子どもの有無と他の属性との関連性（問35、問36、問37）

「子ども無し→就学前乳幼児→小中学生→高校大学生→学校卒業→その他」の順番はそのまま年齢層（世代の層）に対応している。つまり、子ども有無の属性は年齢別の特徴が出現しやすい。また「子ども無し」と「就学前乳幼児」の中心は30代が占めている（表1）。

「就学前乳幼児」の職業は、「正社員」と「家事専業」が中心となっており、職業の特徴が出現しやすいという傾向がある。

（表1）

		該当数	子どもは いない	小学校入 学前の乳 ・幼児	小・中 学 生	高校生・ 大学生	学校卒業 ・就職・ 結婚など	その他	無回答	回答計
全体		833	30.7	9.5	8.6	9.6	38.3	5.3	4.8	106.8
年代別	10歳代	17	76.5	-	-	17.6	-	-	5.9	100.0
	20歳代	61	78.7	14.8	-	4.9	1.6	-	-	100.0
	30歳代	144	55.6	36.1	10.4	0.7	0.7	0.7	0.7	104.9
	40歳代	119	31.9	14.3	42.9	22.7	5.0	0.8	-	117.6
	50歳代	125	24.8	-	2.4	29.6	52.0	2.4	0.8	112.0
	60歳代	158	13.3	0.6	1.9	5.7	78.5	5.1	0.6	105.7
	70歳代	132	12.9	-	-	-	72.7	12.1	3.8	101.5
	80歳以上	52	15.4	-	-	-	50.0	28.8	11.5	105.8
職業別	自営業・自由業	76	34.2	6.6	11.8	9.2	34.2	2.6	6.6	105.3
	正社員、正職員	221	45.2	14.9	10.0	10.0	21.7	1.8	3.6	107.2
	契約社員、派遣社員	41	48.8	4.9	9.8	12.2	24.4	2.4	4.9	107.3
	アルバイト、パート	79	35.4	3.8	15.2	20.3	29.1	3.8	5.1	112.7
	学生	35	68.6	5.7	2.9	17.1	2.9	-	5.7	102.9
	家事専業	201	10.0	16.4	10.9	8.5	51.7	6.5	3.0	107.0
	無職	159	21.4	-	1.3	4.4	62.3	10.7	5.7	105.7
	その他	12	25.0	8.3	-	-	41.7	25.0	-	100.0

（2）職業と他の属性との関連性（問34、問35、問37）

パート・アルバイトの約9割、家事専業の約10割が女性であること。つまり、性別の特徴が出現しやすい傾向がある（表2）。

（表2）

	該当数	男	女
全体	833	34.9	61.8
自営業・自由業	76	47.4	50.0
正社員、正職員	221	58.4	38.5
契約社員、派遣社員	41	31.7	63.4
アルバイト、パート	79	8.9	87.3
学生	35	45.7	51.4
家事専業	201	0.5	96.5
無職	159	51.6	46.5

学生はほとんどが10～20代、無職はほとんどが60歳代以上、アルバイト・パートは40代が中心、契約・派遣社員は30代が中心。つまり、年代別の特徴が出現しやすいという傾向がある（表3）。

（表3）

	該当数	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
全体	833	2.0	7.3	17.3	14.3	15.0	19.0	15.8	6.2
自営業・自由業	76	-	2.6	19.7	14.5	18.4	26.3	13.2	2.6
正社員、正職員	221	-	13.1	27.6	21.7	23.1	7.7	3.6	-
契約社員、派遣社員	41	-	4.9	34.1	17.1	17.1	19.5	2.4	-
アルバイト、パート	79	-	8.9	19.0	27.8	20.3	20.3	-	-
学生	35	48.6	37.1	8.6	2.9	-	-	-	-
家事専業	201	-	3.5	16.4	11.9	15.9	22.4	22.9	5.0
無職	159	-	-	1.3	3.1	2.5	30.2	39.0	22.0

学生の7割は「子ども無し」で、家事専業と無職の半数以上が「学校卒業」である（表1）。つまり、「子ども有無」の特徴が出現しやすいという傾向がある。

（3）勤通学先と他の属性との関連性（問37、問38）

「市内」は自営業やアルバイト・パートが多く、「市外」は正社員が多い。つまり、職業の特徴が出現しやすいという傾向がある（表4）。

（表4）

	該当数	自営業・自由業	正社員、正職員	契約社員、派遣社員	アルバイト、パート	学生	家事専業	無職
武蔵野市内	140	31.4	25.0	9.3	30.7	3.6	-	-
市外	302	9.3	60.3	9.3	11.3	9.9	-	-

（4）居住年数と他の属性との関連性（問35、問39）

20年以上は60代以上に偏っており、年代別の特徴が出現しやすい（表5）。

（表5）

	該当数	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
全体	833	2.0	7.3	17.3	14.3	15.0	19.0	15.8	6.2
1年未満	22	9.1	27.3	31.8	13.6	9.1	-	4.5	4.5
1年～5年未満	134	5.2	17.2	44.0	14.9	7.5	7.5	2.2	0.7
5年～10年未満	99	1.0	8.1	24.2	19.2	20.2	18.2	4.0	3.0
10年～15年未満	83	2.4	4.8	18.1	28.9	18.1	12.0	7.2	4.8
15年～20年未満	52	5.8	5.8	9.6	30.8	15.4	11.5	9.6	5.8
20年以上	349	-	0.9	5.2	6.9	15.2	28.4	30.1	10.9
生まれてからずっと	77	2.6	16.9	20.8	15.6	19.5	13.0	9.1	-

(5) 居住地域と他の属性との関連性 (問37、問40)

御殿山は学生が多く、八幡町は無職が多いという特徴が見られ、職業や年齢の特徴が出現しやすい(表6)。

(表6)

	該当数	自営業・自由業	正社員、正職員	契約社員、派遣社員	アルバイト、パート	学生	家事専業	無職
全体	833	9.1	26.5	4.9	9.5	4.2	24.1	19.1
吉祥寺東町	75	8.0	26.7	4.0	4.0	2.7	32.0	20.0
吉祥寺南町	87	13.8	21.8	5.7	9.2	4.6	24.1	19.5
御殿山	24	8.3	25.0	-	12.5	12.5	16.7	25.0
吉祥寺本町	68	16.2	25.0	1.5	2.9	5.9	25.0	16.2
吉祥寺北町	95	11.6	28.4	3.2	8.4	6.3	26.3	14.7
中町	78	10.3	29.5	3.8	12.8	7.7	20.5	15.4
西久保	61	4.9	24.6	8.2	8.2	3.3	36.1	14.8
緑町	58	6.9	34.5	3.4	13.8	-	31.0	10.3
八幡町	19	5.3	15.8	5.3	15.8	-	15.8	42.1
関前	51	2.0	29.4	3.9	15.7	2.0	9.8	31.4
境	81	9.9	18.5	7.4	12.3	3.7	22.2	23.5
境南町	83	4.8	33.7	9.6	7.2	3.6	19.3	19.3
桜堤	38	7.9	23.7	2.6	10.5	2.6	31.6	18.4

2 設問ごとの分析結果

設問ごとに特徴的な数値が出現しており、ここでは設問ごとに得られた知見について整理した結果を示す。

(1) 広報媒体接触 (問1)

「武蔵野市の情報を何から入手していますか」という設問に対する結果は以下の通り(表7)。

① 子ども無し

全般的に情報入手意欲が低い。「家族友人との会話」も最も少ない。

② 就学前乳幼児

「市報」の情報入手は最も高い数値を示すものの、「季刊誌」や「市議会報」は最も低い数値を示している。

③ 学生

「市報」と「市議会報」の情報入手は最も低い数値を示している。

④ 無職

「季刊誌」と「市議会報」の情報入手は最も高い数値を示している。

⑤ 居住地 御殿山

ホームページやインターネットの数値が突出しており、逆に「季刊誌」に対しては無関心である。

⑥ 居住地 緑町

公共施設の掲示板が重要な地位を占める(26%)。

⑦ 居住地 八幡町

FM広報番組が重要な地位を占める(26%)。

(表7)

	該当数	「市報むさしの」	季刊誌「季刊むさしの」	「武蔵野市議会だより」	市勢要覧	武蔵野市ホームページ	ケーブルテレビ広報番組	むさしのFM広報番組	公共施設等に置いてある市政チラシ	公共施設に設置された掲示板
全体	833	82.4	17.4	28.8	2.8	13.7	9.4	3.0	12.5	10.8
問36[子どもの有無・状況]										
子どもはいない	256	66.4	9.8	16.0	0.4	15.2	10.2	1.2	7.4	6.6
小学校入学前の乳・幼児	79	96.2	6.3	13.9	1.3	34.2	6.3	3.8	13.9	12.7
小・中学生	72	91.7	13.9	29.2	2.8	19.4	5.6	5.6	13.9	20.8
高校生・大学生	80	83.8	15.0	21.3	5.0	16.3	7.5	5.0	8.8	6.3
学校卒業・就職・結婚など	319	92.2	24.1	42.6	4.7	7.2	9.7	4.1	17.6	13.5
問37[職業]										
自営業・自由業	76	88.2	23.7	31.6	3.9	13.2	10.5	2.6	11.8	17.1
正社員、正職員	221	74.2	10.9	23.1	1.8	24.4	12.2	1.8	5.0	5.9
契約社員、派遣社員	41	85.4	17.1	31.7	-	14.6	7.3	2.4	17.1	9.8
アルバイト、パート	79	87.3	12.7	29.1	-	11.4	7.6	1.3	12.7	15.2
学生	35	40.0	14.3	8.6	2.9	14.3	5.7	-	2.9	5.7
家事専業	201	93.0	17.9	29.9	4.0	9.5	9.5	4.5	17.4	15.9
無職	159	86.2	25.8	39.0	3.8	5.7	8.2	5.0	17.6	7.5
問39[通算居住年数]										
1年未満	22	54.5	13.6	4.5	-	31.8	9.1	-	4.5	9.1
1年～5年未満	134	74.6	12.7	17.9	-	18.7	3.0	3.7	9.0	10.4
5年～10年未満	99	82.8	14.1	25.3	5.1	15.2	12.1	2.0	12.1	12.1
10年～15年未満	83	85.5	12.0	25.3	1.2	20.5	8.4	2.4	10.8	7.2
15年～20年未満	52	82.7	9.6	30.8	-	5.8	11.5	1.9	13.5	5.8
20年以上	349	88.5	23.5	37.2	4.0	9.2	9.7	3.4	16.3	12.6
生まれてからずっと	77	72.7	13.0	22.1	2.6	16.9	16.9	3.9	7.8	11.7
問40[居住区域]										
吉祥寺東町	75	84.0	17.3	25.3	4.0	10.7	12.0	1.3	10.7	12.0
吉祥寺南町	87	78.2	19.5	26.4	5.7	6.9	9.2	-	10.3	11.5
御殿山	24	75.0	4.2	29.2	-	29.2	8.3	-	8.3	8.3
吉祥寺本町	68	82.4	13.2	19.1	2.9	23.5	10.3	1.5	16.2	11.8
吉祥寺北町	95	80.0	18.9	28.4	2.1	11.6	10.5	5.3	9.5	7.4
中町	78	84.6	11.5	25.6	2.6	10.3	9.0	2.6	12.8	11.5
西久保	61	83.6	21.3	27.9	3.3	14.8	9.8	3.3	16.4	13.1
緑町	58	86.2	12.1	24.1	-	19.0	6.9	6.9	17.2	25.9
八幡町	19	84.2	15.8	42.1	-	10.5	5.3	26.3	5.3	5.3
関前	51	80.4	19.6	33.3	2.0	11.8	11.8	5.9	17.6	3.9
境	81	81.5	25.9	34.6	3.7	9.9	8.6	1.2	14.8	13.6
境南町	83	88.0	14.5	32.5	1.2	12.0	6.0	-	9.6	4.8
桜堤	38	86.8	23.7	42.1	2.6	23.7	13.2	2.6	13.2	7.9

	該当数	市への問合せ(電話、窓口など)	公聴会、説明会	フリーペーパー(タウン誌など)	新聞記事	雑誌記事	テレビ・ラジオのニュースなど	インターネット	コミュニティセンター	家族、友人、知人の会話
全体	833	10.9	0.6	12.0	29.1	4.6	9.7	7.7	9.1	28.9
問36[子どもの有無・状況]										
子どもはいない	256	7.4	0.4	14.1	19.9	4.3	7.4	11.7	3.5	19.9
小学校入学前の乳・幼児	79	8.9	-	16.5	16.5	5.1	6.3	16.5	5.1	32.9
小・中学生	72	4.2	1.4	18.1	23.6	8.3	4.2	8.3	12.5	30.6
高校生・大学生	80	5.0	-	18.8	41.3	3.8	6.3	11.3	10.0	30.0
学校卒業・就職・結婚など	319	15.7	0.9	8.2	40.4	4.7	15.4	2.8	14.7	33.9
問37[職業]										
自営業・自由業	76	9.2	1.3	13.2	34.2	5.3	11.8	14.5	11.8	23.7
正社員、正職員	221	6.8	-	11.8	21.3	4.1	5.0	12.7	1.8	23.5
契約社員、派遣社員	41	9.8	-	22.0	39.0	7.3	4.9	7.3	14.6	29.3
アルバイト、パート	79	8.9	-	16.5	31.6	5.1	6.3	6.3	10.1	25.3
学生	35	2.9	2.9	5.7	20.0	2.9	5.7	14.3	5.7	31.4
家事専業	201	14.4	1.0	17.4	31.3	6.0	13.4	5.0	13.9	40.3
無職	159	14.5	0.6	3.1	33.3	2.5	13.8	1.3	11.9	25.8
問39[通算居住年数]										
1年未満	22	13.6	-	18.2	4.5	9.1	4.5	9.1	9.1	22.7
1年～5年未満	134	6.0	0.7	22.4	16.4	5.2	7.5	16.4	2.2	26.9
5年～10年未満	99	6.1	1.0	16.2	27.3	4.0	9.1	9.1	7.1	31.3
10年～15年未満	83	9.6	-	19.3	26.5	4.8	8.4	7.2	4.8	16.9
15年～20年未満	52	5.8	-	11.5	38.5	5.8	9.6	3.8	11.5	26.9
20年以上	349	15.8	0.9	6.6	37.2	4.3	13.2	5.2	14.0	33.2
生まれてからずっと	77	7.8	-	5.2	19.5	2.6	3.9	5.2	6.5	31.2
問40[居住区域]										
吉祥寺東町	75	12.0	-	13.3	30.7	4.0	9.3	9.3	9.3	32.0
吉祥寺南町	87	13.8	-	12.6	33.3	9.2	11.5	4.6	9.2	33.3
御殿山	24	12.5	-	8.3	33.3	-	4.2	33.3	8.3	25.0
吉祥寺本町	68	10.3	-	8.8	17.6	1.5	10.3	11.8	8.8	26.5
吉祥寺北町	95	12.6	1.1	13.7	24.2	6.3	8.4	7.4	7.4	30.5
中町	78	9.0	1.3	16.7	41.0	6.4	12.8	5.1	11.5	28.2
西久保	61	13.1	1.6	16.4	31.1	4.9	6.6	11.5	11.5	27.9
緑町	58	6.9	-	17.2	31.0	5.2	10.3	5.2	10.3	34.5
八幡町	19	-	-	5.3	26.3	-	15.8	5.3	10.5	21.1
関前	51	7.8	2.0	9.8	23.5	7.8	7.8	5.9	15.7	29.4
境	81	7.4	-	11.1	22.2	2.5	11.1	4.9	4.9	25.9
境南町	83	15.7	1.2	10.8	33.7	1.2	10.8	6.0	9.6	34.9
桜堤	38	10.5	-	2.6	23.7	2.6	7.9	5.3	5.3	13.2

(2) 広報紙閲覧頻度 (問2)

「ふだんどのくらい「市報むさしの」を読んでいますか」という設問に対する結果は以下の通り (表8)。

① 子ども無し

「読まない」が3割を占めている。

② 学生

「読まない」が7割を占めている。

③ 居住年数

1年未満は55%しか読まないが、居住年数が増えるにつれて読む割合が増えている。

(表8)

	該当数	毎号読んでいる	ときどき読んでいる	ほとんど読んでいない	読んだことはない	読んでいる(計)	読んでいない(計)
全体	833	54.1	27.9	11.5	4.0	82.0	15.5
問36[子どもの有無・状況]							
子どもはいない	256	35.5	31.3	21.1	9.4	66.8	30.5
小学校入学前の乳・幼児	79	70.9	20.3	5.1	1.3	91.1	6.3
小・中学生	72	70.8	20.8	8.3	-	91.7	8.3
高校生・大学生	80	46.3	36.3	13.8	3.8	82.5	17.5
学校卒業・就職・結婚など	319	65.2	27.3	5.0	0.6	92.5	5.6
問37[職業]							
自営業・自由業	76	51.3	38.2	6.6	2.6	89.5	9.2
正社員、正職員	221	37.6	33.5	20.4	6.3	71.0	26.7
契約社員、派遣社員	41	46.3	29.3	19.5	2.4	75.6	22.0
アルバイト、パート	79	67.1	22.8	5.1	3.8	89.9	8.9
学生	35	2.9	28.6	42.9	25.7	31.4	68.6
家事専業	201	71.6	23.4	3.0	0.5	95.0	3.5
無職	159	63.5	24.5	6.9	1.3	88.1	8.2
問39[通算居住年数]							
1年未満	22	40.9	13.6	27.3	9.1	54.5	36.4
1年～5年未満	134	49.3	24.6	17.9	7.5	73.9	25.4
5年～10年未満	99	51.5	32.3	12.1	2.0	83.8	14.1
10年～15年未満	83	48.2	34.9	10.8	2.4	83.1	13.3
15年～20年未満	52	46.2	38.5	9.6	3.8	84.6	13.5
20年以上	349	64.5	25.2	5.2	2.6	89.7	7.7
生まれてからずっと	77	35.1	29.9	26.0	6.5	64.9	32.5

(3) 広報紙非接触理由 (問3)

「「市報むさしの」を読まない理由は何ですか」という設問に対する結果は以下の通り (表9)。

① 最も多いサンプル

全項目の中で最も多いサンプルは「子ども無し」(78サンプル)であり、理由は「忙しい、知らない、魅力ない、関心ない」というもの。

② 読まない人のプロフィール

それぞれの項目で最も多いサンプルの傾向から、読まない人の標準的なプロフィールを考えると、市外に通勤通学している男性正社員で、子どもはおらず5年未満の居住経験ということになる。

(表9)

	該当数	忙しいから	ホームページで情報足りているから	魅力を感じないから	市の行政にあまり関心がないから	紙面や文章が読みづらいから	知らないから
全体	129	40.3	3.9	29.5	20.2	7.0	24.0
問36[子どもの有無・状況]							
子どもはいない	78	42.3	3.8	25.6	25.6	6.4	28.2
小学校入学前の乳・幼児	5	60.0	-	20.0	20.0	40.0	-
小・中学生	6	33.3	-	33.3	-	-	16.7
高校生・大学生	14	42.9	14.3	42.9	-	-	35.7
学校卒業・就職・結婚など	18	38.9	5.6	44.4	5.6	5.6	5.6
問37[職業]							
自営業・自由業	7	42.9	14.3	57.1	14.3	-	14.3
正社員、正職員	59	45.8	1.7	28.8	22.0	6.8	18.6
契約社員、派遣社員	9	44.4	-	22.2	11.1	11.1	33.3
アルバイト、パート	7	14.3	14.3	14.3	14.3	-	57.1
学生	24	50.0	4.2	20.8	20.8	-	41.7
家事専業	7	28.6	-	14.3	14.3	28.6	14.3
無職	13	15.4	7.7	46.2	30.8	15.4	7.7
問38[通勤・通学先]							
武蔵野市内	16	50.0	18.8	37.5	25.0	-	25.0
市外	89	42.7	1.1	25.8	19.1	5.6	28.1
問39[通算居住年数]							
1年未満	8	37.5	12.5	-	12.5	12.5	37.5
1年～5年未満	34	41.2	2.9	23.5	26.5	2.9	29.4
5年～10年未満	14	35.7	-	42.9	14.3	-	14.3
10年～15年未満	11	18.2	9.1	27.3	9.1	18.2	54.5
15年～20年未満	7	42.9	-	85.7	14.3	14.3	28.6
20年以上	27	33.3	-	29.6	14.8	7.4	14.8
生まれてからずっと	25	56.0	4.0	24.0	32.0	8.0	16.0

(4) 広報紙記事別閲覧頻度 (問4)

「市報むさしの」の以下の記事について、それぞれどの程度読んでいますか」という設問に対する結果は以下の通り。なお、この設問はマトリックスで設計されているため、項目ごとの表は省略し、特徴のある結果だけを記述する。

① 一面 (表紙のページ)

「学生」はあまり読んでいない。

② 市政の重要施策などの特集

「就学前乳幼児」「学生」「居住1年未満」はあまり読んでいない。

③ 市民がまんなか(市長コラム)

「就学前乳幼児」「学生」「居住1年未満」はほとんど読んでいない。最も読んでいる層は「市内通勤通学者」である。

④ ごみとリサイクル情報

「就学前乳幼児」「学生」「居住1年未満」はあまり読んでいない。

⑤ こども(子育て)に関する情報

「就学前乳幼児」と「小中学生」はよく読んでいて、「子ども無し」は読んでいない。

⑥ 福祉に関する情報

「学生」が読んでいないほか、あまり特徴がない。

⑦ 健康に関する情報

「学生」が読んでいないほか、あまり特徴がない。

⑧ 休日の医療機関

「就学前乳幼児」はよく読んでいる。

⑨ イベント情報

「就学前乳幼児」「小中学生」「アルバイト・パート」「家事専業」がよく読んでいる。

⑩ 講座・講習情報

「小中学生」「アルバイト・パート」「家事専業」「居住1年未満」がよく読んでいる。

⑪ 文化・スポーツに関する情報

「就学前乳幼児」「小中学生」「アルバイト・パート」「居住1年未満」がよく読んでいる。

⑫ 暮らしに関する情報

一般的に読んでいるが、その中でも特に「小中学生」「アルバイト・パート」「居住 1年未満」がよく読んでいる。

⑬ 市議会に関する情報

「就学前乳幼児」「学生」「居住1年未満」がよく読んでいる。

⑭ コミュニティセンターの情報

「家事専業」がよく読んでいて、「学生」は読んでいないほかは特に特徴はない。

⑮ CIM（シビル・インフォメーション・ミニマム）

どの層も、ほとんど読んでいない。

⑯ 市民伝言板

「学校卒業」「無職」「八幡町」は読んでいるが、「就学前乳幼児」「学生」「居住1年未満」は読んでいない。

(5) 広報紙情報ニーズ (問5)

「市報むさしの」から得る情報の中で、どのような情報の充実に期待しますか」という設問に対する結果は以下の通り(表10)。

「就学前乳幼児」では「子育て」のニーズが圧倒的に高い(90%)。
 「小中学生」でも「保健・医療」の次に「子育て」のニーズが高い。
 「学生」は「市内施設の開館日等」に対するニーズが高い。

(表10)

	該当数	保健・医療	税金	福祉	防犯・防災	保険・年金	催し物・講座の情報	文化・スポーツ
全体	683	75.3	5.6	3.4	4.0	0.7	5.7	0.6
問36[子どもの有無・状況]								
子どもはいない	171	64.9	11.1	1.2	5.3	0.6	9.4	1.2
小学校入学前の乳・幼児	72	70.8	1.4	2.8	4.2	-	13.9	1.4
小・中学生	66	69.7	4.5	4.5	3.0	1.5	12.1	-
高校生・大学生	66	72.7	7.6	6.1	4.5	1.5	1.5	-
学校卒業・就職・結婚など	295	82.4	3.4	4.7	3.4	0.3	1.4	0.3
問37[職業]								
自営業・自由業	68	75.0	5.9	1.5	7.4	2.9	2.9	-
正社員、正職員	157	65.0	8.9	1.9	7.6	1.3	7.6	0.6
契約社員、派遣社員	31	80.6	9.7	-	3.2	-	6.5	-
アルバイト、パート	71	71.8	8.5	9.9	1.4	-	7.0	-
学生	11	36.4	9.1	-	9.1	-	18.2	-
家事専業	191	80.1	1.6	4.2	2.1	-	5.2	0.5
無職	140	82.9	4.3	2.1	2.1	0.7	4.3	1.4

	該当数	ごみ・リサイクル	市の魅力・おすすめスポット	市の財政状況	子育て	市内施設の開館日・空き状況等	市議会
全体	683	0.7	0.9	-	19.9	16.0	10.8
問36[子どもの有無・状況]							
子どもはいない	171	1.8	1.2	-	9.4	19.3	8.8
小学校入学前の乳・幼児	72	1.4	-	-	90.3	22.2	2.8
小・中学生	66	1.5	1.5	-	50.0	22.7	7.6
高校生・大学生	66	-	3.0	-	12.1	16.7	9.1
学校卒業・就職・結婚など	295	0.3	-	-	7.1	11.2	13.9
問37[職業]							
自営業・自由業	68	-	-	-	17.6	16.2	16.2
正社員、正職員	157	1.3	1.9	-	26.1	19.1	9.6
契約社員、派遣社員	31	-	-	-	16.1	25.8	12.9
アルバイト、パート	71	1.4	-	-	21.1	14.1	7.0
学生	11	9.1	18.2	-	27.3	36.4	9.1
家事専業	191	0.5	0.5	-	28.3	15.2	9.4
無職	140	-	-	-	3.6	9.3	14.3

(6) 広報紙発行形態・内容要望 (問6)

「今後「市報むさしの」のどのような点に工夫や改善をしてほしいと思いますか」という設問に対する結果は以下の通り(表11)。

「就学前乳幼児」「小中学生」では「市内イベントの告知」のニーズが突出している。
 「居住1年未満」では「詳細情報のホームページ掲載」のニーズが突出している。

(表11)

	該当数	写真やイラストを増やす	記事の並べ方を工夫し見やすくする	情報を分類して分かりやすくする	特集などテーマ掘り下げる工夫する	もっとタイムリーに情報を提供する	クイズ等親しみやすい記事取入れる	詳細情報をホームページに掲載する
全体	683	9.1	18.7	29.3	19.5	14.6	10.1	13.5
問36[子どもの有無・状況]								
子どもはいない	171	11.1	17.0	33.9	15.2	12.9	11.1	16.4
小学校入学前の乳・幼児	72	12.5	23.6	23.6	13.9	12.5	15.3	19.4
小・中学生	66	7.6	19.7	22.7	22.7	16.7	3.0	9.1
高校生・大学生	66	6.1	22.7	31.8	25.8	15.2	4.5	18.2
学校卒業・就職・結婚など	295	6.8	19.3	29.5	22.7	17.3	8.8	11.9
問39[通算居住年数]								
1年未満	12	8.3	16.7	25.0	-	16.7	16.7	41.7
1年～5年未満	99	13.1	14.1	31.3	19.2	7.1	10.1	11.1
5年～10年未満	83	6.0	14.5	30.1	15.7	8.4	13.3	19.3
10年～15年未満	69	10.1	10.1	11.6	26.1	15.9	8.7	15.9
15年～20年未満	44	6.8	20.5	22.7	13.6	18.2	11.4	18.2
20年以上	313	8.3	21.1	31.3	19.8	15.3	9.3	10.2
生まれてからずっと	50	10.0	34.0	48.0	22.0	28.0	6.0	16.0

	該当数	市内イベントを知らせるようにする	行政のサービスをもっと知らせる	市民の声や活動をもっと紹介する	ページ数を増やす	活字をもっと大きくする	サイズを小さくし、扱いやすくする
全体	683	30.9	48.3	20.1	2.0	10.1	6.1
問36[子どもの有無・状況]							
子どもはいない	171	26.3	47.4	17.0	1.2	5.3	5.3
小学校入学前の乳・幼児	72	41.7	41.7	18.1	5.6	4.2	11.1
小・中学生	66	42.4	50.0	16.7	3.0	7.6	3.0
高校生・大学生	66	25.8	57.6	22.7	3.0	9.1	7.6
学校卒業・就職・結婚など	295	30.8	49.2	21.4	1.7	13.9	5.4
問39[通算居住年数]							
1年未満	12	8.3	25.0	8.3	-	8.3	8.3
1年～5年未満	99	38.4	39.4	16.2	3.0	5.1	10.1
5年～10年未満	83	38.6	48.2	19.3	-	6.0	6.0
10年～15年未満	69	29.0	50.7	15.9	1.4	7.2	4.3
15年～20年未満	44	31.8	52.3	20.5	2.3	9.1	4.5
20年以上	313	26.8	50.8	23.6	2.6	15.0	6.1
生まれてからずっと	50	34.0	44.0	10.0	2.0	-	4.0

(7) 季刊誌閲読頻度 (問8)

「ふだんどのくらい「季刊むさしの」を読んでいますか」という設問に対する結果は以下の通り(表12)。

「就学前乳幼児」や「学生」は8割以上が読んでいない。
 「学校卒業・就職・結婚など」「無職」「居住20年以上」は比較的よく読んでいる。

(表12)

	該当数	毎号読んでいる	ときどき読んでいる	読んでいない	読んだことがない	読んでいる(計)	読んでいない(計)
全体	833	8.4	27.5	32.4	25.5	35.9	57.9
問36[子どもの有無・状況]							
子どもはいない	256	3.5	18.4	35.5	38.3	21.9	73.8
小学校入学前の乳・幼児	79	1.3	12.7	36.7	45.6	13.9	82.3
小・中学生	72	5.6	22.2	38.9	29.2	27.8	68.1
高校生・大学生	80	6.3	28.8	40.0	20.0	35.0	60.0
学校卒業・就職・結婚など	319	12.5	37.9	30.4	10.3	50.5	40.8
問37[職業]							
自営業・自由業	76	7.9	32.9	27.6	25.0	40.8	52.6
正社員、正職員	221	2.7	19.5	36.7	35.7	22.2	72.4
契約社員、派遣社員	41	19.5	12.2	29.3	34.1	31.7	63.4
アルバイト、パート	79	2.5	36.7	31.6	26.6	39.2	58.2
学生	35	2.9	8.6	31.4	51.4	11.4	82.9
家事専業	201	8.5	32.3	34.8	17.9	40.8	52.7
無職	159	17.0	34.0	27.7	14.5	50.9	42.1
問39[通算居住年数]							
1年未満	22	9.1	13.6	13.6	54.5	22.7	68.2
1年～5年未満	134	3.7	14.2	31.3	43.3	17.9	74.6
5年～10年未満	99	7.1	28.3	37.4	24.2	35.4	61.6
10年～15年未満	83	7.2	24.1	38.6	28.9	31.3	67.5
15年～20年未満	52	5.8	23.1	38.5	30.8	28.8	69.2
20年以上	349	11.2	33.2	33.0	14.9	44.4	47.9
生まれてからずっと	77	7.8	28.6	23.4	32.5	36.4	55.8

(8) 季刊誌非接触理由 (問9)

「「季刊むさしの」を読まない理由は何ですか」という設問に対する結果は以下の通り (表13)。

「知らない」「配布されない」という理由が多いが、「学生」は「忙しい(読むのが面倒)」「魅力がない」と感じている。

(表13)

	該当数	忙しいから	市報やホームページで情報が足りる	魅力を感じないから	市の情報にあまり関心がなから	「季刊むさしの」配布されないから	「季刊むさしの」知らなかったから
全体	482	11.4	6.6	10.0	2.9	40.9	49.6
問37[職業]							
自営業・自由業	40	17.5	7.5	12.5	-	47.5	40.0
正社員、正職員	160	10.6	3.8	8.1	4.4	35.6	57.5
契約社員、派遣社員	26	15.4	-	11.5	-	38.5	53.8
アルバイト、パート	46	6.5	6.5	6.5	2.2	39.1	54.3
学生	29	31.0	-	20.7	6.9	13.8	58.6
家事専業	106	9.4	11.3	6.6	2.8	52.8	47.2
無職	67	4.5	10.4	13.4	1.5	47.8	34.3

(9) 季刊誌記事読頻度 (問10)

「「季刊むさしの」の以下の記事の中で、どの記事を読んでいますか」という設問に対する結果は以下の通り。なお、この設問はマトリックスで設計されているため、項目ごとの表は省略し、特徴のある結果だけを記述する。

全般的に、「契約派遣社員」「アルバイト・パート」「桜堤」の属性の人がよく読んでいることが分かる。

① 特集

「学生」はあまり読んでいない。

- ② チャレンジ武蔵野人
「契約派遣社員」はよく読んでいる。
- ③ 武蔵野市百年史こぼれバナシ
「契約派遣社員」「市内通勤通学者」「生まれてからずっと」「桜堤」の人がよく読んでいる。
- ④ 武蔵野スケッチ物語
「契約派遣社員」「アルバイト・パート」「桜堤」の人がよく読んでいる。
- ⑤ 武蔵野ジャーナル
「契約派遣社員」がやや読んでいる。
- ⑥ 市民の“WA”
「契約派遣社員」「桜堤」がやや読んでいる。
- ⑦ 業務探検隊が行く！
「契約派遣社員」がよく読んでいる。
- ⑧ ふれあいのページ
「契約派遣社員」「桜堤」がやや読んでいる。
- ⑨ 武蔵野カルチャーガイド
「就学前乳幼児」「アルバイト・パート」がよく読んでいる。地域的なばらつきもあり、「桜堤」「吉祥寺東町」「吉祥寺本町」がよく読んでいる。
- ⑩ むさしのお散歩三昧
「アルバイト・パート」「学生」がよく読んでいる。
- ⑪ むさしの街人夢
「アルバイト・パート」がよく読んでいる。地域的なばらつきもあり、「吉祥寺東町」「吉祥寺本町」がよく読んでいる。

(10) 季刊誌情報ニーズ (問11)

「「季刊むさしの」でどのような情報を詳しく知りたいと思いますか」という設問に対する結果は以下の通り(表14)。

「就学前乳幼児」と「小中学生」ではほかの項目に比較して、「子育て」のニーズが圧倒的に高い。「契約派遣社員」では「税金」と「保険・年金」のニーズが高い。「無職」では「福祉」に対するニーズも強い。

(表14)

	該当数	保健・医療	税金	福祉	防犯・防災	保険・年金	催し物・講座の情報	文化・スポーツ
全体	833	41.8	25.3	30.1	29.8	25.5	32.7	31.5
問36〔子どもの有無・状況〕								
子どもはいない	256	35.5	27.7	23.8	23.8	25.4	30.9	29.7
小学校入学前の乳・幼児	79	46.8	20.3	13.9	34.2	13.9	29.1	24.1
小・中学生	72	40.3	18.1	25.0	34.7	11.1	37.5	33.3
高校生・大学生	80	30.0	18.8	31.3	30.0	25.0	31.3	28.8
学校卒業・就職・結婚など	319	45.1	25.7	38.2	30.1	27.9	33.9	34.5
問37〔職業〕								
自営業・自由業	76	42.1	35.5	34.2	28.9	19.7	28.9	42.1
正社員、正職員	221	38.9	27.1	19.9	25.8	24.4	31.2	29.4
契約社員、派遣社員	41	48.8	41.5	39.0	36.6	43.9	43.9	26.8
アルバイト、パート	79	31.6	15.2	31.6	25.3	19.0	36.7	27.8
学生	35	25.7	14.3	14.3	25.7	14.3	25.7	34.3
家事専業	201	48.8	20.9	32.3	35.8	23.9	39.8	37.8
無職	159	43.4	26.4	40.3	30.2	28.9	24.5	24.5

	該当数	ごみ・リサイクル	市の魅力・おすすめスポット	市の財政状況	子育て	市内施設の開館日・空き状況等	市議会
全体	833	24.2	43.7	14.3	13.0	9.2	6.5
問36[子どもの有無・状況]							
子どもはいない	256	27.3	43.4	14.1	7.0	12.1	6.3
小学校入学前の乳・幼児	79	19.0	51.9	13.9	62.0	10.1	2.5
小・中学生	72	20.8	45.8	13.9	36.1	9.7	6.9
高校生・大学生	80	21.3	41.3	11.3	5.0	10.0	8.8
学校卒業・就職・結婚など	319	22.3	43.9	15.7	4.7	6.9	7.5
問37[職業]							
自営業・自由業	76	22.4	48.7	17.1	17.1	7.9	10.5
正社員、正職員	221	25.8	44.3	16.7	15.8	10.0	6.3
契約社員、派遣社員	41	36.6	39.0	31.7	12.2	19.5	22.0
アルバイト、パート	79	17.7	49.4	3.8	11.4	5.1	3.8
学生	35	20.0	51.4	11.4	14.3	20.0	5.7
家事専業	201	26.9	46.3	11.9	17.9	9.5	2.0
無職	159	18.9	34.6	13.2	2.5	5.7	7.5

(11) 季刊誌発行形態・内容要望（問12）

「「季刊むさしの」についてどのような要望をお持ちですか」という設問に対する結果は、一部の地域（「桜堤」「緑町」「八幡町」）で「地域活動を紹介してほしい」という要望がある以外は、属性別に際立った特徴はない（表15）。

（表15）

	該当数	配布方法をもっと工夫してほしい	活字をもっと大きくしてほしい	サイズをA4サイズにしてほしい	連載物を増やしてほしい	地域活動等を紹介する企画を増やす	市民の投稿企画を増やしてほしい
全体	833	39.7	10.4	4.7	4.4	17.2	8.0
問40[居住区域]							
吉祥寺東町	75	40.0	12.0	2.7	5.3	14.7	5.3
吉祥寺南町	87	34.5	9.2	6.9	3.4	12.6	10.3
御殿山	24	45.8	12.5	8.3	8.3	20.8	-
吉祥寺本町	68	42.6	2.9	-	4.4	11.8	2.9
吉祥寺北町	95	41.1	11.6	4.2	5.3	12.6	11.6
中町	78	44.9	11.5	3.8	2.6	14.1	5.1
西久保	61	41.0	9.8	4.9	6.6	11.5	-
緑町	58	39.7	5.2	5.2	3.4	29.3	5.2
八幡町	19	36.8	15.8	5.3	5.3	26.3	10.5
関前	51	39.2	13.7	5.9	3.9	19.6	7.8
境	81	37.0	8.6	6.2	7.4	17.3	13.6
境南町	83	41.0	12.0	3.6	2.4	19.3	6.0
桜堤	38	34.2	15.8	10.5	-	31.6	23.7

(12) 議会報閱讀頻度（問14）

「ふだんどのくらい「武蔵野市議会だより」を読んでいますか」という設問に対する結果は以下の通り（表16）。

「子ども無し」「就学前乳幼児」の関心が低く、半数以上が読んでいない。

「学生」の9割以上が読んでいない。

「居住1年未満」の7割以上が読んでいない。居住年数が増えるとともに読んでいる率は高くなっている。

(表16)

	該当数	毎号	ときどき読む程度	ほとんど読まない	読んだことはない	読んでいる(計)	読んでいない(計)
全体	833	11.4	35.5	32.2	17.0	46.9	49.2
問36[子どもの有無・状況]							
子どもはいない	256	7.4	24.6	30.9	34.0	32.0	64.8
小学校入学前の乳・幼児	79	3.8	31.6	40.5	21.5	35.4	62.0
小・中学生	72	11.1	41.7	37.5	9.7	52.8	47.2
高校生・大学生	80	8.8	36.3	42.5	11.3	45.0	53.8
学校卒業・就職・結婚など	319	16.3	42.0	29.8	6.9	58.3	36.7
問37[職業]							
自営業・自由業	76	13.2	42.1	26.3	15.8	55.3	42.1
正社員、正職員	221	5.9	31.2	35.7	24.0	37.1	59.7
契約社員、派遣社員	41	19.5	26.8	31.7	22.0	46.3	53.7
アルバイト、パート	79	10.1	39.2	30.4	19.0	49.4	49.4
学生	35	2.9	2.9	31.4	62.9	5.7	94.3
家事専業	201	12.9	36.8	36.3	9.5	49.8	45.8
無職	159	17.0	43.4	26.4	6.9	60.4	33.3
問39[通算居住年数]							
1年未満	22	-	18.2	40.9	36.4	18.2	77.3
1年～5年未満	134	6.0	25.4	37.3	30.6	31.3	67.9
5年～10年未満	99	10.1	27.3	38.4	17.2	37.4	55.6
10年～15年未満	83	4.8	47.0	25.3	19.3	51.8	44.6
15年～20年未満	52	17.3	30.8	36.5	13.5	48.1	50.0
20年以上	349	15.8	43.6	27.2	9.5	59.3	36.7
生まれてからずっと	77	11.7	20.8	37.7	23.4	32.5	61.0

(13) 議会報非接触理由 (問15)

「武蔵野市議会だより」を読まない理由は何ですか」という設問に対する結果は以下の通り(表17)。

「子ども無し」の3割以上が存在を知らない。

居住年数が増えるとともに「市議会に関心がない」という比率が増えている。

「市内」より「市外通勤通学者」のほうが「市議会に関心がない」という比率が高い。

(表17)

	該当数	忙しいから	市議会ホームページで情報が足りる	魅力を感じないから	市議会にあまり関心がないから	「武蔵野市議会だより」を知らない
全体	410	24.6	3.4	32.4	36.3	19.8
問36[子どもの有無・状況]						
子どもはいない	166	24.1	3.0	25.9	27.7	30.7
小学校入学前の乳・幼児	49	24.5	4.1	26.5	40.8	22.4
小・中学生	34	29.4	-	44.1	32.4	8.8
高校生・大学生	43	25.6	7.0	46.5	46.5	9.3
学校卒業・就職・結婚など	117	20.5	3.4	41.9	43.6	8.5
問38[通勤・通学先]						
武蔵野市内	61	32.8	3.3	31.1	39.3	14.8
市外	196	27.0	2.0	31.1	29.1	28.1
問39[通算居住年数]						
1年未満	17	17.6	-	17.6	17.6	29.4
1年～5年未満	91	23.1	3.3	33.0	33.0	25.3
5年～10年未満	55	29.1	1.8	32.7	38.2	18.2
10年～15年未満	37	18.9	2.7	24.3	35.1	27.0
15年～20年未満	26	42.3	3.8	42.3	53.8	15.4
20年以上	128	21.1	4.7	39.1	40.6	11.7
生まれてからずっと	47	25.5	4.3	19.1	29.8	29.8

(14) 議会関心度 (問16)

「武蔵野市議会」について、どの程度関心をお持ちですか」という設問に対する結果は以下の通り (表18)。

「自営業・自由業」では半数以上が関心を持っているが、それ以外の職業ではすべて半数以上が関心を持っていない。

居住年数が増えるとともに「市議会に関心がある」という比率が増えている。

(表18)

	該当数	非常に関心がある	関心がある	あまり関心がない	まったく関心がない	関心がある(計)	関心がない(計)
全体	833	4.2	32.8	47.3	8.2	37.0	55.5
問37[職業]							
自営業・自由業	76	9.2	42.1	35.5	3.9	51.3	39.5
正社員、正職員	221	3.6	28.5	49.8	12.7	32.1	62.4
契約社員、派遣社員	41	4.9	34.1	41.5	9.8	39.0	51.2
アルバイト、パート	79	2.5	34.2	50.6	5.1	36.7	55.7
学生	35	-	25.7	42.9	22.9	25.7	65.7
家事専業	201	2.5	30.8	52.2	6.0	33.3	58.2
無職	159	5.0	35.8	46.5	5.0	40.9	51.6
問39[通算居住年数]							
1年未満	22	-	27.3	59.1	9.1	27.3	68.2
1年～5年未満	134	2.2	26.1	50.0	14.2	28.4	64.2
5年～10年未満	99	5.1	21.2	51.5	13.1	26.3	64.6
10年～15年未満	83	2.4	32.5	49.4	6.0	34.9	55.4
15年～20年未満	52	7.7	30.8	42.3	13.5	38.5	55.8
20年以上	349	4.6	39.3	46.1	4.0	43.8	50.1
生まれてからずっと	77	6.5	33.8	40.3	9.1	40.3	49.4

(15) 議会情報ニーズ (問17)

「今後「武蔵野市議会」についてどのようなことを知りたいと思いますか」という設問に対する結果は以下の通り (表19)。

「就学前乳幼児」では特に「活動内容」に対するニーズが強い。

「学生」では「特にない」という回答も多い。

(表19)

	該当数	仕組みについて知りたい	どんな議論行われているか知りたい	どんな議決がなされたかを知りたい	どんな活動を行っているか知りたい	特にない
全体	833	13.3	47.7	37.5	50.2	16.6
問36[子どもの有無・状況]						
子どもはいない	256	17.2	49.2	37.1	43.8	20.7
小学校入学前の乳・幼児	79	16.5	48.1	44.3	58.2	16.5
小・中学生	72	12.5	47.2	40.3	48.6	12.5
高校生・大学生	80	8.8	56.3	40.0	48.8	12.5
学校卒業・就職・結婚など	319	12.2	48.3	36.7	55.5	14.4
問37[職業]						
自営業・自由業	76	13.2	56.6	43.4	48.7	14.5
正社員、正職員	221	9.0	51.6	39.4	48.4	16.7
契約社員、派遣社員	41	26.8	61.0	36.6	65.9	7.3
アルバイト、パート	79	10.1	53.2	45.6	62.0	7.6
学生	35	14.3	42.9	31.4	31.4	25.7
家事専業	201	13.4	41.8	39.3	47.8	19.9
無職	159	16.4	40.9	27.7	50.9	18.9

(16) 議会報発行形態・内容要望（問18）

「今後「武蔵野市議会だより」のどのような点に工夫や改善をしてほしいと思いますか」という設問に対する結果は以下の通り（表20）。

（表20）

	該当数	議会で議論になったこと等説明する	親しみやすい記事も取り入れる	カラーをやめて白黒または2色刷り	もっとタイムリーに情報を提供する	記事の並べ方やタイトルを工夫する
全体	833	43.1	9.5	16.3	17.8	11.9
問37〔職業〕						
自営業・自由業	76	44.7	7.9	22.4	18.4	14.5
正社員、正職員	221	44.8	12.7	16.7	19.5	11.8
契約社員、派遣社員	41	56.1	12.2	24.4	31.7	12.2
アルバイト、パート	79	36.7	11.4	20.3	16.5	12.7
学生	35	20.0	22.9	5.7	17.1	2.9
家事専業	201	43.3	8.5	16.9	13.9	11.4
無職	159	46.5	2.5	11.9	17.6	13.8
その他	12	41.7	8.3	8.3	8.3	-
無回答	9	11.1	11.1	-	22.2	11.1

	該当数	写真やイラストの分量も増やす	記事の分量をもっと増やす	文章をもっと分かりやすくする	活字をもっと大きくする	サイズを小さく手に取りやすくする
全体	833	4.9	3.4	19.0	9.4	5.8
問37〔職業〕						
自営業・自由業	76	5.3	7.9	15.8	6.6	6.6
正社員、正職員	221	5.4	1.8	15.8	9.0	5.4
契約社員、派遣社員	41	4.9	-	24.4	4.9	4.9
アルバイト、パート	79	2.5	5.1	25.3	8.9	3.8
学生	35	5.7	2.9	17.1	11.4	5.7
家事専業	201	5.0	4.0	19.4	9.0	8.5
無職	159	3.8	3.1	18.9	11.3	3.1
その他	12	8.3	-	16.7	8.3	-
無回答	9	22.2	-	44.4	33.3	22.2

「契約派遣社員」は「議論の説明」「カラー廃止」「タイムリーな情報提供」「文章の分かりやすさ」など積極的なニーズがある。

「学生」は「親しみやすい記事」のニーズがある。

(17) 議会情報入手希望媒体（問19）

「「武蔵野市議会」に関する情報を何から入手したいと思いますか」という設問に対しては、「八幡町」と「関前」では、ホームページによる情報提供よりもケーブルテレビによる情報提供を求めており、ほかの地域と逆転している（表21）。

(表21)

	該当数	「武蔵野市議会だより」	市議会ホームページ	携帯電話版ホームページ	ケーブルテレビ	コミュニティFM	メールマガジン
全体	833	60.0	19.0	2.5	9.6	1.8	2.5
問40〔居住区域〕							
吉祥寺東町	75	58.7	20.0	2.7	8.0	-	2.7
吉祥寺南町	87	62.1	18.4	2.3	6.9	-	4.6
御殿山	24	58.3	33.3	-	4.2	-	4.2
吉祥寺本町	68	55.9	20.6	1.5	7.4	2.9	-
吉祥寺北町	95	50.5	14.7	1.1	9.5	3.2	5.3
中町	78	53.8	24.4	1.3	11.5	3.8	6.4
西久保	61	54.1	21.3	6.6	14.8	3.3	-
緑町	58	62.1	20.7	1.7	13.8	1.7	-
八幡町	19	73.7	5.3	-	10.5	-	-
関前	51	70.6	7.8	3.9	11.8	3.9	3.9
境	81	64.2	19.8	2.5	11.1	1.2	1.2
境南町	83	63.9	21.7	3.6	8.4	1.2	-
桜堤	38	76.3	15.8	5.3	2.6	-	2.6

(18) テレビ広報接触状況 (問21)

「ふだん武蔵野市の広報テレビ番組「むさしのシティニュース」を見ていますか」という設問に対しては、「関前」だけが突出して視聴している (表22)。

(表22)

	該当数	よく見ている	ときどき見ている	あまり見ない	見たことがない	見ている(計)	見ていない(計)
全体	833	1.9	16.7	20.5	57.3	18.6	77.8
問40〔居住区域〕							
吉祥寺東町	75	-	17.3	14.7	64.0	17.3	78.7
吉祥寺南町	87	1.1	13.8	20.7	60.9	14.9	81.6
御殿山	24	-	12.5	8.3	79.2	12.5	87.5
吉祥寺本町	68	5.9	10.3	25.0	52.9	16.2	77.9
吉祥寺北町	95	2.1	13.7	18.9	60.0	15.8	78.9
中町	78	-	15.4	16.7	60.3	15.4	76.9
西久保	61	4.9	18.0	21.3	55.7	23.0	77.0
緑町	58	-	25.9	39.7	34.5	25.9	74.1
八幡町	19	-	10.5	36.8	52.6	10.5	89.5
関前	51	5.9	25.5	19.6	47.1	31.4	66.7
境	81	1.2	13.6	17.3	64.2	14.8	81.5
境南町	83	2.4	20.5	19.3	53.0	22.9	72.3
桜堤	38	-	21.1	18.4	57.9	21.1	76.3

(19) ラジオ広報接触状況 (問21)

「ふだん武蔵野市のFM広報番組「マイシティむさしの」を聴いていますか」という設問に対しては、「八幡町」だけが突出して聴取している。(表23)。

(表23)

	該当数	よく聴いている	ときどき聴いている	あまり聴いていない	聴いたことがない	聴いている(計)	聴いていない(計)
全体	833	1.0	6.2	14.0	74.2	7.2	88.2
問40[居住区域]							
吉祥寺東町	75	-	4.0	17.3	73.3	4.0	90.7
吉祥寺南町	87	-	1.1	17.2	75.9	1.1	93.1
御殿山	24	-	8.3	12.5	79.2	8.3	91.7
吉祥寺本町	68	-	8.8	19.1	64.7	8.8	83.8
吉祥寺北町	95	2.1	8.4	10.5	71.6	10.5	82.1
中町	78	2.6	1.3	11.5	76.9	3.8	88.5
西久保	61	1.6	11.5	14.8	68.9	13.1	83.6
緑町	58	1.7	6.9	13.8	77.6	8.6	91.4
八幡町	19	-	26.3	26.3	47.4	26.3	73.7
関前	51	3.9	7.8	19.6	66.7	11.8	86.3
境	81	-	4.9	12.3	77.8	4.9	90.1
境南町	83	-	4.8	9.6	83.1	4.8	92.8
桜堤	38	-	5.3	7.9	81.6	5.3	89.5

(20) ホームページ閲覧頻度 (問24)

「武蔵野市のホームページをどの程度ご覧になりますか」という設問に対する結果は以下の通り (表24)。

「就学前乳幼児」は7割以上見ているが、「学校卒業」は25%以下とかなりばらつきが大きい。

「正社員」は6割以上見ているが、「無職」は2割以下とかなりばらつきが大きい。

居住年数「1年未満」は7割近く見ているが、「20年以上」は3割以下とかなりばらつきが大きい。それぞれ、属性ごとの主な年代層に影響していると思われる。

(表24)

	該当数	よく見る	ときどき見る	見たことがある	見たことはない	見る(計)
全体	833	1.6	13.6	26.1	51.9	41.2
問36[子どもの有無・状況]						
子どもはいない	256	2.3	14.8	32.4	46.5	49.6
小学校入学前の乳・幼児	79	2.5	36.7	32.9	22.8	72.2
小・中学生	72	1.4	23.6	43.1	30.6	68.1
高校生・大学生	80	3.8	17.5	30.0	47.5	51.3
学校卒業・就職・結婚など	319	0.3	6.9	17.2	65.2	24.5
問37[職業]						
自営業・自由業	76	1.3	17.1	25.0	52.6	43.4
正社員、正職員	221	3.6	20.8	37.1	34.8	61.5
契約社員、派遣社員	41	-	14.6	26.8	56.1	41.5
アルバイト、パート	79	-	15.2	29.1	50.6	44.3
学生	35	2.9	14.3	31.4	48.6	48.6
家事専業	201	0.5	10.4	24.4	56.2	35.3
無職	159	0.6	5.7	12.6	69.8	18.9
問39[通算居住年数]						
1年未満	22	4.5	36.4	27.3	22.7	68.2
1年～5年未満	134	2.2	20.1	39.6	37.3	61.9
5年～10年未満	99	2.0	17.2	34.3	41.4	53.5
10年～15年未満	83	-	19.3	27.7	42.2	47.0
15年～20年未満	52	-	5.8	36.5	55.8	42.3
20年以上	349	1.7	7.7	16.6	64.2	26.1
生まれてからずっと	77	1.3	16.9	22.1	53.2	40.3

(21) ホームページ情報到達度（問25）

「武蔵野市のホームページを利用された時、必要な情報にたどりつくことができましたか」という設問に対する結果は以下の通り（表25）。

「自営業・自由業」や「無職」は情報にたどり着きにくい傾向がある。
地域によるばらつきがある。「八幡町」では情報にたどり着きにくい傾向がある。

(表25)

	該当数	必要な情報にすぐにたどりつけた	たどりつけたが、時間がかかった	たどりつけたが、途中で断念した	必要な情報にたどりつけなかった
全体	343	44.6	44.9	1.2	3.2
問37〔職業〕					
自営業・自由業	33	27.3	63.6	-	-
正社員、正職員	136	50.0	42.6	1.5	3.7
契約社員、派遣社員	17	35.3	52.9	-	5.9
アルバイト、パート	35	62.9	28.6	-	2.9
学生	17	64.7	35.3	-	-
家事専業	71	38.0	49.3	2.8	2.8
無職	30	26.7	43.3	-	6.7
問40〔居住区域〕					
吉祥寺東町	25	36.0	48.0	-	4.0
吉祥寺南町	36	47.2	47.2	2.8	-
御殿山	12	50.0	33.3	-	-
吉祥寺本町	31	35.5	51.6	3.2	-
吉祥寺北町	45	51.1	44.4	-	4.4
中町	30	56.7	40.0	-	3.3
西久保	21	57.1	38.1	-	4.8
緑町	29	55.2	27.6	3.4	6.9
八幡町	7	14.3	42.9	-	14.3
関前	19	47.4	31.6	-	-
境	32	31.3	50.0	3.1	6.3
境南町	31	38.7	58.1	-	-
桜堤	16	43.8	56.3	-	-

(22) ホームページ情報利用項目（問26）

「武蔵野市のホームページで利用したことがある項目は」という設問に対しては、「就学前乳幼児」と「小中学生」の「子ども関連情報」の利用が突出している（表26）。

そのほか、属性ごとに比較的利用が多い情報項目は以下の通り。

「小中学生」は「図書館」の利用が多い。

「アルバイト・パート」は「申請情報」「図書館」の利用が多い。

「学生」は「講座・催し」「市の情報」「図書館」の利用が多い。

「家事専業」は「子ども関連情報」の利用が多い。

「無職」は「健康・福祉関連」の利用が多い。

「居住1年未満」は「図書館」の利用が多い。

(表26)

	該当数	講座・催し	市民参加	市役所・施設案内	緊急対応情報	申請書関連情報	健康・福祉情報	子ども関連情報	届出・税・保険・年金情報	ごみと環境情報	くらし関連情報
全体	343	31.5	8.2	38.8	16.3	24.5	26.8	23.3	41.1	41.1	16.3
問36[子どもの有無・状況]											
子どもはいない	127	31.5	7.9	45.7	18.9	21.3	29.9	5.5	40.9	55.1	17.3
小学校入学前の乳・幼児	57	29.8	7.0	35.1	14.0	31.6	19.3	82.5	52.6	40.4	12.3
小・中学生	49	34.7	8.2	32.7	16.3	24.5	14.3	46.9	36.7	30.6	10.2
高校生・大学生	41	34.1	9.8	36.6	17.1	22.0	34.1	12.2	39.0	46.3	26.8
学校卒業・就職・結婚など	78	30.8	3.8	32.1	12.8	25.6	26.9	1.3	35.9	23.1	14.1
問37[職業]											
自営業・自由業	33	18.2	6.1	45.5	30.3	24.2	21.2	9.1	48.5	51.5	15.2
正社員・正職員	136	27.9	7.4	40.4	21.3	25.0	26.5	23.5	42.6	45.6	18.4
契約社員・派遣社員	17	35.3	11.8	23.5	17.6	17.6	23.5	5.9	41.2	47.1	17.6
アルバイト・パート	35	37.1	17.1	48.6	5.7	31.4	22.9	28.6	34.3	51.4	14.3
学生	17	41.2	17.6	47.1	5.9	5.9	23.5	11.8	29.4	23.5	23.5
家事専業	71	36.6	2.8	35.2	11.3	29.6	23.9	40.8	43.7	36.6	11.3
無職	30	36.7	6.7	30.0	10.0	20.0	46.7	6.7	36.7	13.3	20.0
問39[通算居住年数]											
1年未満	15	33.3	6.7	40.0	13.3	13.3	33.3	40.0	53.3	60.0	13.3
1年～5年未満	83	31.3	8.4	45.8	12.0	36.1	21.7	42.2	54.2	45.8	24.1
5年～10年未満	53	32.1	7.5	43.4	18.9	22.6	28.3	32.1	41.5	41.5	17.0
10年～15年未満	39	41.0	7.7	35.9	20.5	15.4	38.5	17.9	53.8	56.4	15.4
15年～20年未満	22	13.6	4.5	36.4	27.3	4.5	13.6	13.6	22.7	27.3	4.5
20年以上	91	28.6	9.9	36.3	16.5	26.4	25.3	6.6	31.9	36.3	14.3
生まれてからずっと	31	38.7	3.2	25.8	9.7	25.8	35.5	19.4	32.3	25.8	12.9
	該当数	市民活動情報	安全なまちづくり情報	行政情報	むさしのマップ	市の情報	市民活動情報サイト	市議会	教育委員会	図書館	市関係団体等
全体	343	10.5	7.0	7.9	18.4	20.1	5.0	7.6	4.1	38.2	13.4
問36[子どもの有無・状況]											
子どもはいない	127	11.0	7.9	7.1	18.1	18.1	6.3	7.9	2.4	42.5	16.5
小学校入学前の乳・幼児	57	10.5	5.3	1.8	14.0	10.5	-	-	-	40.4	7.0
小・中学生	49	12.2	6.1	2.0	20.4	22.4	4.1	2.0	10.2	63.3	20.4
高校生・大学生	41	14.6	14.6	17.1	34.1	31.7	7.3	17.1	14.6	29.3	9.8
学校卒業・就職・結婚など	78	5.1	5.1	12.8	16.7	25.6	3.8	12.8	-	25.6	11.5
問37[職業]											
自営業・自由業	33	9.1	12.1	6.1	12.1	18.2	3.0	9.1	3.0	39.4	18.2
正社員・正職員	136	8.8	7.4	8.1	20.6	19.9	2.9	8.1	3.7	33.1	11.0
契約社員・派遣社員	17	17.6	5.9	17.6	11.8	11.8	5.9	11.8	5.9	35.3	11.8
アルバイト・パート	35	14.3	2.9	-	22.9	25.7	8.6	2.9	5.7	62.9	25.7
学生	17	23.5	17.6	23.5	17.6	35.3	17.6	5.9	5.9	70.6	11.8
家事専業	71	8.5	4.2	5.6	15.5	19.7	1.4	8.5	2.8	33.8	12.7
無職	30	6.7	3.3	10.0	23.3	13.3	13.3	3.3	6.7	30.0	10.0
問39[通算居住年数]											
1年未満	15	13.3	-	-	20.0	13.3	-	-	6.7	60.0	6.7
1年～5年未満	83	9.6	6.0	4.8	22.9	13.3	4.8	2.4	2.4	45.8	14.5
5年～10年未満	53	15.1	3.8	11.3	20.8	17.0	9.4	7.5	5.7	43.4	15.1
10年～15年未満	39	12.8	7.7	2.6	20.5	20.5	-	12.8	2.6	46.2	10.3
15年～20年未満	22	4.5	-	4.5	18.2	27.3	4.5	13.6	4.5	36.4	4.5
20年以上	91	6.6	13.2	11.0	14.3	26.4	5.5	8.8	4.4	27.5	16.5
生まれてからずっと	31	19.4	6.5	16.1	12.9	22.6	6.5	12.9	6.5	25.8	12.9

(23) ホームページ発行形態・内容要望(問27)

「武蔵野市のホームページで改善が必要と思われる部分がありますか」という設問に対する結果は以下の通り(表27)。

全体として「検索機能の強化」が要望として多いが、「就学前乳幼児」と「小中学生」では「掲載情報の充実」をより強く求める傾向がある。

「居住1年未満」では、「情報のわかりやすさ」と「市内イベントの告知」に対する要望が多い。

(表27)

	該当数	掲載する情報をより充実する	もっと見やすいレイアウトにする	文章表現をもっとわかりやすくする	情報を分類してわかりやすくする	検索機能を強化する	セキュリティを強化する
全体	343	19.2	17.2	6.7	19.2	28.0	3.8
問36[子どもの有無・状況]							
子どもはいない	127	16.5	19.7	6.3	20.5	32.3	1.6
小学校入学前の乳・幼児	57	31.6	15.8	7.0	26.3	29.8	7.0
小・中学生	49	22.4	18.4	16.3	16.3	22.4	6.1
高校生・大学生	41	19.5	12.2	2.4	14.6	39.0	7.3
学校卒業・就職・結婚など	78	17.9	20.5	9.0	21.8	24.4	3.8
問39[通算居住年数]							
1年未満	15	20.0	13.3	-	26.7	26.7	-
1年～5年未満	83	18.1	18.1	9.6	18.1	24.1	4.8
5年～10年未満	53	18.9	18.9	9.4	15.1	26.4	5.7
10年～15年未満	39	25.6	20.5	2.6	17.9	33.3	-
15年～20年未満	22	22.7	-	4.5	9.1	13.6	4.5
20年以上	91	16.5	18.7	6.6	24.2	30.8	2.2
生まれてからずっと	31	22.6	16.1	6.5	22.6	38.7	6.5

	該当数	双方向性 生かし市 民の意見 共有する	更新頻度 増やし、 タイムリ ーに提供	親しみや すいコン テンツ取 り入れる	市内イベ ントを知 らせるよ うにする	行政サー ビスなど をもっと 知らせる
全体	343	9.9	14.0	2.0	14.9	17.8
問36[子どもの有無・状況]						
子どもはいない	127	9.4	13.4	2.4	15.7	22.0
小学校入学前の乳・幼児	57	8.8	15.8	-	15.8	12.3
小・中学生	49	10.2	16.3	2.0	16.3	12.2
高校生・大学生	41	14.6	12.2	7.3	12.2	14.6
学校卒業・就職・結婚など	78	7.7	19.2	-	12.8	19.2
問39[通算居住年数]						
1年未満	15	6.7	-	-	26.7	-
1年～5年未満	83	12.0	15.7	1.2	18.1	22.9
5年～10年未満	53	5.7	11.3	-	20.8	20.8
10年～15年未満	39	15.4	12.8	-	10.3	20.5
15年～20年未満	22	-	27.3	4.5	18.2	18.2
20年以上	91	12.1	13.2	4.4	7.7	16.5
生まれてからずっと	31	9.7	16.1	3.2	16.1	9.7

(24) ホームページ情報ニーズ (問28)

「武蔵野市のホームページで入手できたらいいと思う情報は何か」という設問に対する結果は以下の通り(表28)。

「就学前乳幼児」と「小中学生」は「子育て」「催し物・講座の情報」「市の魅力・おすすめスポット」への要望が多い。

「子ども無し」は「ごみ・リサイクル」への要望が多い。

「学生」は「保健・医療」への関心が低く、「催し物・講座の情報」「文化・スポーツ」、「市の魅力・おすすめスポット」への要望が多い。

「契約社員、派遣社員」では「保険・年金」への要望が多い。

(表28)

	該当数	保健・医 療	税金	福祉	防犯・防 災	保険・年 金	催し物・ 講座の情 報	文化・ス ポーツ
全体	833	35.2	22.0	23.0	20.0	20.6	30.0	21.4
問36[子どもの有無・状況]								
子どもはいない	256	35.9	25.0	18.4	20.3	21.5	32.4	25.8
小学校入学前の乳・幼児	79	36.7	24.1	20.3	24.1	16.5	45.6	29.1
小・中学生	72	37.5	23.6	18.1	22.2	13.9	38.9	34.7
高校生・大学生	80	41.3	28.8	21.3	21.3	26.3	26.3	20.0
学校卒業・就職・結婚など	319	36.4	20.4	29.8	20.4	22.9	28.2	16.3
問37[職業]								
自営業・自由業	76	43.4	36.8	26.3	22.4	27.6	23.7	22.4
正社員、正職員	221	36.7	25.3	19.5	16.7	18.1	29.0	25.3
契約社員、派遣社員	41	41.5	34.1	31.7	31.7	36.6	39.0	24.4
アルバイト、パート	79	36.7	19.0	24.1	21.5	24.1	34.2	16.5
学生	35	17.1	14.3	14.3	11.4	20.0	48.6	42.9
家事専業	201	36.3	16.9	22.4	23.4	17.9	35.3	20.4
無職	159	30.8	18.2	28.3	19.5	19.5	20.8	14.5

	該当数	ごみ・リサイクル	市の魅力・おすすめスポット	市の財政状況	子育て	市内施設の開館日・空き状況等	市議会
全体	833	27.4	24.8	9.2	10.9	14.3	4.4
問36[子どもの有無・状況]							
子どもはいない	256	36.7	26.2	9.8	7.8	19.1	5.9
小学校入学前の乳・幼児	79	26.6	41.8	3.8	55.7	17.7	3.8
小・中学生	72	30.6	38.9	12.5	34.7	19.4	6.9
高校生・大学生	80	33.8	30.0	12.5	7.5	18.8	7.5
学校卒業・就職・結婚など	319	23.5	21.0	9.4	1.6	9.7	3.4
問37[職業]							
自営業・自由業	76	31.6	26.3	13.2	13.2	15.8	6.6
正社員、正職員	221	29.4	23.1	8.6	12.7	14.5	4.5
契約社員、派遣社員	41	41.5	31.7	14.6	9.8	19.5	12.2
アルバイト、パート	79	34.2	31.6	6.3	13.9	17.7	5.1
学生	35	20.0	51.4	8.6	11.4	28.6	11.4
家事専業	201	28.4	28.4	9.0	15.4	16.4	2.5
無職	159	17.6	13.2	8.8	1.3	6.3	2.5

(25) インターネット閲覧時間（問30）

「インターネット（パソコン、携帯電話）を平均どのくらいご覧になっていますか」という設問に対しては、「学校卒業」は4割以上、「無職」の5割、「家事専業」の4割、「自営業」の3割が「まったく見ていない」（表29）。

(表29)

	該当数	30分未満	1時間未満	1時間半未満	2時間未満	3時間未満	3時間以上	まったく見ていない
全体	833	19.8	19.4	7.2	7.7	4.1	7.1	27.0
問36[子どもの有無・状況]								
子どもはいない	256	16.4	21.9	10.5	11.7	6.6	11.7	18.0
小学校入学前の乳・幼児	79	24.1	31.6	8.9	13.9	5.1	10.1	6.3
小・中学生	72	37.5	18.1	4.2	11.1	4.2	12.5	12.5
高校生・大学生	80	25.0	28.8	13.8	6.3	8.8	3.8	13.8
学校卒業・就職・結婚など	319	21.0	15.0	6.0	3.8	1.9	3.8	42.0
問37[職業]								
自営業・自由業	76	18.4	15.8	5.3	11.8	3.9	10.5	27.6
正社員、正職員	221	15.8	31.7	10.4	11.8	6.8	12.2	8.1
契約社員、派遣社員	41	22.0	17.1	12.2	12.2	4.9	7.3	17.1
アルバイト、パート	79	35.4	11.4	8.9	6.3	3.8	6.3	21.5
学生	35	17.1	28.6	11.4	11.4	8.6	17.1	2.9
家事専業	201	22.9	15.9	5.5	5.0	2.0	3.0	36.8
無職	159	15.7	12.6	3.1	2.5	1.9	1.9	50.9

(26) 携帯電話によるインターネット利用有無（問31）

「携帯電話でインターネット情報を見ることがありますか」という設問に対しては、「就学前乳幼児」では5割が見ているが、「学校卒業」では1割くらいしか見ていない。また、「学生」は6割以上が見ており、年代の差が現れている（表30）。

(表30)

	該当数	見る	見ない	携帯電話は持っていない
全体	833	26.1	53.2	14.8
問36[子どもの有無・状況]				
子どもはいない	256	41.4	41.0	14.8
小学校入学前の乳・幼児	79	49.4	46.8	1.3
小・中学生	72	30.6	62.5	2.8
高校生・大学生	80	22.5	73.8	2.5
学校卒業・就職・結婚など	319	12.9	64.6	19.7
その他	44	4.5	47.7	40.9
問37[職業]				
自営業・自由業	76	18.4	61.8	14.5
正社員、正職員	221	43.0	50.7	2.3
契約社員、派遣社員	41	26.8	56.1	2.4
アルバイト、パート	79	30.4	59.5	6.3
学生	35	65.7	28.6	2.9
家事専業	201	19.9	58.2	17.4
無職	159	4.4	49.7	38.4

(27) 市への好感度 (問32)

「武蔵野市に誇りや愛着を感じていますか」という設問に対しては、「居住1年未満」は「非常に感じている」が1割未満であり、居住経験の少なさがそのまま現れている。また、絶対数は少ないが、「契約社員、派遣社員」では「感じている」割合が小さくなっている。(表31)。

(表31)

	該当数	非常に感じている	感じている	どちらともいえない	あまり感じていない	まったく感じていない	感じている(計)	感じていない(計)
全体	833	28.6	52.6	11.9	2.8	0.6	81.2	3.4
問37[職業]								
自営業・自由業	76	30.3	55.3	7.9	2.6	-	85.5	2.6
正社員、正職員	221	24.0	55.7	14.5	2.3	0.9	79.6	3.2
契約社員、派遣社員	41	36.6	34.1	19.5	2.4	2.4	70.7	4.9
アルバイト、パート	79	22.8	55.7	11.4	3.8	1.3	78.5	5.1
学生	35	20.0	65.7	8.6	2.9	-	85.7	2.9
家事専業	201	30.8	52.7	11.4	2.0	-	83.6	2.0
無職	159	33.3	50.3	10.7	3.1	-	83.6	3.1
問39[通算居住年数]								
1年未満	22	9.1	45.5	31.8	9.1	4.5	54.5	13.6
1年～5年未満	134	22.4	53.0	19.4	4.5	-	75.4	4.5
5年～10年未満	99	20.2	59.6	14.1	1.0	1.0	79.8	2.0
10年～15年未満	83	30.1	53.0	12.0	1.2	-	83.1	1.2
15年～20年未満	52	17.3	59.6	15.4	1.9	-	76.9	1.9
20年以上	349	34.1	50.7	8.0	3.2	0.3	84.8	3.4
生まれてからずっと	77	39.0	46.8	7.8	1.3	2.6	85.7	3.9

(28) 市の情報満足度（問33）

「武蔵野市の情報を十分に得られていると思いますか」という設問に対しては、「子ども無し」は25%、「学生」は37%、「居住1年未満」は27%が「得られていない」と感じている（表32）。

（表32）

	該当数	十分に得られている	十分でないが 必要情報得られている	どちらとも いえない	あまり得られていない	まったく得られていない	得られている (計)	得られていない (計)
全体	833	4.7	50.5	23.8	14.6	1.8	55.2	16.4
問36〔子どもの有無・状況〕								
子どもはいない	256	5.1	35.2	32.8	22.7	3.1	40.2	25.8
小学校入学前の乳・幼児	79	5.1	57.0	19.0	17.7	1.3	62.0	19.0
小・中学生	72	5.6	59.7	19.4	12.5	1.4	65.3	13.9
高校生・大学生	80	2.5	55.0	28.8	10.0	3.8	57.5	13.8
学校卒業・就職・結婚など	319	4.4	62.1	21.0	10.0	0.9	66.5	11.0
問37〔職業〕								
自営業・自由業	76	2.6	56.6	25.0	13.2	-	59.2	13.2
正社員、正職員	221	3.2	38.5	29.9	20.8	2.7	41.6	23.5
契約社員、派遣社員	41	2.4	36.6	29.3	26.8	-	39.0	26.8
アルバイト、パート	79	5.1	53.2	22.8	12.7	1.3	58.2	13.9
学生	35	5.7	28.6	25.7	25.7	11.4	34.3	37.1
家事専業	201	4.5	59.7	20.4	10.9	1.0	64.2	11.9
無職	159	8.2	62.3	18.9	7.5	0.6	70.4	8.2
問39〔通算居住年数〕								
1年未満	22	-	50.0	18.2	18.2	9.1	50.0	27.3
1年～5年未満	134	5.2	41.0	30.6	19.4	2.2	46.3	21.6
5年～10年未満	99	8.1	42.4	19.2	24.2	2.0	50.5	26.3
10年～15年未満	83	3.6	50.6	26.5	14.5	1.2	54.2	15.7
15年～20年未満	52	3.8	38.5	36.5	13.5	1.9	42.3	15.4
20年以上	349	4.6	61.3	19.2	8.3	1.1	65.9	9.5
生まれてからずっと	77	2.6	39.0	32.5	20.8	2.6	41.6	23.4

3 分析の結果

前項で得られた知見をもとに、武蔵野市における広報媒体についての評価を行った。

(1) 武蔵野市の情報全般

30代を中心とする子どもがいない市民は、一時的な居住者としての意識があるためか、ほかの世代に比べ武蔵野市に関して全般的に関心が無く、情報入手意欲が低いという傾向がある。

また、居住当初は、武蔵野市に関する知識がゼロベースのため、ホームページからの情報入手に頼っているが、知識が蓄積されるにつれて徐々に「市報むさしの」へと情報入手経路が変化し、冊子の購読率も上がっていく様子がうかがえる。「季刊むさしの」や「市議会だより」は、比較的時間に余裕があり、地元への愛着や政治的な意識のある層に受入れられているという傾向がある。

就学前乳幼児を持つ住民は他の属性と比較して特異な情報入手を行っている。子育て関連の情報を入手するためと思われるが、「市報むさしの」からの情報入手は高い関心を示すが、「季刊むさしの」や「市議会だより」にはほとんど関心を持っていない。

(2) 市報むさしの

武蔵野市に関する情報源として重要な位置づけとなっているが、子どもがいない市民にとっては「忙しい、知らない、魅力ない、関心ない」という理由で約3割、学生の場合は約7割が読んでいない。「都内に通勤する一時的な居住者（市外に通勤している男性正社員で市内の居住経験は5年未満）」というライフスタイルがうかがえ、市民としての自覚をどのように促していくかが課題である。

就学前乳幼児を持つ市民は、「子育て情報」「休日医療機関」「イベント情報」「文化・スポーツ」

など、子どもに関連する情報を積極的に入手するが、ほかの情報についてはほとんど関心を持っていない。

情報に対するニーズとしては、「子どものいない若い世代」「子育て世代」「子育ての終わった世代」の三階層で大きな相違があることがうかがえ、これらの三階層のニーズにどのように対応していくか、例えば、世代別に紙面構成を分けるなどが課題である。

(3) 季刊むさしの

武蔵野市に関する副次的な情報源という位置づけであるが、生活のために必須の情報という位置づけではないため、読者は特定の階層（市内に通勤し、居住20年以上の年配者）に偏向しているという傾向がある。

また、内容については「『季刊むさしの』は、市政の情報公開促進のため市報では紹介しきれない市政の課題の背景や経緯、問題点などをお知らせする地域情報誌型広報誌です」という趣旨とは離れており、地域情報誌としての性格が強いように思われる。この広報誌については、民間のミニコミ誌などに任せることも含めて再検討することが必要と思われる。

(4) 武蔵野市議会だより

武蔵野市議会に関する主要な情報源という位置づけであり、市民のほとんどが読むべき広報紙であり、居住年数が増えるにつれて購読率は上がっている。

しかし、居住年数が増えるにつれて議会に関する関心は高まっているが、読まない理由の中で、居住年数が増えるにつれて「市議会に関心がない」割合が高くなるという傾向が見られる。これは「市議会だより」の内容に、例えば関心を低下させるような問題があるのではないかと推測される。

そこで、武蔵野市議会だよりで代表される議会報が今度どのようにあるべきかを探るため、「問16 議会関心度」を取り上げて掘り下げたクロス分析を行った。議会への関心の高さによって、掲載情報や紙面に対するニーズが異なることが下記の調査結果から明らかとなった。

① 「問16 議会関心度」と「問17 議会情報ニーズ」のクロス分析

議会への関心の高さによって、掲載情報に対するニーズがどのように異なるかという観点から分析すると、次のような特徴があることが分かった（表33）。

「関心を持っている」層は、「どんな議論が行われているか知りたい」が高い。

「あまり関心がない」層は、「どんな活動を行っているか知りたい」が高い。

「まったく関心がない」層は、「特にない」が高い。

(表33)

	該当数	仕組みについて知りたい	どんな議論行われているか知りたい	どんな議決がなされたかを知りたい	どんな活動を行っているか知りたい	特にない
全体	833	13.3	47.7	37.5	50.2	16.6
問16[議会報関心]						
非常に関心がある	35	20.0	82.9	65.7	57.1	-
関心がある	273	18.3	68.5	52.7	64.8	2.2
あまり関心がない	394	11.4	37.3	29.7	46.7	21.8
まったく関心がない	68	8.8	22.1	17.6	27.9	54.4

このことから、より多くの市民に「市議会だより」に関心を持ってもらうためには、関心の高い層向けに「具体的な議案や議論の内容」を充実させるとともに、関心の低い層向けに「（生活と密接に関わ

る) 具体的な議会の活動内容」を充実させていくべきであることを示唆している。

② 「問16 議会関心度」と「問18 議会報発行形態・内容要望」のクロス分析

議会への関心の高さによって、紙面に対するニーズがどのように異なるかという観点から分析すると、次のような特徴があることが明らかとなった(表34)。

全体として、どの層も「議論になったことの説明」に対するニーズが最も強い。

「非常に関心がある」層は、「タイムリーな情報提供」へのニーズが強い。

「関心がある」層は、「文章のわかりやすさ」へのニーズが強い。

「あまり関心がない」層は、「文章の分かりやすさ」へのニーズが強い。

「まったく関心がない」層は、「親しみやすい記事」へのニーズが強い。

(表34)

	該当数	議会で議論になったこと等説明する	親しみやすい記事も取り入れる	カラーをやめて白黒または2色刷り	もっとタイムリーに情報を提供する	記事の並べ方やタイトルを工夫する	写真やイラストの分量をもっと増やす	記事の分量をもっと増やす	文章をもっと分かりやすくする	活字をもっと大きくする	サイズを小さく手に取りやすくする
全体	833	43.1	9.5	16.3	17.8	11.9	4.9	3.4	19.0	9.4	5.8
問16[議会報関心]											
非常に関心がある	35	85.7	11.4	17.1	40.0	2.9	5.7	8.6	14.3	14.3	-
関心がある	273	57.1	6.6	20.9	23.8	12.1	4.4	7.0	27.5	8.4	7.0
あまり関心がない	394	34.5	10.4	15.7	13.7	14.5	5.6	1.0	16.8	10.7	6.1
まったく関心がない	68	25.0	16.2	10.3	10.3	5.9	2.9	1.5	11.8	5.9	5.9

議会だよりの改善策として、今までのようなアリバイ的な広報誌発行の姿勢ではなく、「議会で議論になったことを市民にきちんと説明する」ことに重点を置いた紙面づくりを目指していくべきことを示唆している。また、「関心を持つ市民」を増やしていくためには、「文章(言葉)の分かりやすさ」や「親しみやすい記事の掲載」にも取り組むことも必要であることが分かった。

(5) むさしのシティニュース・マイシティむさしの

地域的なばらつきはあるものの、特定の層が情報入手のための主要手段として活用しているという傾向はなく、全般的に視聴率は低調である。広報媒体としては、抜本的に見直しが必要と思われる。

(6) 武蔵野市ホームページ

新しい広報媒体としてかなり浸透してきている。特に居住1年未満では、武蔵野市に関する知識を持っていないため、ホームページから積極的に情報を入手しようとしていることがうかがえる。しかし高齢者にとっては使いづらい(情報にたどり着きにくい)メディアであることも確かであり、「詳細はホームページで」というだけでなく、「詳細はホームページで、またはコールセンターへ」という配慮も必要ではないかと思われる。

「就学前乳幼児」と「小中学生」の世代では、「子育て」「催し物・講座の情報」「市の魅力・おすすめスポット」など子どもに関する情報ニーズがかなり強く、ほかの属性とはかなり異なった傾向を持っている。「子育て世代のためのホームページ」を別立てで構築することも検討の余地があると思われる。

VII 市の愛着度、情報満足度クロス結果分析

澤 茂樹 委員

1 高い武蔵野市への愛着度と情報満足度

今回の調査対象となった武蔵野市民の「市への誇り・愛着度」（問32）は、「非常に感じている」と「感じている」の合計が81%とかなり高い水準にある（表1）。

階層別でも、高齢の女性層、通算居住年数の長い層でより高いものの、さほどの階層差は見られない。しいて言えば、「感じていない」比率が比較的高いのが「10代女性」（10%）、「居住1年未満」（14%）、「吉祥寺本町」（7%）といったところであるが、いずれも「感じている」比率が圧倒的に上回っている。総じて、市民の居住満足度が極めて高い地域であることがうかがえる。

（表1）

	該当数	非常に感じている	感じている	どちらともいえない	あまり感じていない	まったく感じていない	感じている(計)	感じていない(計)
全体	833	28.6	52.6	11.9	2.8	0.6	81.2	3.4
問34・問35〔性・年齢〕								
男 10歳代	7	14.3	71.4	14.3	-	-	85.7	-
20歳代	17	29.4	58.8	5.9	-	5.9	88.2	5.9
30歳代	53	34.0	41.5	20.8	1.9	1.9	75.5	3.8
40歳代	41	22.0	65.9	9.8	2.4	-	87.8	2.4
50歳代	43	27.9	60.5	4.7	2.3	4.7	88.4	7.0
60歳代	66	28.8	54.5	10.6	4.5	1.5	83.3	6.1
70歳代	49	38.8	53.1	6.1	2.0	-	91.8	2.0
80歳以上	15	33.3	46.7	20.0	-	-	80.0	-
女 10歳代	10	-	80.0	10.0	10.0	-	80.0	10.0
20歳代	44	25.0	50.0	20.5	4.5	-	75.0	4.5
30歳代	91	26.4	51.6	17.6	4.4	-	78.0	4.4
40歳代	77	28.6	57.1	14.3	-	-	85.7	-
50歳代	82	15.9	62.2	14.6	4.9	-	78.0	4.9
60歳代	92	29.3	53.3	14.1	3.3	-	82.6	3.3
70歳代	83	41.0	51.8	3.6	2.4	-	92.8	2.4
80歳以上	36	52.8	38.9	2.8	-	-	91.7	-
問39〔通算居住年数〕								
1年未満	22	9.1	45.5	31.8	9.1	4.5	54.5	13.6
1年～5年未満	134	22.4	53.0	19.4	4.5	-	75.4	4.5
5年～10年未満	99	20.2	59.6	14.1	1.0	1.0	79.8	2.0
10年～15年未満	83	30.1	53.0	12.0	1.2	-	83.1	1.2
15年～20年未満	52	17.3	59.6	15.4	1.9	-	76.9	1.9
20年以上	349	34.1	50.7	8.0	3.2	0.3	84.8	3.4
生まれてからずっと	77	39.0	46.8	7.8	1.3	2.6	85.7	3.9
問40〔居住区域〕								
吉祥寺東町	75	22.7	58.7	14.7	2.7	-	81.3	2.7
吉祥寺南町	87	25.3	59.8	11.5	2.3	-	85.1	2.3
御殿山	24	29.2	58.3	8.3	4.2	-	87.5	4.2
吉祥寺本町	68	30.9	41.2	13.2	7.4	-	72.1	7.4
吉祥寺北町	95	32.6	49.5	7.4	-	2.1	82.1	2.1
中町	78	29.5	53.8	12.8	3.8	-	83.3	3.8
西久保	61	27.9	54.1	9.8	-	1.6	82.0	1.6
緑町	58	32.8	51.7	13.8	-	-	84.5	-
八幡町	19	26.3	57.9	10.5	5.3	-	84.2	5.3
関前	51	39.2	47.1	9.8	2.0	2.0	86.3	3.9
境	81	22.2	60.5	12.3	2.5	-	82.7	2.5
境南町	83	31.3	39.8	19.3	6.0	-	71.1	6.0
椋堤	38	26.3	63.2	5.3	2.6	-	89.5	2.6

一方、「市の情報満足度」（問33）は愛着度ほどではないとはいえ、「十分に得られている」と「十分にでないが必要情報は得られている」の合計55%はやはり高いレベルにあると言っていいだろう（表2）。階層別では、「70～80代の高齢者層」、「家事専業」と「無職」、「居住20年以上」でより満足度が高い結果となっている。逆に「得られていない」とやや不満を示しているのは、「10代」（53%）、「学生」（37%）、「契約社員・派遣社員」（27%）、「居住1年未満」（27%）といったあたりであるが、もしかすると市の情報への欲求度自体がもともと低い階層であるのかもしれない。

(表2)

	該当数	十分に得られている	十分でないが必要情報得られている	どちらともいえない	あまり得られていない	まったく得られていない	得られている(計)	得られていない(計)
全体	833	4.7	50.5	23.8	14.6	1.8	55.2	16.4
問35[年齢]								
10歳代	17	-	23.5	23.5	29.4	23.5	23.5	52.9
20歳代	61	3.3	27.9	32.8	32.8	3.3	31.1	36.1
30歳代	144	5.6	38.9	32.6	21.5	1.4	44.4	22.9
40歳代	119	3.4	58.0	22.7	13.4	1.7	61.3	15.1
50歳代	125	3.2	52.8	25.6	12.8	0.8	56.0	13.6
60歳代	158	2.5	56.3	24.1	13.9	1.9	58.9	15.8
70歳代	132	9.1	63.6	19.7	6.1	0.8	72.7	6.8
80歳以上	52	7.7	69.2	7.7	7.7	-	76.9	7.7
問37[職業]								
自営業・自由業	76	2.6	56.6	25.0	13.2	-	59.2	13.2
正社員、正職員	221	3.2	38.5	29.9	20.8	2.7	41.6	23.5
契約社員、派遣社員	41	2.4	36.6	29.3	26.8	-	39.0	26.8
アルバイト、パート	79	5.1	53.2	22.8	12.7	1.3	58.2	13.9
学生	35	5.7	28.6	25.7	25.7	11.4	34.3	37.1
家事専業	201	4.5	59.7	20.4	10.9	1.0	64.2	11.9
無職	159	8.2	62.3	18.9	7.5	0.6	70.4	8.2
問39[通算居住年数]								
1年未満	22	-	50.0	18.2	18.2	9.1	50.0	27.3
1年～5年未満	134	5.2	41.0	30.6	19.4	2.2	46.3	21.6
5年～10年未満	99	8.1	42.4	19.2	24.2	2.0	50.5	26.3
10年～15年未満	83	3.6	50.6	26.5	14.5	1.2	54.2	15.7
15年～20年未満	52	3.8	38.5	36.5	13.5	1.9	42.3	15.4
20年以上	349	4.6	61.3	19.2	8.3	1.1	65.9	9.5
生まれてからずっと	77	2.6	39.0	32.5	20.8	2.6	41.6	23.4

両者のデータを見る限り、武蔵野市民の市及び市政への関与度・関心度の高さが推察される。今回の調査項目ではないが、市民の所得水準の高さや市民活動の活発ぶりも含めて、広報対象特性の重要な一面として、十分に認識しておきたい。

2 愛着度・情報満足度と各メディアの相関

では、「愛着度」や「情報満足度」の高低で、「市の広報メディアへの接触度合い」（問1）に差異が見られるであろうか（表3）。

(表3)

	該当数	「市報むさしの」	季刊誌「季刊むさしの」	「武蔵野市議会だより」	武蔵野市ホームページ	ケーブルテレビ広報番組	むさしのFM広報番組	公共施設等に置いてある市政チラシ	新聞記事	コミュニティセンター
全体	833	82.4	17.4	28.8	13.7	9.4	3.0	12.5	29.1	9.1
問32[武蔵野市愛着]										
非常に感じている	238	87.8	23.9	32.4	17.2	10.9	5.5	19.7	33.2	15.1
感じている	438	82.0	16.7	29.5	12.3	8.9	2.1	11.0	29.0	7.3
どちらともいえない	99	74.7	7.1	17.2	13.1	4.0	2.0	3.0	21.2	2.0
あまり感じていない	23	78.3	13.0	26.1	13.0	13.0	4.3	13.0	17.4	8.7
まったく感じていない	5	20.0	20.0	20.0	-	-	-	-	20.0	-
感じている(計)	676	84.0	19.2	30.5	14.1	9.6	3.3	14.1	30.5	10.1
感じていない(計)	28	67.9	14.3	25.0	10.7	10.7	3.6	10.7	17.9	7.1
問33[情報満足度]										
十分に得られている	39	82.1	23.1	35.9	17.9	15.4	5.1	23.1	35.9	12.8
十分でないが必要情報得られている	421	90.3	23.5	34.9	15.0	8.3	4.0	16.6	32.8	12.8
どちらともいえない	198	78.8	11.1	20.2	14.1	9.1	2.0	7.6	27.3	4.5
あまり得られていない	122	69.7	8.2	22.1	10.7	9.8	1.6	4.9	20.5	4.1
まったく得られていない	15	33.3	6.7	20.0	-	6.7	-	6.7	13.3	-
得られている(計)	460	89.6	23.5	35.0	15.2	8.9	4.1	17.2	33.0	12.8
得られていない(計)	137	65.7	8.0	21.9	9.5	9.5	1.5	5.1	19.7	3.6

結論から言えば、「愛着度」「情報満足度」ともにかなり高い水準にあるため、それぞれの媒体の「全体」数値と「愛着を感じている(計)」「情報を得られている(計)」の数値は近似したものとなって

いる。関心の高い階層ほど市のメディアに接触している（情報源としている）結果となっている。また、「情報満足度」の高い層で「市報」を情報源とする比率がより高いのは、相互の相関性（市報の活用度）を示しているのかもしれない。

誤差の範囲ではあるが、テレビ番組とFM放送で「愛着・低」が「愛着・高」をわずかに上回っているのは、どういう理由であろうか。一応、注目しておきたい。

また、上記の傾向は、市報を「読んでいる（毎号＋ときどき）」（問2）との相関でもほぼ同様となっている。つまり、「高・低」の差はあるものの、「全体」数値との差は微細である。

3 市報の情報ニーズと愛着度・情報満足度との相関

そのほか、市報による情報ニーズとの相関では、愛着度で「非常に感じている」層、情報満足度で「十分に得られている」層において、「保健・医療」情報へのニーズが高い（全体：75%、非常に感じている：82%、十分に得られている：85%）（表4）。

一方、愛着度で「感じていない」とする層で「税金」（全体：6%、感じていない（計）：19%、得られていない（計）：10%）と「子育て」（全体：20%、感じていない（計）：38%、得られていない（計）：22%）の情報ニーズが比較的高い結果となっている。「税金」や「子育て」に関しては、情報量や提供の仕方に不満が出やすい領域（テーマ）であるのかもしれない。

（表4）

	該当数	保健・医療	税金	福祉	防犯・防災	保険・年金	催し物・講座の情報	文化・スポーツ
全体	683	75.3	5.6	3.4	4.0	0.7	5.7	0.6
問32[武蔵野市愛着]								
非常に感じている	210	82.4	3.8	3.3	3.8	0.5	5.7	-
感じている	363	72.7	5.5	3.9	4.1	1.1	6.9	0.3
どちらともいえない	72	66.7	8.3	2.8	2.8	-	1.4	2.8
あまり感じていない	15	66.7	20.0	-	-	-	6.7	6.7
まったく感じていない	1	100.0	-	-	-	-	-	-
感じている(計)	573	76.3	4.9	3.7	4.0	0.9	6.5	0.2
感じていない(計)	16	68.8	18.8	-	-	-	6.3	6.3
問33[情報満足度]								
十分に得られている	34	85.3	2.9	-	2.9	-	2.9	-
十分でないが必要情報得られている	389	76.9	3.9	3.6	4.1	0.8	5.4	0.3
どちらともいえない	153	68.6	8.5	4.6	2.6	1.3	6.5	1.3
あまり得られていない	77	76.6	9.1	1.3	5.2	-	7.8	-
まったく得られていない	4	75.0	25.0	-	-	-	-	-
得られている(計)	423	77.5	3.8	3.3	4.0	0.7	5.2	0.2
得られていない(計)	81	76.5	9.9	1.2	4.9	-	7.4	-

	該当数	ごみ・リサイクル	市の魅力・おすすめスポット	市の財政状況	子育て	市内施設の開館日・空き状況等	市議会
全体	683	0.7	0.9	-	19.9	16.0	10.8
問32[武蔵野市愛着]							
非常に感じている	210	-	-	-	20.0	23.8	13.8
感じている	363	1.1	1.7	-	17.4	13.5	10.7
どちらともいえない	72	1.4	-	-	26.4	8.3	4.2
あまり感じていない	15	-	-	-	40.0	13.3	6.7
まったく感じていない	1	-	-	-	-	-	-
感じている(計)	573	0.7	1.0	-	18.3	17.3	11.9
感じていない(計)	16	-	-	-	37.5	12.5	6.3
問33[情報満足度]							
十分に得られている	34	-	2.9	-	32.4	20.6	14.7
十分でないが必要情報得られている	389	1.0	1.0	-	20.1	15.9	12.6
どちらともいえない	153	-	0.7	-	15.0	14.4	5.9
あまり得られていない	77	-	-	-	22.1	18.2	11.7
まったく得られていない	4	-	-	-	25.0	50.0	25.0
得られている(計)	423	0.9	1.2	-	21.0	16.3	12.8
得られていない(計)	81	-	-	-	22.2	19.8	12.3

Ⅷ 「季刊むさしの」「武蔵野市議会だより」閲読と他項目とのクロス結果

川上 和久 座長

1 「季刊むさしの」閲読頻度と他項目とのクロス

(1) 「季刊むさしの」の閲読頻度(問8)と「季刊むさしの」で充実を望む情報(問11)のクロス集計結果

問8の「季刊むさしの」閲読頻度について、「毎号読んでいる」「ときどき読んでいる」を読んでいるグループ、「読んでいない」「読んだことがない」を読んでいないグループとし、問11の15項目とクロス集計した。その中で特に差異が出た項目は以下の通りである。

① 保健・医療

「保健・医療」について詳しく知りたい比率が、読むグループでは50.8%で、読まないグループでは37.8%である(表1)。

(表1)

		いいえ	はい	無回答	合計
読んでいる	該当数	139	152	8	299
	%	46.5%	50.8%	2.7%	100.0%
読んでいない	該当数	258	182	42	482
	%	53.5%	37.8%	8.7%	100.0%
合計	該当数	397	334	50	781
	%	50.8%	42.8%	6.4%	100.0%

② 福祉

「福祉」について詳しく知りたい比率が、読むグループでは42.1%で、読まないグループでは23.9%である(表2)。

(表2)

		いいえ	はい	無回答	合計
読んでいる	該当数	165	126	8	299
	%	55.2%	42.1%	2.7%	100.0%
読んでいない	該当数	325	115	42	482
	%	67.4%	23.9%	8.7%	100.0%
合計	該当数	490	241	50	781
	%	62.7%	30.9%	6.4%	100.0%

③ 催し物・講座の情報

「催し物・講座の情報」について詳しく知りたい比率が、読むグループでは40.8%で、読まないグループでは29.5%である(表3)

(表3)

		いいえ	はい	無回答	合計
読んでいる	該当数	169	122	8	299
	%	56.5%	40.8%	2.7%	100.0%
読んでいない	該当数	298	142	42	482
	%	61.8%	29.5%	8.7%	100.0%
合計	該当数	467	264	50	781
	%	59.8%	33.8%	6.4%	100.0%

④ 文化・スポーツ

「文化・スポーツ」について詳しく知りたい比率が、読むグループでは39.5%で、読まないグループでは28.2%である（表4）

（表4）

		いいえ	はい	無回答	合計
読んでいる	該当数	173	118	8	299
	%	57.9%	39.5%	2.7%	100.0%
読んでいない	該当数	304	136	42	482
	%	63.1%	28.2%	8.7%	100.0%
合計	該当数	477	254	50	781
	%	61.1%	32.5%	6.4%	100.0%

⑤ 市の魅力・おすすめスポット

「市の魅力・おすすめスポット」について詳しく知りたい比率が、読むグループでは52.2%で、読まないグループでは40.7%である（表5）。

（表5）

		いいえ	はい	無回答	合計
読んでいる	該当数	135	156	8	299
	%	45.2%	52.2%	2.7%	100.0%
読んでいない	該当数	244	196	42	482
	%	50.6%	40.7%	8.7%	100.0%
合計	該当数	379	352	50	781
	%	48.5%	45.1%	6.4%	100.0%

これらの「保健・医療」「福祉」「催し物・講座の情報」「文化・スポーツ」「市の魅力・おすすめスポット」の五つの項目については、「季刊むさしの」の接触層のニーズが高い項目であり、実際に接している層を、さらに取り込んでいくためのコンテンツとして、重要であるといえよう。

ただ、逆に、ほかの項目は、「季刊むさしの」を読んでいる層でも、そうでない層でも、さほど相違なくニーズがあるという言い方もできる。

どちらに重きを置くかは、どういった形で読者層を広げるかの戦略に関わってこよう。

（2）「季刊むさしの」読読頻度（問8）と「季刊むさしの」発行形態・内容要望（問12）のクロス集計結果

問8の「季刊むさしの」読読頻度と、問12の6項目とクロス集計した。

① 配布方法をもっと工夫してほしい

「配布方法をもっと工夫してほしい」について要望のある比率が、読むグループでは34.8%で、読まないグループでは45.0%である（表6）。

（表6）

		いいえ	はい	無回答	合計
読んでいる	該当数	115	104	80	299
	%	38.5%	34.8%	26.8%	100.0%
読んでいない	該当数	130	217	135	482
	%	27.0%	45.0%	28.0%	100.0%
合計	該当数	245	321	215	781
	%	31.4%	41.1%	27.5%	100.0%

② 活字をもっと大きくしてほしい

「活字をもっと大きくしてほしい」について要望のある比率が、読むグループでは14.0%で、読まないグループでは8.3%である（表7）。

（表7）

		いいえ	はい	無回答	合計
読んでいる	該当数	177	42	80	299
	%	59.2%	14.0%	26.8%	100.0%
読んでいない	該当数	307	40	135	482
	%	63.7%	8.3%	28.0%	100.0%
合計	該当数	484	82	215	781
	%	62.0%	10.5%	27.5%	100.0%

③ サイズをA4サイズにしてほしい

「サイズをA4サイズにしてほしい」について要望のある比率が、読むグループでは7.4%で、読まないグループでは3.3%である（表8）。

（表8）

		いいえ	はい	無回答	合計
読んでいる	該当数	197	22	80	299
	%	65.9%	7.4%	26.8%	100.0%
読んでいない	該当数	331	16	135	482
	%	68.7%	3.3%	28.0%	100.0%
合計	該当数	528	38	215	781
	%	67.6%	4.9%	27.5%	100.0%

④ 連載物を増やしてほしい

「連載物を増やしてほしい」について要望のある比率が、読むグループでは8.4%で、読まないグループでは2.1%である（表9）。

（表9）

		いいえ	はい	無回答	合計
読んでいる	該当数	194	25	80	299
	%	64.9%	8.4%	26.8%	100.0%
読んでいない	該当数	337	10	135	482
	%	69.9%	2.1%	28.0%	100.0%
合計	該当数	531	35	215	781
	%	68.0%	4.5%	27.5%	100.0%

⑤ 地域の活動や市民を紹介する企画を増やしてほしい

「地域の活動や市民を紹介する企画を増やしてほしい」について要望のある比率が、読むグループでは27.1%で、読まないグループでは11.6%である（表10）。

（表10）

		いいえ	はい	無回答	合計
読んでいる	該当数	138	81	80	299
	%	46.2%	27.1%	26.8%	100.0%
読んでいない	該当数	291	56	135	482
	%	60.4%	11.6%	28.0%	100.0%
合計	該当数	429	137	215	781
	%	54.9%	17.5%	27.5%	100.0%

⑥ 市民が投稿できる企画を増やしてほしい

「市民が投稿できる企画を増やしてほしい」について要望のある比率が、読むグループでは12.0%で、読まないグループでは4.8%である（表11）。

（表11）

		いいえ	はい	無回答	合計
読んでいる	該当数	183	36	80	299
	%	61.2%	12.0%	26.8%	100.0%
読んでいない	該当数	324	23	135	482
	%	67.2%	4.8%	28.0%	100.0%
合計	該当数	507	59	215	781
	%	64.9%	7.6%	27.5%	100.0%

「季刊むさしの」を読んでいるグループで、読んでいないグループと比較して、要望している比率が高いものが、「活字をもっと大きくしてほしい」「サイズをA4サイズにしてほしい」「連載物を増やしてほしい」「地域の活動や市民を紹介する企画を増やしてほしい」「市民が投稿できる企画を増やしてほしい」の五つの項目だった。

逆に、「季刊むさしの」を読んでいないグループで、読んでいるグループと比較して、要望している比率が高いものが、「配布方法をもっと工夫してほしい」だった。

「季刊むさしの」を読んでいる人たちでは、4分の1以上の人たちが、地域活動を紹介する企画の充実を望んでいる。その意味では、読んでいる人たちの要望が強い地域活動の紹介や、市民の投稿企画など、さらに身近に感じられる紙面づくりを目指すことが望まれる。

その一方で、読んでいない人たちに対しては、手にとってもらえる機会を増やす方法（回読などでの接触機会増加等）を考えることが必要であろう。

（3）「季刊むさしの」閲読頻度（問8）と「むさしのシティニュース」接触頻度（問21）のクロス集計結果

「季刊むさしの」の閲読状況と、広報テレビ番組「むさしのシティニュース」視聴状況のクロス集計では、「季刊むさしの」を読んでいるグループで、「むさしのシティニュース」を「よく見ている」「ときどき見ている」を合わせた比率が27.1%であるのに対して、「季刊むさしの」を読んでいないグループでは合わせて13.7%にしかない（表12）。

「季刊むさしの」を読んでいるグループは、「むさしのシティニュース」への接触比率も高いことが分かる。

（表12）

		よく見ている	ときどき見ている	あまり見えない	見たことがない	無回答	合計
読んでいる	該当数	12	69	70	139	9	299
	%	4.0%	23.1%	23.4%	46.5%	3.0%	100.0%
読んでいない	該当数	2	64	95	307	14	482
	%	0.4%	13.3%	19.7%	63.7%	2.9%	100.0%
合計	該当数	14	133	165	446	23	781
	%	1.8%	17.0%	21.1%	57.1%	2.9%	100.0%

（4）「季刊むさしの」閲読頻度（問8）と「マイシティむさしの」接触頻度（問22）のクロス集計結果

「季刊むさしの」の閲読状況と、コミュニティFM「マイシティむさしの」聴取状況のクロス集計では、「季刊むさしの」を読んでいるグループで、「マイシティむさしの」を「よく聴いている」「とき

どき聴いている」を合わせた比率が12.7%であるのに対して、「季刊むさしの」を読んでいないグループでは合わせて「よく聴いている」は0%、「ときどき聴いている」も3.7%しかいない（表13）。

「むさしのシティニュース」より比率は落ちるが、「マイシティむさしの」も、「季刊むさしの」を読んでいるグループのほうが、地域・行政への関心が媒介して高い接触率となっている。

(表13)

		よく聴いている	ときどき聴いている	あまり聴いていない	聴いたことがない	無回答	合計
読んでいる	該当数	7	31	67	183	11	299
	%	2.3%	10.4%	22.4%	61.2%	3.7%	100.0%
読んでいない	該当数	0	18	45	400	19	482
	%	0.0%	3.7%	9.3%	83.0%	3.9%	100.0%
合計	該当数	7	49	112	583	30	781
	%	0.9%	6.3%	14.3%	74.6%	3.8%	100.0%

(5) 「季刊むさしの」 閲読頻度（問8）とホームページの閲覧頻度（問24）のクロス集計結果

「季刊むさしの」と武蔵野市のホームページの閲覧状況とのクロス集計では、「季刊むさしの」を読んでいるグループで、ホームページを「よく見る」「ときどき見る」の比率が合わせて12.1%。これに対して、読んでいないグループでは、「よく見る」「ときどき見る」の比率が合わせて18.1%と、「季刊むさしの」を読んでいないグループのほうが、武蔵野市のホームページの接触率が高い（表14）。

市のホームページ接触については、「季刊むさしの」を読んでいる層が高年齢層中心であることが影響していると思われる。

(表14)

		よく見る	ときどき見る	見たことがある	見たことはない	無回答	合計
読んでいる	該当数	5	31	58	179	26	299
	%	1.7%	10.4%	19.4%	59.9%	8.7%	100.0%
読んでいない	該当数	8	79	148	229	18	482
	%	1.7%	16.4%	30.7%	47.5%	3.7%	100.0%
合計	該当数	13	110	206	408	44	781
	%	1.7%	14.1%	26.4%	52.2%	5.6%	100.0%

2 「市議会だより」 閲読頻度と他項目とのクロス

(1) 「市議会だより」の閲読頻度（問14）と市議会情報ニーズ（問17）のクロス集計結果

問14の「市議会だより」 閲読頻度について、「毎号読む」「ときどき読む程度」を読んでいるグループ、「ほとんど読まない」「読んだことはない」を読んでいないグループとし、問17の武蔵野市議会について知りたい項目四つとクロス集計した。

① 武蔵野市議会の仕組み

「武蔵野市議会の仕組みについて知りたい」について詳しく知りたい比率が、読むグループでは18.2%で、読まないグループでは9.3%である（表15）。

(表15)

		いいえ	はい	無回答	合計
読んでいる	該当数	302	71	18	391
	%	77.2%	18.2%	4.6%	100.0%
読んでいない	該当数	355	38	17	410
	%	86.6%	9.3%	4.1%	100.0%
合計	該当数	657	109	35	801
	%	82.0%	13.6%	4.4%	100.0%

② 武蔵野市議会の議論

「武蔵野市議会でのどのような議論が行われているかを知りたい」について詳しく知りたい比率が、読むグループでは62.4%で、読まないグループでは35.9%である（表16）。

(表16)

		いいえ	はい	無回答	合計
読んでいる	該当数	129	244	18	391
	%	33.0%	62.4%	4.6%	100.0%
読んでいない	該当数	246	147	17	410
	%	60.0%	35.9%	4.1%	100.0%
合計	該当数	375	391	35	801
	%	46.8%	48.8%	4.4%	100.0%

③ 武蔵野市議会の議決

「武蔵野市議会でのどのような議決がなされたかを知りたい」について詳しく知りたい比率が、読むグループでは48.8%で、読まないグループでは28.3%である（表17）。

(表17)

		いいえ	はい	無回答	合計
読んでいる	該当数	182	191	18	391
	%	46.5%	48.8%	4.6%	100.0%
読んでいない	該当数	277	116	17	410
	%	67.6%	28.3%	4.1%	100.0%
合計	該当数	459	307	35	801
	%	57.3%	38.3%	4.4%	100.0%

④ 市議会議員の活動

「市議会議員がどのような活動を行っているかを知りたい」について詳しく知りたい比率が、読むグループでは57.0%で、読まないグループでは45.4%である（表18）。

(表18)

		いいえ	はい	無回答	合計
読んでいる	該当数	150	223	18	391
	%	38.4%	57.0%	4.6%	100.0%
読んでいない	該当数	207	186	17	410
	%	50.5%	45.4%	4.1%	100.0%
合計	該当数	357	409	35	801
	%	44.6%	51.1%	4.4%	100.0%

「武蔵野市議会の仕組み」「武蔵野市議会の議論」「武蔵野市議会の議決」「市議会議員の活動」いずれの項目も、市議会だよりを読んでいるグループで比率が高い。

特に、「武蔵野市議会の議論」「市議会議員の活動」については、詳しく知りたい割合が5割を超えていることから、市議会だよりを読んでいる層に対しては、こういった内容の充実が望まれる。

(2) 「市議会だより」の閲読頻度(問14)と「市議会だより」発行形態・内容要望(問18)のクロス集計結果

問14の「市議会だより」閲読頻度と、問18の10項目とクロス集計をした。その中で特に差異が出た項目は以下の通りである。

読んでいるグループが、読んでいないグループよりも比率が高い(要望が高い)項目は、以下の「議会で議論になったこと等の説明」「タイムリーな情報提供」「文章を分かりやすく」の三つである。

一方、読んでいないグループが、読んでいるグループよりも比率が高い(要望が高い)項目は、「親しみやすい記事を取り入れる」の一つである。

① 議会で議論になったこと等説明する

「議会で議論になったこと、議案に対する各議員お賛否などについて具体的に説明する」について要望のある比率が、読むグループでは56.8%で、読まないグループでは32.7%である(表19)。

(表19)

		いいえ	はい	無回答	合計
読んでいる	該当数	118	222	51	391
	%	30.2%	56.8%	13.0%	100.0%
読んでいない	該当数	198	134	78	410
	%	48.3%	32.7%	19.0%	100.0%
合計	該当数	316	356	129	801
	%	39.5%	44.4%	16.1%	100.0%

② もっとタイムリーに情報を提供する

「もっとタイムリーに情報を提供する」について要望のある比率が、読むグループでは23.3%で、読まないグループでは13.2%である(表20)。

(表20)

		いいえ	はい	無回答	合計
読んでいる	該当数	249	91	51	391
	%	63.7%	23.3%	13.0%	100.0%
読んでいない	該当数	278	54	78	410
	%	67.8%	13.2%	19.0%	100.0%
合計	該当数	527	145	129	801
	%	65.8%	18.1%	16.1%	100.0%

③ 文章をもっと分かりやすくする

「カタカナ用語や専門用語の使用をやめるなどして、文章をもっと分かりやすくする」について要望のある比率が、読むグループでは22.8%で、読まないグループでは16.3%である(表21)。

(表21)

		いいえ	はい	無回答	合計
読んでいる	該当数	251	89	51	391
	%	64.2%	22.8%	13.0%	100.0%
読んでいない	該当数	265	67	78	410
	%	64.6%	16.3%	19.0%	100.0%
合計	該当数	516	156	129	801
	%	64.4%	19.5%	16.1%	100.0%

④ 親しみやすい記事も取り入れる

「クイズやコラムなど親しみやすい記事を取り入れる」について要望のある比率が、読むグループでは

7.7%で、読まないグループでは12.0%である（表22）。

（表22）

		いいえ	はい	無回答	合計
読んでいる	該当数	310	30	51	391
	%	79.3%	7.7%	13.0%	100.0%
読んでいない	該当数	283	49	78	410
	%	69.0%	12.0%	19.0%	100.0%
合計	該当数	593	79	129	801
	%	74.0%	9.9%	16.1%	100.0%

市議会に関心を持っている人たちに対しては、「開かれた議会」として、より分かりやすい形を工夫しながら、議会改革などを積極的に発信していくことで、市議会に対する信頼を高めていくことができるだろう。

市議会の活動などを分かりやすく伝える努力が、市議会だよりを読んでいる層に求められている一方で、市議会だよりを読んでいない層には、読んでもらうためのエントリー記事として、クイズやコラムなどのコンテンツが必要であることが分かる。

（3）「市議会だより」閲読頻度（問14）と「むさしのシティニュース」接触頻度（問21）のクロス集計結果

「市議会だより」の閲読状況と、広報テレビ番組「むさしのシティニュース」視聴状況のクロス集計では、「市議会だより」を読んでいるグループで、「むさしのシティニュース」を「よく見ている」「ときどき見ている」を合わせた比率が25.8%であるのに対して、「市議会だより」を読んでいないグループでは合わせて11.9%にしかない（表23）。

「市議会だより」を読んでいるグループは、「むさしのシティニュース」への接触比率も高いことが分かる。

（表23）

		よく見る	ときどき見る	見たことがある	見たことはない	無回答	合計
読んでいる	該当数	15	86	91	187	12	391
	%	3.8%	22.0%	23.3%	47.8%	3.1%	100.0%
読んでいない	該当数	1	48	74	278	9	410
	%	0.2%	11.7%	18.0%	67.8%	2.2%	100.0%
合計	該当数	16	134	165	465	21	801
	%	2.0%	16.7%	20.6%	58.1%	2.6%	100.0%

（4）「市議会だより」閲読頻度（問14）と「マイシティむさしの」接触頻度（問22）のクロス集計結果

「市議会だより」の閲読状況と、コミュニティFM「マイシティむさしの」視聴状況のクロス集計では、「市議会だより」を読んでいるグループで、「マイシティむさしの」を「よく見ている」「ときどき見ている」を合わせた比率が9.2%で、「市議会だより」を読んでいないグループでは5.1%である（表24）。

「市議会だより」を読んでいるグループは、「マイシティむさしの」への接触比率も高いことが分かる。

(表24)

		よく見る	ときどき見る	見たことがある	見たことはない	無回答	合計
読んでいる	該当数	4	32	80	255	20	391
	%	1.0%	8.2%	20.5%	65.2%	5.1%	100.0%
読んでいない	該当数	3	18	36	345	8	410
	%	0.7%	4.4%	8.8%	84.1%	2.0%	100.0%
合計	該当数	7	50	116	600	28	801
	%	0.9%	6.2%	14.5%	74.9%	3.5%	100.0%

(5) 市議会への関心度（問16）と市議会情報入手希望媒体（問19）のクロス集計結果

問16の市議会への関心度について、「非常に関心がある」「関心がある」を関心があるグループ、「あまり関心がない」「まったく関心がない」を関心がないグループとし、問19の武蔵野市議会情報を入手したい媒体六つとクロス集計した。その中で特に差異が出た項目は以下の通りである。

関心があるグループが、関心がないグループよりも、情報を入手したい媒体として比率が高い項目は、「武蔵野市議会だより」「市議会ホームページ」である。

① 武蔵野市議会だより

「武蔵野市議会だより」から情報を入手したい比率が、関心があるグループでは78.6%で、関心がないグループでは51.1%である（表25）。

(表25)

		いいえ	はい	無回答	合計
関心ある	該当数	44	242	22	308
	%	14.3%	78.6%	7.1%	100.0%
関心ない	該当数	125	236	101	462
	%	27.1%	51.1%	21.9%	100.0%
合計	該当数	169	478	123	770
	%	21.9%	62.1%	16.0%	100.0%

② 市議会ホームページ

「市議会ホームページ」から情報を入手したい比率が、関心があるグループでは21.8%で、関心がないグループでは17.1%である（表26）。

(表26)

		いいえ	はい	無回答	合計
関心ある	該当数	219	67	22	308
	%	71.1%	21.8%	7.1%	100.0%
関心ない	該当数	282	79	101	462
	%	61.0%	17.1%	21.9%	100.0%
合計	該当数	501	146	123	770
	%	65.1%	19.0%	16.0%	100.0%

市議会だよりだけでなく、今後は、市議会ホームページを充実し、市議会だよりと使い分けていくことで、議会に関心を持っている層の情報ニーズにこたえていくことが求められているといえよう。

IX テキストマイニング分析

榎並 利博 委員

1 テキストマイニングとは

テキストマイニングとはコンピュータを利用した文章解析技術であり、テキスト（文章）からキーワード（名詞、動詞、形容詞など）を抽出し、キーワードとキーワードの結びつきを図で表示することができる。全体のキーワードの関連が一目で分かりやすく表示されるため、全体としての関心事や傾向などを把握することができる。さらに、特定のキーワードを指定してその関連キーワードを解析すれば、特定のキーワードが全体としてどのように扱われているかも把握することができる。

アンケート調査の自由記述欄から何らかの意味や傾向を見出そうとする場合、回答件数が少なければ個別に内容を把握・理解して傾向をつかむことも可能であるが、件数が多い場合には個別に内容を把握することは至難の業となる。このような場合、テキストマイニングのソフトを利用して自由記述欄を解析すれば、全体的に使用頻度の多いキーワードがどのような関連でつながっているのかを把握できるため、一つ一つの内容をすべて把握せずとも全体の傾向をつかむことができる。

今回の分析は、パソコン上でも稼動する簡易版のテキストマイニングツール「トレンドサーチV1.0（株式会社富士通ソフトウェア生産技術研究所）」を使用して行った。

2 テキストマイニングの対象

テキストマイニングの対象となるのはアンケートの自由記述項目である。今回のアンケートにおける自由記述項目は以下の通り。これらの自由記述欄を対象に分析を行った。

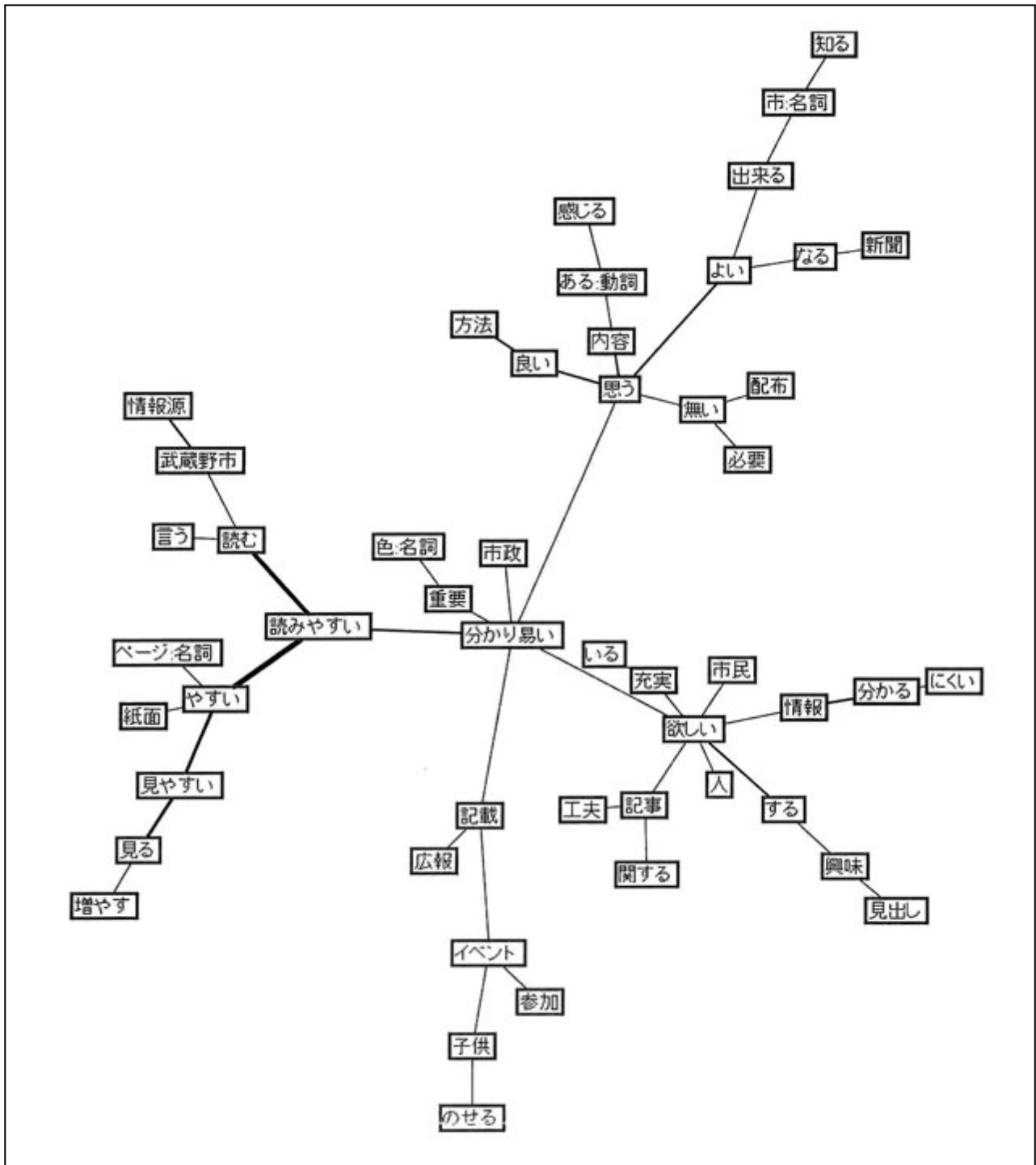
- ① 問7 「市報むさしの」意見・要望
- ② 問13 「季刊むさしの」意見・要望
- ③ 問20 「武蔵野市議会だより」意見・要望
- ④ 問23 「むさしのシティニュース」「マイシティむさしの」意見・要望
- ⑤ 問29 ホームページ意見・要望

3 「市報むさしの」についての意見・要望（問7）

全体的にみて「読みやすい」と「分かり易い」というキーワードが中心となっており、「読みやすい」と「読む」、「読みやすい」と「やすい」「見やすい」「見る」の関係性が強く出ている。つまり「市報むさしの」は市民に「読みやすく分かりやすい」という評価を得ている。広報媒体として市民の支持は非常に大きいと評価できる（図1）。

ほかの意見は、市報に対する批判というより、「（肯定的に）思う」や「欲しい」などのキーワードで市報に対する要望事項が具体的に挙げられている。要望の内容を見ると、それぞれのライフスタイルや個人的な趣味にあった情報・紙面づくりを求めており、どこまで市民の個々のニーズにこたえていくかがこれからの課題である。

（図1）



4 「季刊むさしの」についての意見・要望（問13）

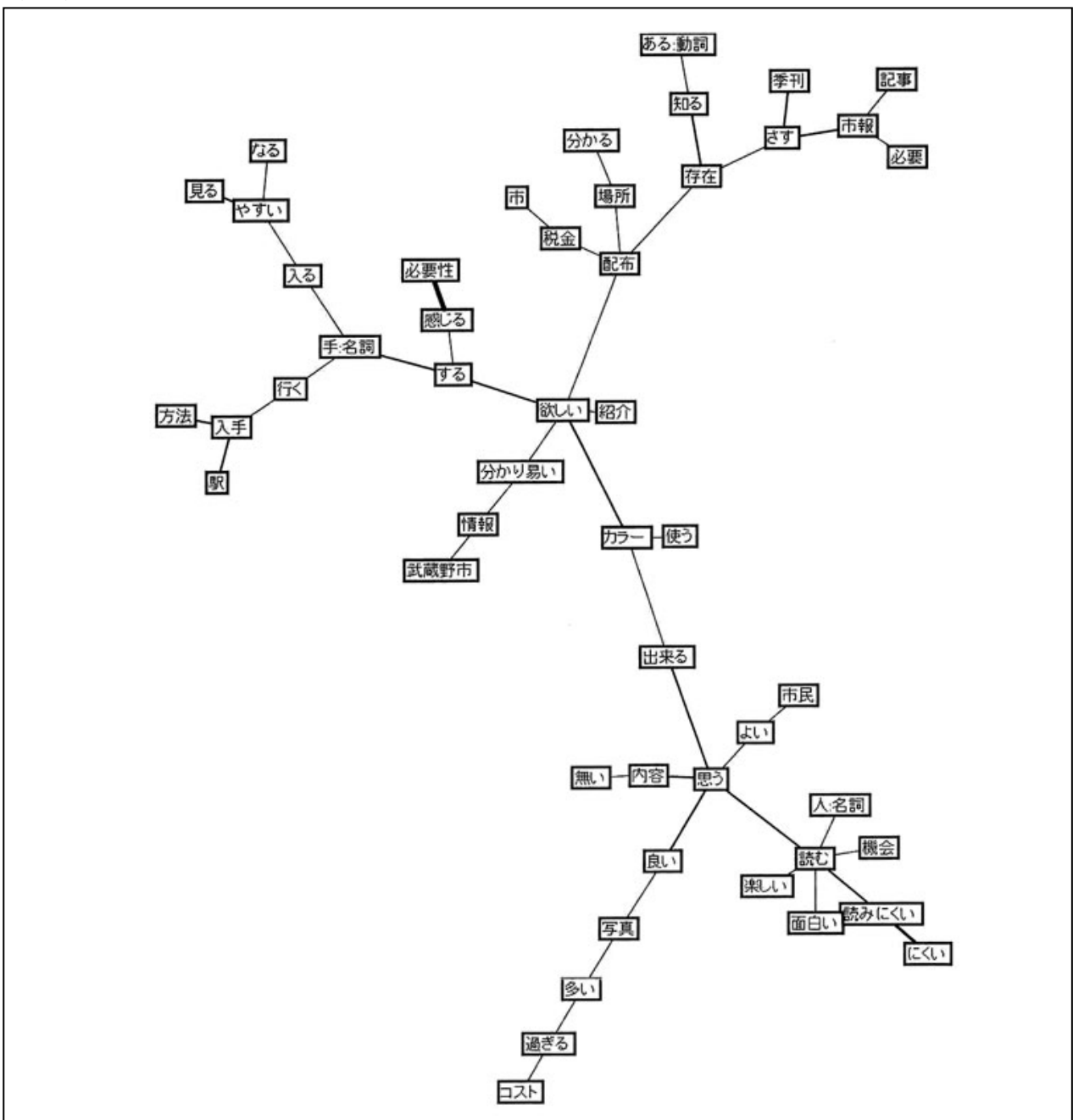
「欲しい」というキーワードを中心に上方に展開されている部分では、「配布」や「手（に入れる）」を中心とした意見がまとまっており、「季刊むさしの」は内容よりもその入手方法や配布方法を問題にしていることが分かる（図2）。

「必要性」と「感じる」が強く結びついているが、意見としては、すべて「必要性を感じない」（5件）である。

「思う」を中心とした意見のグループは肯定的な意見と否定的な意見が分かれており、否定的な意見をまとめると「市民全員に必須な情報ではないので、ここまで費用をかける必要はない」というとらえ方が多い。

「季刊むさしの」は特定の市民層のものだととらえているようであり、広報媒体としての位置づけを再度確認する必要性がある。

（図2）



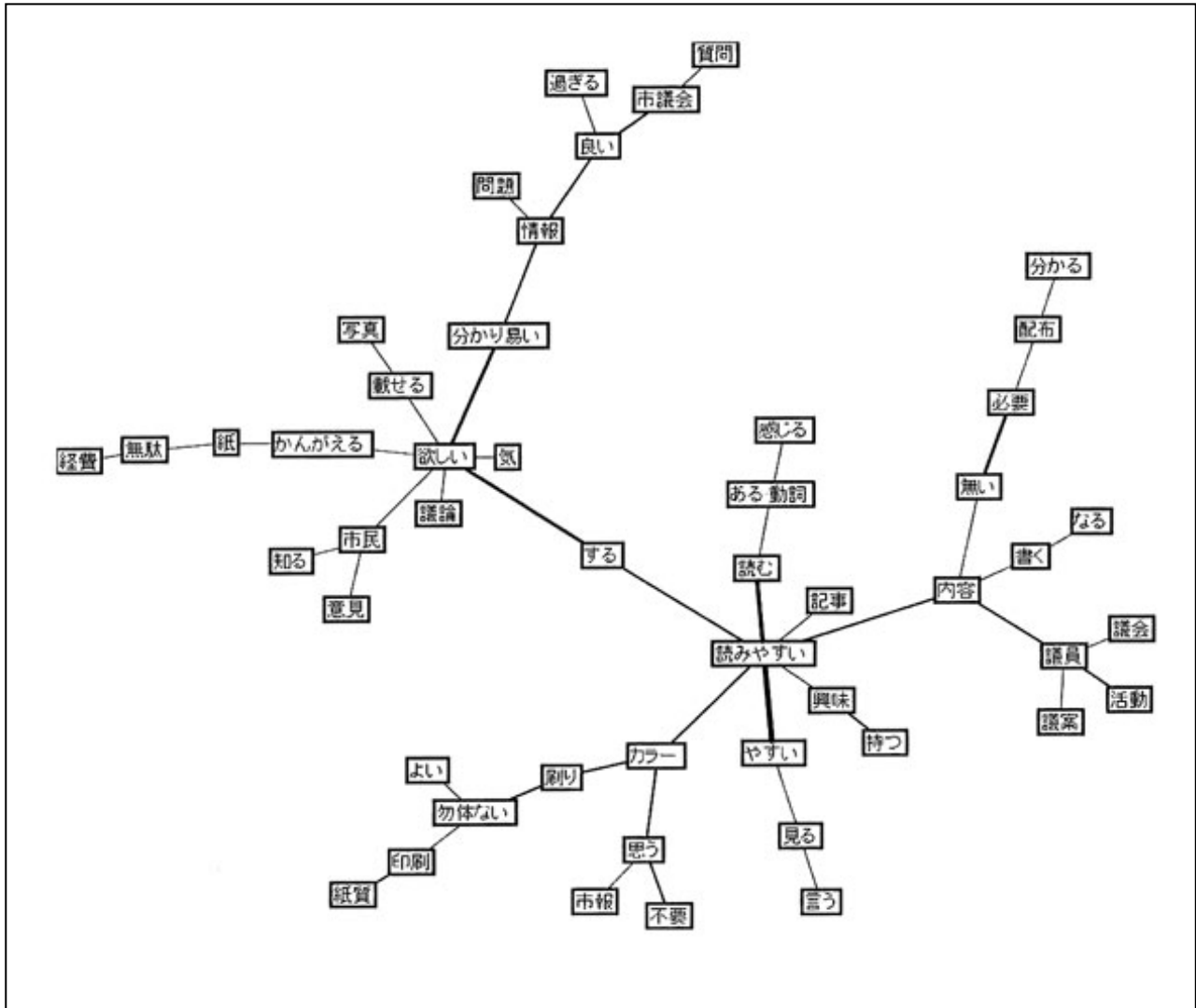
5 「武蔵野市議会だより」についての意見・要望（問20）

「読みやすい」を中心に、「読む」と「やすい」の関係性が強くでており、紙面としての評価は好意的である（図3）。

ただし、「カラー」については読みやすいという意見がある一方、「勿体ない」に見られるように印刷のコストの掛け過ぎだという意見が多くある。また、議員や市議会の活動、議会の決定事項など内容の充実を要求する意見が多い。

市民は「武蔵野市議会だより」の必要性について感じているものの、その内容の薄さに不満を持っている。紙面の体裁（カラー、紙質）にコストをかけるより、内容にコストをかけていくべきである。

（図3）



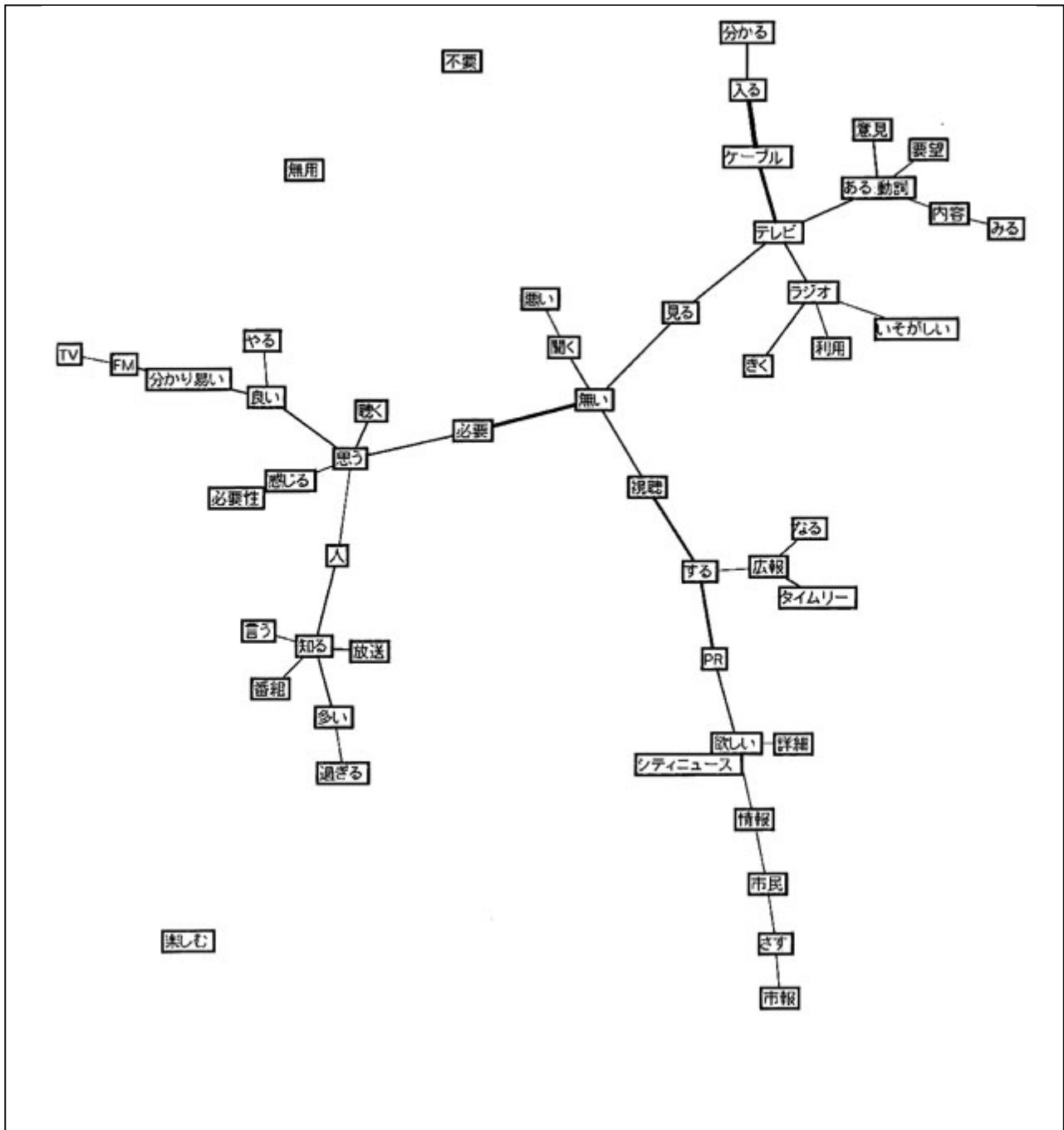
6 「むさしのシティニュース」「マイシティむさしの」についての意見・要望（問23）

全体として「必要」と「無い」というキーワードの結びつきが強く、全体の中心に位置している。「ケーブル」と「入る」というキーワードも強く結びついているが、その内容は「ケーブルテレビに加入していない（できない）ので見られない」という否定的な意見が圧倒的である（図4）。

「視聴」「する」「PR」というキーワードも強い結びつきを示しているが、その内容は「視聴していない、もっとPRすべき」というものである。

一部には肯定的な意見もあるが、「不要」や「無用」といった断定的な意見もあり、テレビ・FMともに広報媒体としての市民のニーズは低く、抜本的な見直しが必要と思われる。

（図4）

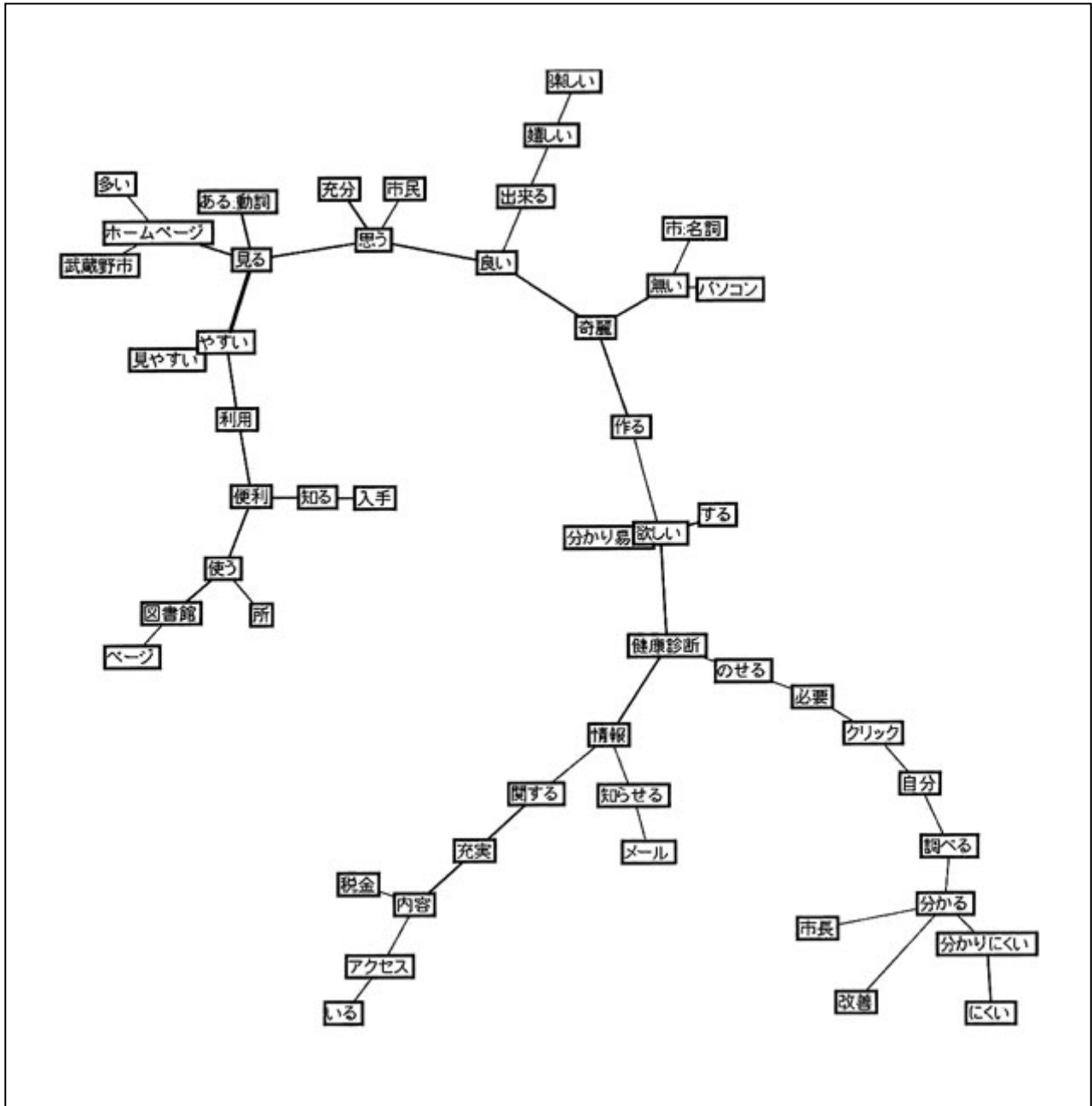


7 ホームページについての意見・要望（問29）

全体としての意見はかなりばらついているが、「見る」と「やすい」というキーワードの結びつきが強く、「不要」や「無駄」といった強い否定的キーワードは皆無である。（図5）。

ホームページは全体として肯定されているものの、「分かりやすさ」や「情報の豊富さ」ということについてはさまざまな意見がある。これは欠点というより、市民の各ライフスタイルにどのように対応していくかが今後の課題であると思われる。

（図5）



X 自由記述に見る広報媒体の評価傾向

澤 茂樹 委員

1 媒体別の自由記述傾向

(1) 市報むさしの

問7の「市報むさしの」に関する意見・要望の自由記述件数は、225件。これは、回答者全体の27%に当たる。

① 基調は肯定的

記述の基調はほぼ肯定的であるといっている(約70件、以下カッコ内の数字は同類の記述件数)。主な記述は、「見やすい、読みやすい、分かりやすい」(20件)、「市政の(大事な、一番の、手近にある)情報源」(17件)「よくできている(良い、満足)」(15件)、「楽しみにしている(安心、ありがとう)」(12件)など、好意的な反応が見られる。

一方、否定的な声(約15件)としては、「コスト削減を、費用を他の事に、紙の無駄」(5件)、「読みにくい」(4件)「必要なし」(3件)といったところが挙がってきているが、どのような調査でも必ず出てくる否定論者の記述と考えてよいだろう。

② 情報内容への要望や編集面・配布方法への注文に多様な記述が

「情報内容への要望」や「編集面・配布方法への注文」が多様に記述されている点には耳を傾ける必要がある。以下、比較的多い意見を拾ってみた。

情報内容の要望では、「イベント関連」(7件)、「健康、福祉」(7件)を筆頭に、「子育て、教育」(5件)、「エネルギー、環境、ゴミ、美化」(5件)、「市民の声を(反映させる)」(5件)、「地域情報」(4件)、「若者向けの情報を」(4件)、「自転車、駐輪」(3件)といったところである。

また、編集面・配布方法の注文では、「記事の並べ方、メリハリを」(12件)、「焦点を絞った特集、特徴のある編集」(7件)を期待する声が目立った。ほかに、「見出しの付け方、大きさ」(5件)、「テーマ別の色分け」(5件)、「読みやすく、(文章を)わかりやすく」(5件)、「サイズへの注文」(4件)などとともに、「新聞と一緒に配布を」(7件)も意見としてある。

(2) 季刊むさしの

問13の「季刊むさしの」に関する意見・要望の自由記述件数は、217件。これは、回答者全体の26%に当たる。

① 存在の非認知が圧倒的に多い

圧倒的に多い記述は、存在の非認知である。「知らなかった」「はじめて手にした」「どこにおいてあるのか分からない」「配布方法が分からない」が合計で58件、これは記述者の26%に上る。結果、もっと「周知を」「PRを」という声も数件見られる。

実物を見た上での感想ということで回答傾向を拾ってみると、肯定的：注文付き：否定的：非認知が概数で、50：40：70：60の配分となった。まさに賛否が拮抗した結果となっている。

肯定的意見として、「楽しく読める、楽しみ」(12件)、「良い、面白い」(11件)、「カラー、写真、イラストが良い」(10件)、「続けて読んでみたい」(8件)、「読みやすい、見やすい、分かりやすい」(5件)、「表紙の絵が良い」(3件)といったところが評価されている。

ただし注文もあって、「編集への配慮(読みにくい、文字大きく、タテ・ヨコ組みの混在、活字を詰めすぎ、ボリューム・ページを減らす)」(16件)が一群として見られる。ほかに、もっと「年配向けに」(2件)、「若者向けに」(4件)、「季刊ならではのテーマ・写真・イベント取材を、絞って詳し

く」(4件)といったところである。

検討に値すると思われる意見として、「市報との区分、差異化を」(3件)、「全戸配布を」(8件)、「希望者だけ定期購読に」(2件)が挙げられている。

② 否定的な意見が多い

否定的な意見も多い(約70件)。「税金の無駄」(14件)、「コスト削減を」(13件)、「必要性を感じない」(14件)に続いて、「市報で十分」(8件)、「市報との一体化を」(6件)など、存在意義を問う意見が大半を占めている。「位置づけが分からない」(3件)、「市報との差別化・別の角度で」(4件)は上記の注文内容とも近いが、文意はやや否定的である。「魅力を感じない」(5件)、「ほしい情報がない、生活に密着した情報を」(3件)といった内容面の不満も見られる。

(3) 市議会だより

問20の「市議会だより」に関する意見・要望の自由記述件数は、155件。これは、回答者全体の19%に当たる。

① 肯定意見は少数

「このままでいい」(5件)、「これから読んでみたい」(4件)、「カラーで読みやすい」(5件)と、現状をそのまま肯定する意見は比較的少数である。「紙質がよすぎる、カラーは無駄、どうしてカラーか、2色でいい」(24件)と、まずは冊子の作りに疑問を持つようである。「コスト削減、お金かけすぎ」(9件)、「必要ない」(3件)も近い感想か。

② 分かりやすく、読みやすく、やさしい文章で

注文としては、「分かりやすく、読みやすく、やさしい文章で」(28件)が筆頭である。「質問～回答だけでなく」(13件)、「内容を詳しく、議決後の結果を、重要案件を大きく、議案の関連情報を、ポイントの解説を、賛否の一覧(党派、議員)を」といった詳細情報の要望も一挙見られる。ほかに、「魅力的に、興味が持てるように」(7件)「編集に起伏がない、ニュース感覚を、タイムリーに、編集に工夫を」(7件)、「議員の活動を」(6件)などの声が挙げられている。限られた誌面と発行回数で、どう対応していくべきか。おそらくはホームページなどとの連携が必要となってこよう。

市議会だより自体とは関係なく、市政、市議会、議員、社会問題、地域問題等への意見・要望も10数件記述されている一方、「発行回数を増やせ」「会期中の速報を」「駅前でのパネル解説を」(各1件)といった、より積極的な情報発信を望む声もある。

(4) むさしのシティニュース、マイシティむさしの

問23の「むさしのシティニュース」「マイシティむさしの」に関する意見・要望の自由記述件数は、120件。これは、回答者全体の14%に当たる。

① 存在認知にかかわる記述が全体の半数

まずもって、存在認知に関わる記述が目立つ。「見られない、聴いたことがない、知らない」(40件)、「この機会に見たい、聴いてみたい」(7件)、「もっと番組広報を」(14件)といった具合である。これらの合計は、記述件数の半数に当たる。

一方、否定的な意見も相応にある。「必要ない、必要性に疑問」(8件)、「市報(もしくはネット)で十分」(2件)、「税金・経費の無駄」(3件)などである。また、必ずしも否定的ではないが、種々の不満も表明されている。例えば、「FMの電波状況が悪い、聴きにくい」(4件)、「ケーブルTVへの不満」(4件)といった技術的な問題から、「再放送が多い(見なくなった)」(3件)、「タイムリーな話題を、情報の頻繁な更新を」(4件)、「面白くない、楽しくない、活気がない、演出がくさい、パッとしない、わざわざ見ない」(6件)など内容面の不満まで幅広く記述されている。

② 検討してみたい提案も

中には、「分かりやすくてよい」（3件）としつつ、「近隣市と一緒に広域でやってはどうか」「定期的に総集編を放送してはどうか」（各1件）など、今後を検討してみたい提案も出されている。

（5）ホームページ

問29の「ホームページ」に関する意見・要望の自由記述件数は、90件。これは、回答者全体の11%に当たる。

① 全体的には好評

全体的な傾向としては、おおむね好評である。「見やすい、利用しやすい、便利、きれい、よくできている、十分」（16件）といった具合であるが、一方で「もっと分かりやすく、使いづらい、見やすく、アクセスしやすく」（13件）の声も挙がっている。

情報ニーズとしては、予想通り「子育て」「健康・医療」「病院」「交通」「年金」「防災・防犯」といったところに期待が集まっている。また、「もっと双方向を、質問コーナーを、メール相談を、メール配信を（市長メルマガ、市長へのメール）、タイムリーな話題のQ&Aを」といった双方向型での強化を望む声も一挙見られる（6件）。

② ホームページのリニューアルも期待

市報に掲載した情報（関心事）をホームページで受ける（検索、詳細情報）という、いわゆる“入り口メディア”と“受け皿メディア”の関係を期待する声もあり（2件）、ホームページのリニューアルも期待されている。

もちろん、「パソコンが見られない人、高齢者への配慮」（4件）も少数であるが表明されており、いましばらくの手立てが必要であろう。

2 全体を通じての所見

数値にもあらわれているが、自由記述においても、やはり基幹メディアは「市報むさしの」であり、次いで「市のホームページ」への期待も十分にうかがえるものとなっている。この二つのメディアを基盤においた上で、ほかのメディアの位置づけ、役割・機能、情報区分、対象区分をあらためて明確にしていく必要があるように思われる。その一方で、いわゆる“広報の広報”が必要であると痛感した。具体的には、以下のような展開である。

- ① それぞれのメディアの目的や役割を市民に知らせ、理解してもらう
- ② それぞれのメディアの存在や内容を、相互に広報する（市報で広報テレビ番組周知を、広報テレビ番組でホームページへの誘導を 等）
- ③ 情報内容（コンテンツ）の階層化・構造化（相乗効果、入り口から受け皿へ）を図る
- ④ 広報は市民のためのものであり、税金の無駄遣いではないことを理解してもらう

そのためには、複数メディアの視覚的統一感づくり（ビジュアル・アイデンティティ）や、武蔵野市らしい編集方針の表明といったことも有効ではないかと考える。また、編集から制作段階での市民の起用・登場や、巻き込みなど、広報における市民協働の在り方も検討課題となってこよう。広報展開における、新しいモデルづくりを期待したい。